

常時携行

取扱説明書

# EVERY CARRY

## OWNER'S MANUAL

ご使用になる前に、安全のため必ずお読みください。





**SUZUKI**  
Caring for Customers

このたびはスズキ車をお買いあげいただきありがとうございます。

お車は取り扱いを誤ると事故や故障の原因になります。

ご使用前に必ず本書をお読みください。














- この取扱説明書には、お車の正しい取扱方法と、運行前点検、法定6か月点検、簡単な点検と整備及びお手入れについて説明してあります。
- はじめて車を使用される方はもちろんのこと、車について十分ご存じの方も、それぞれの車ごとに独自の装備や取り扱いがありますので、よくお読みいただきいつまでも安全・快適にご使用ください。
- 「快適なカーライフでありますように！」 P 5 と   はあなた自身の安全に関することがらと、車のトラブルを防止するための説明です。よくお読みください。
- ご使用中にお気付きの点がございましたら、お買いあげのスズキ販売店又は代理店にご相談ください。
- 取扱説明書は別冊の“整備手帳”とともに、常にお車に保管してください。
- お車をゆずられる場合は、次に所有される方のために本書を車につけておいてください。
- 特別限定車の固有の装備については、別添の取扱説明書をご覧ください。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。  
商品カタログ等をご参照ください。

車両の変更等により本書の内容が車両と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



# 目次▶

各部の名称	2
ご愛車に関するメモ	4
 快適なカーライフでありますように！ (あなたの安全のための必読チェック項目)	5
 各部の開け方、閉め方	17
 各部の調節	26
 メータ、表示灯・警告灯の見方	36
 スイッチの使い方	42
 室内装備の使い方	47
 ラジオ・ステレオの使い方	51
 ヒータ・エアコンの使い方	60
 運転操作 (始動から駐車まで・装置類の使い方)	67
 点検・整備	82
 車のお手入れ	103
 万一のとき	105
 寒冷地での取り扱い	116
サービスデータ	122
索引 (インデックス)	125
★お車についてのご相談、ご意見は	129

# 各部の名称

## キャリイ

作業灯 P46

サービスカバー P88

フロントドア P17

バッテリー P91

ツールボックス P23

スペアタイヤ

P107

リヤゲート P23

フューエルタンク

キャップ P22

サイドゲート P23

タイヤローテーション P109

タイヤ交換 P107

タイヤの空気圧 P124

タイヤチェーン P120

けん引 P112

## エブリイ

フロントワイパ P43

ワイパブレードの交換 P102

フロントドア P17

フューエルリッド P22

リヤドア P18

スペアタイヤ P107

タイヤのローテーション P109

タイヤの交換 P107

タイヤの空気圧 P124

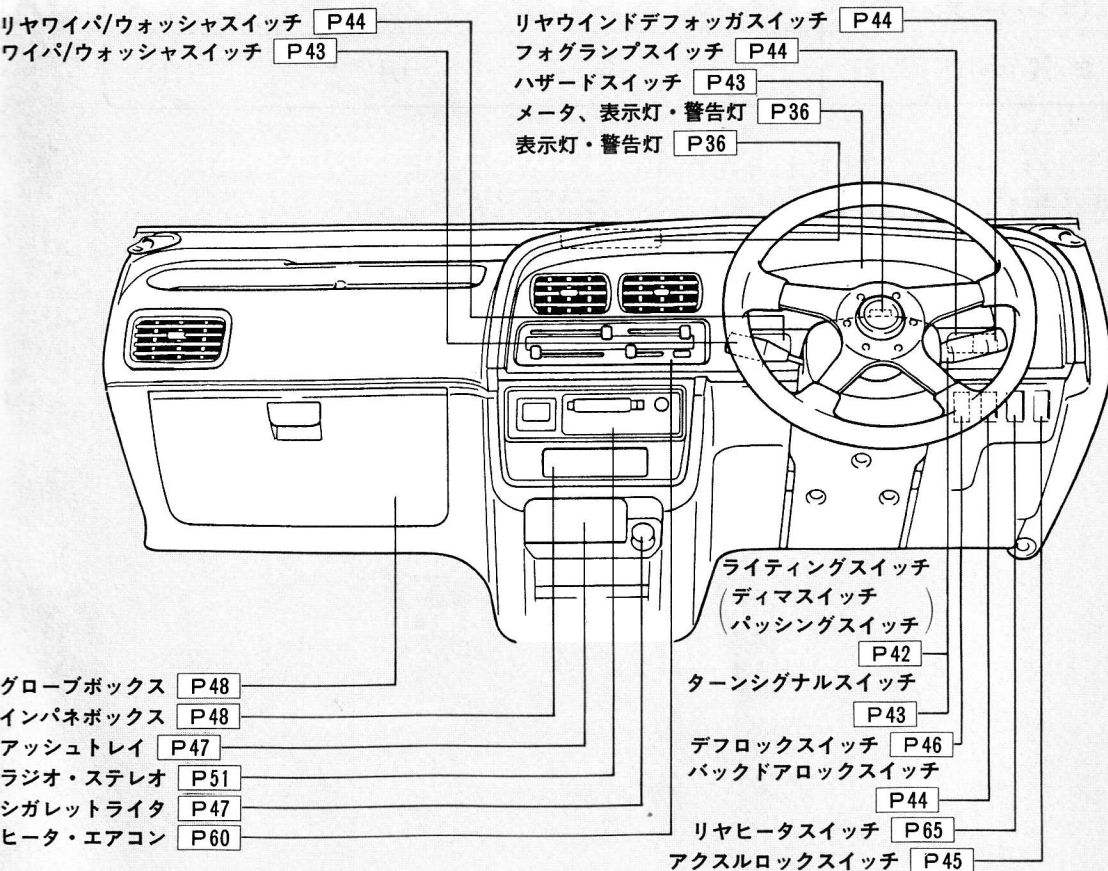
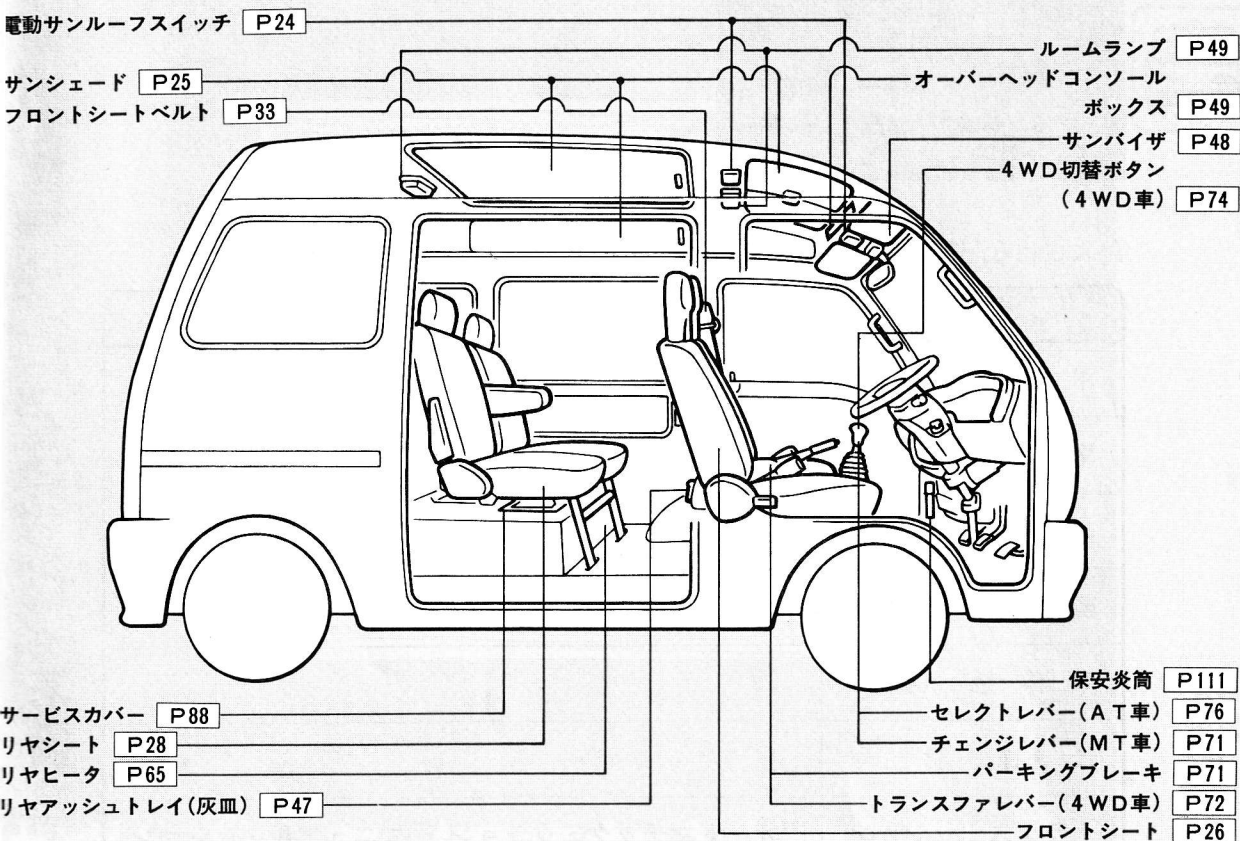
タイヤチェーン P120

けん引 P112

フォグランプ P44

リヤワイパ P44

バックドア P19



## ご愛車に関するメモ

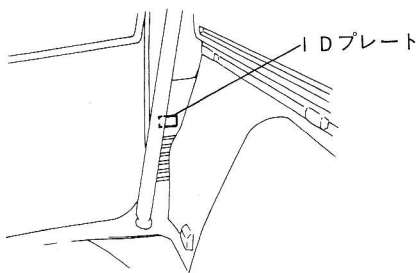
記入される記号・番号は、車検証又は※IDプレートをご覧ください。

ご愛車のメモ	
車名及び型式	車名：                      型式：
車台番号	
エンジン型式	F6A型
総排気量	657cc
車体色（番号）	
仕様記号	
トランスミッション	<input type="checkbox"/> オートマチックミッション <input type="checkbox"/> マニュアルミッション
登録番号又は車両番号 （ナンバープレート）	
お買いあげ日	年                      月                      日

※IDプレートは次の位置に貼付してあります。

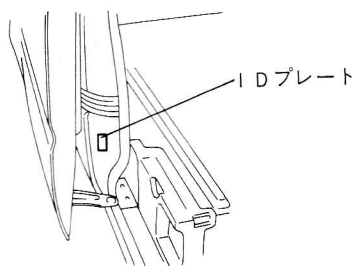
### キャリイ

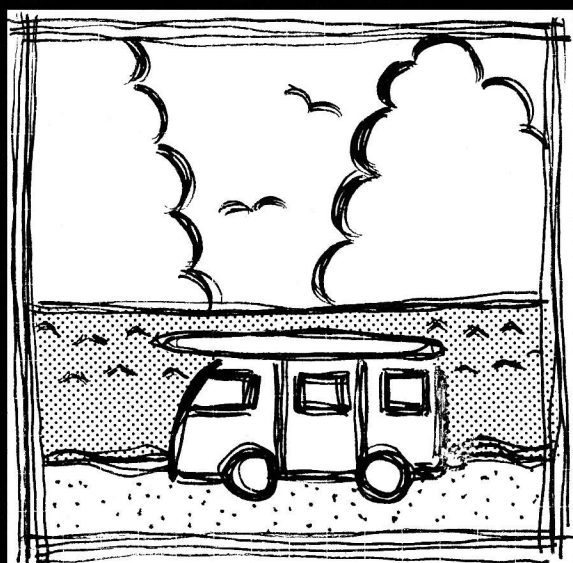
右リヤピラーのシートベルト取付部付近



### エブリイ

右リヤドアのロックキャッチ部付近





# 快適なカーライフでありますように!

## (あなたの安全のための必読チェック項目)

出発前に.....	P 6
走行中は.....	P 7
駐停車するときは.....	P 9
お子さまを乗せるときは.....	P10
高速道路の走行のしかた.....	P10
点検・整備をしましょう.....	P12
オートマチック車の取り扱い.....	P13
フルタイム4WD車とパートタイム4WD車の 取り扱い.....	P14
ターボ車の取り扱い.....	P15
装備品・オプション部品をつけるときは.....	P15
経済運転をしましょう.....	P15





快適なカーライフでありますように！

## 出発前に

### ■運行前点検をしましょう！

- 毎日、走行前に運行前点検を行うことが義務づけられています。事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。 ⇨ P83 (点検・整備)

### ■危険物は持込禁止！

- 燃料が入った容器やスプレー缶などの危険物を車内に持ち込まないでください。



### ■暖機運転をしましょう！

- 水温計の指針が動きはじめるまで暖機運転してください。  
(外気の温度によって暖機運転の時間は変わります。)



- エンジンがかかっているときは車から離れないでください。
- 暖機運転のしすぎは燃料のムダになります。

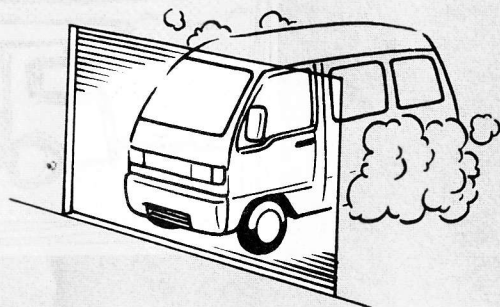
### ■車の後ろに燃えやすいものはないですか？

- マフラ付近に枯れ草など燃えやすいものがあると、着火するおそれがあり危険です。



### ■密閉したところでエンジンをかけたままにしない！

- エンジンをかけたままにするとガス中毒を起こす危険があります。  
十分な換気をしてください。



### ■正しい運転姿勢となるようにシートの調整をしましょう！

- ペダルが確実に踏めて、ハンドルの操作が楽にできる位置にシートを調整してください。 ⇨ P26 (各部の調節)



- 運転中のシート調整は大変危険です。走行前に必ず正しい運転姿勢がとれるように調整してください。

### ■運転席付近にモノを置かないで！

- フロアにおちたモノがブレーキペダルの下にはさまるとブレーキ操作ができなくなり大変危険です。また、アクセルペダルに引っかかるようなフロアマットの装着はやめましょう。







快適なカーライフでありますように！

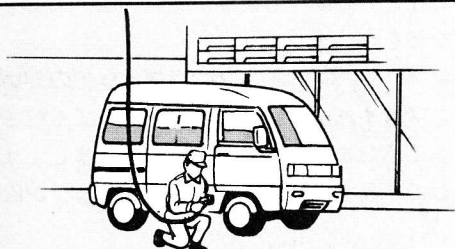
走行中は

## ■無鉛レギュラーガソリンの補給を！

- 粗悪ガソリンを使うとエンジンなどに悪影響を与えます。



- 給油するときは、タバコ、マッチ、ライターなど一切の火気は厳禁です。また、エンジンを止めてください。



## ■シートベルトは必ず正しく装着！

- 走行前に正しく装着してください。また、同乗者にも装着してもらいましょう。⇨P33（各部の調節）



## ■規定積載量以上の荷物を積まないで！

- 規定積載量

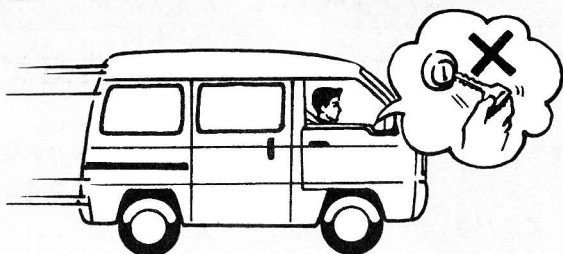
仕 様	積 載 量
エブリイの145 S R12タイヤ装着車	200kg（100kg）
その他の機種	350kg（250kg）

※（ ）内は、後部座席に乗車した場合の積載量です。

- 荷物はできるだけ低く、シートの高さ以上に積まないでください。
- 荷物を積んだときは積まないときよりも制動距離が長くなります。十分車間距離をあげ、慎重な運転をしてください。

## ■走行中はエンジンスイッチを絶対にきらないで！

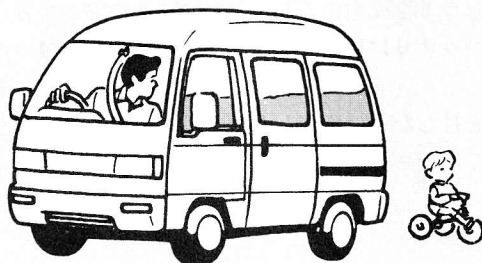
- 走行中エンジンスイッチをきると、
  - 1 ブレーキ倍力装置が作用しなくなるため、ブレーキのききが悪くなります。
  - 2 パワーステアリング装着車は、ハンドル操作が重くなります。
  - 3 触媒装置を損傷するおそれがあります。
  - 4 各警告灯が作用しなくなります。



- 坂道などで車を少し動かすときでも必ずエンジンを始動してください。  
ブレーキのききが悪くなったりハンドル操作が重くなったりします。

## ■チェンジレバー又はセレクトレバーをニュートラルにして走行しないで！

- エンジンブレーキがきかなくなり大変危険です。
- 車を発進するときは自分の目よく確認！
  - 信号待ちや、駐車後発進するときは、子供や障害物など、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
  - 後退時等で十分な視界が得られない場合は、車から降りて、後方を確認してから後退してください。





快適なカーライフでありますように！

## 走行中は

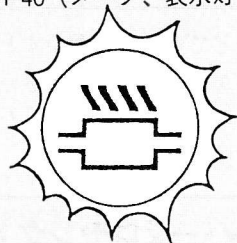
- 走行するときは、ドアを確実にしめて！
- スイッチ類の操作をハンドルの中からしない！
- パワーステアリング装着車は、ハンドルをいっぱい切った状態を長く続けないで！

### こんな時はどうする？

#### ■走行中にマフラ異常温度警告灯が点灯した！

- 安全な場所に停車し、マフラの温度が下がるのを待ってから、徐行してサービス工場に行き点検を受けてください。

◇P40（メータ、表示灯・警告灯の見方）



#### ■走行中にエンジンが停止した！

- ブレーキブースタ（ブレーキ倍力装置）が作用しなくなるのでブレーキペダルを通常より強く踏み、安全な場所に停車してください。
- パワーステアリング装着車は、ハンドル操作が重くなります。そのときは通常より強くハンドルを操作してください。

#### ■バッテリーがあがってエンジンがかからない！

- バッテリーを充電するか、ブースタケーブルで他の12Vバッテリーに接続して、エンジンを始動してください。  
◇P113（万一のとき）
- 車を押ししたりけん引したりしてエンジンを始動しないでください。

## 天候と状況

#### ■雨や雪の日はゆっくり走行！

- 路面がすべりやすくなるので急加速、急減速、急ブレーキをさけてください。
- 普段よりスピードをおとして早めにブレーキを踏みましょう。
- 雨の日など、昼間でも視界が悪い日は、スモールランプなどをつけましょう。

◇P42（スイッチの使い方）

（ランプスイッチの切り忘れに注意してください。）

- なるべく水たまりのないところを走りましょう。  
（走行できる水の深さは、マフラの下までが限度です。）



#### ■長い下り坂ではエンジnbrakeキを活用して！

- ブレーキペダルを踏み続けるとペーパーロック現象やフェード現象をおこし、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。  
登りで使ったギヤより1段おとして（シフトダウン）エンジnbrakeキを使用してください。  
（オートマチック車では **2** レンジ、又は **L** レンジにします。）



- 滑りやすい路面での急激なエンジnbrakeキはタイヤがスリップして大変危険です。





快適なカーライフでありますように！

## 駐停車するときは

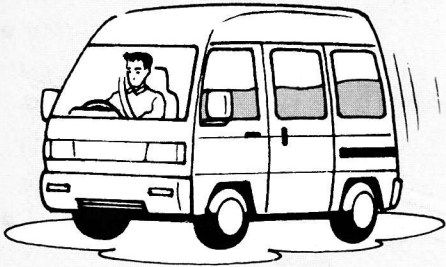
### 天候と状況

#### ■霧の中では車幅灯や フォグランプなどを点灯して！

- 走行は、前の車の尾灯やガードレールやセンタラインを目標にして低速で走行してください。
- 後続車や対向車などには十分注意して走りましょう。

#### ■洗車後や水たまりを走行したあとは ブレーキのきき具合を確認！

- ブレーキ部が水に濡れると、ブレーキのききが悪くなることがあります。このような時は、前後の車に十分注意して、低速でブレーキペダルを軽く踏んで走り、ブレーキによる熱でしめりを乾かしてください。
- 凍結路や濡れた路面での急激なシフトダウンは危険です。  
速度にあったシフトダウンをしてください。



#### ベーパーロック現象

ブレーキの摩擦熱によりブレーキ液が加熱されて泡が発生し、ブレーキを踏んでも、圧力が伝わらずブレーキがきかなくなる現象。

#### フェード現象

ブレーキの摩擦面が加熱されると摩擦力が減るので、同じ力でブレーキペダルを踏んでもブレーキのききが悪くなる現象。

#### エンジンブレーキ

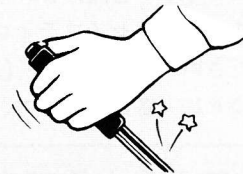
走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力。低速ギヤほどエンジンブレーキは強くなります。

#### ■安全な場所ですか？

- 枯草、わら、紙、布、樹脂、古タイヤなど、燃えやすいものの近くに止めないでください。
- できるだけ直射日光、風雨、水たまりはさけましょう。
- 海岸、木の下（鳥のふん、虫の死骸が多いところ）はさけましょう。やむをえない場合は、ボデーカバーを使用してください。はん点やしみ、キズなどに気づいたときは早めにお手入れや修理をしましょう。  
⇒ P103（車のお手入れ）

#### ■パーキングブレーキは確実に！

- 駐車中に車が無人で動き出すことがないように、しっかりパーキングブレーキをかけてください。
- チェンジレバー又は、セレクトレバーは、  
マニュアル車⇒後退または1速  
オートマチック車⇒ **P**  
に入れてください。
- 坂道ではタイヤに輪止めをしてください。



#### ■車から離れるときはエンジンを 止めて！

- 盗難や火災を防ぐために、必ずエンジンスイッチを切り、ドアをロックしてください。
- エンジン停止後は、マフラからピチピチと音が聞こえてくる場合がありますがこれはマフラが冷えて収縮するときの音で、異常ではありません。

#### ■エンジンをかけたまま運転席で 仮眠しない！

- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたりして思わぬ事故につながり、危険です。
- 空気の流通が悪い場所では、排気ガスによる中毒になるおそれがあります。





快適なカーライフでありますように！

## お子さまを 乗せるときは

### ■ドアの窓の開閉はおとなが行って！

- 手や首をはさまないように注意してください。
- パワーウィンド装着車は、ロックボタンをご使用ください。      ⇨ P21（各部の開け方、閉め方）
- ドアを閉じたときは施錠しましょう。

### ■おとなと一緒に後部座席へ！

- お子さまを助手席に乗せると、運転装置などに触れたりして安全ドライブの妨げになります。リヤシートに座らせるか市販の保護具を使用しましょう。



- リヤシートにお子さまを乗せるときは、運転中にリヤドアを開けないように安全を守るチャイルドセイフティロックをご使用ください。      [エブリイ]

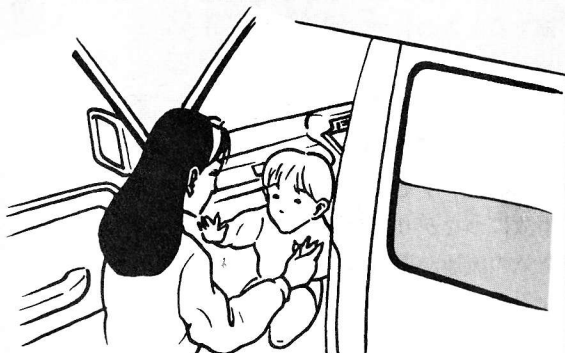
⇨ P19（各部の開け方、閉め方）

### ■荷物室にお子さまを乗せないで！

### ■窓・サンルーフから顔や手を ださないで！

### ■車を離れるときはお子さまも一緒に！

- いたずらによる車の発進、火災など思わぬ事故になるおそれがあります。
- 炎天下での車内は高温になり、たいへん危険です。

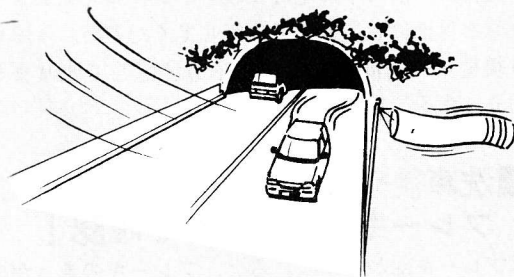


快適なカーライフでありますように！

## 高速道路の走行のしか

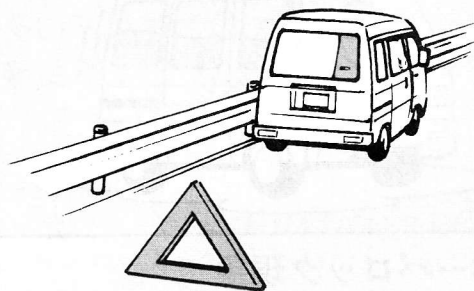
### ■横風に注意！

- トンネルの出口、橋の上などは横風が発生しやすい場所なので、ハンドルをしっかり握り、安全な速度で走行してください。



### ■故障したときは…

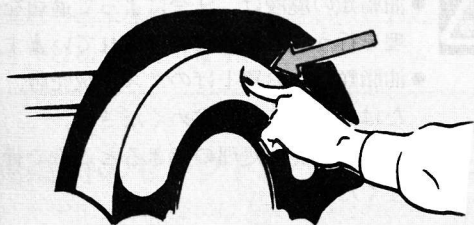
- 1 車を路側帯によせます。
- 2 非常点滅表示灯を点灯し、停止表示板を車の後方に置いて、後続車に追突されないように処置をしてください。



- 長時間の駐車は追突事故の危険がふえます。
- 非常電話は、本線内に1 kmおきに設置され、24時間いつでも連絡できる体制になっています。

### 走行前の点検

- 高速道路を走行するときは、ガソリン量、タイヤの空気圧、冷却水の量などの運行前点検を念入りにしましょう。 ⇨ P83 (点検・整備)

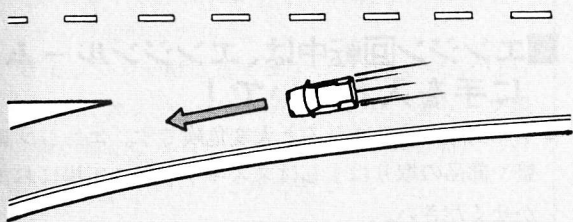


### 本線での走行

- 制限速度を守りましょう。
- 高速道路では、急ブレーキ、急ハンドルは非常に危険です。
- 車線変更や追い越しをするときは、早めにターンシグナルを出して、ハンドル操作はゆるやかに行いましょう。
- 車間距離を十分に保って走るようにしてください。

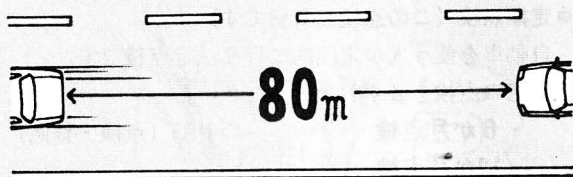
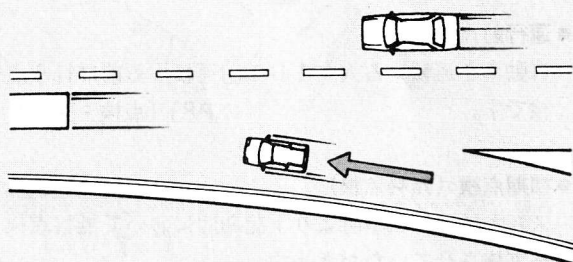
乾燥路面でブレーキをかけて安全に停止するには、目安として車速80km/h走行で80mの車間距離が必要です。

- トンネル内ではヘッドランプを点灯しましょう。
- ラジオの情報に注意しましょう。トンネル内では、あらかじめ周波数をあわせておきましょう。
- 路面がぬれているときは、タイヤが滑りやすいので、スピードを落とし、車間距離を十分保って走行してください。



### 本線への進入

- 進入の際は右折の方向指示器を早めに出し、加速車線で十分加速してから本線の流れに合わせて入ります。
- 後続車に注意し、無理な割り込みはやめましょう。



### 高速道路から出る時

- 出口をよく確認して左折の方向指示器を出します。スピードメータで確認しながら速度を十分におとしてください。



- 出口を通り越してしまったときは、次のインターチェンジまで走ります。あわてて急ブレーキをかけて止まったり、後退をしてはいけません。



快適なカーライフでありますように！

## 点検・整備をしましょう

### ■点検・整備を忘れずに！

- お手もとの整備手帳にもとづいて、必ずお受けください。



#### ●運行前点検

自動車を運転する人が1日1回運転する前に行う点検です。 □ P83 (点検・整備)

#### ●初期点検 (無料点検)

スズキでは、新車時より下記期間において無料点検を実施させていただきます。

(ただし、油脂代、部品代及び工賃等は有料です。)

- ・新車より1か月目または1000km走行時

#### ●定期点検 (この点検は有料です)

自動車を使う人が定期的に行う法定点検です。

下記の点検を必ずお受けください。

- ・6か月点検 □ P83 (点検・整備)
- ・12か月点検
- ・24か月点検

※詳細は別冊の整備手帳をご参照ください。

#### ●シーズンイン点検

夏期点検 (5～6月頃)

冬期点検 (10～11月頃)

それぞれの季節に入る前に行いましょう。

□ P95 (点検・整備)

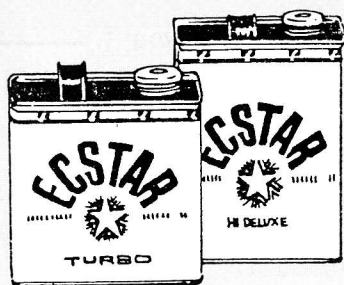
### ■エンジンオイル、油脂類等の交換！

- 定められた時期に交換をしてください。
- スズキが品質を保証した純正品をお使いください。

□ P98 (簡単な整備)



- 油脂類の廃液は、法令によって適切な処理を行うことが義務づけられています。
- 油脂類は、お買上げのスズキ販売店、または代理店でお買求めください。
- 交換は、廃液処理のできるところで行ってください。



### ■定期交換部品は指定の時期に交換を！

- 機能上重要な部品は、指定の時期になりましたら定期交換をおすすめします。

(整備手帳の「定期交換部品」を参照してください。)



- 純正部品をお使いください。
- 交換にあたっては、整備手帳に基づいて、スズキ販売店の整備工場で良くご相談のうえ交換してください。

### ■エンジン回転中は、エンジンルームに手を入れないで！

- 手や衣服が巻込まれると大変危険です。エンジン調整や部品の取りはずしはスズキサービス工場におまかせください。





快適なカーライフでありますように！

## オートマチック車の取り扱い

### オートマチック車の操作について...

オートマチック車はクラッチとチェンジの操作から開放され、運転が楽で便利な車です。クラッチ操作をせずに前進・後退ができるので安全運転の基本操作を忘れてしまい、思わぬトラブルを生む結果となります。

### ■発進時のセレクトレバーの操作は！

- オートマチック仕様には、安全のためにキーインタロック付シフトロック装置が装備されています。

#### キーインタロック装置

セレクトレバーが **P** でないとキーを **OFF** から **ACC** 側に、**ACC** 側から **OFF** に回すことができません。

#### シフトロック装置

キーが **ON** のときは、ブレーキペダルを踏んでいないとセレクトレバーは **P** から他の位置へ動きません。

- 停止時のセレクトレバーの操作はブレーキペダルを踏んだまま行ってください。セレクトレバーが **P**
  - ・ **N** 以外ときは、アクセルペダルを踏まなくてもクリーブ現象が働き、車がゆっくり動き出します。

### クリーブ現象

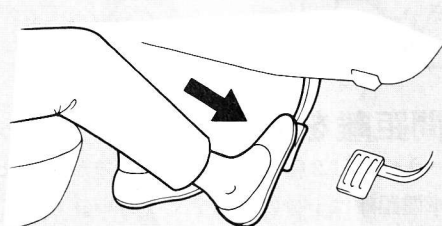
- 停車中にセレクトレバーを **L** ・ **2** ・ **D**
  - ・ **R** 位置へ操作すると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車特有の現象。
- エンジン始動直後やエアコン作動時などは自動的にエンジンの回転が高くなり、クリーブ現象が強くなるので、ブレーキペダルを特にしっかり踏んでいることが必要です。

### ■アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認！

- 踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルを右足で踏み、その位置を確認して足におぼえさせてください。

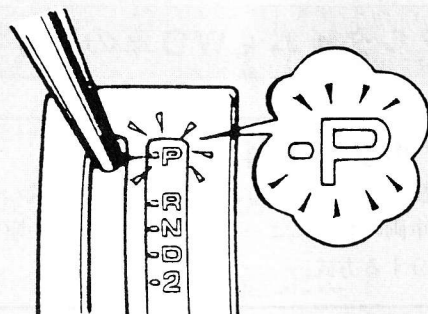
### ■ブレーキペダルは右足で！

- 慣れない左足でブレーキペダルを踏むと緊急時の反応が遅れるおそれがあります。



### ■駐車は必ずセレクトレバーを **P** にいれて！

- 駐車し、キーを抜くときは、セレクトレバーを **P** に入れてからキーを **OFF** まで回して抜いてください。



### R（リバース）警告装置

セレクトレバーが **R** にはいつているとき、警告音（ブザー）が鳴り運転者に知らせます。

オートマチック車の操作はP77を参照ください。



快適なカーライフでありますように！

## フルタイム4WD車とパートタイム4WD車の取り扱い

### ■路面の状況に注意して走行！

- 4WD車は2輪駆動車に比べて、滑りやすい路面(砂地、積雪地、ぬかるみ、急坂路等)において走破性に優れていますが、どんな所でも走行できる万能車ではありません。

### ■タイヤ交換は！

- サイズや種類の異なったタイヤは装着しないでください。
- 4輪とも同一サイズ、同一種類のタイヤを装着してください。
- また、空気圧も必ず規定圧にしてください。

### ■車間距離を十分に！

- ブレーキ性能は2輪駆動車とあまり差がありませんので車間距離は十分に取ってください。



## フルタイム4WD車の取り扱い

### フルタイム4WDとは…

前輪と後輪は特殊な連結装置で常時接続し、路面と車両の状態によって、自動的に前後の駆動力を配分する方式。

### ■レッカー車でけん引してもらうときは！

- 必ず4輪を持ち上げて移動します。
  - 2輪を持ち上げてけん引するときは、前後輪の動力伝達経路を断つ必要があります。
- このようなときは、スズキサービス工場にご相談ください。  
☞P113(万一のとき)

## パートタイム4WD車の取り扱い

### パートタイム4WDとは…

レバーやスイッチの操作で2WD(後輪駆動)と4WD(4輪駆動)とを切り替えることができます。前後の駆動力は固定されています。

### ■滑りにくい路面(乾燥した舗装路等)では4WD走行しないで！

- 4WD走行で、車庫入れや急ハンドルを切って走行すると、クラッチ系統や駆動系統に悪影響を与えます。
- 4WD(4輪駆動)走行中に、急カーブ走行をすると、ブレーキがかかったような状態(タイトコーナブレーキング現象)になることがあります。

### タイトコーナブレーキング現象

4WD走行で、特に低速時にハンドルをいっぱいに切った場合、内外輪差によって、4本のタイヤに回転差が生じます。

前輪又は後輪の左右の回転差は、デファレンシャルで吸収されますが、前後の回転差は、吸収できないために、ブレーキがかかったような状態になります。この現象をタイトコーナブレーキング現象といいます。



快適なカーライフでありますように！

## ターボ車の取り扱い

### ■エンジンをかけた直後の空ぶかし、急加速はしない！



### ■エンジン回転数を過回転域(レッドゾーン)まであげてはいけません！

### ■高速走行、登坂走行直後はエンジンを止めないで！

- 必ず約1分間アイドリング運転を行ってからエンジンを停止してください。

### ■エンジンオイルは定期的に交換を！

- エンジンオイルやエンジンオイルフィルタは交換時期を必ずお守りください。 ⇨ P98 (点検・整備)
- エンジンオイルは「スズキ エクスターオイル ターボ」をご使用ください。



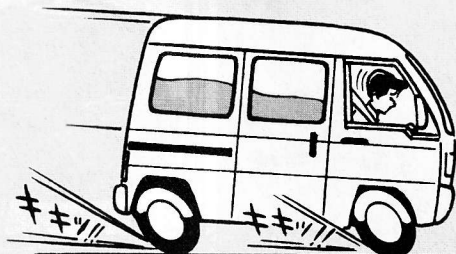
快適なカーライフでありますように！

## 経済運転をしましょう

### ■暖機運転は適度に！

- 長すぎる暖機運転は燃料のムダになります。

### ■急発進、急加速、急ブレーキなど「急」のつく運転はしない！



### ■むやみに空ぶかしさせないで！

- 燃料を浪費するだけで何の効果もありません。

### ■定速走行につとめましょう！

- 低速ギヤで高速まで引っぱると燃費が悪くなります。
- スピードに応じた正しいギヤをお使いください。

### ■クラッチ操作は確実に！

〔マニュアル車〕

- 半クラッチの連続使用はしないでください。
- クラッチペダルに足をのせたまま運転しないでください。

### ■駐車中はエンジンを止めましょう！

### ■無用な荷物は車からおろしましょう！

### ■タイヤの空気圧を適正に！

- タイヤの空気圧が低いと、タイヤの寿命を短くし、ガソリンを多く消費するばかりでなく、危険です。
- 〔タイヤの空気圧 ⇨ サービスデータ参照〕



快適なカーライフでありますように！

## 装備品・オプション部品をつけるときは

### ■無線通信機器を搭載するときは！

- 取り付け方法などによって各制御系に異常をきたすおそれがありますのでスズキサービス工場にご相談ください。

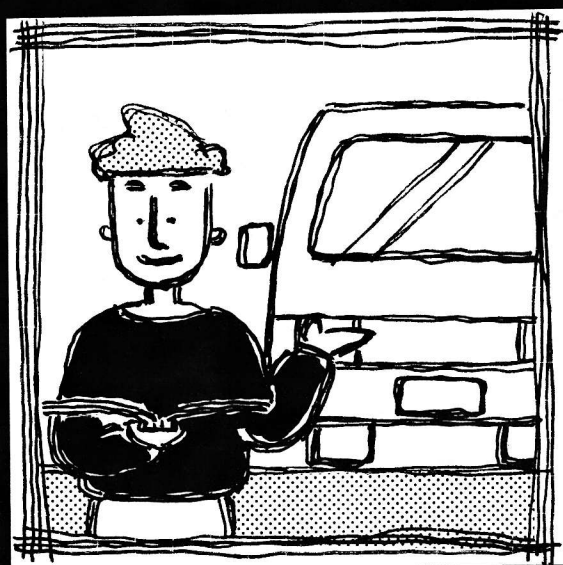
### ■オプション部品をつける時は！

- オプション部品をつけるときは、スズキサービス工場にご相談ください。
- また車両各部へ悪影響を与えないために、ご自分でのエンジン調整や部品・配管等の取り外しはやめましょう。

### ■法令で定められている保安基準に合わなくなるような改造はしないで！

- 突起物や幅広タイヤ等の装備は行わないでください。
- 特に車高を変えるような改造はさけてください。





# 各部の取り扱い

各部の開け方、閉め方	P17
各部の調節	P26
メータ、表示灯・警告灯の見方	P36
スイッチの使い方	P42
室内装備の使い方	P47
ラジオの使い方	P51
ヒータ・エアコンの使い方	P60

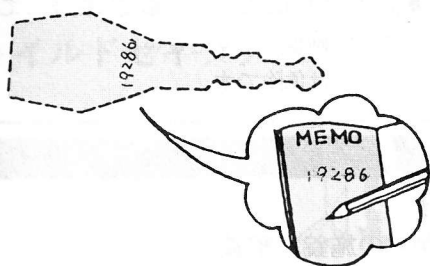


キー	P17
フロントドア	P17
リヤドア	P18
バックドア	P19
パワードアロック	P20
パワーウインド	P20
リヤドアウインド	P22

フューエルリッド／

フューエルタンクキャップ	P22
リヤゲート	P23
サイドゲート	P23
サービスゲート	P23
ツールボックス	P23
スーパーマルチルーフ	P24

## キー

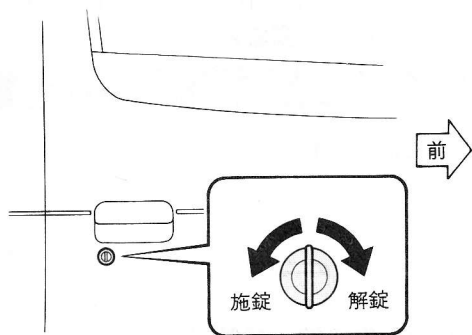


- キーは各部の開閉やエンジン始動・停止など、車の運転に欠かせません。大切に管理してください。



- キーナンバーを控えておいてください。  
万一の紛失のとき、スズキ販売店又は代理店へご相談ください。

## フロントドア



### ■車外からの施錠、解錠

#### ＜キーを使う施錠、解錠＞

- 後へ回すと施錠、前へ回すと解錠になります。
- 助手席側キーシリンダの有無は仕様により異なります。



- 運転席側の施錠は、キーの抜き忘れを防止するため車外からキーで施錠する習慣をつけてください。

#### ＜キーを使用しない施錠＞

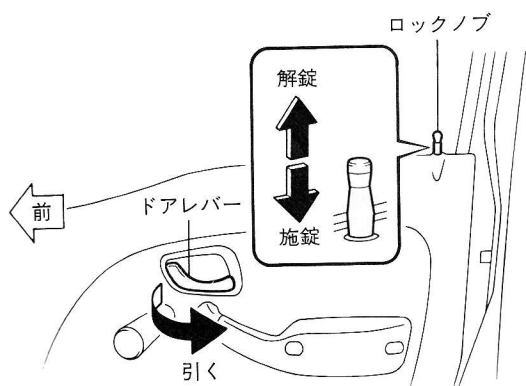
- キーシリンダのあるドアは、

- 1 ロックノブを押し
- 2 アウトサイドハンドルを引いたまま
- 3 ドアを閉めます。

- キーシリンダが付いていないドアは、ロックノブを押し、そのままドアを閉めます。



- キーの閉じ込めに注意してください。



## ■車内からの施錠、解錠

## 〈施錠〉

- ロックノブを押すと施錠できます。

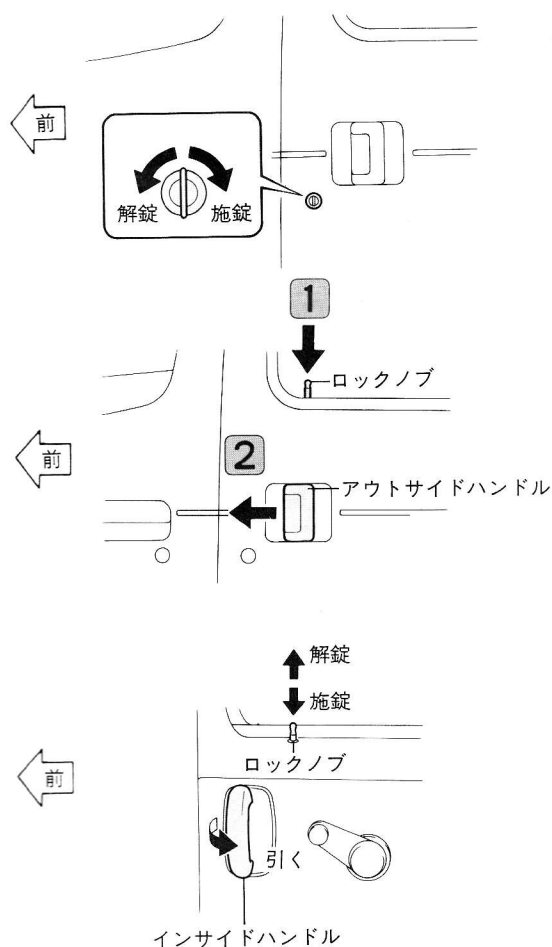
## 〈解錠〉

- ロックノブを引きあげると解錠し、ドアレバーを引くとドアが開きます。



- ドアを開けるときは、後方からの車に十分注意してください。
- ドアを閉めたときは、確実に閉まっていることを確認してください。  
半ドアは危険です。

## リヤドア



## ■エブリイ

## ■車外からの施錠、解錠

## 〈キーを使う施錠、解錠〉

- キーを後へ回すと施錠、前に回すと解錠になります。
- キーシリンダの有無は仕様により異なります。

## 〈キーを使わない施錠〉

## 1 ロックノブを押し

## 2 ドアを閉めます。

## ■車内からの施錠、解錠

## 〈施錠〉

- ロックノブを押すと施錠できます。

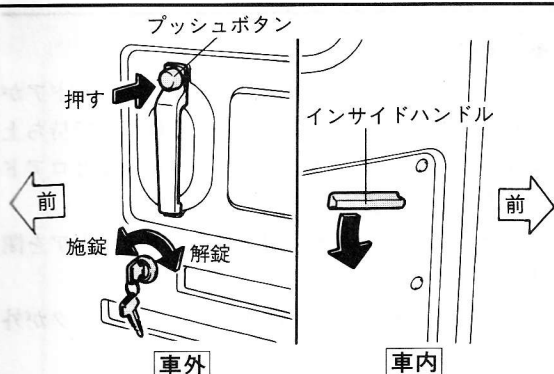
## 〈解錠〉

- ロックノブを引き上げると解錠し、インサイドハンドルのレバーを引くとドアが開きます。



- 急な下り坂ではリヤドアが急激に閉まりましたりしますので注意してください。
- リヤドアを閉めるときは、手などをはさまないように気をつけてください。  
特にお子様が同乗していたり近くにいるときは注意してください。





### パネルパン

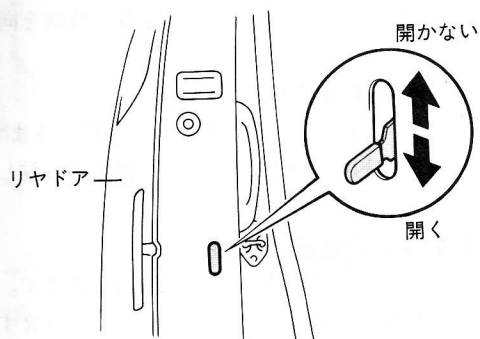
#### ■車外からの開閉、施錠

- アウトサイドハンドルのプッシュボタンを押し、ドアを後に引くと開きます。
- キーを左に回すと施錠、右へ回すと解錠になります。

#### ■車内からの開閉、施錠

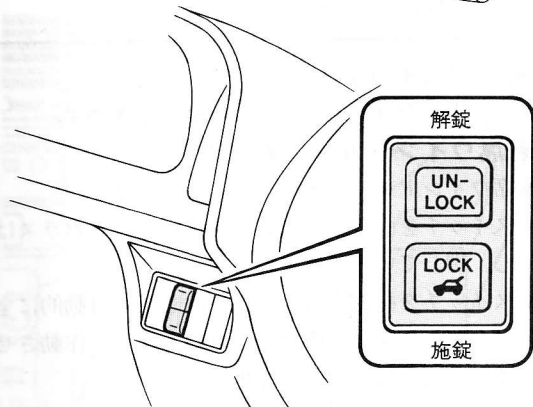
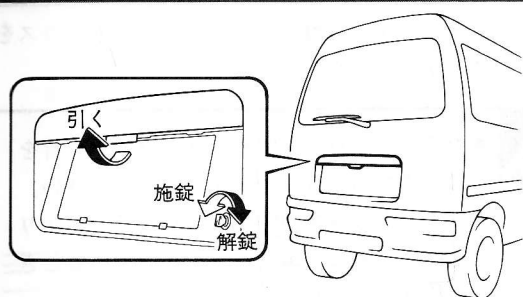
- インサイドハンドルを押し下げると開きます。
- キーで施錠されていても、インサイドハンドルを押し下げると開きます。

### チャイルドセーフティロック



- お子様をリヤシートに乗せるとき、安全のため車内からリヤドアを開けることができないようにする装置です。
- チャイルドセーフティロックレバーをロック位置にしてドアを閉めると、車内からドアを開けることができません。
- ドアを開けるときは、車内側のロックノブを解錠して車外からアウトサイドハンドルを引きます。

### バックドア



### エブリイ

#### ■キーを使う施錠、解錠

- キーを左に回すと施錠、右に回すと解錠になります。

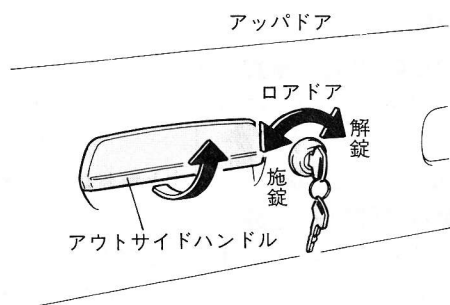
#### ■バックドアロックスイッチでの施錠、解錠☆

- エンジンスイッチがどの位置にあっても使用できます。
- ロックスイッチの下側 **LOCK** を押すと、バックドアの鍵が施錠し、上側 **UN LOCK** を押すと解錠します。

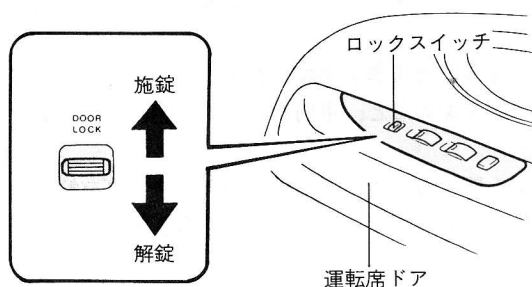


- 走行中はバックドアを確実に閉めて施錠してください。
- エンジンの停止直後は、排気管が熱くなっていますので荷物の積み降し等をするときはさわらないように十分注意してください。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。

**パネルバン**

- アウトサイドハンドルを引き上げると、アッパドアが少し飛びだしますので、ロックされる位置まで持ち上げます。さらにアウトサイドハンドルを引くとロアドアが倒れてきます。
- 閉じるときは、ロアドアを閉じてからアッパドアを閉じます。
- アッパドアは、軽く持ち上げるとステアのロックが外れて下がります。

**パワードアロック☆**

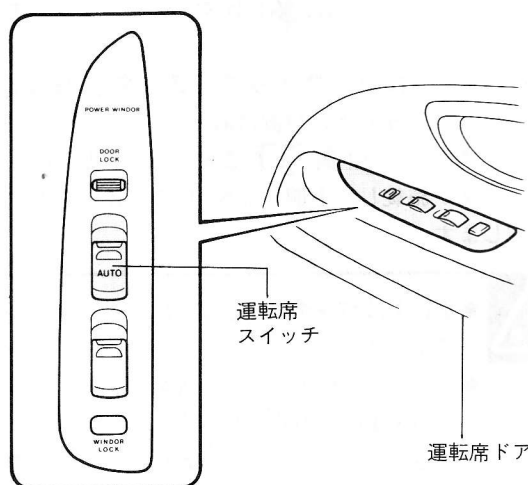
すべてのドア（バックドアも含む）の施錠、解錠を同時にできます。

**■ロックスイッチでの施錠、解錠**

- エンジンスイッチがどの位置にあっても使用できます。
- スイッチを前側へ押すと施錠、後側へ押すと解錠します。

**■キーを使つての施錠、解錠**

- バックドア以外のドアのキー操作で使用できます。
- キーを後へ回すと施錠、前に回すと解錠になります。

**パワーウィンド☆**

エンジンスイッチが **ON** のときにウィンドガラスを開閉することができます。



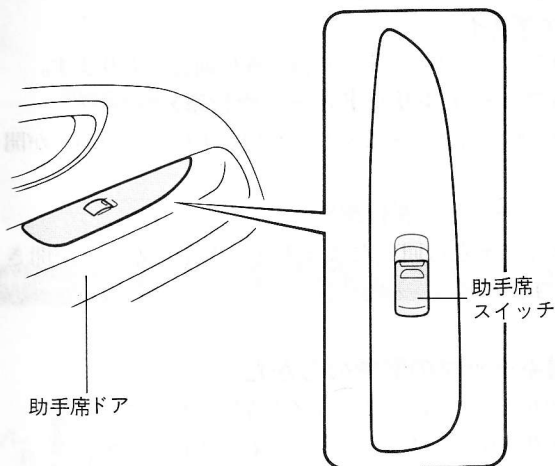
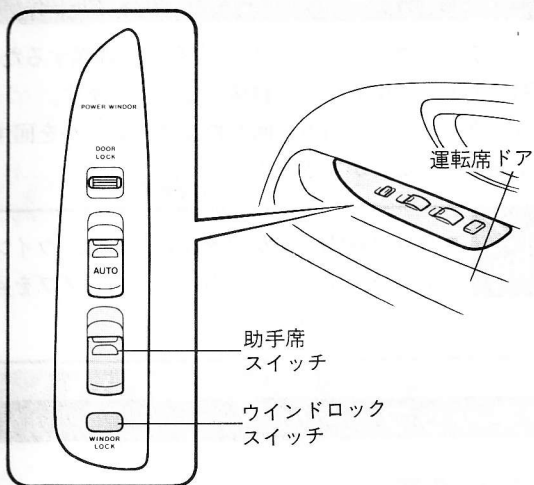
- ウィンドガラスを閉めるときは、手や首をはさまないように十分注意してください。
- ウィンドガラスの開閉は、バッテリーあがりを防ぐために、エンジンをかけているときに操作してください。

**■運転席側スイッチ**

運転席、助手席のウィンドガラスが開閉できます。

**〈運転席ウィンドガラスの開閉〉**

- 運転席ウィンドスイッチは、2節度式です。
- 軽くスイッチを引き上げている間、ウィンドガラスは上昇し、押している間は下降します。強くスイッチを操作すると、手を離しても自動的に全開又は全閉します。途中で停止させるには、作動させたスイッチ側と反対側を軽く操作します。



### ＜助手席ウインドガラスの開閉＞

- 助手席ウインドスイッチを操作している間、ウインドガラスは開閉します。
- スイッチから手を離すとウインドガラスはその位置で止まります。



- 運転席側スイッチで助手席のウインドガラスを開閉するときは、他の人の手や首をはさまないように十分注意してください。

### ＜ウインドロックスイッチ＞

- ロックスイッチを押すと助手席スイッチでの開閉はできません。
- もう一度押すとロックが解除され、助手席スイッチで開閉できます。



- 危険防止のため、お子さまを乗せているときは、必ずウインドロックスイッチをロックしてください。

### ■ 助手席側スイッチ

#### ＜助手席ウインドガラスの開閉＞

- スイッチを操作している間、ウインドガラスは開閉します。
- ただし、ウインドロックスイッチが押されているときは開閉できません。



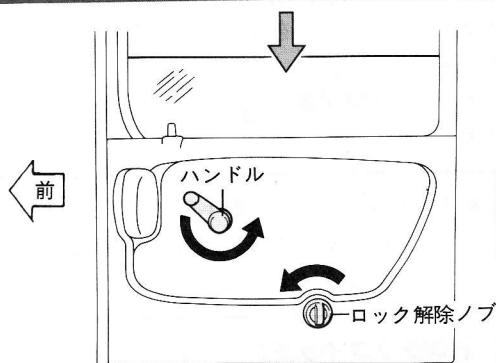
- 運転席スイッチと助手席スイッチを同時に操作してウインドガラスの開閉をしないでください。故障の原因となります。

### ■ パワーウインドが作動しないとき

- サーキットフューズボックスの横のブレーカの回路がしゃ断されている場合があります。  
ブレーカの穴に細い棒をカチッという音がする位置まで、軽く差し込みます。これでブレーカの回路が復帰します。



- マッチ棒など折れやすい物は使用しないでください。
- ブレーカの回路がたびたび切れる場合はスズキサービス工場で点検を受けてください。

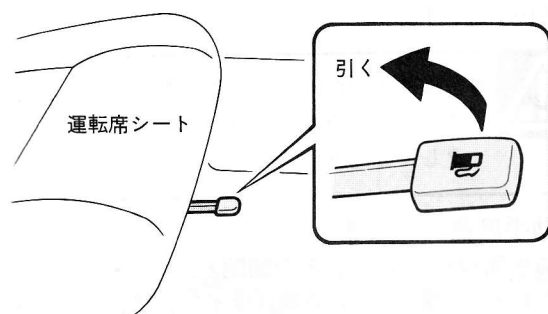
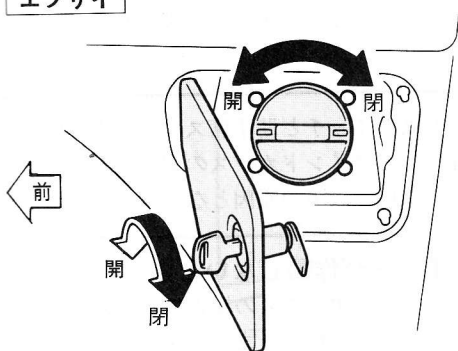
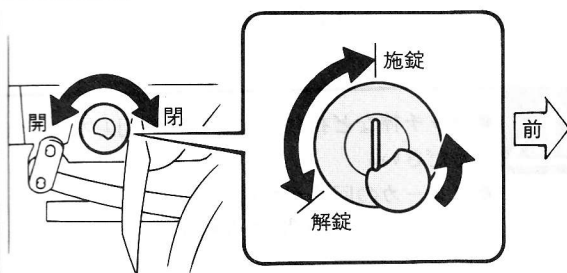
リヤドアウインド エブリイ

- リヤドアのウインドガラスは、安全性を確保するため、開けるとき途中で止まる機構になっています。
- ロック解除ノブを前方に回したままハンドルを回すと全開にすることができます。



- ロック解除ノブが回せないときは、ウインドガラスを一度少しあげてから、ノブを回してください。

## フューエルリッド／フューエルタンクキャップ☆

エブリイエブリイキャリイ

## ■カバーの開け方

エブリイ

- フューエルリッドは車両の左側前方にあります。
- ＜フューエルリッドオープン付車＞
- 運転席左下にあるレバーを引き上げるとカバーが開きます。
- ＜キーシリンダ付車＞
- キーを左に回したまま手前に引くとカバーが開きます。

## ■キャップの開閉のしかた

- 開けるときは、キャップを左にまわします。
- 閉めるときは、キャップを右にまわします。

キャリイ

- フューエルタンクキャップは車両の右側後方にあります。

## ■開け方

- 1 キーを左に回して解錠します。
- 2 キャップを左に回します。

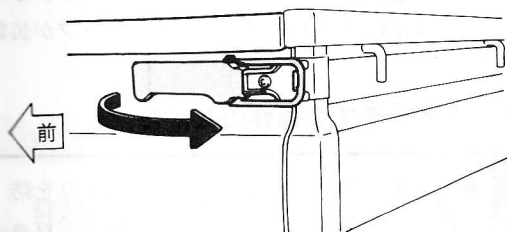


- 燃料は必ず無鉛レギュラーガソリンを使用してください。
- 燃料補給中はエンジンを止めてください。
- 燃料の補給が終わったら、キャップとリッドが確実に閉まっていることを確認してください。

〔タンク容量⇨サービスデータ参照〕

☆印のついている装備品は仕様により異なります。

## リヤゲート キャリイ

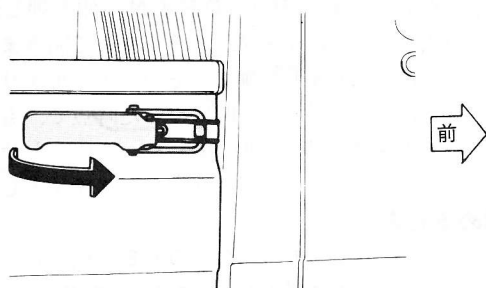


- リヤゲートの両端にあるロックハンドルでロックを外し、ゲートを倒します。



- リヤゲートを倒したまま走行しないでください。ランプ類が見えないので大変危険です。

## サイドゲート キャリイ 三方開

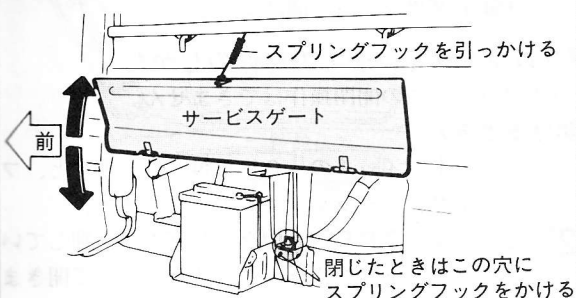


- サイドゲート前部のロックハンドルと、リヤゲートのロックハンドルを外すと、サイドゲートが倒れます。



- 走行するときは、ハンドルを確実にロックしてください。

## サービスゲート キャリイ 一方開

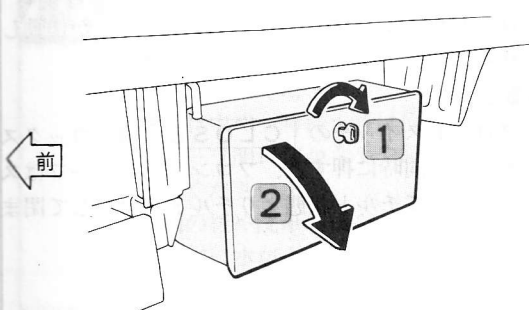


- スプリングフックをフレームブラケットの穴から外し、サービスゲートを開けて、スプリングフックをサイドパネルの折り曲げ部に引っかけます。



- サービスゲートを閉めたときは必ずスプリングフックをフレームブラケットの穴にかけてください。

## ツールボックス☆ キャリイ 三方開



- 1 キーを右に回したまま

- 2 ふたを手前に引くと開きます。



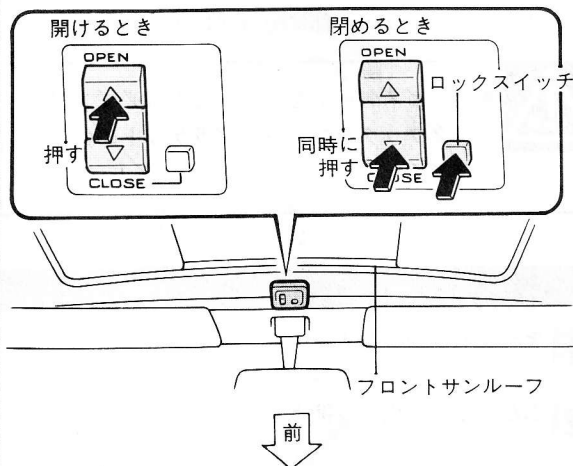
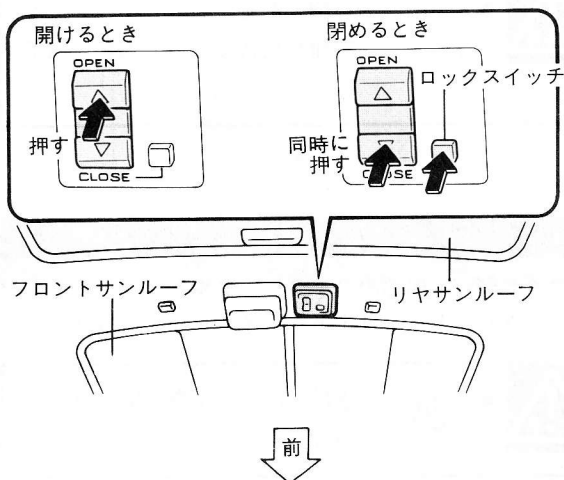
- 走行するときは、ふたを閉めて確実にロックしてください。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。





## スーパーマルチーフ☆ エブリイ



- メインスイッチとフロントスイッチを同時に操作すると、ルーフの作動は停止します。

- フロントには電動チルト&スライド式ガラスサンルーフ、リヤには電動スライド式ガラスサンルーフが装備されています。

## ■メインスイッチでの操作のしかた



- サンルーフの開閉は、バッテリー上がり为防止するため、エンジンをかけた状態で行ってください。

## 〈開けるとき〉

- 1 メインスイッチの **OPEN** 側を押している間、リヤサンルーフがスライドして開きます。スイッチから手を離すとその位置で止まります。
- 2 リヤサンルーフが全開になった時点で、もう一度 **OPEN** 側を押し直すと、フロントサンルーフがチルトアップし、連続してスライドします。

## 〈閉めるとき〉

- 1 メインスイッチの **CLOSE** 側とロックスイッチを同時に押すと、まずフロントサンルーフが、スライドしてチルト状態になります。
- 2 その後、リヤサンルーフはフロントサンルーフがチルトダウンすると同時に閉まり始めます。

## ■フロントスイッチでの操作のしかた

※リヤサンルーフの開閉操作はできません。

## 〈開けるとき〉

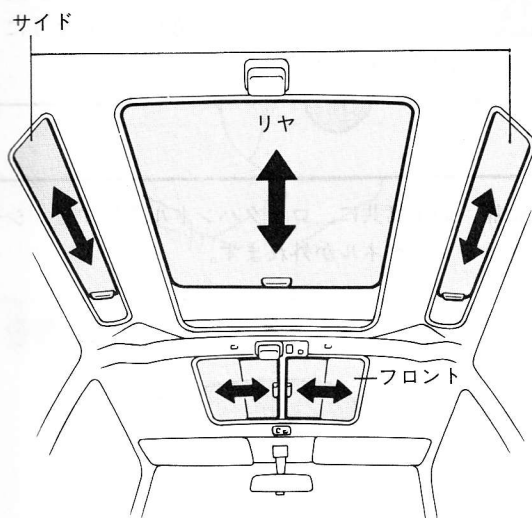
- 1 フロントスイッチの **OPEN** 側を押すと、フロントサンルーフがチルトアップします。
- 2 もう一度 **OPEN** 側を押し直すと、押している間フロントサンルーフは、スライドして開きます。スイッチから手を離すとその位置で止まります。

※但し、リヤサンルーフが少しでも開いている場合、フロントサンルーフはチルトアップまでしか作動しません。

## 〈閉めるとき〉

- 1 フロントスイッチの **CLOSE** 側とロックスイッチを同時に押すと、フロントサンルーフはスライドしてチルト状態よりチルトダウンして閉まります。





## ■スイッチを押しても作動しないとき

- サンルーフは手動で動かすことができます。
- サンルーフレンチを使用して操作します。

※サンルーフレンチはオプションです。

- 1 運転席、助手席頭部にあるキャップを左右どちらかへ90°回して取り外します。
- 2 運転席頭部の駆動軸に、サンルーフレンチを差し込んで回すと、フロントサンルーフが移動します。  
助手席頭部の駆動軸に、サンルーフレンチを差し込んで回すと、リヤサンルーフが移動します。



- スズキサービス工場ですぐに整備を受けてください。

## ■サンシェード

### ＜サイド＞

- ノブを持って前後に移動させて、開閉します。

### ＜フロント＞

- フロントサンルーフが閉じた状態で使用します。
- ノブを持って左右に移動させて、開閉します。

### ＜リヤ＞

- リヤサンルーフが閉じた状態で使用します。
- ノブを持って前後に移動させて、開閉します。
- サンシェードを閉じていても、サンルーフを開けると、サンルーフについてサンシェードも開きます。
- サンルーフを閉めても、サンシェードは閉じません。必要に応じて閉めてください。



- 開閉するときは、指などを挟まないように注意してください。



- 開口部から荷物がはみださないようにしてください。
- 開口部に腰をかけたり、ぶらさがったりしないでください。
- 走行中や一時停止時は危険ですからサンルーフ開口部から手や頭などを出さないでください。
- 雨の後や洗車の後などに開けるときは、室内に水が入るおそれがありますのでサ

ンルーフ上の水をふきとってください。

- 閉じるとき、手や首をはさまないように注意してください。
- 車から離れるときや洗車時は、完全に閉じていることを確認してください。
- サンルーフが全開、全閉したら、すぐにスイッチから手をはなしてください。



フロントシート ..... P26

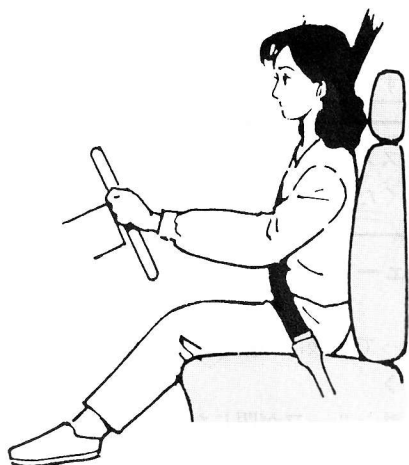
リヤシート ..... P28

シートベルト ..... P33

調整式ハンドル ..... P35

ミラー ..... P35

## フロントシート



## ■正しい運転姿勢

- 1 シートに深く、シートバックと腰にすき間のないように座ります。
- 2 ペダルを踏み込んだとき、ひざが伸びきらないで余裕のあるようにシートを前後に調節します。
- 3 肩をシートバックにぴったりつけ、ハンドルの上部を握ったときにひざが軽く曲がる程度にシートバックを調整します。

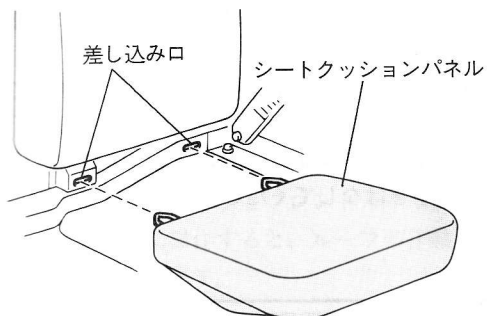
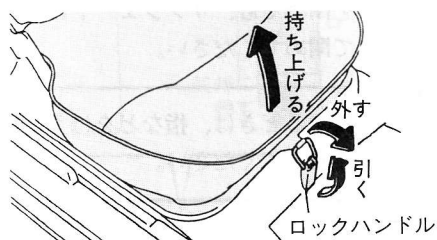


- 運転中のシートの調整は大変危険です。走行前に必ず正しい運転姿勢がとれるように調整してください。

## フロントシートクッションパネル

## キャリイ

(エンジンルーム内の点検ができます。)

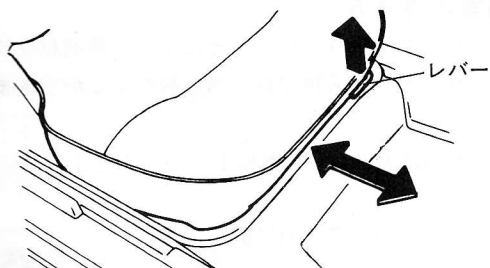


- 運転席、助手席共に、ロックハンドルを外すと、シートクッションパネルが外れます。



- シートクッションパネルをセットするときはパネルのサポート部をキャブバックパネルの差し込み口に確実にセットしてください。
- 走行前にロックハンドルは確実にかけてください。

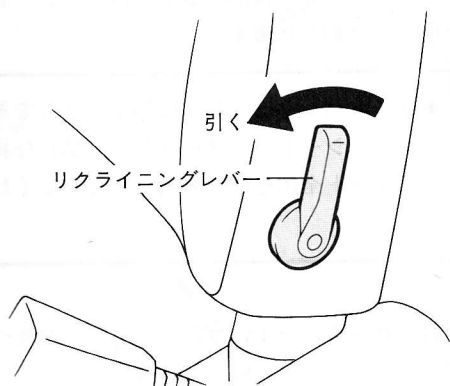
## シートスライドの調整☆



- シートに座って調整します。
- レバーを引き上げている間、前後にスライドできます。
- 位置が決まったらレバーをはなし「カチッ」と音がするまでシートを前後に動かして確実に固定してください。

## リクライニング調整☆

エブリイ



### 〈倒すとき〉

- 背中を軽く押し当てながらリクライニングレバーを引くとシートバックが倒れます。

### 〈起こすとき〉

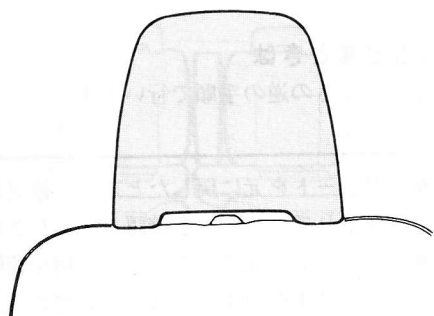
- 背中を少し浮かせてレバーを引きます。
- 調整後はシートバックが固定されたことを確認して下さい。



- フラットシートにして走行するのは危険です。安全な場所に車をとめたときだけ使用してください。
- リクライニング調整は危険防止のため走行中に操作をしないでください。

## 分離式ヘッドレスト☆

エブリイ



### 〈外すとき〉

- 両手で上方へ強く引けば抜き取ることができます。

### 〈付けるとき〉

- シートバックの穴へ確実に差し込みます。

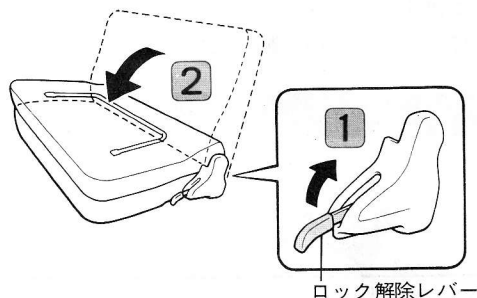


- ヘッドレストを取り外して走行しないでください。

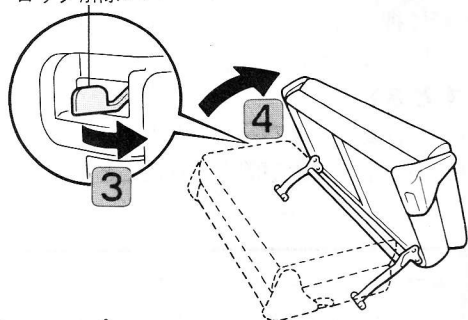


## リヤシート エブリイ

## 一体式シートの使い方☆

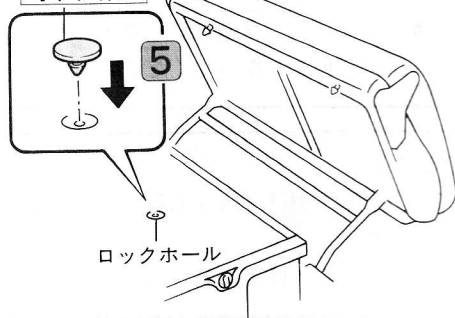


ロック解除レバー

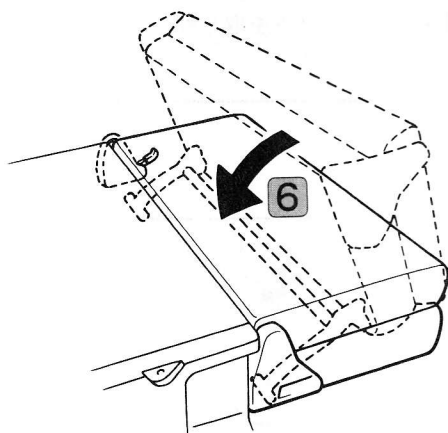


ゴムキャップ

オプション



ロックホール



## ■荷室の作り方

- リヤシートを折りたたむことにより、荷室がフラットとなり、大きな荷物や長尺物を積むことができます。

1 左側にあるロック解除レバーを引き上げて

2 シートバックを前に倒します。

3 シートクッション左側下方のロック解除レバーを手前に引いて

4 シートクッション後部の取手を持ち、シート全体を前方へ移動させます。



- シートバックはうしろに倒すこともできますが、シートバックをうしろへ倒した状態でシート全体を前へ移動させないでください。

5 荷台のロックホールにゴムキャップを取りつけます。

※ゴムキャップはオプションです。

6 シートの後部を、荷台と同じ位置になるまで押し上げます。

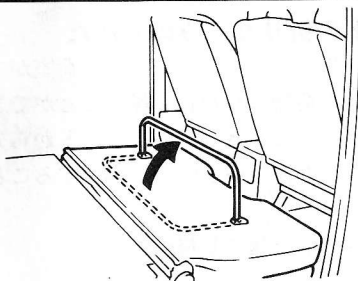
## ■もとにもどすときは

- 荷室を作ったときの逆の手順で行います。

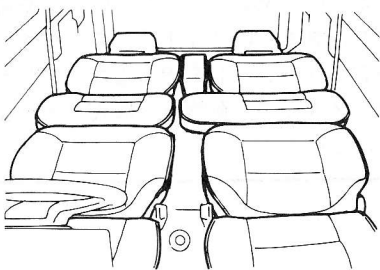
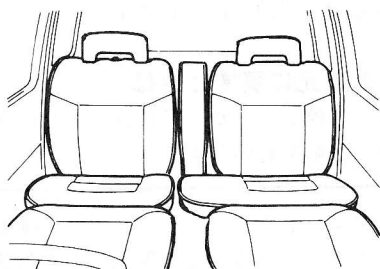
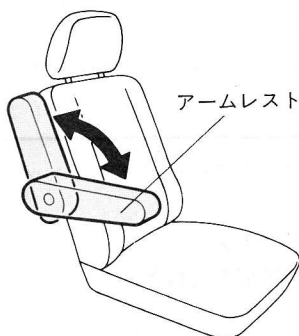
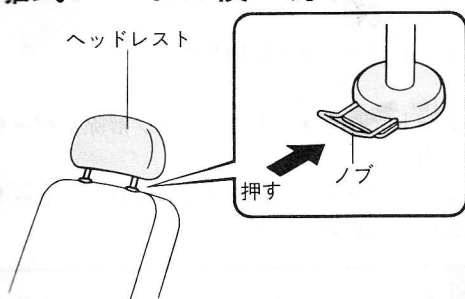


- リヤシートを元に戻したときは、確実にロックされていることを確認してください。
- リヤシートを元に戻すときに、指や荷物などを挟まないよう注意してください。
- リヤシートを折りたたんだときの乗員は2人です。荷物室へは人を乗せないでください。





## 分離式シートの使い方☆



## ■仕切棒



- リヤシートを荷物室として使用するとき、急ブレーキなどで荷物が前方に移動しないように必ず仕切棒をセットしてください。

## ■ヘッドレスト

### 〈取り外すとき〉

- ノブを押えたまま引き抜きます。

### 〈取り付けるとき〉

- シートバックの穴にロックするまで差し込みます。



- リヤヘッドレストを取り外したときは、後部荷室側面のヘッドレストホルダに格納してください。

## ■アームレスト

- 左側シートに取り付けられています。
- 図のようにアームレストを倒してご使用ください。



- アームレストに乗ったり、重いものを乗せないでください。

## ■フラットシート

- 1 フロントシートスライドを前方へいっぱいに移動します。
- 2 フロントシートのヘッドレストを抜き取ります。
- 3 フロントシートのリクライニングレバーを引いてシートバックを後方いっぱい倒します。

## ■フルフラットシート

- 1 フロントシートを「フラットシート」の要領で倒します。
- 2 リヤシートバックのロックノブを引き上げて、シートバックを後方に倒します。

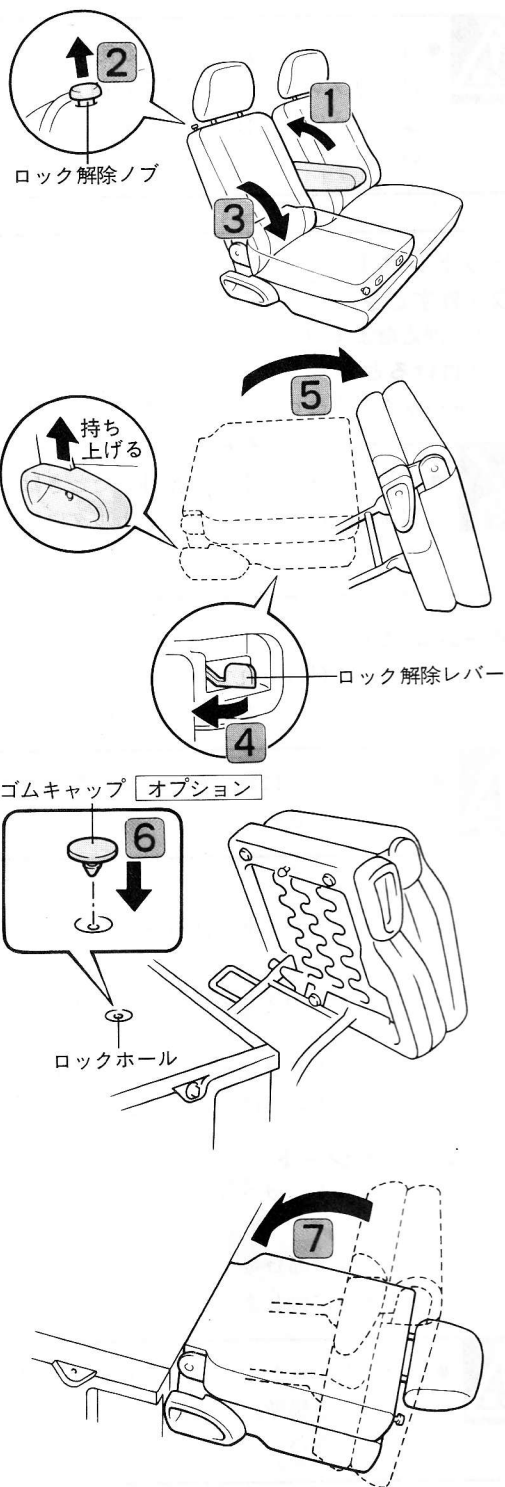


- フラットシートにして走行するのは危険です。安全な場所に車を止めたときだけ使用してください。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。



## 分離式シートの使い方



## ■リヤシートの折りたたみのしかた

- リヤシートを折りたたむことにより、荷室がフラットとなり、大きな荷物や長尺物を積むことができます。
- シートを折りたたむときは、右側シートから先に操作してください。左側シートのみを操作することはできません。

- 1 アームレストを起し格納します。
- 2 シートバック上部のロック解除ノブを引き上げて
- 3 シートバックを前に倒します。
- 4 シートクッション下方のロック解除レバーを手前に引いて、
- 5 シートクッション後部の取手を持ち、シート全体を前方へ移動させます。



- シートバックはうしろに倒すこともできますが、シートバックをうしろへ倒した状態でシート全体を前へ移動させないでください。

- 6 荷台のロックホールにゴムキャップを取りつけます。

※ゴムキャップはオプションです。

- 7 シートの後部を荷台と同じ位置になるまで押し上げます。

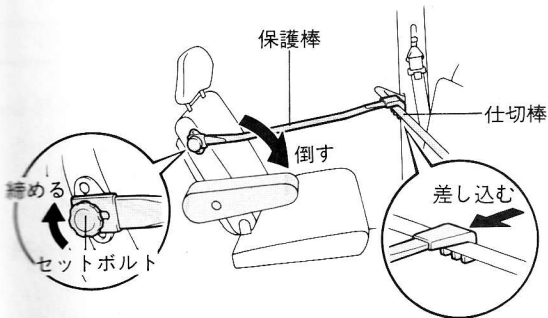
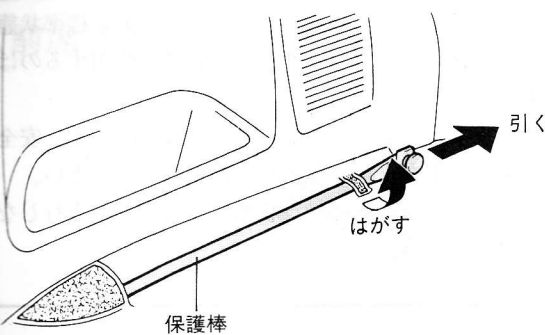
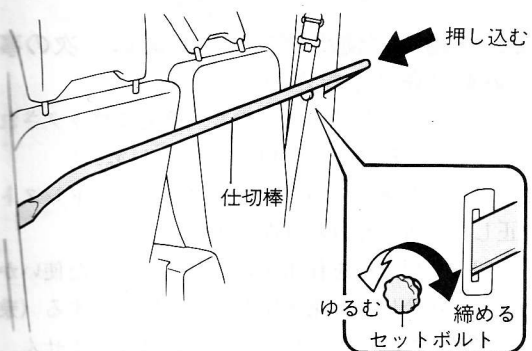
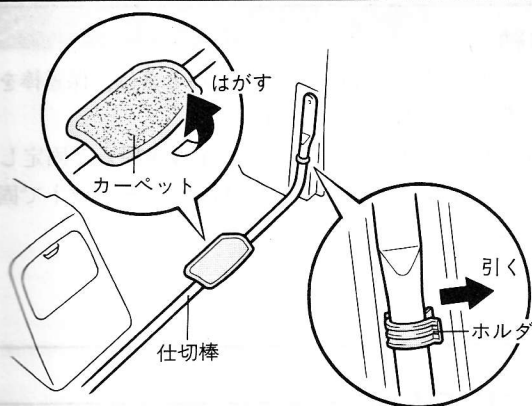
※左側シートも同じ要領で操作します。

## ■リヤシートを元に戻すときは

- 戻すときは、左側シートから先にシートを折りたたんだときの逆の手順で行います。



- リヤシートを元に戻したときは、確実にロックされていることを確認してください。
- リヤシートを元に戻すときに、指や荷物などをはさまないように注意してください。
- 左右のリヤシートを折りたたんだときの乗員は2人です。荷物室へは人を乗せないでください。



## ■仕切棒



- リヤシートを荷物室として使用するとき  
は、急ブレーキなどで荷物が前方に移動し  
ないように必ず仕切棒をセットしてくださ  
い。

### 〈取り付け方法〉

- 1 仕切棒をフロントシート後下より取り外します。
  - 2 フロントシート両サイドにあるセットボルトを取り  
外します。
  - 3 仕切棒を矢印の方向へ押し込み、セットボルトにて  
固定します。
- ※戻すときは逆の手順で行ってください。

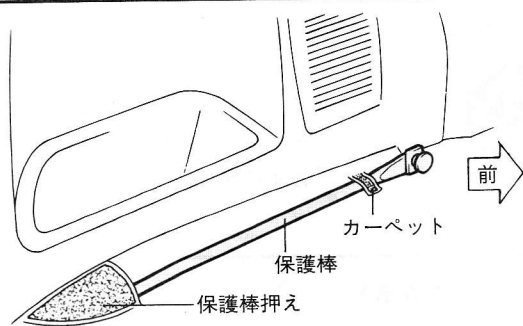
## ■保護棒



- 左側リヤシートのみ乗車する時（右側リヤ  
シート収納時）は、後部荷室に備え付けの  
保護棒を左側リヤシートに取り付けてくだ  
さい。

### 〈取り付け方法〉

- 1 仕切棒をセット状態にします。
  - 2 保護棒を後部荷室より取り外します。
  - 3 アームレストを前方に倒します。
  - 4 保護棒の先端を仕切棒の中央付近の穴に差し込み固  
定します。
  - 5 保護棒の後端のセットボルトをリヤシートバック側  
面の取り付け穴に締め付けて固定します。
- ※取りはずすときは逆の手順で行ってください。

**<格納>**

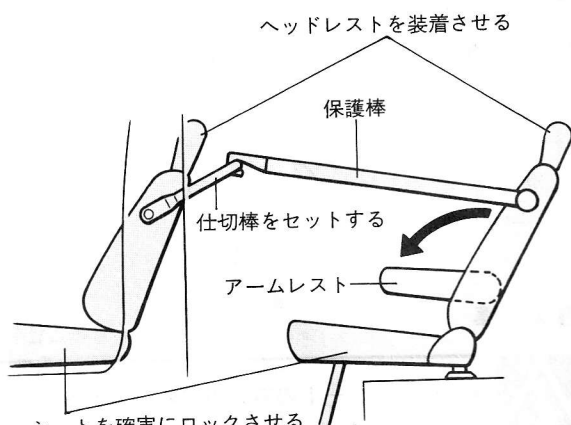
- 3人乗り以外の状態で使用しないときは、保護棒を後部荷室へ格納しておきます。

保護棒の前側はカーペットの保護棒押えで固定します。後部はマジックテープの付いたカーペットで固定します。

**シートの取り扱いについて**

安全、快適にご使用いただくために、次の事項は必ずお守りください。

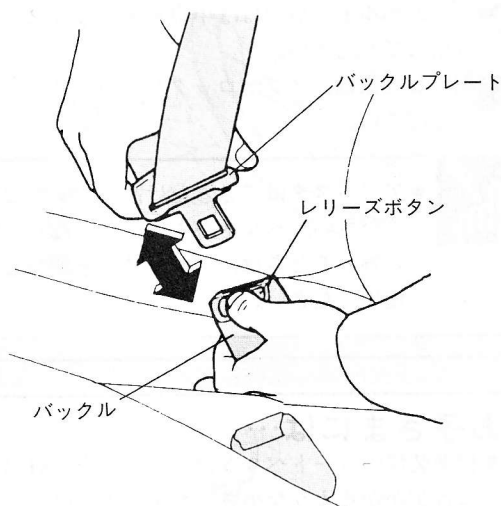
- シートはどんな状態の場合でも、確実にロックされていることを確認して使用してください。
- 走行中に人が乗っているシートには、ヘッドレストを正しく装着しなければなりません。
- 「仕切棒や保護棒を使用すること」と記した使いかたをする場合には、乗車室と荷室の区分をする（乗員の保護）ために必ず使用しなければなりません。
- 走行中に人が乗っているシートは、必ず標準状態であればいけません。  
小さなお子様を乗せるときなど、シートを標準状態から変化させて（ロックされないで）使用するのは大変危険です。
- フラットシートにして走行するのは危険です。安全な場所に車を止めたときだけ使用してください。  
シートをフラットにした状態では乗車して走行しないでください。



※後1人乗車時はアームレストを倒し  
保護棒をセットする  
(分離式シート)



## シートベルト



### ■フロントシートベルトの正しい装着

- 1 正しい姿勢でシートに座り、腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。腹部には決してかけないでください。
- 2 ベルトがねじれていないことを確認して、バックルにバックルプレートを「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- 3 外すときは、バックルのリリースボタン（PRESS）を押し下げてください。バックルプレートは自動的に外れます。



- シートベルトの装着は道路交通法で義務づけられています。
- 走行前には安全のため必ずシートベルトを正しく装着してください。
- 同乗者にも必ず着用してもらいましょう。
- 1本のシートベルトを2人以上で使用しないでください。

## ELR装置付フロントシートベルト (前席標準装備)



- 緊急ロック式巻き取り装置付の3点式シートベルトで、長さの調整は必要ありません。
- 通常は体の動きに合わせてベルトの引き出し、巻き取りをしますが、強い衝撃で体が前に急に倒れそうなどに、ベルトが自動的にロックします。



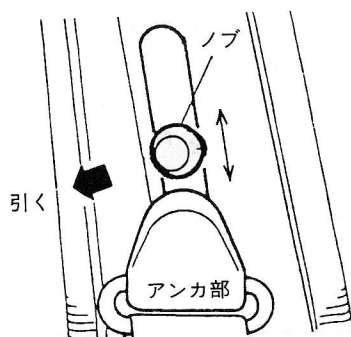
- 車を離れるときは、シートベルトが完全に巻き戻されていることを確認してください。
- バックルや自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。十分な機能を果たさなくなることがあります。
- シートベルトをドアやシート取り付け金具等にはさみこまないようにしてください。



- ベルトはゆっくり引き出してください。勢いよく引き出すと、ロックする場合があります。



## ショルダアジャスタ付シートベルト☆



- フロントシートベルトのショルダ（肩）部の高さを5段階に調整することができます。

- 1 調整はノブを引いたままアンカ部を上下に動かして行ってください。
- 2 シートベルトが肩のほぼ中央を通るように、高さを調整してください。
- 3 調整した後は、ノブがロックしていることを確認してください。



- アジャスタはできるだけ高い位置でご使用ください。ベルトが首に当たったり、肩から外れるときは、アジャスタを調整してご使用ください。



### お子さまには…

- 標準装備のシートベルトは大人用です。肩ベルトに首がかかるような小さなお子さまにはシートベルトの着用はさけ、**スズキ純正のチャイルドシート**のご使用をおすすめします。チャイルドシートに付属の「取扱説明書」をよく読んで、確実に取り付けてください。

取り付けが不完全な場合は固定がゆるみ、十分な機能を果たさない場合があります。

- シートベルトに損傷を与えないよう、取り付けにあたっては十分注意してください。
- ELR装置付シートベルトでは固定できないタイプもありますので注意してください。

不明な点は保護具メーカーへ問い合わせてください。

### 妊婦や疾患のある方は…

- 万一のとき、腹部に強い力を受けるおそれがありますので、医師に相談してください。

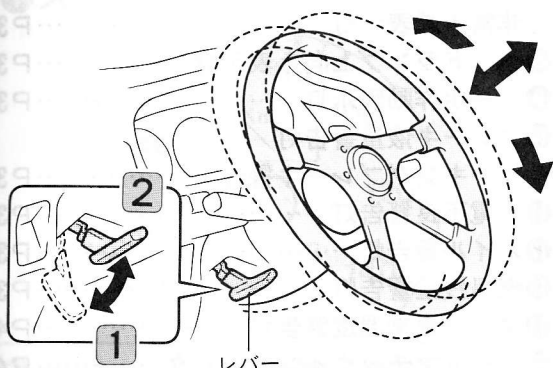
## シートベルトのお手入れと交換

- 汚れたベルトは中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸した布で拭き取り、日陰干しをしてください。
- 染色や漂白は絶対に行わないでください。ベルトが弱くなります。

- シートベルトにはつれ切り傷ができたり金具部などが正常に動かなくなったときは、シートベルトを交換してください。

- 万一事故にあったときや、強い力がシートベルトにかかった後は、外観に異常がなくても必ず交換してください。

## 調整式ハンドル☆ エブリイ

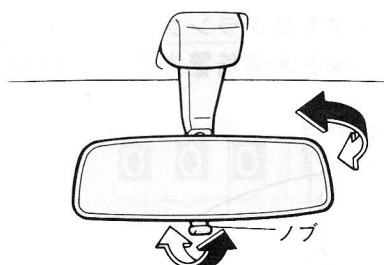


- 1 レバーを下げると、ハンドル位置を上下及び前後に調整できます。
- 2 ハンドル操作がしやすい位置で、レバーを上げてハンドルを固定してください。
- 3 調整後はハンドルを、上下前後にゆすって固定されたことを確認します。



●ハンドルの位置調整は、必ず走行前に行ってください。車を運転しているときの調整は危険です。

## ミラー



### ■ルームミラー

- 走行中に後方視野が十分確認できる位置に調整してください。

### ■防眩式ルームミラー☆

- 夜間走行時に後続車のライトがまぶしいとき、ノブを手前に引いて切り替えると、ライトの反射が弱くなります。

### ■ドアミラー

- 狭い駐車場などへ車を止めるときに、ミラーを保護するため、ドアミラーを車両後方に倒すことができます。

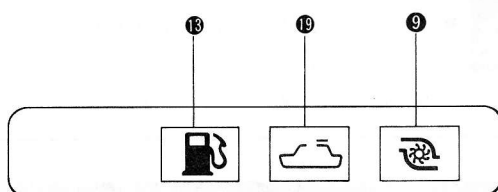


- 車庫入れを行うときや、歩行者、狭い道路でのすれ違いでは十分注意して運転してください。
- ドアミラーを倒したままで運転しないでください。

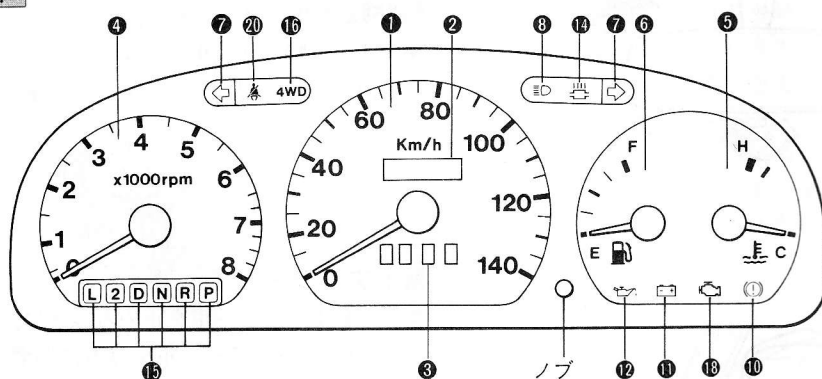


## メータ

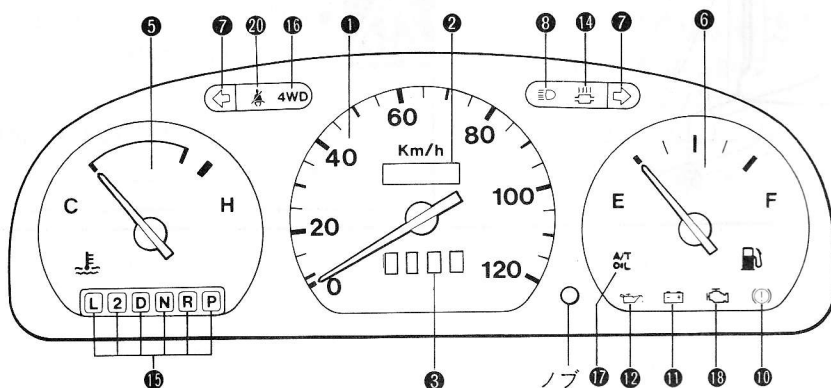
- ①スピードメータ ..... P37
- ②オドメータ (積算距離計) ..... P37
- ③トリップメータ (区間距離計) ..... P37
- ④タコメータ (エンジン回転計) ..... P37
- ⑤水温計 ..... P37
- ⑥燃料計 ..... P38



## タコメータ付車



## 標準車



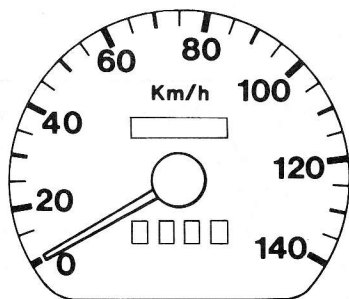
## 表示灯・警告灯

- ⑦方向指示表示灯 / 非常点滅表示灯 ..... P38
- ⑧ヘッドランプ上向き表示灯 ..... P38
- ⑨ターボ作動表示灯 ..... P38
- ⑩ブレーキ液量警告灯 / パーキングブレーキ警告灯 ..... P39
- ⑪充電不良警告灯 ..... P39
- ⑫オイル警告灯 ..... P39
- ⑬燃料残量警告灯 ..... P39
- ⑭マフラ異常温度警告灯 ..... P40
- ⑮オートマチックインジケータ ..... P40
- ⑯4WDパイロットランプ ..... P40
- ⑰A/T OIL警告灯 ..... P40
- ⑱EPIモニタランプ ..... P41
- ⑲サンルーフモニタランプ ..... P41
- ⑳シートベルト未装着警告灯 ..... P41



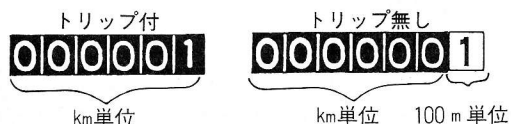
## メータ

### ①スピードメータ



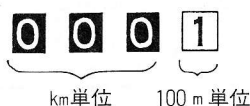
- 車の走行速度を「km/h」で示します。
- 速度警告ブザー（約80km/hを越えるとブザーが鳴ります）は注文仕様となります。

### ②オドメータ（積算距離計）☆



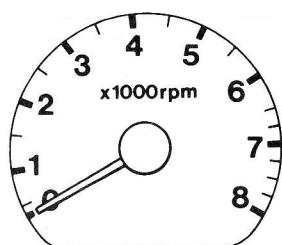
- 走行した総距離を表示します。

### ③トリップメータ（区間距離計）☆



- 区間距離を知りたいときに使います。
- ノブを押せば0に戻ります。

### ④タコメータ（エンジン回転計）☆



- 一分間あたりのエンジン回転数を示します。

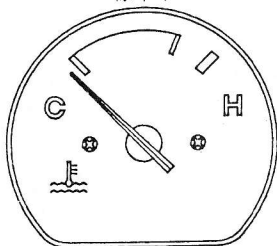


- 指針が過回転域（色や線の種類を変えてある部分）に入らないように運転してください。エンジンをいためる原因となります。過回転域は車種により異なります。
- 高速走行時などの変速（シフトダウン）時にも過回転に注意してください。

### ⑤水温計

タコメータ付車

標準車



- エンジン冷却水の温度を示します。
- 通常走行中は、指針が **C** と **H** の間をさします。



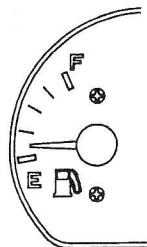
- 指針が **H** に近づいたときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に車を止め、処置をしてください。  
⇒ P114（万一のとき）

☆印のついている装備品は仕様により異なります。

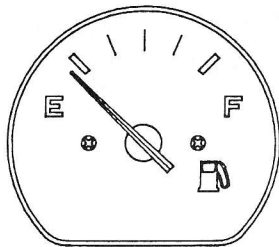


## ⑥ 燃料計

タコメータ付車



標準車



- エンジンスイッチに関係なくガソリン残量を示します。
- 指針が **E** に近づいたら早めは無鉛レギュラーガソリンを補給してください。



- 高速道路など自動車専用道路での燃料切れは、道路交通法違反になります。走行前にガソリンが十分あるか確認してください。

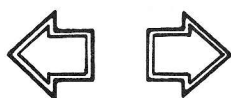
〔タンク容量

⇒サービスデータ参照〕

## 表示灯・警告灯

## ⑦ 方向指示表示灯／

## 非常点滅表示灯



## ■ 方向指示表示灯

- エンジンスイッチが **ON** のとき、ターンシグナルスイッチレバーを操作すると点滅します。
- ターンシグナルが正常な間隔で点滅すれば、方向指示表示灯は正常に作動しています。

## ■ 非常点滅表示灯

- ハザードランプスイッチを作動させると、両方の方向指示灯が同時に点滅します。



- 電球が切れたときや、ワット (W) 数が異なったものを使用したときは点滅が異常になります。

## ⑧ ヘッドランプ上向き表示灯



- ヘッドランプを上向きで照らしているときに点灯します。

## ⑨ ターボ作動表示灯 ☆



- ターボが作動し、規定の過給圧が発生しているときに点灯します。
- エンジンスイッチを **ON** にすると点灯し、エンジンが始動すると消灯します。
- 全く点灯しないときは、配線の断線か電球切れです。

# ⑩ブレーキ液量警告灯／ パーキングブレーキ警告灯



## ■ブレーキ液量警告灯

- ブレーキ液が減少すると、エンジンが回転中でも点灯したままになります。ただちにブレーキ液を補充し、スズキサービス工場で点検を受けてください。

⇨ P87 (点検・整備)

## ■パーキングブレーキ警告灯

- エンジンが回転しているとき、パーキングブレーキレバーを引くと点灯し、戻せば消灯します。
- 全く点灯しないときは、配線の断線か電球切れです。



- 警告灯はブレーキが完全に作用していることを表示するものではありません。駐車するときは確実にパーキングブレーキレバーを引いてください。

# ⑪充電不良警告灯



- エンジンスイッチを **ON** にすると点灯し、エンジンが始動すると消灯します。
- 充電系統に異常があるときに点灯します。
- 全く点灯しないときは配線の断線か電球切れです。



- エンジン回転中に点灯したままのときはただちに安全な場所へ停車し、点検を受けてください。

# ⑫オイル警告灯



- エンジンスイッチを **ON** にすると点灯し、エンジンが始動すると消灯します。
- エンジンの潤滑系統に異常があるとき点灯します。
- 全く点灯しないときは、配線の断線か電球切れです。



- エンジン回転中に点灯したままのときはエンジンを止め、オイルの量を点検してください。⇨ P90 (点検・整備)
- オイルの量が規定量あるのに点灯するときは、潤滑系統の故障です。ただちにスズキサービス工場で点検を受けてください。

# ⑬燃料残量警告灯☆

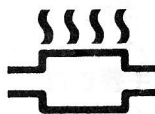


- エンジンスイッチが **ON** のとき約 4 ℓ 以下になると点灯します。
- 点灯したら早めに無鉛レギュラーガソリンを補給してください。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。



## ⑭ マフラ異常温度警告灯☆



- エンジンスイッチを **START** にすると点灯し、始動すると消灯します。
- 全く点灯しないときは、配線の断線か電球切れです。



- 走行中に点灯したら車を止めてマフラ温度が下がるのを待ってから、徐行してスズキサービス工場へ行き、点検整備を受けてください。

## ⑮ オートマチックインジケータ☆



- エンジンスイッチが **ON** のとき、オートマチック車のセレクトレバーの位置を表示します。
- 全く点灯しないときは、配線の断線か電球切れです。

## ⑯ 4WDパイロットランプ☆

パートタイム4WD車



- エンジンキーが **ON** のときで4輪駆動状態にあるとき **4WD** が点灯します。 ⇨ P72 (運転操作)



- 4輪駆動走行は、未舗装路、又は滑りやすい路面でのみ使用してください。

## ⑰ A/T OIL 警告灯☆

4WD車



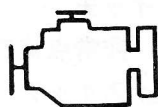
- エンジンスイッチを **START** にすると点灯し、始動すると消灯します。
- 全く点灯しないときは、配線か電球の故障です。



- 走行中に点灯したら、安全な場所に車を止めて消灯するまで **P** レンジでアイドリング状態にしてください。



### ⑱ E P I モニタランプ☆

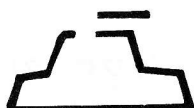


- エンジン回転中、エンジン制御システムの異常を知らせます。
- 正常なときは、エンジンスイッチを **ON** にすると点灯し、エンジンが始動すると消灯します。



- エンジン回転中に点灯したときは、お近くのスズキサービス工場ですみやかに点検を受けてください。

### ⑲ サンルーフモニタランプ☆



- エンジンスイッチが **ON** のとき、サンルーフが開いていることを知らせます。

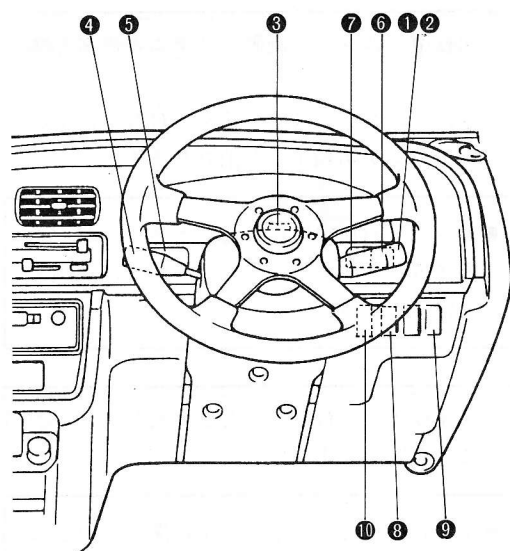


- 車から離れるときは、完全に閉じていることを確認してください。

### ⑳ シートベルト未装着警告灯☆

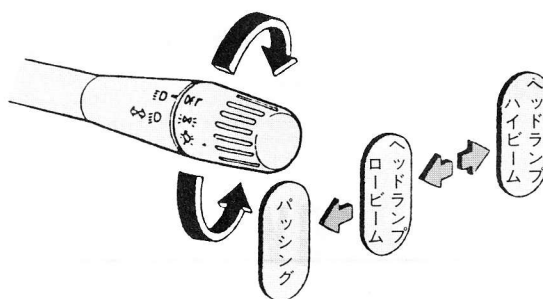


- エンジンスイッチが **ON** で運転席シートベルトを装着していないときに点灯し、装着すると消灯します。(運転席のみ)



- ①ライティングスイッチ …… P42
- ディマスイッチ(ヘッドランプの上下切り替え)
  - パッシングスイッチ
- ②ターニングシグナルスイッチ …… P43
- ③ハザードスイッチ (非常点滅灯) …… P43
- ④ワイパ/ウォッシュスイッチ …… P43
- ⑤リヤワイパ/ウォッシュスイッチ …… P44
- ⑥リヤウインドデフォッグスイッチ …… P44
- ⑦フォグランプスイッチ …… P44
- ⑧バックドア ロックスイッチ …… P44
- ⑨AXLE LOCK(アクスルロック)  
スイッチ…P45
- ⑩DIFF LOCK(デフロック)スイッチ…P46
- 作業灯スイッチ …… P46

## ①ライティングスイッチ



- エンジンスイッチの位置に関係なく作動します。
- レバーを回すと表のようにランプが点灯します。



- エンジン停止時にランプ類を長時間つけたままにしておくと、バッテリー上がりを起こし、エンジンがかからなくなることがあります。

### ■ディマスイッチ(ヘッドランプの上下切り替え)

- ヘッドランプが点灯しているときレバーを前方へ押すと、ハイビーム (上向き照射)、元に戻すとロービーム (下向き照射) に切り替わります。
- ハイビーム時はメータパネルのヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。



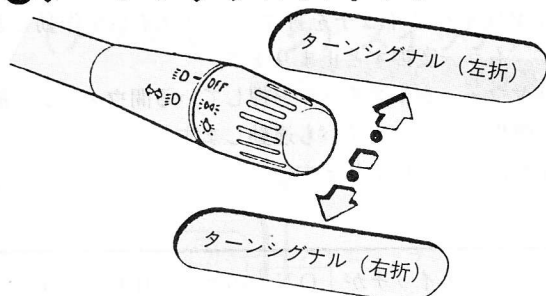
- 対向車や先行車があるときは、ロービームにしてください。

ランプの 名称 スイッチの 位置	ヘッド ランプ	車 幅 灯	尾 灯	番 号 灯	メー タ ラ ン プ
OFF	—	—	—	—	—
≡∞≡	—	○	○	○	○
☀	○	○	○	○	○

### ■パッシングスイッチ (追い越し合図)

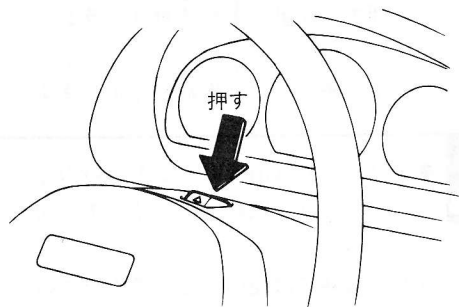
- 車を追い越すときの合図などに使います。
- レバーを手前に引いている間、ライティングスイッチに関係なくパッシングライト (ヘッドランプが上向き) が点灯し、メータパネルのヘッドランプ上向き表示灯も点灯します。

## ② ターンシグナルスイッチ



- エンジンスイッチが **ON** のときに作動します。
- 右折や左折、車線変更に使います。
- レバーを右折または左折の方向にたおすと、右又は左の方向指示ランプと方向指示表示灯が点滅します。
- ハンドルを中央に戻すとレバーは中央の位置へ戻ります。
- 車線変更などでレバーを変更しようとする方向に軽くたおすと、方向指示ランプが点滅し、手を離すとレバーが戻り消灯します。

## ③ ハザードスイッチ(非常点滅灯)

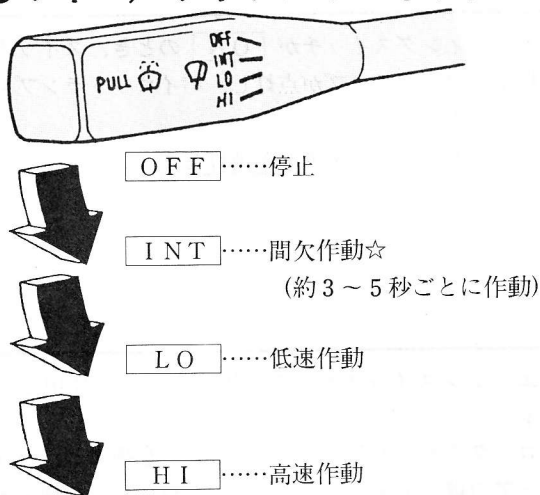


- 故障やパンクなどやむをえない路上駐車のために使用し、他の車に緊急停車中を知らせます。
- スイッチを押すと全ての方向指示ランプが点滅し、同時にメータパネルのパイロットランプも点滅します。もう一度押すと消灯します。



- 走行中、異常がないのに使用すると他車の誤解を招き危険です。
- エンジンを止めたままで使用するときには、バッテリーあがりにご注意ください。

## ④ ワイパ/ウォッシャスイッチ



- エンジンスイッチが **ON** のときに図のように作動します。



- ウィンドガラスが乾いているときワイパを作動させると、ガラスやブレードを傷つけます。ウォッシャ液でぬらしてからワイパを作動させてください。
- 冬期はブレードがガラスに凍りつくことがありますので、デフロスタでガラスを温めるか、氷を取り除いてからワイパを作動させてください。
- フロントガラスに積もった雪や落ち葉などは、あらかじめ取り除いてください。

### ■ ウォッシャの噴射方法

- レバーを手前に引くとウォッシャ液が噴出し、ワイパが2~3回作動します。

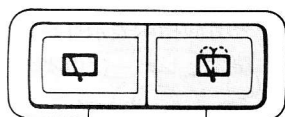


- ウォッシャ液が出ないときは、ウォッシャスイッチを使用しないでください。ポンプの故障の原因になります。

□ P102 (ウォッシャ液の補給)



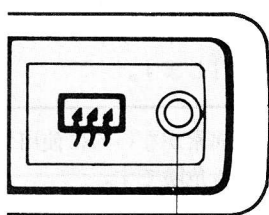
## ⑤ リヤ・ワイパ／ウォッシャ スイッチ☆



リヤワイパスイッチ リヤウォッシャスイッチ

- エンジンスイッチが **ON** のときに作動します。
- リヤワイパスイッチを押すとリヤワイパが作動します。もう一度押すと止まります。
- リヤウォッシャスイッチを押している間ウォッシャ液が噴出し、リヤワイパも連動します。手をはなすと止まります。

## ⑥ リヤウインドデフォッガ スイッチ☆



パイロットランプ

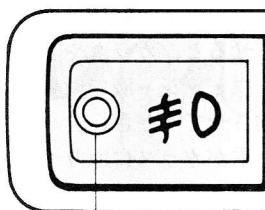
- エンジンスイッチが **ON** のときに作動します。
- バックウインドがくもったとき、ガラスを温めてくもりを取ります。
- スwitchを押すと作動し、パイロットランプが点灯します。
- もう一度スイッチを押すと作動が停止します。



● デフォッガは消費電力が大きいので、ガラスのくもりが取れたらスイッチを切ってください。

- くもり取り以外には使用しないでください。雨水の乾燥や雪を溶かすことには使えません。

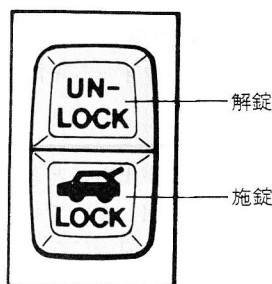
## ⑦ フォグランブスイッチ☆



パイロットランプ

- ライティングスイッチが **ON** のとき、スイッチを押すとフォグランブが点灯し、パイロットランプも点灯します。
- もう一度スイッチを押すと消灯します。

## ⑧ バックドアロックスイッチ☆



- エンジンスイッチがどの位置にあっても使用できます。
- ロックスイッチの下側 **LOCK** を押すと、バックドアの鍵が施錠し、上側 **UNLOCK** を押すと解錠します。

## ⑨ AXLE LOCK

### (アクスルロック) スイッチ☆

パートタイム4WD車



パイロットランプ

- スイッチはエンジン回転中のみ作動します。
- 走行中に **2WD** から **4WD** の切替操作を行いたいときに、あらかじめ停車時に操作しておくスイッチです。

**1** スイッチを一度押すとパイロットランプが点灯し、前輪にも駆動力を伝えることができる状態（フロントアクスルがロック状態）になります。



- フロントアクスルをロック状態にする場合は、必ず停車時に行ってください。
- アクスルロックスイッチをONにただけでは、4輪駆動になりません。

**2** もう一度押すとパイロットランプが消灯して、前輪には駆動力が伝わらない状態（フロントアクスルがフリー状態）になります。



- フロントアクスルをフリー状態にする場合は、走行中でも出来ます。
- 一般の舗装道路や高速道路では、アクスルロックスイッチをOFFにしておきましょう。  
静粛性と燃費が向上します。

操作方法はP75参照してください。





## ⑩ DIFF LOCK

## (デフロック) スイッチ☆

キャリイ4WD車



パイロットランプ

- スイッチはエンジン回転中のみ作動します。
- デフロックは後輪の片方が空転して車両が動けなくなったときなどに脱出を容易にする装置です。

- 1 車速が約30km/h以下のとき、スイッチを押すと後輪が左右同一回転するようになり、パイロットランプが点灯します。
- 2 もう一度押すとデフロックが解除し、パイロットランプが消灯します。
- 3 車速が約30km/hを越えると、自動的にデフロックは解除します。その後に約30km/h以下になっても **OFF** のままになっています。  
必要ときは、再度スイッチを押してください。

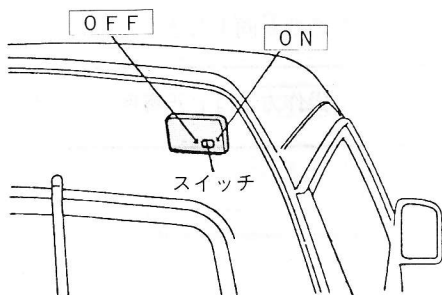


- 舗装路や一般公道では絶対に使用しないでください。

デフロックが **ON** のときは旋回性が悪くなります。

デフロックについてはP75参照してください。

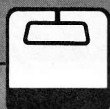
## 作業灯スイッチ☆ キャリイ



- エンジンスイッチが **ON** 又は **ACC** の位置で、パーキングブレーキレバーを引いているとき、作業灯のスイッチを **ON** にすれば点灯します。
- パーキングブレーキレバーをもどせば、スイッチが **ON** のときでも消灯します。



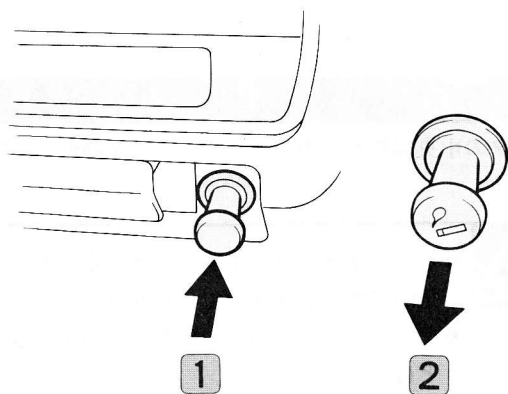
- エンジンを停止したままで、作業灯を長時間使用するとバッテリーあがりを起し、エンジンが始動できなくなることがあります。



シガレットライター	.....P47
アッシュトレイ（灰皿）	.....P47
グローブボックス	.....P48
インパネボックス	.....P48
サンバイザー	.....P48

ルームランプ・リヤルームランプ	.....P49
シートアンダトレイ	.....P49
オーバーヘッドコンソールボックス	.....P49
リヤシートアームレストボックス	.....P50
荷室フック	.....P50

## シガレットライター☆



●エンジンスイッチが **ACC** 又は **ON** のときに使用できます。

**1** ライタは自動的に飛び出しますので、押し込んだらすぐ手を離して戻るまで待ちます。

**2** シガレットライターを引き出して使用します。

**3** 使用後はソケットに確実に差し込んでください。



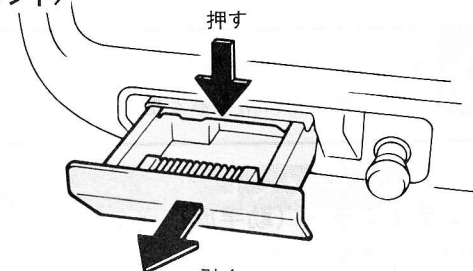
●30秒以上たっても戻らないときは、故障のおそれがありますので、ライターを引き出して点検を受けてください。

●シガレットライターソケットを他の目的に使用するときは、100W（12V）以下でご使用ください。

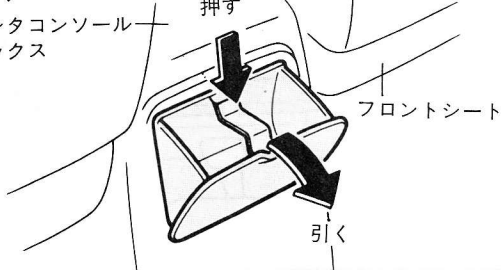
●エンジンを停止したままで長時間他の目的に使用すると、バッテリーあがりを起こし、エンジンが始動できなくなることがあります。

## アッシュトレイ（灰皿）

〈フロント〉



〈リヤ〉

センタコンソール  
ボックス

## ■フロント

●清掃するときは、灰皿を押さえながら引き抜きます。

## ■リヤ☆

●清掃するときは、灰皿のたばこ消しを押さえながら引き抜きます。



●使用後は確実に閉めてください。

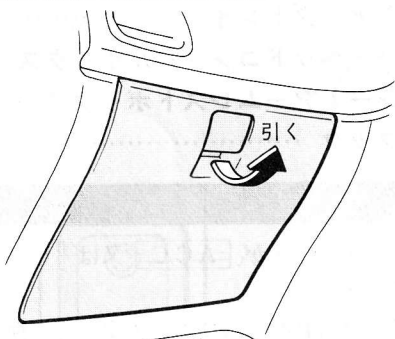
●灰皿の中に紙など燃えやすいものを入れないでください。

●吸がらをためすぎないように、清掃に心がけてください。

●喫煙しながらの運転は注意がおろそかになりがちです。安全運転に努めましょう。



## グローブボックス

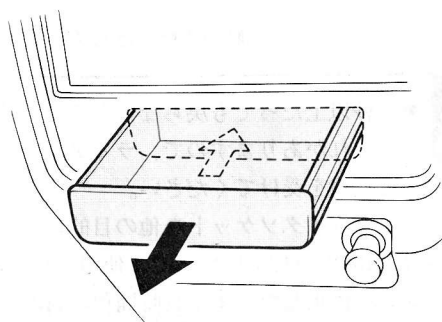


- レバーを引くと手前に開きます。



- ふたを開けたままの運転は危険です。走行中は確実にふたを閉めてください。

## インパネボックス☆



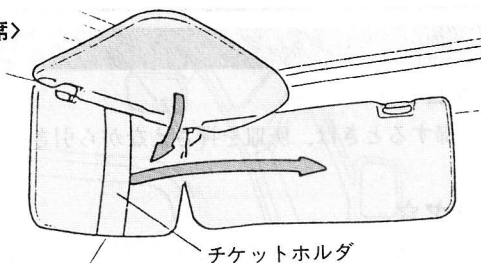
- フタの中央部を軽く押すと、ボックスが静かに出てきます。



- インパネボックスを開けたまま走行すると危険です。必ず閉めてください。
- アッシュトレイ（灰皿）として使用することとはやめてください。

## サンバイザ

〈運転席〉



- 前面と側面からの直射日光を防ぐことができます。

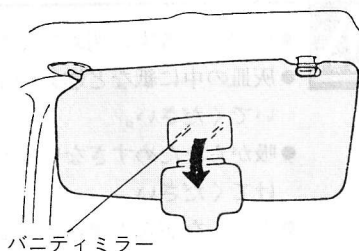
### ■チケットホルダ（運転席）

- 通行券などはさむことができます。



- ペンやマッチ箱等をはさまないでください。運転中に落ちると危険です。

〈助手席〉

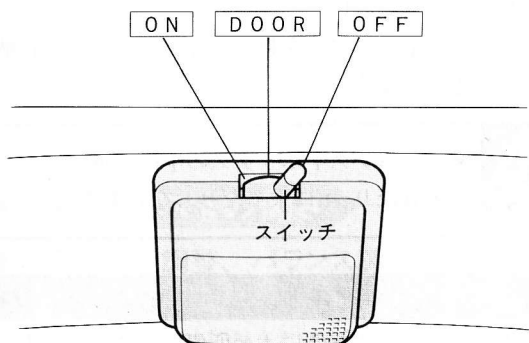


### ■バニティミラー（助手席）☆

- お化粧のときなどに便利です。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。

## ルームランプ・リヤルームランプ☆



- ON** .....ドアの開閉に関係なく点灯します。
- DOOR** .....ドアを開けると点灯し、ドアを閉めると消灯します。
- OFF** .....ドアの開閉に関係なく消灯します。



- エンジンを止めたままルームランプを長時間点灯しておくと、バッテリーが上がるおそれがあります。
- 車を離れるときは、ルームランプが消えていることを確認してください。

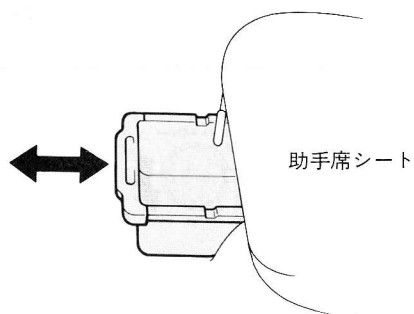
### ■ 残照式ルームランプ☆

- 点灯中のランプは、**DOOR** の状態でドアを閉めると、次第に光が弱まり約5秒間で自動的に消灯します。



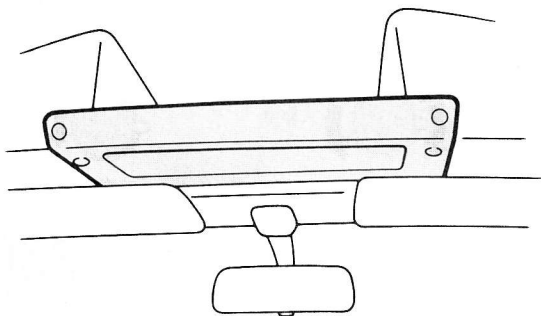
- ドアが開いていたり、確実に閉まっていないと消灯しません。

## シートアンダトレイ（小物入れ）☆



- 助手席の下に備えられています。
- 小物類や手まわり品などを収納しておくのに便利です。

## オーバーヘッドコンソールボックス☆

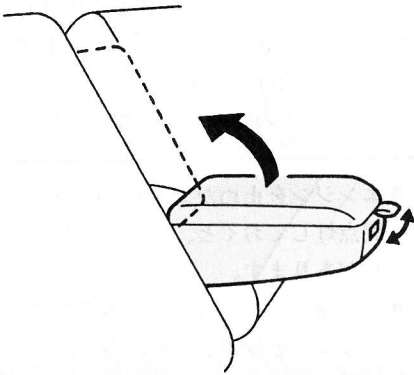


- 小物類の収納に使用し、工具類などの重い物や危険な物は入れないでください。走行中に落下すると危険です。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。



## リヤシートアームレストボックス☆

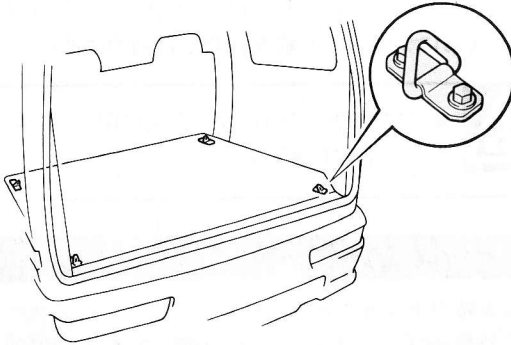


- 開けるときはマジックテープをはずして、カバーを上を持ち上げてください。
- 閉めるときは、カバーをおろしてマジックテープで確実に閉めてください。
- アームレストボックスを起こしてリヤシートに収納することもできます。



- アームレストボックスの中に、重いものを入れたり、上に乗ったりしないでください。

## 荷室フック☆



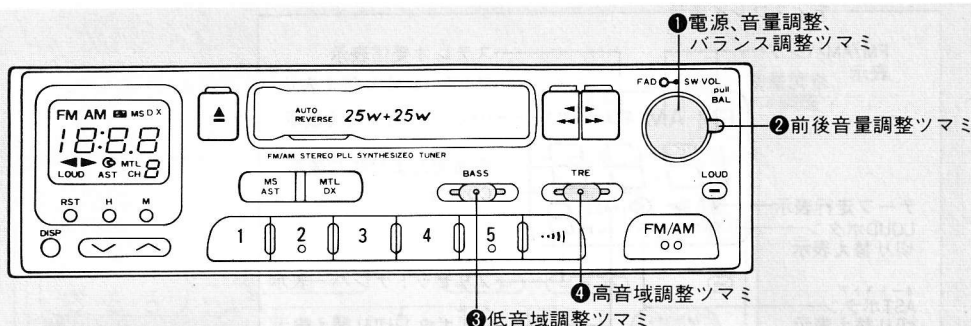
- 荷室カーペットの裏側に4ヶ所備えられています。
- ロープをかけて積荷を固定するときにご使用ください。





各部の取り扱い

# ラジオ・ステレオの使い方 [ハイパワーAM/FMラジオ付カセットステレオ] ☆ (デジタルクロック付)



## 総合的なツマミの働き

### ①電源、音量調整、バランス調整ツマミ

#### ＜ラジオ電源の入・切＞

エンジンスイッチがONまたはACCのときに押すとラジオの電源が入ります。

＜入れる＞



押す

＜切る＞



もう一度  
押す

#### ＜音量調整＞

ツマミを左右に回して調整します。



### ②前後音量調整ツマミ

4スピーカーシステムの場合、前後のスピーカーの音量バランスを調整します。

フロントスピーカーの音が小さくなる



リアスピーカーの音が小さくなる

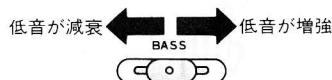


● 2スピーカーシステムの場合は、ツマミによる音量変化はありませんが、ツマミの位置を必ず右一杯に回してください。

### ③低音域調整ツマミ

低音域を調整します。

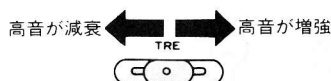
ツマミを左右に動かしてください。



### ④高音域調整ツマミ

高音域を調整します。

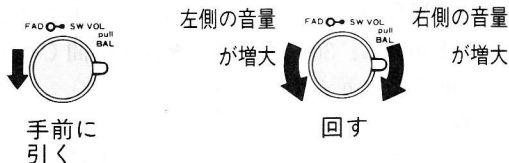
ツマミを左右に動かしてください。



● 安全運転をさまたげない適当な音量でお聞ください。

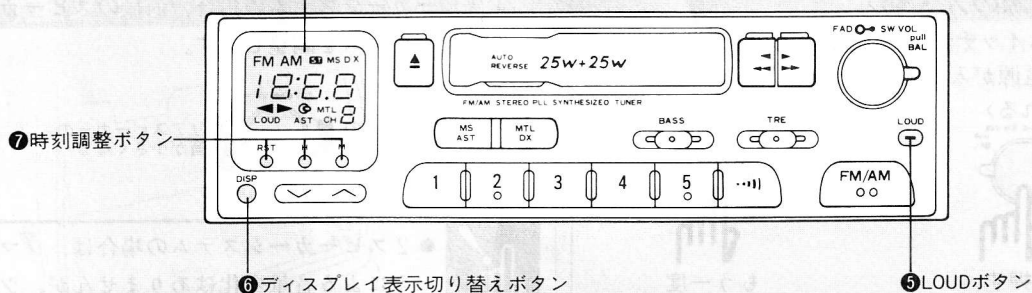
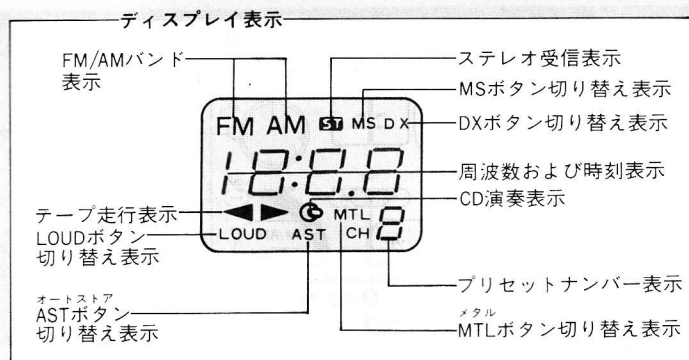
#### ＜バランス調整＞

ツマミを引いてから回して調整します。



● バランス調整後は軽く押してもとの状態（音量が調整できる状態）にしておいてください。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。



## 総合的なツマミの働き

## ⑤LOUDボタン

小音量のとき、低音と高音が強調されます。



## ⑥ディスプレイ表示切り替えボタン

時計表示のときに押すと5秒間ディスプレイ表示に周波数を表示します。



## 時計を合わせる

- 1 ディスプレイ表示が時計表示であることを確認します。  
周波数表示のときはディスプレイ表示切り替えボタン⑥を押して時計表示にしてください。
- 2 時刻調整ボタン⑦で「時」「分」「時報」を合わせます。

時報合わせ



1 回押すと  
00分になる

時合わせ



1 回押すと  
1時間すすむ

分合わせ

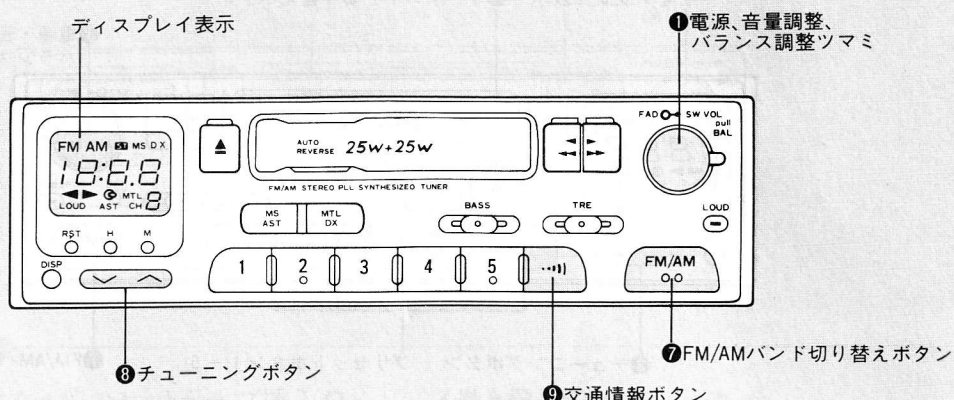


1 回押すと  
1分すすむ

時報合わせのとき、分表示が29分まではそのまま00分に、30～59分のときは1時間くり上がり00分になります。

&lt;例&gt;

10:29 RST → 10:00      10:30 H → 11:00



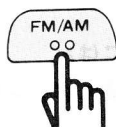
## ラジオを聞く

■電源を入れる→①電源・音量調整/バランス調整ツマミ  
エンジンスイッチがONまたはACCのときに押します。



●カセットテープの再生優先になっていきますので、テープを取り出してから操作してください。

■AM/FMの選択→⑦AM/FMバンド切り替えボタン  
ボタンを押すたび、ディスプレイ表示が  
FM → AM と切り替わります。

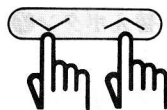


●AM放送を聞くときは、バス調整ツマミ④をセンターの位置でお聞ください。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。

■放送局の受信→⑧チューニングボタン  
〈手動選曲〉

ボタンを押すたびに、A Mは9KHz、F Mは0.1MHz  
ごとに変化します。



周波数の低い方へ選局      周波数の高い方へ選局

〈自動選曲〉

ボタンを0.5秒以上押すと自動送りをし、放送局を受信すると自動的に停止します。希望の放送局を受信するまで繰り返し押します。

■交通情報を聞く→⑨交通情報ボタン

ラジオ受信中又は、カセットテープ再生中に交通情報放送中の区間でボタンを押すと、交通情報を聞くことができます。

交通情報周波数  
1620KHz 区間



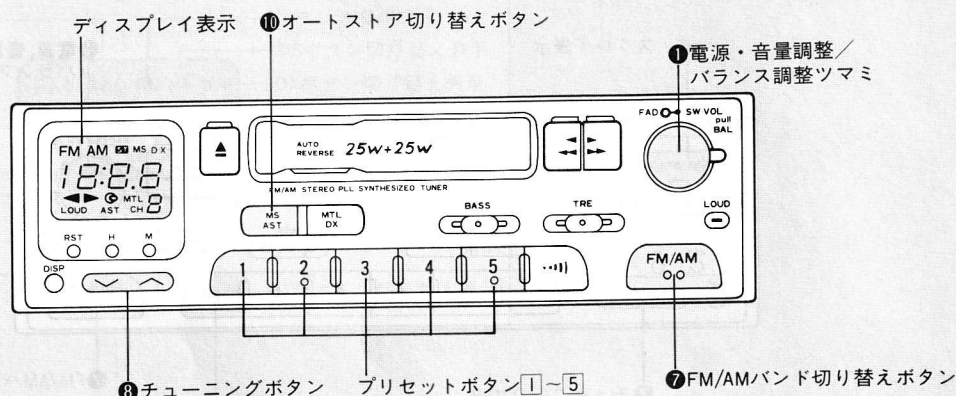
押す

交通情報周波数  
1629KHz 区間



2秒以上  
押して受信

再びボタンを押すと元の状態に戻ります。



## ラジオを聞く

■放送局のメモリ  
＜プリセット選局＞

AM放送5局、FM放送5局をそれぞれ記憶できます。

- 1 電源・音量調整／バランス調整ツマミ①を押してラジオを受信状態にします。
- 2 AM/FM切り替えボタン⑦を押してFM放送かAM放送かを決めます。
- 3 チューニングボタン⑧を押して、メモリしたい局を選局します。
- 4 プリセットボタン①～⑤のメモリさせたいナンバーを2秒以上押します。  
(チャンネルとプリセット番号がディスプレイ表示に表示され、音声がかでると記憶されたことを示します。)

以上で一つのメモリは完了です。続いてメモリさせるときは②から④を繰り返します。

## ＜放送局を呼び出すには＞

- 1 AM/FM切り替えボタン⑦を押してバンドを選びます。
- 2 プリセットボタン①～⑤の聞きたい局を押します。

## ＜オートストア選局＞

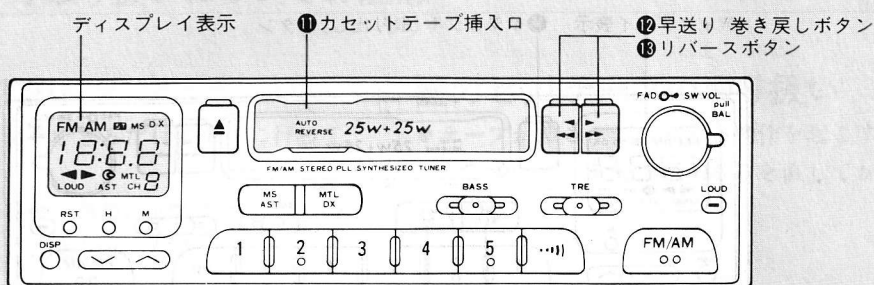
AM放送5局、FM放送5局と自動的に記憶できます。

- 1 電源・音量調整／バランス調整ツマミ①を押してラジオを受信状態にします。
- 2 AM/FM切り替えボタン⑦を押してFM放送かAM放送かを決めます。
- 3 オートストア切り替えボタン⑩を周波数が動き出すまで押します。(約1秒)ディスプレイ表示にASTが点灯し、自動的にプリセットボタンの①～⑤に1局ずつ記憶します。受信した放送局が5局より少ないときは、残りのプリセットボタンにはすでにプリセットされている局がそのまま残ります。

以上でメモリーは完了です。

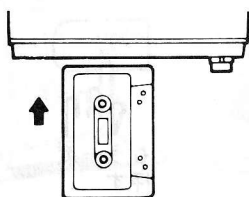
## ＜放送局を呼び出すには＞

- 1 AM/FM切り替えボタン⑦を押してバンドを選びます。
- 2 オートストア切り替えボタン⑩を押してディスプレイ表示のASTを点灯状態にします。
- 3 プリセットボタン①～⑤の聞きたい局を押します。



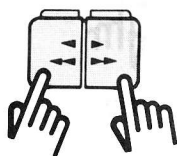
## テープを聞く

- テープを再生する→①カセットテープ挿入口  
エンジンスイッチがONまたはACCのとき、テープ面を右にしてカセットテープ挿入口①に入れると、同時に再生を開始します。  
(ラジオ作動中に挿入するとラジオはOFFになります。)



- 早送り、巻き戻し→②早送り／巻き戻しボタン  
〈早送り〉

テープ左向き再生 (ディスプレイ◀のとき)      テープ右向き再生 (ディスプレイ▶のとき)

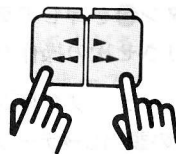


左ボタンを  
押す

右ボタンを  
押す

## 〈巻き戻し〉

テープ右向き再生 (ディスプレイ▶のとき)      テープ左向き再生 (ディスプレイ◀のとき)



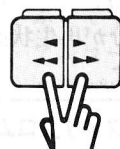
左ボタンを  
押す

右ボタンを  
押す

- テープの再生面を変えるとき

→③リバーズボタン

早送り／巻き戻しボタンを同時に押すと反対側の面を演奏します。



再生中  
同時に押す



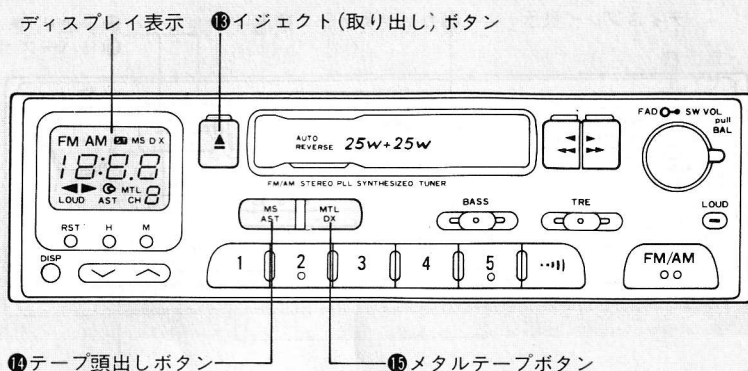
- テープの片面が終わると、自動的に反対側の面に切り替わり連続再生します。  
(自動プログラム装置)





各部の取り扱い

# ラジオ・ステレオの使い方 [ハイパワーAM/FMラジオ付カセットステレオ (デジタルクロック付)] ☆



## テープを聞く

■曲の頭出しをするとき→⑭テープ頭出しボタン  
テープ頭出しボタン⑭を押してディスプレイ表示に“MS”を点灯させ次の操作を行います。

- 次の曲の頭出し→テープを早送りします。
- 今聴いている曲の頭出し→テープを巻き戻します。



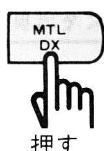
曲の頭にくると、MS機能が働いて再生が始まります。



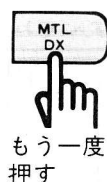
- MSを作動させるには、曲と曲の間の無録音部分が再生状態で最少5秒間以上必要です。

■メタル、クロム、フェリクロムテープを使うとき  
→⑮メタルテープボタン

メタルテープボタン⑮を押して、ディスプレイ表示に“MTL”を点灯させます。



ノーマルテープを使うときはメタルテープボタン⑮をもう一度押して“MTL”を消灯させます。



■テープを取り出すとき→⑬イジェクト (取り出し) ボタン



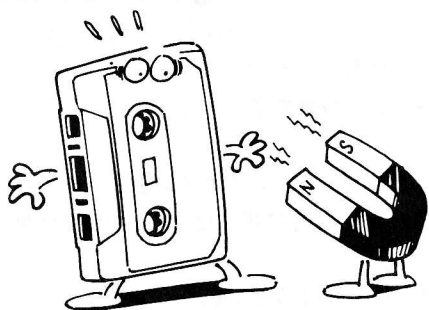
## カセットステレオ取り扱いについての注意

### ■安全のために…

- 操作は安全性の面からできるだけ停車中に行ってください。
- また、運転中の音量は、事故防止のため、車外の音が聞こえる程度でお楽しみください。

### ■性能を保つために…

- 水分や高温、多湿を嫌いますので、車内清掃や換気に十分ご注意ください。
- ヘッド及びカセットテープに、磁石やドライバー等を絶対に近づけないでください。



- ヘッドが汚れると高音域が低下します。いつも良い音質でお聞きいただくために、ヘッド表面を時々クリーニングしてください。市販のクリーニングテープが便利です。
- クリーニングにはシンナーやベンジンは絶対に使用しないでください。

### ■カセットテープの取り扱い

- テープがゆるんでいると誤動作を起こす場合がありますので、テープのゆるみを直してからご使用ください。



- カセットテープは水平にし、カセットテープの中央を押して挿入してください。
- C-120のカセットテープは、テープ自体が非常に薄く、伸びたり切れたりしますので使わないでください。
- ラベルがはがれかかったカセットやケースが変形しているカセットテープは、メカニズムの故障の原因となりますので使用はさけてください。
- 長時間使わないときは、カセットテープを本体から抜き取り、ケースに入れて保管してください。

### ■表面のお手入れは…

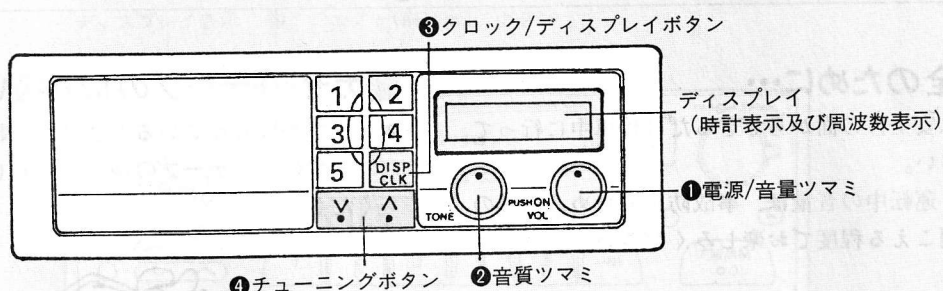
- 乾いた柔らかい布でふいてください。固い布やベンジン、シンナー、アルコール等は絶対に使用しないでください。また、汚れがひどい場合は、柔らかい布を水又はぬるま湯に浸し、軽くふき取ってください。



各部の取り扱い

# ラジオの使い方

## 電子チューニングAMラジオ ☆ (デジタルクロック付)



### 総合的なツマミの働き

#### ■電源の入・切、音量調整

⇨ ①電源／音量ツマミ

＜ラジオの電源の入・切＞

- エンジンスイッチが **ON** または **ACC** のときに押すとラジオの電源が入ります。

＜入れる＞

＜切る＞



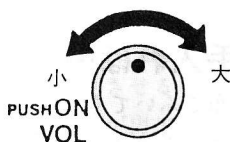
押す



もう一度  
押す

＜音量調整＞

- ツマミを回して音量を調整します。



回す



- 安全運転をさまたげない適当な音量でお聞きください。

#### ■音質調整⇨ ②音質ツマミ

- ツマミを回して音質を調整します。



回す

#### ■時計を合わせる ⇨ ③クロック／ディスプレイボタン ④チューニングボタン

- エンジンスイッチが **ON** または **ACC** のときに時刻を表示します。

1 「時」を合わせます。

- クロック／ディスプレイボタン③とチューニングボタン④の左を同時に押すと「時」の調整ができます。

- そのまま押し続けると早送りができます。

2 「分」を合わせます。

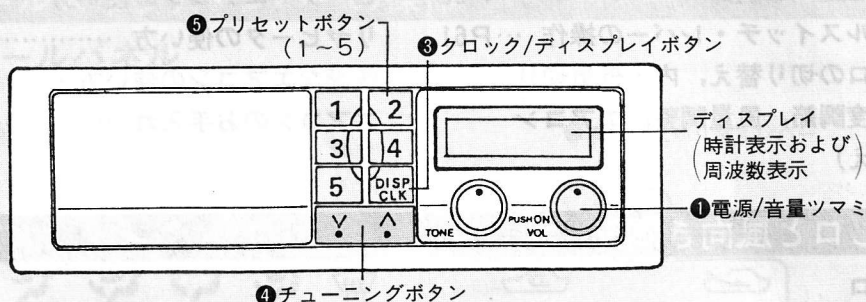
- クロック／ディスプレイボタン③とチューニングボタン④の右を同時に押すと「分」の調整ができます。

- そのまま押し続けると早送りができます。



- バッテリー又は時計の電源を一度外した場合は、記憶が消えますので、新たにセットし直してください。

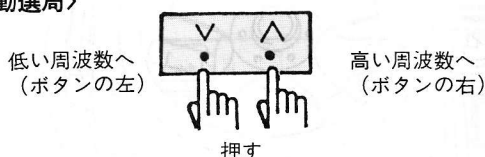
☆印のついている装備品は仕様により異なります。



## ラジオを聞く

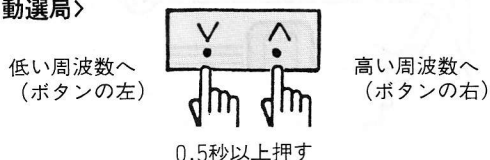
- ラジオの電源を入れ、放送局を受信します。

### ■放送局を受信する◇④チューニングボタン 〈手動選局〉



- ボタンを押すたびに9 KHzずつ周波数が変わります。押し続けると連続して変わります。

### 〈自動選局〉



- “ピッ”という音がして自動選局になり、放送を受信すると自動的に止まります。再びボタンを押すと次の放送局を選局します。
- ボタンを押したままの状態でも放送を受信すると止まります。
- 自動選局中に再びチューニングボタン④を押すと、直ちに自動選局が解除されます。

### ■放送局のメモリー（記憶）

- あらかじめメモリーされた放送周波数をボタンを押すだけで選局できます。選局した周波数をディスプレイに表示します。
- AM 5局をメモリーできます。
- プリセット選局◇①電源/音量ツマミ  
④チューニングボタン  
⑤プリセットボタン

- 1 電源ツマミ①でラジオの電源を入れ、チューニングボタン④を押してメモリーさせたい放送局に合わせます。
- 2 メモリーさせるプリセットボタン⑤の1～5のいずれかを2秒以上押し続けます。（メモリーが完了すると“ピッ”という音がして、ディスプレイにプリセットチャンネルを表示します。）



- 同一ボタンに重複してメモリーさせると、新しくセットした局がメモリーされます。
- バッテリー又は時計の電源を外した場合は、メモリーが消えますので、新しくセットし直してください。



- ディスプレイは常時時計表示になっています。③クロック/ディスプレイボタンを押すと、周波数表示になります。約5秒後には自動的に時計表示に戻ります。

### 〈放送局を呼び出すには〉

- プリセットボタン⑤の聞きたい局を押します。



吹き出し口と風向き調節 ..... P 60

コントロールスイッチ・レバーの操作 ..... P 61

(吹き出し口の切り替え, 内・外気切り  
替え, 温度調節, 風量調整, エアコン  
の切り替え)

ヒータ・エアコンの使い方 ..... P 63

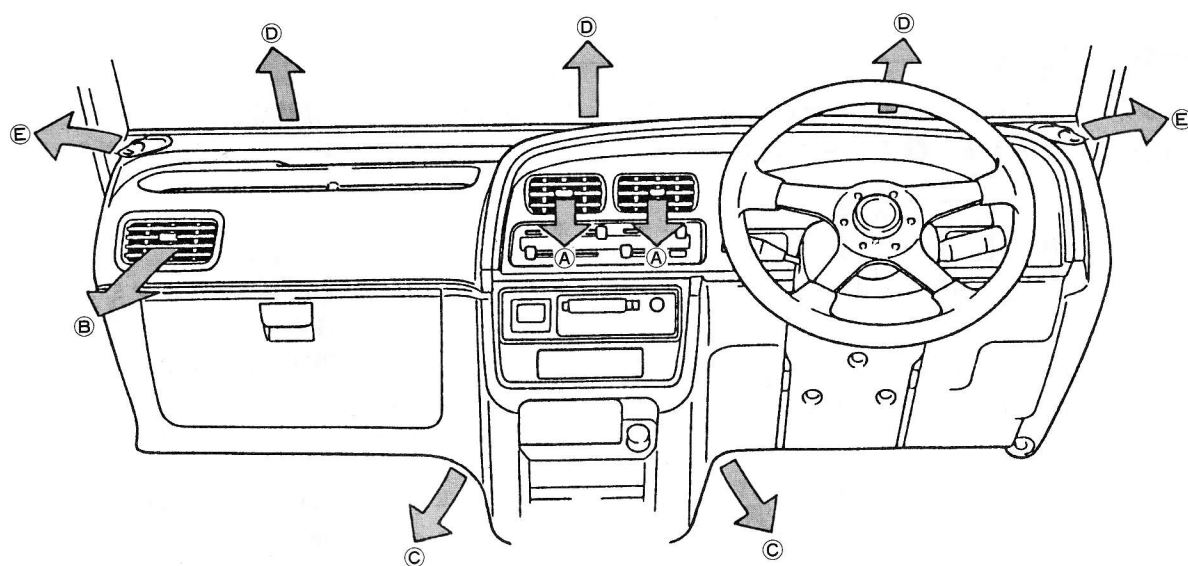
リヤヒータの使い方 ..... P 65

快適なエアコンの使い方・

エアコンのお手入れ ..... P 66

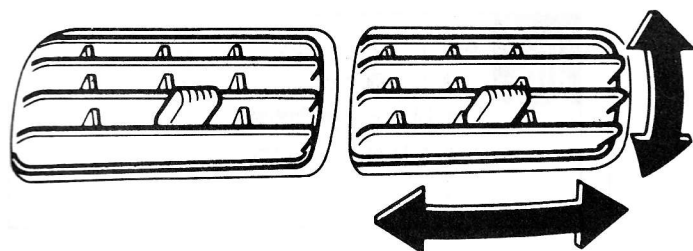
## 吹き出し口と風向き調節

### ■吹き出し口



- (A) 中央吹出口
- (B) サイド吹出口
- (C) 前席足元吹出口
- (D) デフロスタ
- (E) サイドデミスタ

### ■風向き調節

●ノブを上下左右に動かして、好みの風向きに調節  
できます。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。

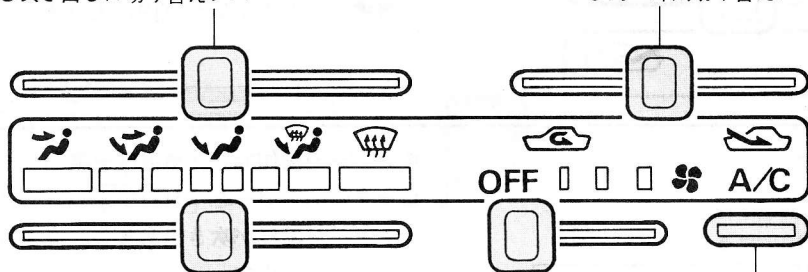


## コントロールスイッチ・レバーの操作

### ■コントロールパネル

① 吹き出し口切り替えレバー

② 内・外気切り替えレバー



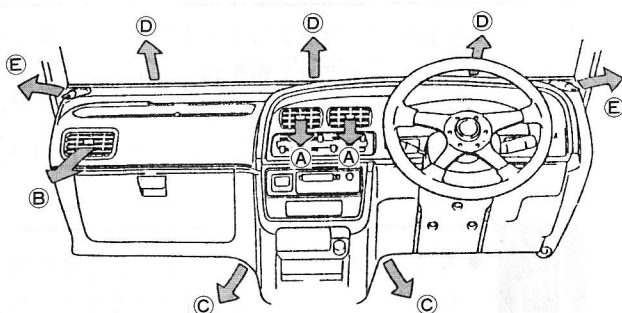
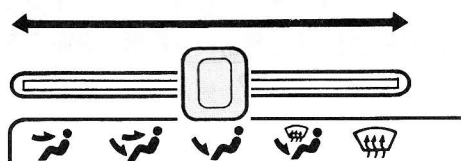
③ 温度調整レバー

④ ファンスイッチ

⑤ エアコンスイッチ☆

#### ① 吹き出し口切り替えレバー

● レバーを操作すると、吹き出し口が変わります。

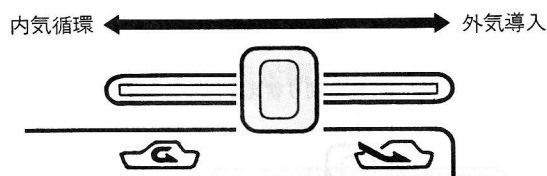


位置	吹き出し口
	①・② (エアコンは通常この位置で冷房します。)
	①・②・③ (頭寒足熱ができます。) ※窓側にも少量送風します。
	③ (通常はこの位置で暖房します。) ※窓側にも少量送風します。
	③・④・⑤ (フロント及びサイドウインドのくもりを取ると同時に足元へ送風します。)
	④・⑤ (フロント及びサイドウインドのくもりを取ります。)

☆印のついている装備品は仕様により異なります。



## ②内・外気切り替えレバー



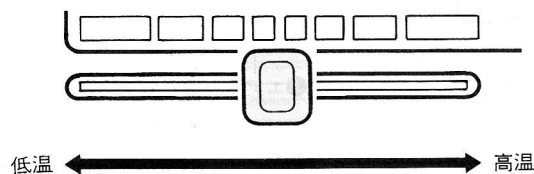
- レバーの操作で、内気・外気の切り替えができます。

内気循環…車内の空気を循環させます。

急速暖房を行うときや、外気が汚れているときなどに使います。

外気導入…外の空気が室内に入ります。

## ③温度調整レバー



- レバーの操作で、送風温度を調節します。

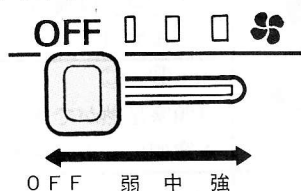
ヒータ……レバーを **HOT** (右) 方向に操作すると、温風が吹き出します。温度は無段階に調節できます。

エアコン…レバーを **COOL** (左) に近づけると冷房になります。



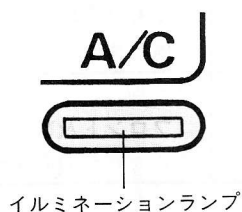
- エンジン冷却水の温度が低いときに操作しても温風は出ません。

## ④ファンスイッチ



- エンジンスイッチが **ON** のとき作動します。

- 風量は **弱・中・強** の3段階に調節できます。

⑤エアコンスイッチ☆ **エアコン装備車**

- エンジン作動時に、ファンスイッチとエアコンスイッチを操作すると、エアコンが作動します。

- エアコンスイッチを押すとイルミネーションランプが点灯し、もう一度押すと消灯し、エアコンは **OFF** になります。



- エアコンは冷房や除湿をするときに使用し、使用しないときはスイッチを切っておいてください。
- エアコンはエンスト時には作動しません。

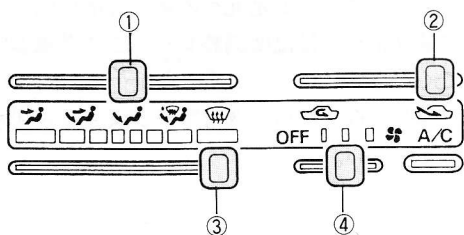


- エアコン作動中はエンジンのアイドリング回転がふだんより少し高めになります。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。



## ヒータ・エアコンの使い方

### ■暖房するとき（通常暖房）

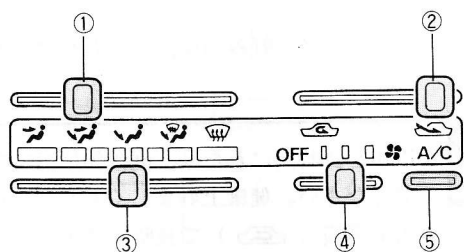


- 各レバーを図のようにセットします。
- 温度調整レバー③は「右」に近づけ、暖かくなったらレバーを「左」に移動させて温度を調節します。
- ファンスイッチ④はお好みの位置に合わせてください。



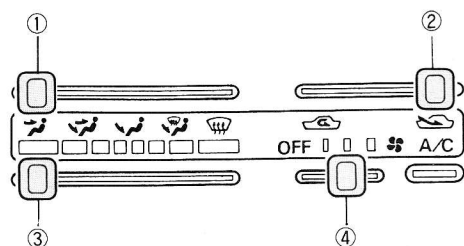
- 急速暖房を行うときは内・外気切り替えレバー②を一時的に内気循環（) にしてください。車内が暖まったら、フロントガラスの曇りを防止するため、外気導入（) に切り替えてください。

### ■頭寒足熱暖房




- 各レバーを図のようにセットします。  
足元へは温風が、上半身・顔へは足元より低い温度の風が吹き出し、こちよい暖房をします。
- 温度調整レバー③は「中央」の位置にしてください。
- ファンスイッチ④はお好みの位置に合わせてください。

### ■換気するとき



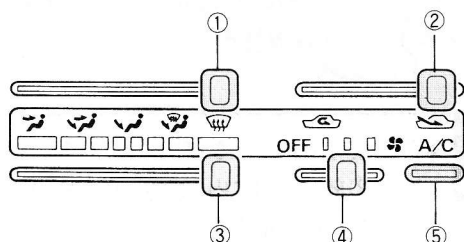
- 各レバーを図のようにセットします。
- 温度調整レバー③はお好みの位置に合わせてください。
- 早く換気をしたいときはファンスイッチ④を「強」にしてください。



- ②のレバーを  の位置にすると、ファンスイッチが「OFF」のときでも走行中に外気が室内にはいります。



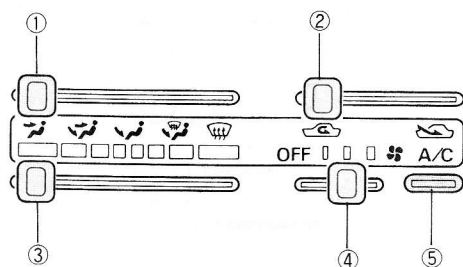
## ■フロントウインドの曇り止め



- 各レバーを図のようにセットします。
- 吹き出し口切り替えレバー①は の位置で最大効果がありますが、 の位置にすると、曇りを取ると同時に足元へ風を送ることができます。  
(フロントウインドと足元への風の温度は同一です。)
- 夏期の曇り止めには温度調整レバー③で送風温度を調節してください。
- 早く、曇りを取りたいときはファンスイッチ④を **強** にしてください。

## ■冷房するとき（内気循環冷房）

☆ エアコン装備車



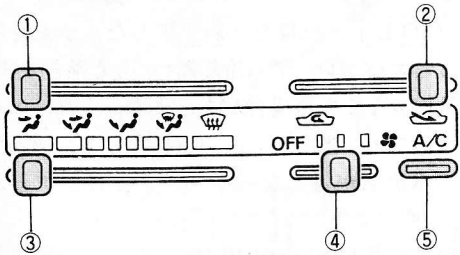
- 各レバーを図のようにセットし、エアコンスイッチ⑤を **ON** にします。
- 内・外気切り替えレバー②は内気循環（）の位置にします。
- ファンスイッチ④はお好みの位置に合わせてください。




- 冷風を長時間にわたり、直接体に当てないでください。健康上好ましくありません。
- 内気循環（）で長時間冷房すると車内の空気が汚れます。外気導入（）にするか、窓を開けて換気をしてください。
- 炎天下に駐車したときなどは、十分に換気してからエアコンを作動してください。

## ■冷房と換気をするとき（外気導入冷房）

☆ エアコン装備車



- 各レバーを図のようにセットし、エアコンスイッチ⑤を **ON** にします。
- 内・外気切り替えレバー②は外気導入（) の位置にします。
- ファンスイッチ④はお好みの位置に合わせてください。



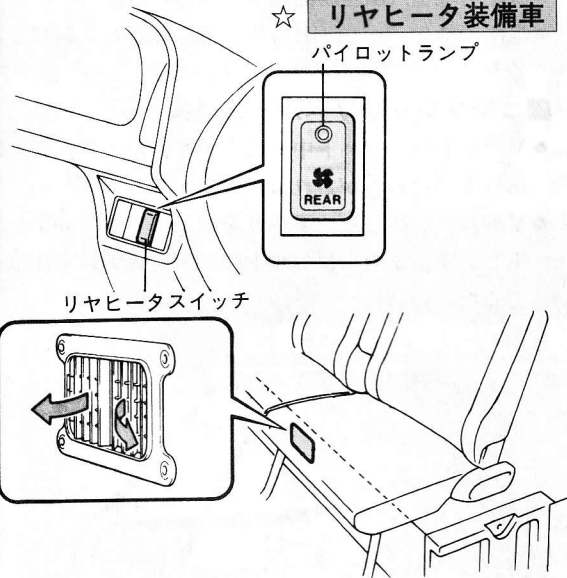
- 車内の空気が煙草の煙などで汚れた場合には、外気導入冷房にして換気をしましょう。

## リヤヒータの使い方

### ■リヤヒータスイッチ

☆ リヤヒータ装備車

パイロットランプ



- エンジンスイッチが **ON** のとき作動します。
- リヤヒータスイッチを押すと、リヤシート中央下部のエア吹出口より風が出てきます。



- 温風はエンジンが作動している状態で、冷却水の温度が暖かくなっていないと出ません。





各部の取り扱い

## ヒータ・エアコンの使い方☆

(HFC134aを使用しています)

### 快適なエアコンの使い方・エアコンのお手入れ

#### ■停車したとき、発進するとき

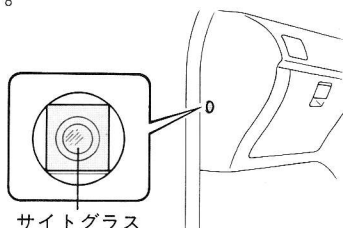
- 停車時にエアコンを作動させると、冷房効果を上げるためにアイドルアップ装置が働き、エンジンの回転数がふだんより少し高くなります。そのため発進時の運転操作には十分ご注意ください。



- オートマチック車で停車中に冷房する場合 **[P]** レンジにしてください。**[P]** レンジ以外ですと、不意の飛び出しを起こすおそれがあります。

#### ■エアコン冷媒（ガス量）の点検

- 1 エンジンを始動し、エアコンスイッチを **[ON]** にします。
- 2 ファンスイッチを **[強]** にします。
- 3 温度調整レバーを **[COOL]** の位置にします。
- 4 エアコンレシーバのサイトグラスを見て、冷媒の量を点検します。



サイトグラス



(冷媒量適正)  
ほぼ透明、泡が見えてもエンジン回転の上げ下げにより消える



(冷媒量不足)  
気泡の流れが見られる



(冷媒量なし)  
霧のような流れが見られる

#### ■高速道路などの長時間連続走行のとき

- エアコンスイッチを **[ON]**、温度調整レバーを **[COOL]**、風量を **[弱]** にしたまま長時間走行するとエバポレータ（冷却器）が冷え過ぎて凍結し、風量が少なくなる場合があります。これはエバポレータのフィン温度が  $0^{\circ}\text{C}$  以下になると、通過する空気の水蒸気が霜となってフィンに付着するからです。そのようなときは次の操作をしてください。

凍結して冷風量が減少したら…

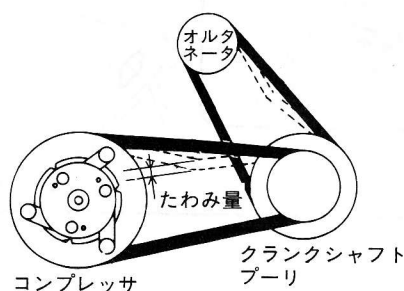
- 風量を **[強]**、エアコンスイッチを **[OFF]** にしてください。

凍結解除後（風量が元通りになったら）…

- 温度調整レバーを **[HOT]** 側に動かし、調整してください。

#### ■コンプレッサVベルトの点検

- Vベルトは、ベルト中央部を押さえたとき、10～12 mm程度のたわみがあれば良好です。
- Vベルトが緩むと、すべりを起こして冷房効率が低下します。また、Vベルトのキズや疲労にも注意してください。



コンプレッサ

クランクシャフトプーリ

#### ■エアコンのお手入れ

- 冬のエアコンの取扱いは、2～3週間ごとに1～2度コンプレッサを作動させてください。これは構成部品の油ぎれを防ぐとともに性能および寿命を助けます。



# 運転操作

## (始動から駐車まで・装置類の使い方)

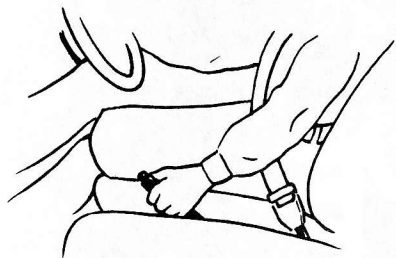
始動の前に.....	P68
エンジンスイッチについて.....	P69
エンジン始動について.....	P70
パーキングブレーキについて.....	P71
チェンジレバーの操作..... (マニュアル車)	P71
4WDの切替操作..... (パートタイム4WD)	P72
セレクトレバーの操作..... (オートマチック車)	P76
オートマチック車の運転のしかた.....	P77
オートマチック車のトラブルの処置.....	P81



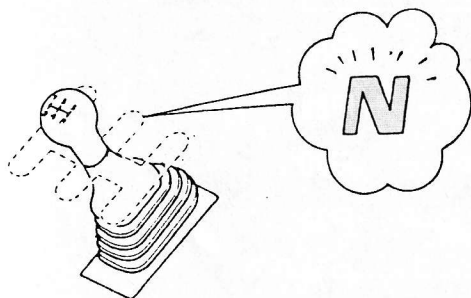
- 1 運行前点検は済みましたか？  
⇨ P83



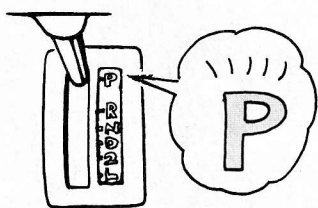
- 2 パーキングブレーキは完全にかかっていますか？  
⇨ P71



- 3 チェンジレバーはニュートラルの位置になっていますか？  
(マニュアル車) ⇨ P71



- 4 セレクトレバーは **P** レンジになっていますか？  
(オートマチック車) ⇨ P76



- 5 運転しやすい姿勢で座っていますか？ ⇨ P26 (正しい運転姿勢)

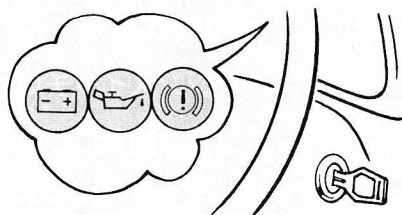


- シートが調整され、固定されていますか？ 走行中のシートの調整は大変危険です。

- 6 シートベルトはしましたか？  
⇨ P33



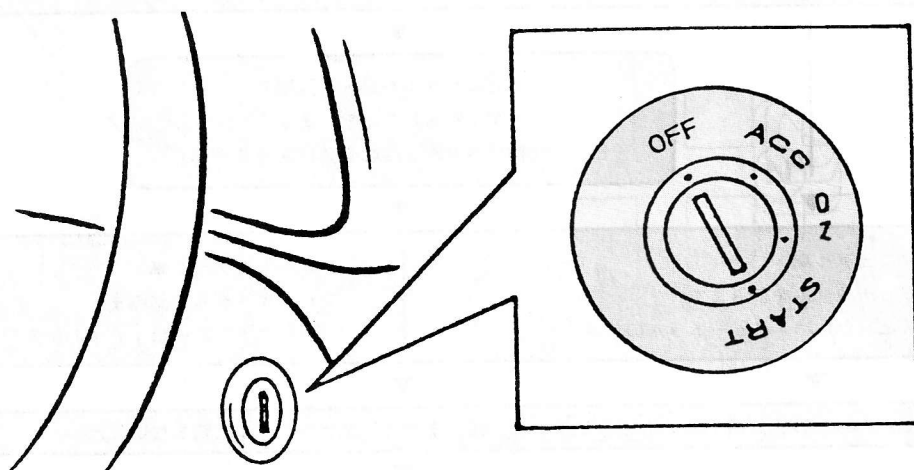
- 7 エンジンスイッチを **ON** にして、各ランプの点灯とガソリン量を確認してください。



- 始動がしやすいように、消費電力の大きなヘッドランプやヒータなどのスイッチは切っておきましょう。



## ■各位置と働き



- エンジンが止まっているときは、**ON** の位置にしたまま放置しないでください。エンジン停止時、ラジオなどを使う場合は、**ACC** の位置にしてください。
- 車から離れるときは、必ずワイパ、ターンシグナルランプ、ヒータ、エアコン類のスイッチを先に切ってください。
- エンジンが回転しているとき、**START** の位置にキーを回さないでください。
- チェンジを入れたままでエンジンスイッチを切って惰性で走行すると、異常音が発生することがあります。エンジンは、車が完全に止まってから止めてください。

**OFF** ..... キーが抜き差しできます。

- ・オートマチック車は、セレクトレバーを **P** の位置にしなければ、キーを **ACC** ↔ **OFF** へ回すことができません。(キーインタロック装置)

**ACC** ..... エンジンを止めた状態で、ラジオやシガレットライターなどが使えます。

**ON** ..... エンジン、計器類などすべての電気回路が作動できる状態になります。

**START** ... スタータモータが回転し、エンジンが始動します。

- ・始動したらキーから手をはなしてください。自動的に **ON** の位置にもどります。

⇒ P70 (エンジン始動について)



エンジンが冷えているとき

非常に寒いとき(外気温-10℃以下)

エンジンが暖まっているとき

パーキングブレーキがかかっていることを確認します

アクセルペダルを2~3回踏み  
ペダルから足をはなします  
(EPI仕様はペダルを踏む必要はありません)

●マニュアル車  
クラッチペダルを踏みます  
(チェンジレバーニュートラルの位置)

●オートマチック車  
ブレーキペダルを踏みます  
(セレクトレバーは **P** の位置)

キーを **START** まで回します(アクセルペダルは踏まないこと)

2~3回空ぶかししながら、クラッチ  
ペダルをはなします(マニュアル車)

エンジンが始動したら、ただちにキーから手をはなしてください。



●エンジン回転が高いまま、発進や後退を  
すると、車が急に動き出すことがあり大  
変危険です。

●エンジンの始動直後は排出ガス浄化装置内の触  
媒の温度が低いので、十分な浄化作用をしてい  
ません。無用な空ぶかしはしないでください。



●エンジンが冷えているとき(非常に寒い  
ときも含む)は、自動的にチョークが働  
くオートチョーク機構を採用しています  
ので、始動直後はエンジン回転が高くな  
りますが、エンジンが暖まるにつれ徐々  
に回転が下がってきます。

●冬期は適当な暖機運転をした方が、スム  
ーズな発進・走行ができます。

●オートマチック車は、**P** レンジ及び  
**N** レンジでエンジンを始動するこ  
とができますが、通常の始動は **P** レ  
ンジで行ってください。**N** レンジでの  
始動は、走行中にエンストしたときの非

常用です。

●スタータモータの始動操作は、2~5秒間が適  
当です。

●始動時に繰り返しアクセルペダルを踏みすぎ  
ると、過剰にガソリンを吸い込み、始動しない場  
合があります。こんなときは、アクセルペダル  
をいっぱい踏み込んだまま(空気を多量に吸  
入させ、ガソリン分を薄くする)スタータを回  
し、始動してください。(EPI仕様を除く)

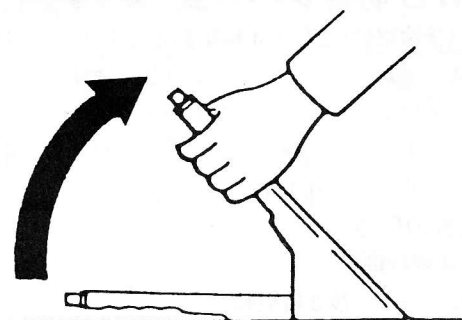




運転操作

# パーキングブレーキについて

## ■パーキングブレーキレバー



### ＜駐車するときは＞

レバーをいっぱい引き、後輪にブレーキをかけます。レバーを引くときは、ボタンを押さずにそのまま操作してください。

### ＜戻すときは＞

レバーを少し引き上げながらレバー先端のノブを押し、そのまま下まで完全におろします。



- ブレーキレバーを引いたまま走行すると、ブレーキのききが悪くなります。パーキングブレーキ警告灯の消灯を確認してください。

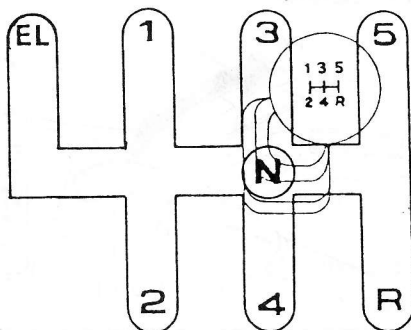


運転操作

# チェンジレバーの操作 (マニュアル車)

## ■チェンジレバーの操作

チェンジレバーを操作するときは、クラッチペダルをいっばいに踏み、確実な操作をしてください。



5 は5速仕様に装備

EL はEL付4WD車に装備



- 5速仕様は5速から直接リバース **R** へは入りません。ニュートラル **N** へもどしてからリバース **R** へ入れてください。
- エクストラロー **EL** は、4輪駆動時のみ操作することができます。

## ■変速位置と速度範囲

各ギヤの速度範囲は下表を目安にしてチェンジ操作をしてください。

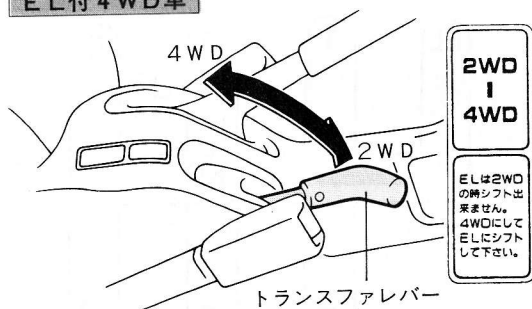
単位: km/h

駆動方法 チェンジ ポジション	標準車 フルタイム 4WD車	EL付4WD車 (パートタイム4WD)		備 考
		2WD走行	4WD走行	
E L	—	—	0~15	
1 速	0~20	0~20	0~20	
2 速	10~35	10~35	10~35	
3 速	20~50	20~50	20~50	
4 速	30~	30~	30~	
5 速	40~	40~	40~	5速車に装備

チェンジ ポジション	駆動方法	副変速機付 4WD車			備 考
		後 2 輪駆動	4 輪 駆 動		
		2 H	4 L (低速)	4 H (高速)	
1	速	0 ~ 20	0 ~ 10	0 ~ 20	
2	速	10 ~ 30	5 ~ 15	10 ~ 30	
3	速	20 ~ 50	10 ~ 25	20 ~ 50	
4	速	30 ~	15 ~ 40	30 ~	

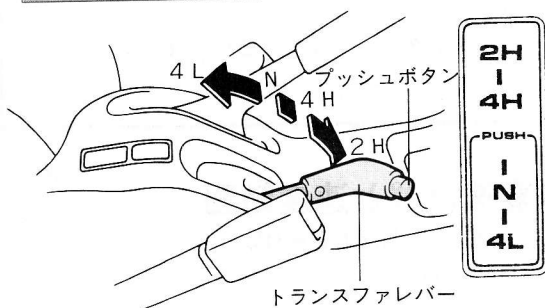


## EL付4WD車

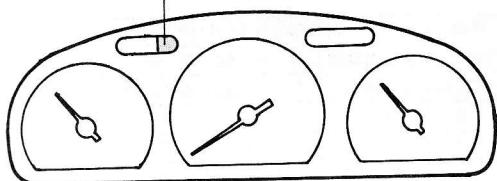


- ELは2WDのときはシフト操作が出来ません。4WDにしてからELにシフトしてください。

## 副変速機付4WD車



## 4WD 4WDパイロットランプ

■4WD切替レバー式 **キャリイ**

- 普通 (後輪駆動) 走行と4輪駆動走行を切替レバー (トランスファレバー) によって切り替えます。

※トランスファレバーには、EL (エクストラロー) 付4WD車用と副変速機 (高速、低速) 付4WD車用の2つのタイプがあります。

## ■各位置の働き

## EL付4WD車

「2WD」……………後2輪駆動

普通走行するときの位置。

「4WD」……………4輪駆動

悪路、雪道等を走行するときの位置。

「4WD-EL」…4輪駆動

特に大きな駆動力を必要とする場合。

## 副変速機付4WD車

「2H」……………後2輪駆動 (ハイ・レンジ)

普通走行するときの位置。

「4H」……………4輪駆動 (ハイ・レンジ)

悪路、雪道等を走行するときの位置。

「N」……………ニュートラル

動力の伝わらない位置。

※通常は4Hまたは4Lの位置で使用します。

「4L」……………4輪駆動 (ロー・レンジ)

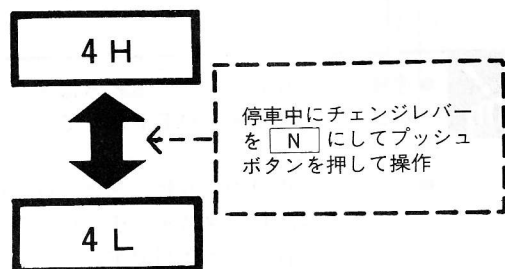
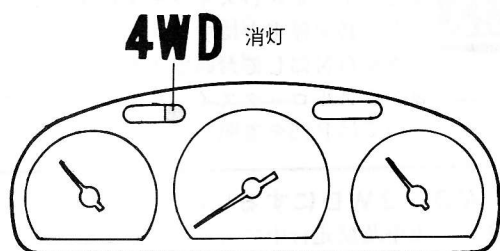
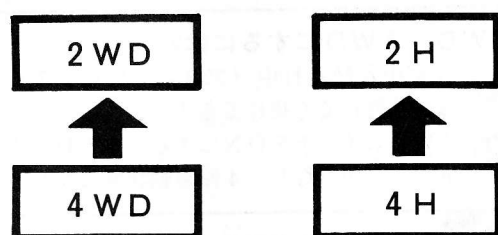
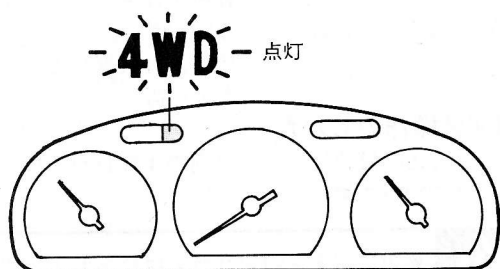
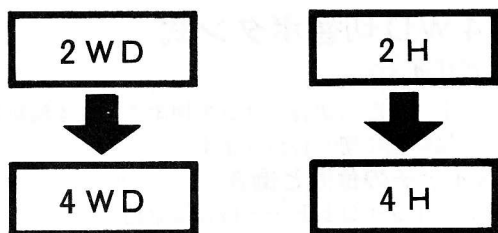
悪路、雪道等で、特に大きな駆動力を必要とする場合の位置。

## ■切替操作のしかた

- 切り替えの確認は、メータ内の4WDパイロットランプで行います。



- トランスファレバーの切り替えはハンドルを切った状態で行うとトランスファをいため、故障の原因になります。必ずハンドルが直進状態のときにクラッチを踏んで行ってください。



# <2WD (2H) → 4WD (4H) には>

- 1 停車中及び走行中でも操作できます。
- 2 2WD (2H) → 4WD (4H) にすると4WDパイロットランプが点灯し、4輪駆動状態になります。



- 走行中に2WD (2H) → 4WD (4H) へ操作するときは必ず停車中にアクスルロックスイッチをONにしておいてください。
- アクスルロックスイッチがOFFの時には、走行中の2WD (2H) → 4WD (4H) の操作は絶対にしないでください。故障の原因になります。
- アクスルロックスイッチの操作方法については、P75を参照してください。



- 停車してトランスファを切り替えるとき、操作が重い場合があります。重いときは、チェンジレバーを [R] などに入れて車を少し動かし、ハンドルを直進状態にして操作すると容易に操作ができます。

# <4WD (4H) → 2WD (2H) には>

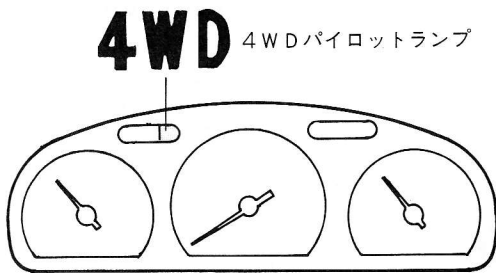
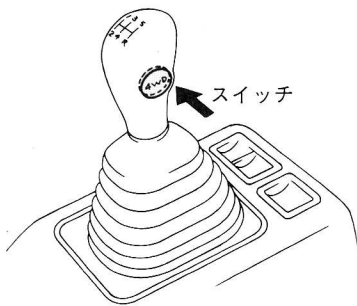
- 1 停車中及び走行中でも操作できます。
- 2 4WD (4H) → 2WD (2H) にすると4WDパイロットランプが消灯し、後2輪駆動状態になります。



- 連続して2WD (2H) 走行をするときはアクスルロックスイッチをOFFにしてください。
- 2WD (2H) ↔ 4WD (4H) の切り替えをよく行う場合はアクスルロックスイッチをONのままにして走行すると便利です。

# <4H ↔ 4Lをするときは> 副変速機付4WD車

- 1 停車中にのみ操作します。
- 2 チェンジレバーをニュートラルの位置にしてからトランスファレバーのプッシュボタンを押して操作します。



	4WDスイッチ	4WDパイロットランプ	アクスルロックパイロットランプ
2WD	OFF	4WD 消灯	○ 消灯
	⇩	⇩	⇩
※ 4WD	ON	-4WD- 点灯	⊙ 点灯

※走行中に4WDスイッチをONにする時は、あらかじめ停車中にアクスルロックスイッチをONにしておきます。

	4WDスイッチ	4WDパイロットランプ	アクスルロックパイロットランプ
4WD	ON	-4WD- 点灯	⊙ 点灯
	⇩	⇩	⇩
2WD	OFF	4WD 消灯	※ ⊙ 点灯

※連続して2WD走行する場合、アクスルロックスイッチをOFFにすれば、アクスルロックパイロットランプは、消灯します。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。

## ■4WD切替ボタン式

### エブリイ☆

- シフトノブ部の切替ボタンを押すごとに4輪駆動と後2輪駆動に切り替わります。

### ■スイッチの位置と働き

4WDスイッチOFF……後2輪駆動

普通走行するときの位置。

4WDスイッチON………4輪駆動

悪路、雪道等を走行するときの位置。

### ■切替操作のしかた

- 切り替えの確認は、メータ内の4WDパイロットランプで行います。



- 切替ボタンの切り替えはハンドルを切った状態で行うとトランスファをいため、故障の原因になります。  
必ずハンドルが直進状態のときにクラッチを踏んで行ってください。

### <2WD→4WDにするには>

- 1 停車中及び走行中（アクスルロックスイッチON状態）でも操作できます。
- 2 4WDスイッチをONにすると4WDパイロットランプが点灯し、4輪駆動状態になります。



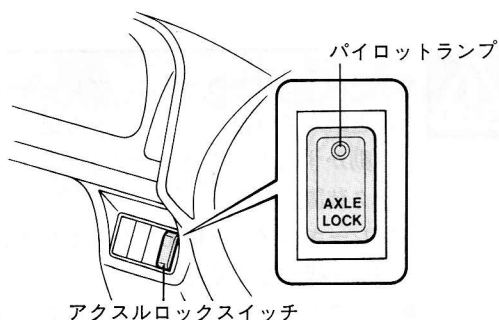
- 走行中に4WDスイッチをONにするときは必ず停車中にアクスルロックスイッチをONにしておいてください。
- アクスルロックスイッチの操作方法についてはP75を参照してください。

### <4WD→2WDにするには>

- 1 停車中及び走行中でも操作できます。
- 2 4WDスイッチをOFFにすると4WDパイロットランプが消灯し、後2輪駆動状態になります。



- 連続して2WD走行をするときはアクスルロックスイッチをOFFにしてください。
- 2WD⇄4WDの切り替えをよく行う場合はアクスルロックスイッチをONのままにして走行すると便利です。



## ■AXLE LOCK(アクスルロック) スイッチ

- 走行中に後2輪駆動↔4輪駆動の切り替えを行いたいときにあらかじめ停車中に操作しておくスイッチです。
- スイッチONでフロントアクスルがロック（前輪にも駆動力を伝えることができる状態）になります。  
※このスイッチを操作しただけでは、4輪駆動にはなりません。
- スイッチOFFでフロントアクスルのロックが解除になります。
- 走行中にスイッチを操作しても、フロントアクスルはロック状態になりません。



- 一般の舗装道路や高速道路では後2輪駆動走行をしてください。  
アクスルロックスイッチをOFFにしておくことにより静粛性と燃費が向上します。  
後2輪駆動走行時は、4WDパイロットランプが消灯しています。



- 下記事項をお守りいただけないことに起因すると判断される不具合は保証の対象外になります。
- 一般の舗装路や高速道路では必ず普通走行（後2輪駆動）で運転してください。
- レース、ラリーなど、特殊な使用はしないでください。  
（この他、保証については別冊の「整備手帳」をご参照ください。）
- 乾燥した舗装路では、4輪駆動走行はし

ないでください。タイヤの摩擦・燃料の浪費となります。又、急なカーブではブレーキがかかったような状態になり危険場合があります。

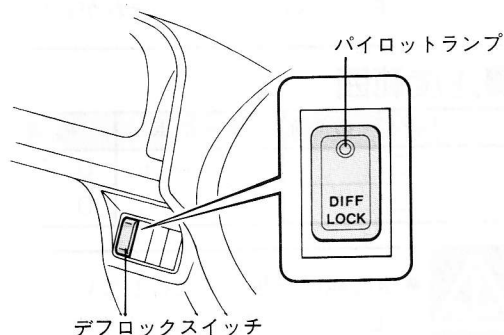
- 4WD車は滑りやすい路面（砂地、積雪地、ぬかるみ、急坂路等）において2輪駆動車に比べて走破性に優れていますが、どんな所でも走行できる万能車ではありません。路面の状況などに注意して慎重に走行してください。
- 4輪駆動で走行するときは、特にタイヤの空気圧を規定空気圧に調整してください。

## ■デフロック機構 **キャリイ** ☆

- デフロックとは、後輪のデファレンシャル部を機械的に直結状態にして左右の車輪に同じ駆動力が伝わるようにしたものです。  
後輪の片方がぬかるみにはまり、空回りして抜け出せない時に威力を発揮します。
- 4WDと併用すると、より効果的です。



- デフロック装着車は、デフロックをスムーズに作動させるためにタイヤの空気圧を規定空気圧に保つことが必要です。  
〔タイヤの空気圧⇨サービスデータ参照〕



スイッチの操作方法はP45参照してください。

☆印のついている装備品は仕様により異なります。

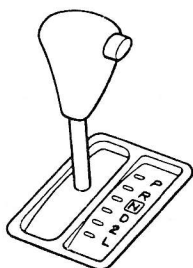




## セレクトレバーの操作

(オートマチック車)

## ■セレクトレバーの位置と働き

**P** パーキングレンジ

## 駐車及びエンジン始動

駐車時は必ずパーキングブレーキレバーを引いて **P** にしてください。車輪が固定されます。



●車が動いているときは **P** へ入れないでください。

●セレクトレバーが **P** 以外のときは、キーを **ACC** ↔ **OFF** へ回すことができません。(キーインタロック装置)

**R** リバースレンジ

## 後退させるとき

この位置では警報音(ブザー)が鳴り、運転者に知らせます。

**N** ニュートラルレンジ

## 中立(動力が伝わらない)

始動はできますが、安全な **P** レンジで始動を行ってください。

**D** ドライブレンジ

## 通常走行

速度に応じて、自動的にローギヤからドライブギヤまで切り替わります。

**2** セカンドレンジ

## エンジンブレーキが必要なとき

速度に応じて、自動的にローギヤとセカンドギヤが切り替わります。

**L** ローレンジ

## 強力なエンジンブレーキが必要なとき

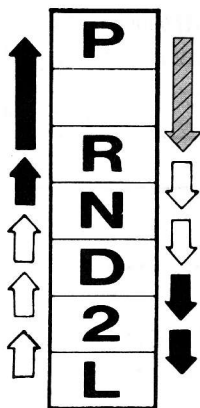
急な下り坂走行に使う位置です。通常ローギヤに固定されます。



●キーが **ON** のときは、ブレーキペダルを踏んでいないと **P** から他の位置へ動かすことができません。(シフトロック装置)

ブレーキペダルを踏んでからセレクトレバーを操作してください。

●セレクトレバーが **R** に入っているとき、警報音(ブザー)が鳴ります。(リバース警告装置)



ブレーキペダルを踏んだままで、セレクトレバーボタンを押して操作します。

セレクトレバーのボタンを押して操作します。

そのままセレクトレバーを操作します。



●□の操作をするときは、ボタンを押さない習慣をつけましょう。

常にボタンを押してセレクトレバーを操作していると、間違えて **R** **L** **2** **P** へ入れてしまうおそれがあります。

## ■速度範囲

セレクトレバーの位置	ターボ車	標準車
2	0～70km/h	0～65km/h
L	0～35km/h	0～35km/h

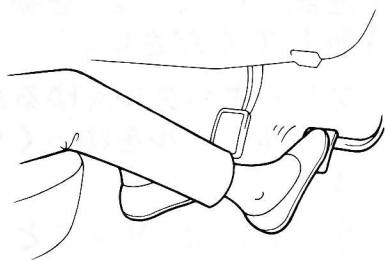


●速度範囲を越えて走行しているときに **L** 又は **2** へシフトダウンをするとき、車の速度が範囲内に下がった後、自動的に、ギヤが切り替わります。

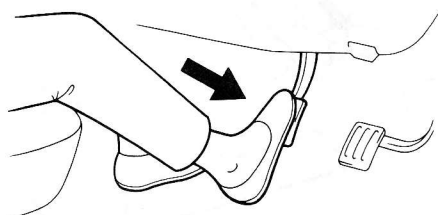


## 運転席に座って

- 1 アクセルペダルの位置を目で確認します。



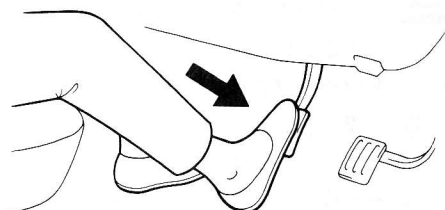
- 2 ブレーキペダルを右足で踏み、位置を目で確認します。



- ペダルの踏み間違いを防ぐため、アクセルペダルとブレーキペダルの位置を右足で確認して、覚えておくことが大切です。

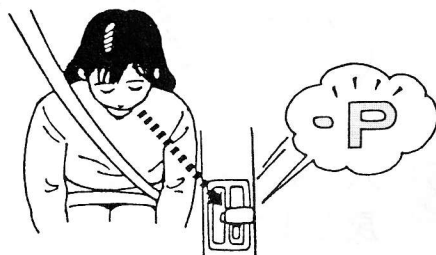
## エンジン始動

- 1 パーキングブレーキレバーが確実にかかっていることを確認します。
- 2 ブレーキペダルを右足で踏んでください。



- アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合があります。そんなときは、エンジンを始動した後でブレーキペダルに踏みかえてください。

- 3 セレクトレバーが **P** の位置にあることを目で確認します。  
(エンジン始動は **P** レンジで行いましょう)



- 4 エンジンを始動します。  
⇨ P70 (エンジン始動について)



- 冷えたエンジンを始動した後は、エンジン回転が高くなるため、通常とはスタートする感覚が異なります。エンジン回転が下がって安定するまで十分に暖機運転をしましょう。

⇨ P6 (暖機運転をしましょう！)



## 発進（平坦路）

- 1 ブレーキペダルを右足でしっかり踏んだままセレクトレバーを前進 **D** 又は後退 **R** へ入れます。



●ブレーキペダルを踏まないと、セレクトレバーを **P** から他の位置へ切り替えることができません。(シフトロック装置)

- オートマチック車は、セレクトレバーを **R** **D** **2** **L** に入れるとクリープ現象で動くという特性があります。発進時にセレクトレバーを操作するときは、必ず車が動かないようにしっかりブレーキを踏んでください。
- エンジン始動直後やエアコン使用時などはエンジン回転が高くなり、クリープ現象が強くなります。特にしっかりブレーキを踏んでください。

- 2 セレクトレバーの位置を目で確認します。



- 3 パーキングブレーキレバーを戻します。

- 4 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み込むと車は発進します。



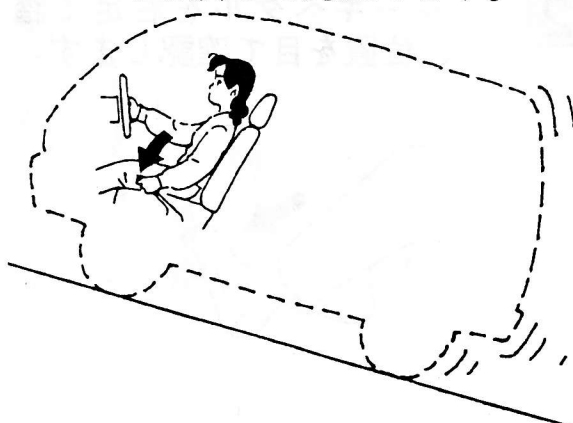
- マニュアル車では発進時のスピードを半クラッチとアクセルで調節しますがオートマチック車は、アクセルだけで調節します。アクセルの操作はゆっくり慎重に行ってください。

## 発進（急な登り坂）

- 1 初期の操作方法「発進（平坦路）」と同じです。
- 2 左記 ①、② を参照してください。

- 3 ブレーキペダルをゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏みます。

- 4 車が前に動き出すことを確認してから、パーキングブレーキを戻して発進します。

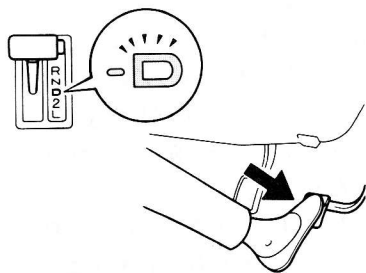


- 確実な発進をするためには、パーキングブレーキでしっかり車を停止させておくことが必要です。
- 確実なブレーキ操作をするために、右足でブレーキ操作をしてください。慣れない左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるおそれがあります。

## 走行

### ■通常走行

セレクトレバーを **[D]** にして発進すると、車速とアクセルペダルの踏み込み量により、ローからトップまで3段階に自動的に切り替わります。



- 走行中は **[N]** にしないでください。エンジンブレーキが全く効かないため、思わぬ事故の原因になります。

### ■急加速走行

追い越しなど急加速をしたいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、ギヤが自動的に低速ギヤに切り替わります。(これをキックダウンといいます。) このためエンジン回転が上がって急加速ができます。



- 登りでスピードを保つため、アクセルペダルを踏み込んでいくと、キックダウンし、エンジン回転が上がることがあります。

### ■長い下り坂、急な下り坂での走行

長い下り坂や急な下り坂で **[D]** のまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱くスピードが出過ぎてしまうことがあります。こんなときにブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキの効が悪くなるおそれがあります。

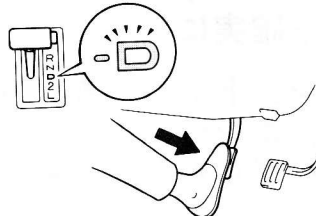
セレクトレバーを **[2]** にして、エンジンブレーキを利用してください。

低速時、より強力なエンジンブレーキが必要な場合は、**[L]** に入れます。

## 一時停止

### ■信号待ちや一時停止

セレクトレバーは走行位置 (**[D]** **[2]** **[L]**) のままブレーキペダルを確実に踏み停車します。そのつど **[N]** にする必要はありません。必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。



### ■停車時間が長くなりそうなとき

セレクトレバーを **[N]** に入れます。このときもブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけたままにしてください。

### ■停止後再発進するとき

セレクトレバーが走行位置 (**[D]** **[2]** **[L]**) にあることを目で確認し、ゆっくりとアクセルペダルを踏んでください。



- 停止中にエンジンの空ぶかしをしないでください。万一セレクトレバーが **[P]**、**[N]** 以外に入ると思わぬ急発進の原因になります。

- 急な登り坂で停車したときは、クリープ現象で車が前に進もうとする力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなりますので、ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキを確実にかけてください。
- 急な坂などの一時停止で **[R]** **[D]** **[2]** **[L]** へ入れ、アクセルペダルを使いながら停止状態を保つことはやめましょう。
- エアコンは温度変化などで断続的に作動します。エアコン作動中は自動的にエンジンの回転が高くなり、車が動きだそうとする力 (クリープ現象) が強くなりますので、ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。

(エアコン装備車)



## 駐車

- 1 ブレーキペダルを踏み、車を完全に停車させます。
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキレバーを確実に引きます。
- 3 セレクトレバーを **P** に入れ、エンジンを止めてブレーキペダルから足を離します。
- 4 エンジンキーを抜きます。



- セレクトレバーが **P** 以外のときは、キーが **ACC** から **OFF** 位置に回らないため、キーを抜くことができません。
- エンジンをかけたまま車から離れないでください。 **D** **2** **L** や **R** に入っているとクリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときなどに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。
- 完全に停車してから **P** に入れてください。車が動いているときに入れると、故障の原因になります。



- 車を少し移動させているときでも、正しい運転姿勢をとって、ブレーキペダルとアクセルペダルがしっかり踏めるようにしましょう。
- 後退時は体を後ろにひねった姿勢になることがあります。ブレーキ操作が確実にできるように注意してください。(セレクトレバーを **R** に入れるとブザーがなります。)
- 少し後退したときなどは、**R** に入っていたことを忘れてしまうことがあります。後退後はすぐに **N** **P** にもどすよう習慣づけ、発進時にはセレクトレバーの位置を必ず目で確認しましょう。
- 前進から後退、後退から前進にセレクトレバーを何度も操作するときは、そのつどブレーキペダルをしっかり踏み、車を完全に止めてから次（前進または後退）の操作を行ってください。





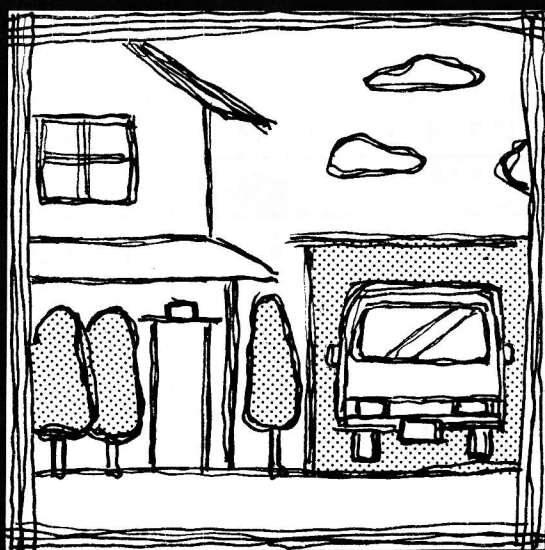




## オートマチック車のトラブルの処置

エンジンの始動や走行時に、万一トラブルが生じたときは下記の方法により対処してください。  
又必要に応じてお買い上げのスズキ販売店又はスズキサービス工場で点検、整備を受けてください。

		対 策
エンジンが始動しないとき		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 燃料計の針位置を確認してください。 キーを <b>OFF</b> から <b>ON</b> にしても指針が全く動かないときは燃料切れです。無鉛ガソリンを補給してください。</li> <li>2 バッテリーが放電しているか又は弱っていることが考えられます。 ヘッドライトを点灯し、暗い場合はバッテリーがあがっています。バッテリーを充電してください。 ⇒ P100 (バッテリーの充電)</li> <li>3 セレクトレバーが <b>P</b> の位置にあることを確認してください。</li> </ol>
エンジンが停止したら	始動直後	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 暖機が不十分です。目安として水温計の針が動き始めるまで充分に暖機してください。</li> </ol> <div>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●エンジン始動後はエンジン回転が高くなります。外気温により異なりますが数分間で暖機が完了し、自動的にエンジン回転が通常のアイドリング近くまで下がります。</li> </ul> </div>
	走行中	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガソリン切れかどうか燃料計で確認します。</li> <li>2 オーバーヒートしていないか水温計を確認します。</li> <li>3 再始動できないときは、もよりのスズキサービス工場へ連絡してください。</li> <li>4 再始動するときは、停車しセレクトレバーを <b>P</b> の位置にしてください。</li> </ol> <div>  <ul style="list-style-type: none"> <li>●ブレーキブースタ(ブレーキ倍力装置)が作用なくなるので、ブレーキペダルを通常より強く踏み、周りの状況に注意して安全な場所に停止してください。</li> <li>●パワーステアリング装備車は、ハンドル操作が重くなります。通常より強くハンドルを操作してください。</li> </ul> </div>



# 点検・整備

運行前点検・6か月点検……………P83

シーズンイン点検……………P95

簡単な整備……………P96



## 点検の項目と順序

●運行前点検と6 か月点検には、それぞれに行うべき項目があります。各点検は、一定の順序ですめるほうが能率的です。下表を参考に点検をしてください。

点検の種類		運行前点検	6 か月点検
		<p>(法令で義務づけられています。 自動車を運転する方が、ご自分で、一日一回運行前に行う点検です。)</p> <p>●印の項目は毎日点検してください。 ◇印は80km/h 以上で走行できる高速道路などを走る予定がない場合には、行わなくてもよい項目です。</p>	<p>(12か月、24か月と並んで、法令で義務づけられた定期点検の一つです。 6 か月点検は、車の装置と構造について、技術的な基礎知識がある方ならご自分でも実施できる点検です。)</p> <p>●印の項目を6 か月ごとに点検してください。</p>
項目			
1 前日の異常箇所 (運行に支障が出ないかチェックします。)		●	
2 運転席に座って		◇ P 85	
ブレーキペダル	踏み込んだときの床面とのすき間	●	●
	踏みごたえ	◇ P 85	
	遊び	◇ P 86	●
パーキングブレーキ	レバーの引きしろ	●	●
クラッチペダル 〈マニュアル車〉	遊び、切れたときの床面とのすき間		●
		◇ P 86	
ミラー	写り具合と汚れ	●	
燃料	量	◇	
ブレーキ液	量	●	●
3 サービスカバーをあけて		◇ P 88	
エンジンオイル	量	◇	
	量と汚れ	◇ P 90	●
冷却装置	水量と水漏れ	◇	
	水量	◇ P 90	●
バッテリー液	量	◇ P 91	●



項 目		点検の種類	運行前点検	6か月点検
[3] サービスカバーをあけて		⇨ P 88		
ベルト	ゆるみ、損傷	⇨ P 91	◇	●
[4] 車の周りをまわりながら		⇨ P 92		
灯火装置、 方向指示器	作用	⇨ P 92	●	
	作用と作動	⇨ P 92		●
反射器	汚れ、損傷	⇨ P 93	●	
ナンバープレート	汚れ、損傷	⇨ P 93	●	
タイヤ	空気圧	⇨ P 93	●	●
	き裂、損傷		●	●
	金属片、石、その他の異物	⇨ P 93	●	●
	溝の深さ、異常な摩耗	⇨ P 94	◇	●
ブレーキホース、パイプ	液漏れ、損傷、取付け状態	⇨ P 94		●
[5] 走行テストをしながら		⇨ P 94		
ブレーキ	きき具合	⇨ P 94		●
			・異常が認められた場合は必ず整備を行ってください。	・6か月点検の結果は所定の記録用紙に記録してください。(2年間保存) ・点検結果の記録用紙(定期点検整備記録簿)は別冊の「スズキ整備手帳」にあります。 ・点検の結果、異常が認められた場合は、ご自身で整備するか、スズキサービス工場で整備を受けてください。



- 静止状態での点検は、安全で平坦な場所を選び、輪止めなどで車が動かないようにしてから行ってください。
- エンジンルーム内の点検は危険ですから、次の部分には充分注意してください。
  - 1) 回転部分 (ベルト、ファン等)
  - 2) 高温部分 (排気管、ラジエータ等)
  - 3) 電気部分 (コード、プラグ等)
- 適切な工具、機械や測定器具を使用してください。

- 換気の悪い屋内や車庫ではエンジンをかけたままにしないでください。
- 車体端部などでケガをしないよう注意してください。
- ラジエータファンは自動的に回転します。ファンの回転部へ手を入れないでください。
- ジャッキアップして点検するときには、適切なジャッキを使用してください。  
(車に備え付けのジャッキは、タイヤ交換時やタイヤチェーンの取り付け時にしか使用できません。)

## ■点検のしかた

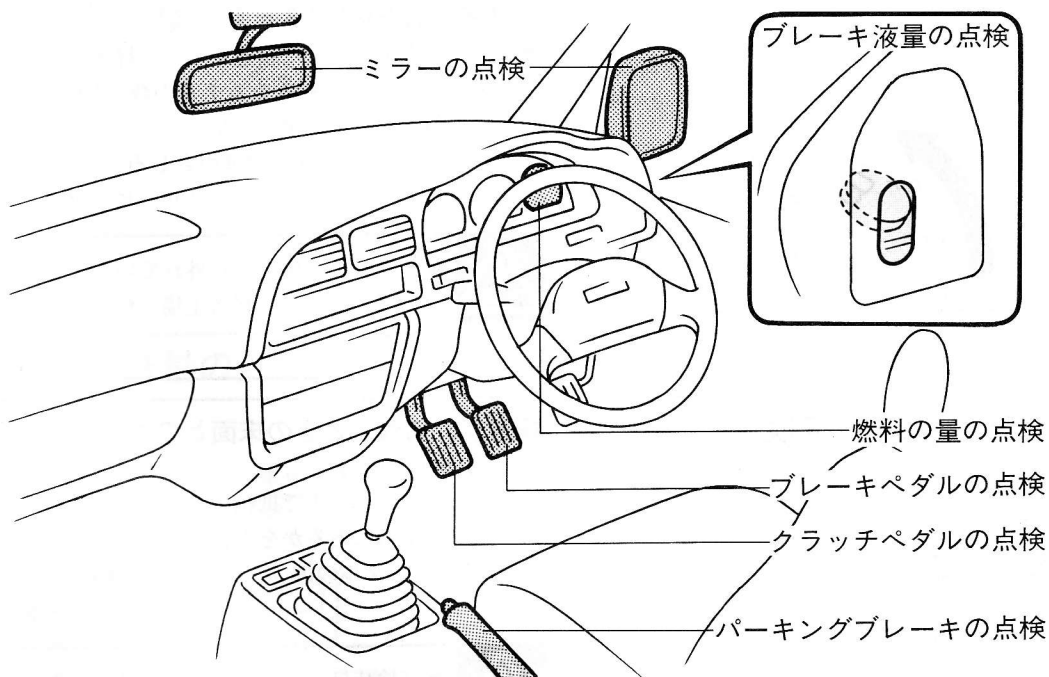
### 1 前日の異常箇所



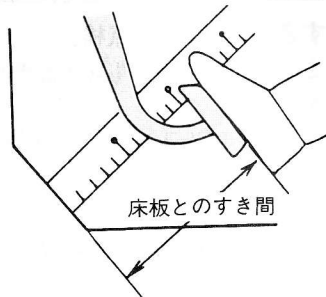
#### ■運行前点検

- 前日の異常箇所を点検し、当日の運行に支障が出ないかをチェックします。

### 2 運転席に座って



#### ブレーキペダルの点検



#### ■踏み込んだときの床面とのすき間、踏みごたえ（運行前点検）（6か月点検）

- エンジンをかけて、ブレーキペダルを2～3回踏み、その後、ブレーキペダルを強く踏み込んで、ペダルと床面のすき間が規定値にあるかをスケールなどで計ります。

また、踏みごたえで、空気の混入も点検します。

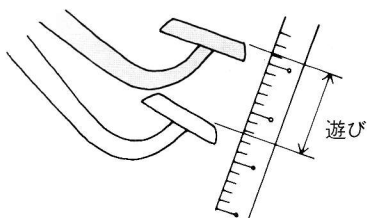
〔ブレーキペダルと床面とのすき間

◇サービスデータ参照〕





## ブレーキペダルの点検



## ■遊び（6 か月点検）

- エンジンを止めて、ペダルを2～3回踏み込みます。その後、ペダルを手で抵抗を感じるまで押し下げ、遊びの量が規定内にあるかをスケールなどで測ります。  
〔ブレーキペダルの遊び〕 ⇨ サービスデータ参照



- 床面とのすき間が少なかったり、踏みごたえがやわらかいときは、ブレーキ液の漏れや空気の混入が考えられます。ブレーキのききが悪くなるおそれがありますので、ただちにスズキサービス工場で整備を受けてください。

## パーキングブレーキの点検



## ■レバーの引きしろ

(運行前点検) (6 か月点検)

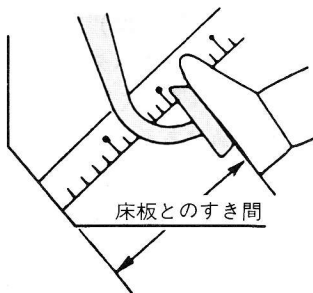
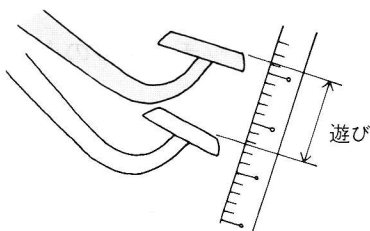
- レバーを完全に戻した状態から、一杯までゆっくり引き上げたときに鳴るカチカチ音の数、(カチ=1ノッチ)で引きしろを点検します。  
〔パーキングブレーキの標準引きしろ〕 ⇨ サービスデータ参照



- ノッチ数が規定から外れているときは、すぐにスズキサービス工場で整備を受けてください。

## クラッチペダルの点検

マニュアル車



## ■遊び、切れたときの床面とのすき間

(6 か月点検)

クラッチペダルを手で抵抗を感じるまで押して、遊びの量が規定内にあるかを点検します。

〔クラッチペダルの遊び、床面とのすき間〕

⇨ サービスデータ参照

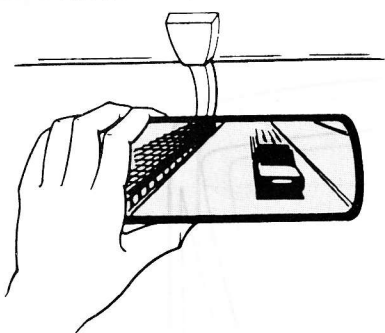


- 点検時は、車が急発進することがありますので十分に注意してください。

## ■床面とのすき間（6 か月点検）

- 1 エンジンを始動し、アイドリング状態でパーキングブレーキをかけます。
- 2 クラッチペダルを踏み込み、ギヤを1速に入れます。
- 3 クラッチペダルを徐々に離してクラッチがつながる直前で、ペダルと床面のすき間が規定内にあるかを点検します。

## ミラーの点検



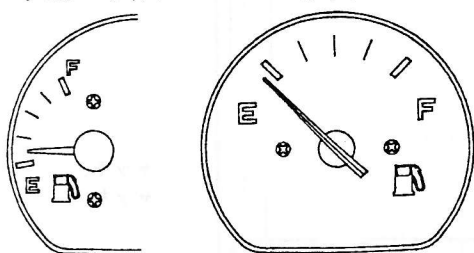
### ■写り具合と汚れ（運行前点検）

- 運転席に正しくすわって、後方や側方が十分に確認できる位置にルームミラーやドアミラーが調節されているかを点検します。また、汚れも点検します。

## 燃料の量の点検

タコメータ付車

標準車



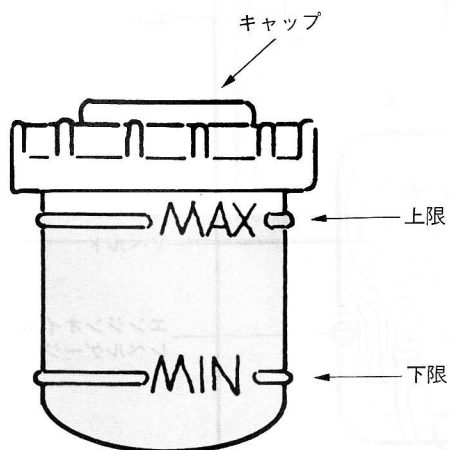
### ■量（運行前点検・◇）

- 燃料計で目的地まで走るのに十分な量かを確認します。燃料の量が少ないときは、無鉛レギュラーガソリンを補給してください。

〔タンク容量

◇サービスデータ参照〕

## ブレーキ液量の点検



### ■量（運行前点検）（6か月点検）

- ブレーキリザーバタンクは、運転席右端にあります。カバーを外して点検を行ってください。
- ブレーキリザーバタンク内の液面が、**MAX** と **MIN** の間にあるかを点検します。
- 液面が **MIN** より下がっている場合は、**MAX** までスズキブレーキフルードを補給します。
- 6か月点検では、上記の点検のほかにタンク周辺から液漏れがないかも目で見、手で触って点検します。



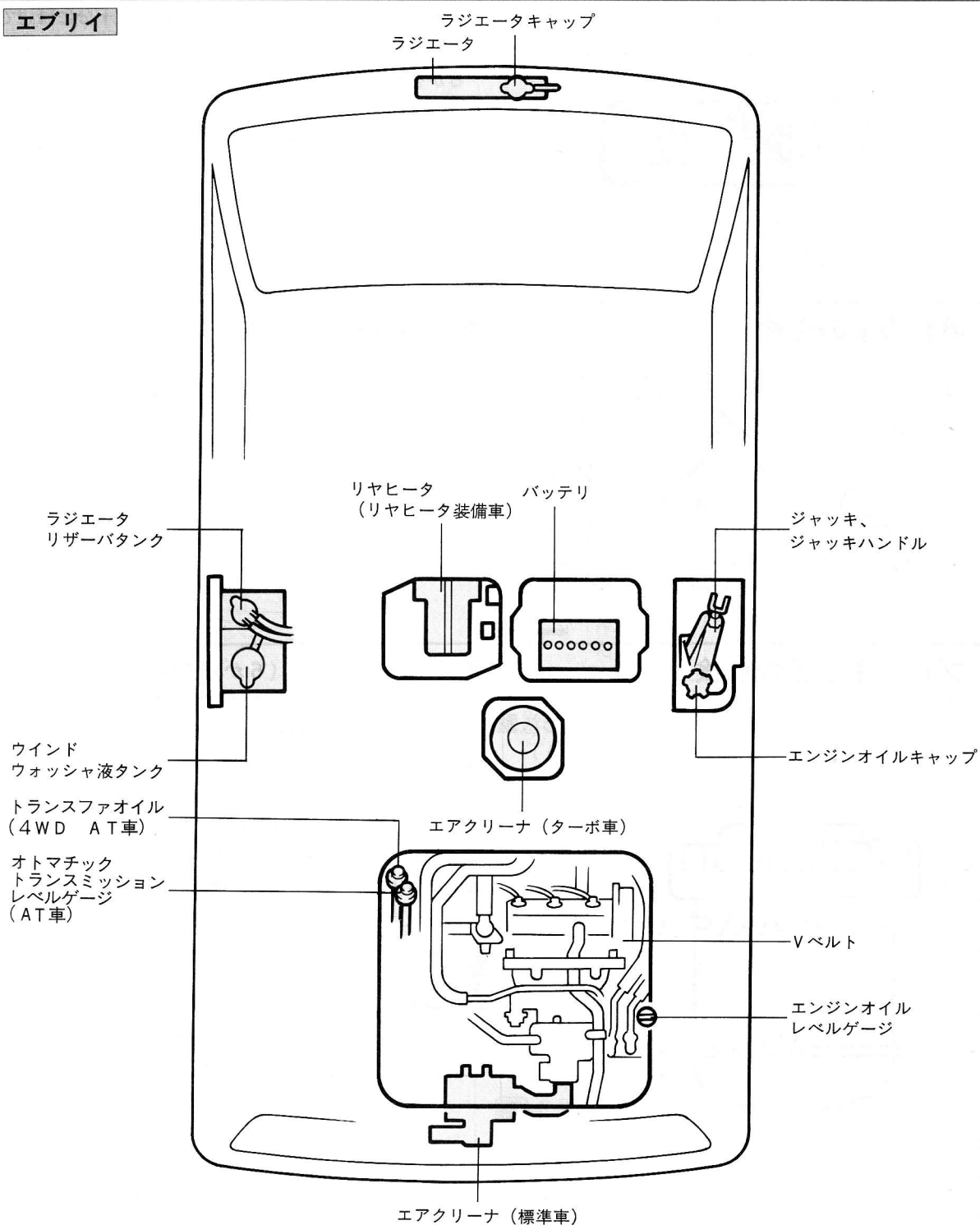
- ブレーキ液の減りがはげしいときは、漏れている場合もあります。早めにスズキサービス工場で点検・整備を受けてください。

（運行前点検・◇）は、80km以上で走行できる高速道路などを走らない場合には、行わなくてもよい項目です。

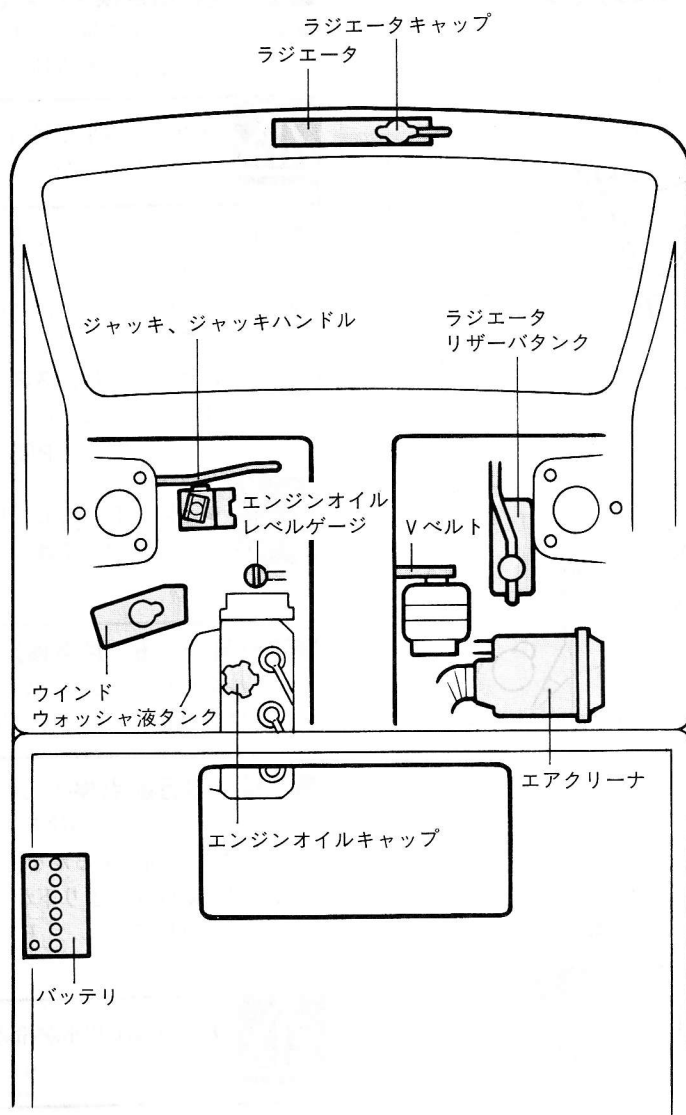


### 3 サービスカバーをあけて

#### エブリイ



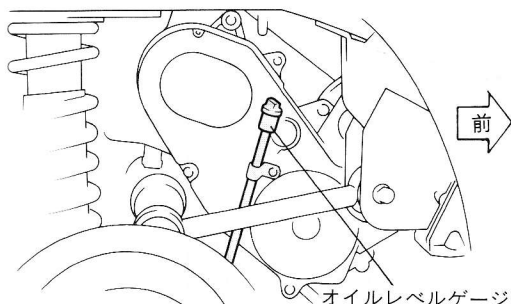
# キャリイ



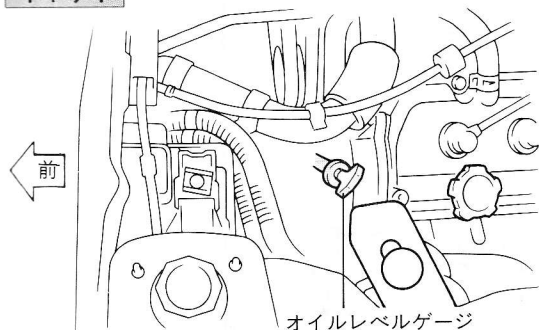


## エンジンオイルの点検

エブリイ



キャリイ

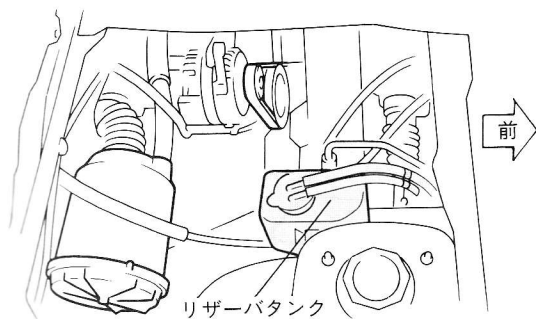


## 冷却装置の点検

エブリイ



キャリイ



## ■量（運行前点検・◇）（6か月点検）

- エンジンオイルの量が、オイルレベルゲージに示された範囲内にあるかを点検します。



- 点検は水平な場所で、エンジン停止後3分以上たってからにしてください。

- 1 オイルレベルゲージを抜き取り、付着しているオイルを拭きます。
- 2 再びもとの穴へいっばいに差し込み、もう一度静かに抜いてゲージに付いたオイルを調べます。
- 3 下限に近いときは、スズキエクスターオイルを上限まで補給してください。

⇨ P98（エンジンオイルの補給）



- 上限 **FULL** 以上にオイルを補給するとエンジン不調の原因になることがあります。

## ■汚れ具合（6か月点検）

- オイルレベルゲージについているオイルを手で触るか布に附着させて、ねばりや汚れ具合を点検します。

## ■水量（運行前点検・◇）（6か月点検）

- リザーバタンク内の冷却水の量が、**FULL** と **LOW** の間にあるかを点検します。
- 液面が **LOW** より下がっていたら、リザーバタンクのキャップを外し、**FULL** まで冷却水を補給してください。

⇨ P96（冷却水の補給）



- 点検は冷却水が冷えているときに行ってください。

## ■水漏れ（運行前点検・◇）

- ラジエータ、ラジエータホースから水漏れがないかも点検します。また、車を止めておいた地面に水漏れのあとがないかも調べます。



- 水漏れがあるときは、スズキサービス工場 で整備を受けてください。



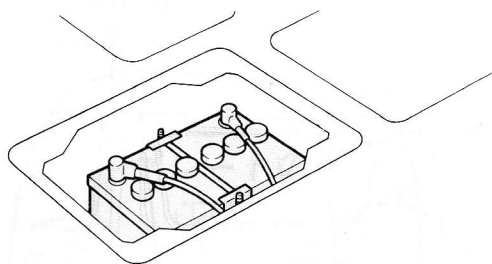
- 冷却水は、四季を通じてスズキクーラントをお使いください。

（運行前点検・◇）は、80km以上で走行できる高速道路などを走らない場合には、行わなくてもよい項目です。

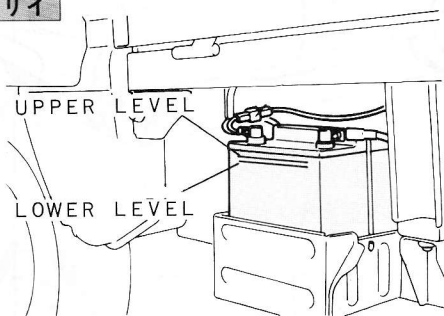


## バッテリー液の点検

エブリイ



キャリイ



## ■量（6か月点検）

エブリイ

- バッテリーは、リヤシート下方のバッテリーボックスの中にあります。

キャリイ

- バッテリーは、車両左側の荷台下・中央にあります。

**1** バッテリー液面が各槽とも **UPPER LEVEL** と **LOWER LEVEL** との間にあるか見て点検します。

**2** バッテリー液が不足しているときは、バッテリー補充液（蒸留水）を補給します。

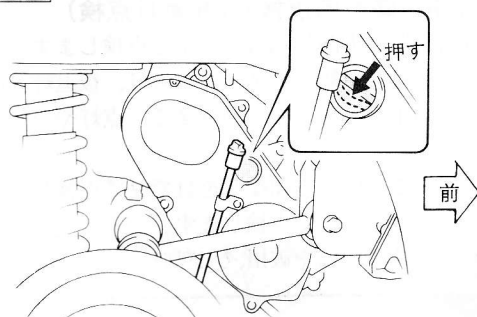
⇨ P99（バッテリー液の補給）

※MF（メンテナンスフリー）バッテリーは、液量定期点検の必要がありません。バッテリー上部のインジケータで、充電状態の良否の判断が行えます。

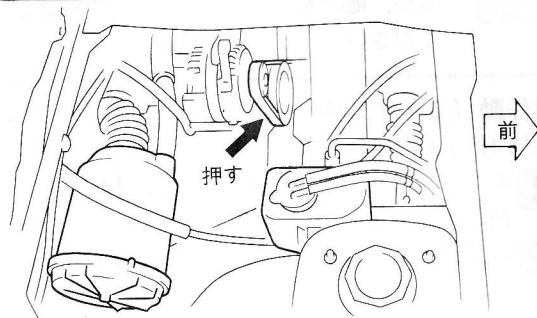
⇨ P100（バッテリーの充電）

## ベルトの点検

エブリイ



キャリイ



## ■ゆるみ、損傷

（運行前点検・◇）（6か月点検）

- ベルトの中央を指で押したときのたわみ量とベルトに傷やひび割れがないか点検します。

〔ベルトの標準たわみ量 ⇨ サービスデータ参照〕

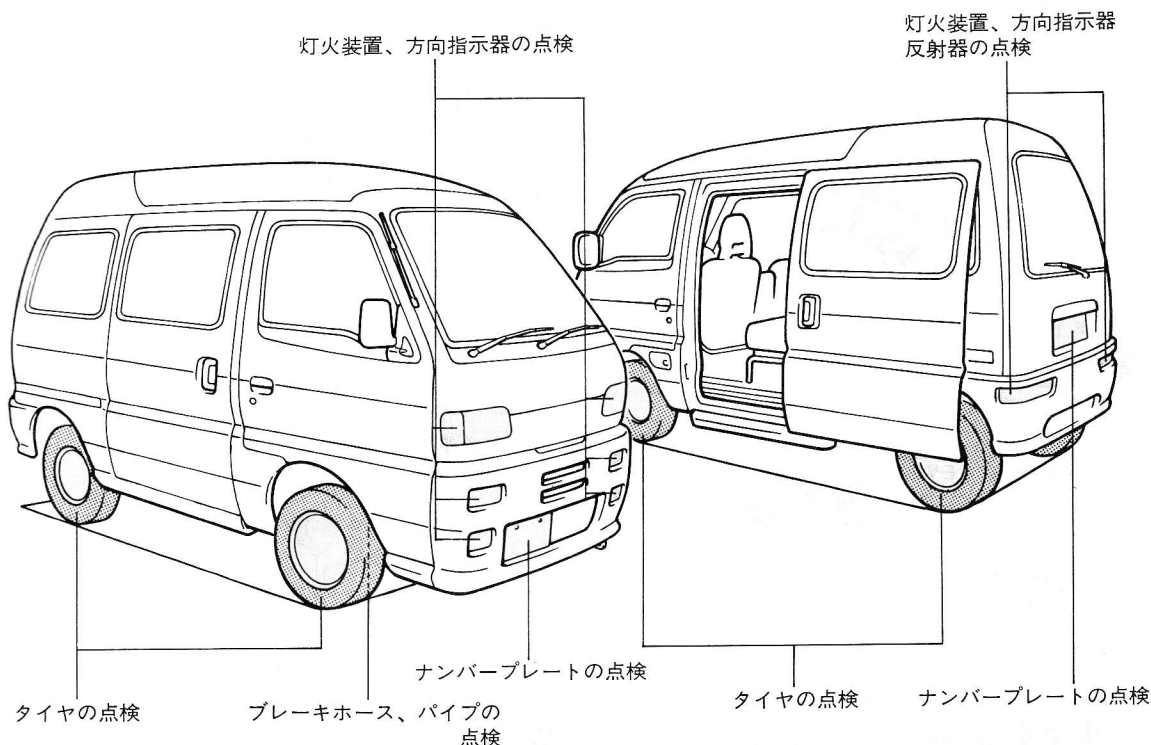


- ベルトの張りが適正でないと、充電不足やオーバーヒート、異音などの原因となります。

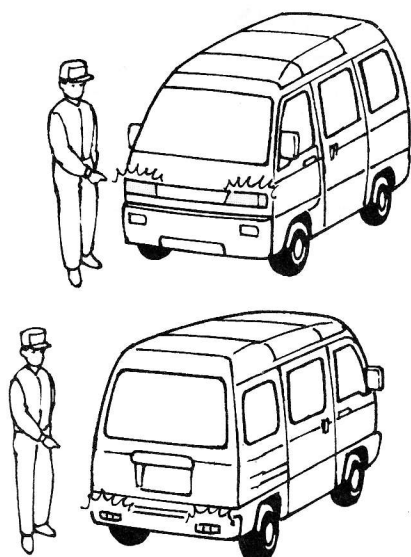
（運行前点検・◇）は、80km以上で走行できる高速道路などを走らない場合には、行わなくてもよい項目です。



## 4 車の周りをまわりながら



## 灯火装置、方向指示器の点検



## ■作用（運行前点検）（6か月点検）

●灯火装置と方向指示器の作用を点検します。

- 1 前照灯、車幅灯、尾灯、番号灯、後退灯、制動灯、方向指示器などを作動させて、点灯や点滅を点検します。
- 2 明るさや照射方向などを目で見えて点検し、取り付け状態をさわって点検します。
- 3 レンズに変色や破損、ひび割れがないか点検します。



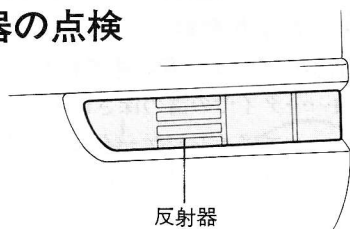
●制動灯などの点検は、壁やミラーを利用するか、他の人に見てもらうなどで確認してください。

## ■作動（6か月点検）

●方向指示器の作動も調べます。

- 1 エンジンスイッチを **ON** にし、方向指示器を作動させます。
- 2 毎分60～120回の一定した周期で点滅するか点検します。

## 反射器の点検

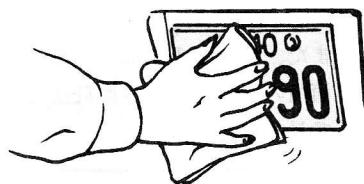


反射器

### ■汚れ、損傷（運行前点検）

- 反射器に汚れや損傷がないかを点検します。汚れているときは清掃してください。

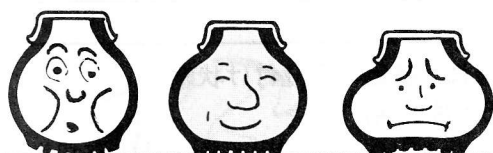
## ナンバープレートの点検



### ■汚れ、損傷（運行前点検）

- ナンバープレートに汚れや損傷がないか、また、番号などが明りょうに表示されているかを点検します。汚れているときは、汚れを落としてください。

## タイヤの点検



過多

適正

不足

### ■空気圧（運行前点検）（6か月点検）

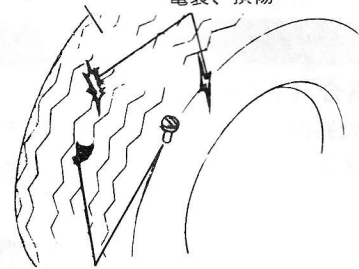
- 運行前点検……タイヤの接地部のたわみ状態を目で見えて、空気圧の適否を判断します。
- 6か月点検……タイヤゲージで空気圧が規定値か測ります。

〔標準空気圧表 ⇨運転席ドア付近に貼付〕



- 空気圧は、タイヤが冷えているときに測ってください。
- 走行直後は、標準空気圧より高いのが普通です。減らさないでください。
- スペアタイヤの空気圧は0.2kg/cm<sup>2</sup>くらい高めにしておき、使用するときは規定値に調整してください。
- タイヤゲージはもよりのスズキ販売店または代理店で求めください。

異常な摩耗 亀裂、損傷



石、釘などの異物

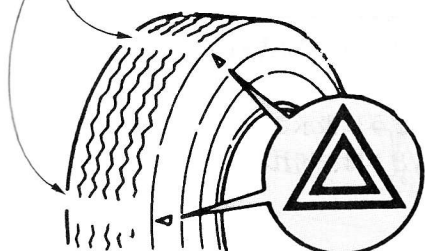
### ■き裂、損傷、金属片、石、その他の異物（運行前点検）（6か月点検）

- タイヤの接地面の全周と両側面に、き裂や損傷がないか点検します。
- 釘やその他の異物がささったり溝に石などがかみ込んでいないかを目視や手で触って点検します。



## タイヤの点検

ウェアインジケータがこのような  
現われたら交換



ウェアインジケータ  
の位置を示すマーク  
(6か所)

### ■溝の深さ、異常な摩耗

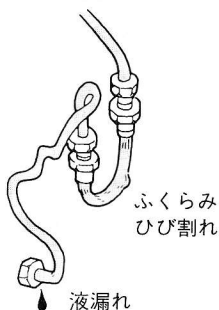
(運行前点検・◇)(6か月点検)

- 運行前点検……タイヤの溝の深さに不足がないかをウェアインジケータにより点検します。  
また、異常な摩耗がないかも点検してください。
- 6か月点検……ウェアインジケータ又はディプスゲージ等により溝の深さが1.6mm以上あるかを点検します。  
また、タイヤの全周の片減りや特定箇所箇所の摩耗、段付き摩耗がないかを目で見て確認します。



- ウェアインジケータ(溝の深さが1.6mm以下になったら現れます)が現れたらスリップしやすくなり危険ですからタイヤを交換してください。

## ブレーキホース、パイプの点検



### ■液漏れ、損傷、取り付け状態

(6か月点検)

- 1 ハンドルを左と右にそれぞれいっぱいに切ります。
- 2 フロントブレーキのホースや接続部に液漏れ、損傷、ふくらみがないかを調べます。
- 3 ブレーキホースが車体やその他の部分と接触していないかを見たり、手で触ったりして確認します。

## 5 走行テストをしながら

### ブレーキの点検



### ■きき具合(6か月点検)

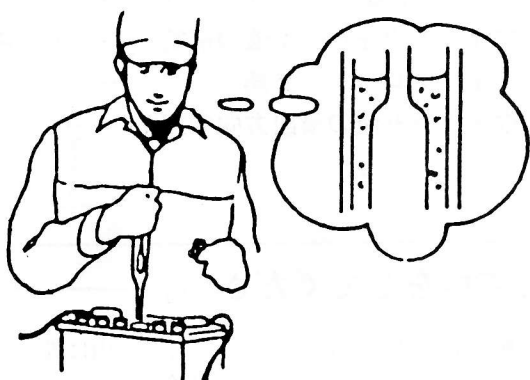
- 乾燥した路面で低速走行してブレーキテストを行いブレーキのききが十分か、ブレーキが片ぎきしてハンドルをとられないかを点検します。

(運行前点検・◇)は80km以上で走行できる高速道路などを走らない場合には、行わなくてもよい項目です。



## 夏期に入る前に次の点検をしましょう。

〔5～6月頃（外気温20℃以上を目安）に実施〕



## □お客様ご自身で行えます。

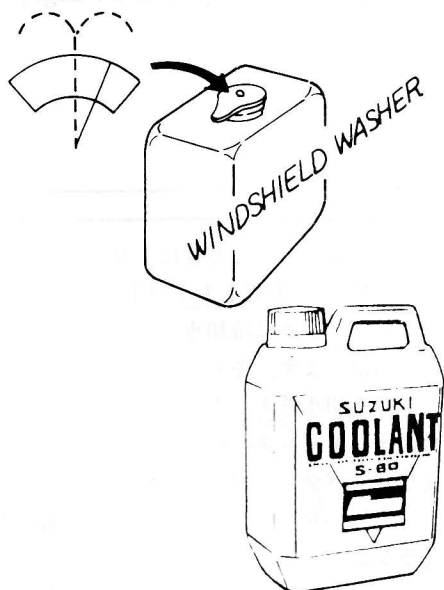
- バッテリー液が減少していないか、点検してください。  
P99（バッテリー液の補給）参照
- ラジエータのフィンに虫やゴミ等が付着していないか点検してください。

## □スズキサービス工場に依頼してください。

- バッテリーの充電状態の点検を、受けてください。
- アイドリング回転が適正か、点検を受けてください。

## 冬期に入る前に次の点検をしましょう。

〔10～11月頃（外気温20℃以下を目安）に実施〕



## □お客様ご自身で行えます。

- バッテリー液が減少していないか、点検してください。  
P99（バッテリー液の補給）参照
- ウィンドウォッシャ液の濃度を車両の使用地温度に合わせて濃くしてください。

P102（ウィンドウォッシャ液の補給）参照

- タイヤチェーン、スノータイヤ又はスタッドレスタイヤ等の点検、準備をしてください。

P120（タイヤチェーンのつけ方）参照

- 必要に応じて、凍結防止用のワイパブレード（スノーブレード）に交換してください。

P102（ワイパブレードの交換）参照

## □スズキサービス工場に依頼してください。

- バッテリーの充電状態の点検を、受けてください。
- アイドリング回転が適正か、点検を受けてください。
- 冷却水のクーラント濃度が適正か、点検を受けてください。







冷却水の補給 .....	P 96
エンジンオイルの補給 .....	P 98
エンジンオイル オイルフィルタの交換 .....	P 98
バッテリー液の補給 .....	P 99
バッテリーターミナルの清掃 .....	P 99
バッテリーの充電 .....	P 100
オートマチックトランスミッションオイル・ トランスファオイルの点検 .....	P 100

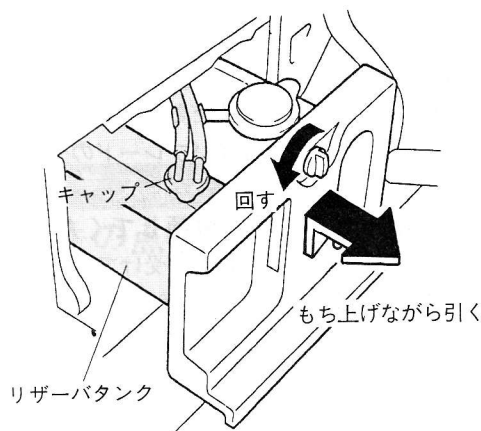
スパークプラグの清掃、交換 .....	P 101
エアクリーナエレメントの 清掃、交換 .....	P 101
ウインドウォッシャ液の補給 .....	P 102
ワイパブレードの交換 .....	P 102
ウォッシャ液の噴出方向の調整 .....	P 102

## 次のことに注意し、整備と点検をしてください。

- 安全で平坦な場所で行ってください。
- 適切な工具を使用し、安全作業に努めてください。
- エンジンは停止して行ってください。
- 整備するときは、車の端部などでケガをしないように注意してください。
- 車輪には輪止めをし、パーキングブレーキを確実にかけて車が動かないようにして行ってください。(輪止めはもよりのスズキ販売店、代理店でお求めください。)
- 整備するときはエンジンルーム内の高熱部や冷却ファンに十分注意して行ってください。

- 取り外した部品は、エンジンルーム内に置かないでください。万一落とすと危険です。
- 車両をジャッキアップするときは、適切なジャッキを使ってください。付属のジャッキはタイヤ交換にのみ使うものです。  
万一ジャッキが外れると大変危険です。ジャッキアップした車の下に入ったり、車をゆすったり、そのまま放置しないでください。

## 冷却水の補給

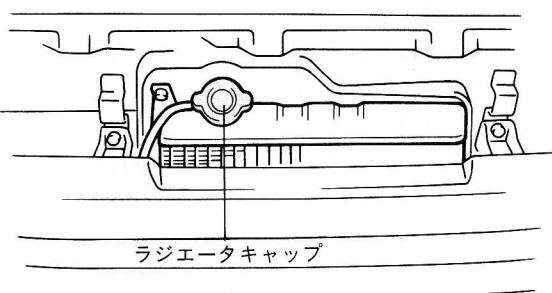
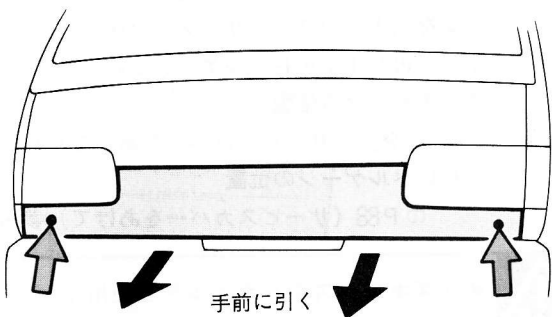


- 1 冷却水が冷えているときに、リザーバタンクのキャップを外し、**FULL** (上限) まで補給します。
- 2 リザーバタンクに冷却水がないときは、ラジエータにも補給します。キャップを外し、ラジエータの口元まで冷却水を入れます。
- 3 補給後はキャップを確実に取り付けます。  
〔リザーバタンクの位置〕  
⇨ P 88 (サービスカバーをあけて) 参照  
〔ラジエータの位置〕  
⇨ P 88 (サービスカバーをあけて) 参照



- カバーを開けるときは、ノブを左に回してから、カバーの中央部を持ち少し上に持ち上げ気味に手前に引いてください。  
ノブを持ったままで、カバーを開けないでください。

## 冷却水の補給



- ラジエータに冷却水を補給するときは、フロントパネルをはずして行います。

### ＜フロントパネルのはずし方＞

- 1 車内側にある2ヵ所（●印の位置）のクリップをはずします。
- 2 パネルの下部を手前に引いて、取りはずします。



- パネルの端部などでケガをしないよう注意して作業してください。



- 冷却水は **FULL** 以上に補給しないでください。

- 通常はラジエータキャップを外さないでください。

- ラジエータキャップを外すときは、エンジンが冷えていることを確かめた後、行ってください。冷却水の温度が高いときにラジエータキャップを外すと、蒸気や熱湯が吹き出して思わぬやけどをする危険があります。
- ラジエータキャップは確実に締めてください。
- 指定以外のクーラントや井戸水など水道水以外の不適当な水を使うと、エンジン内部が腐食する原因になります。
- クーラントは化学製品です。他銘柄のクーラントと混ぜて使わないでください。



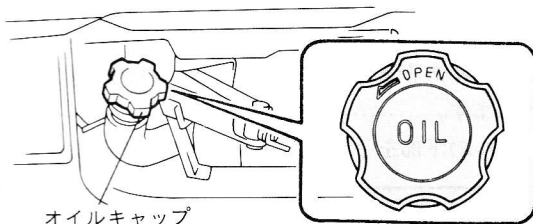
- 冷却水には四季を通じて純正の**スズキクーラント**を配合して使用してください。混合割合は、車を使われる地域の最低気温により異なります。

	不凍液濃度	凍結温度の目安
通常	30%	-15℃
寒冷地	50%	-35℃

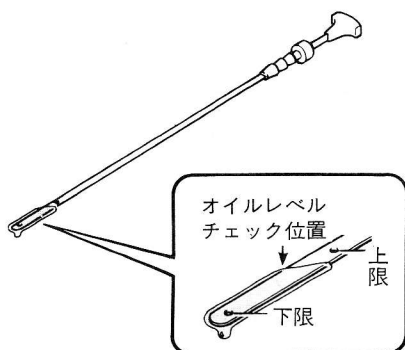
- 冬期に入る前のクーラント濃度の点検及び冷却水の交換は、お買い上げのスズキ販売店又は代理店へお申しつけください。



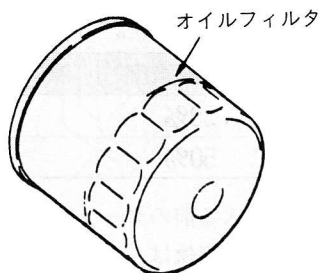
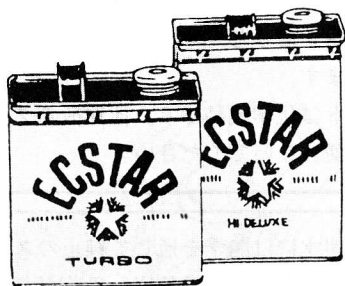
## エンジンオイルの補給



オイルキャップ

オイルレベル  
チェック位置上限  
下限

## エンジンオイル、オイルフィルタの交換



オイルフィルタ

- 1 注入口のキャップを取り外し、オイルレベルゲージで油量を確かめながら上限まで補給します。
- 2 エンジンを約1分間アイドリングした後、エンジンを停止し、再度オイルレベルゲージで確認します。  
〔オイルキャップの位置〕  
□P88（サービスカバーをあけて）参照  
〔オイルレベルゲージの位置〕  
□P88（サービスカバーをあけて）参照



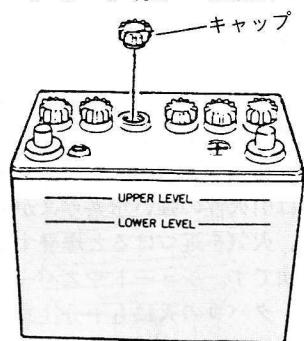
- スズキエクスターオイルをご使用ください。
- 作業は平坦な場所で行ってください。
- オイルの量は上限を越えないようにしてください。
- キャップは確実に締め付けてください。
- オイル注入口からゴミなどが入らないようご注意ください。
- オイルをこぼしたときは、完全に拭き取ってください。

- エンジンオイル、オイルフィルタの交換は、お買い上げの販売店又はスズキ代理店へお申しつけください。  
〔エンジンオイルの容量・交換時期、オイルフィルタの交換時期〕  
□サービスデータ参照

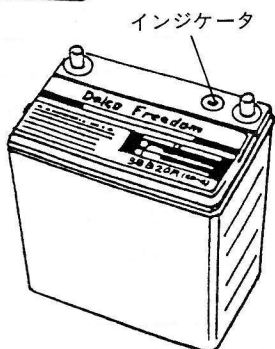


- スズキエクスターオイルをご使用ください。
- 寒冷地の極寒時（ $-20^{\circ}\text{C}$ 以下になるとき）にはスズキエクスターオイルハイスーパーデラックス（5W-30）のご使用をおすすめします。
- ターボ仕様にはスズキエクスターオイルターボをおすすめします。
- スズキ純正オイルフィルタをご使用ください。
- オイルフィルタを交換するときは、エンジンオイルも同時に交換してください。

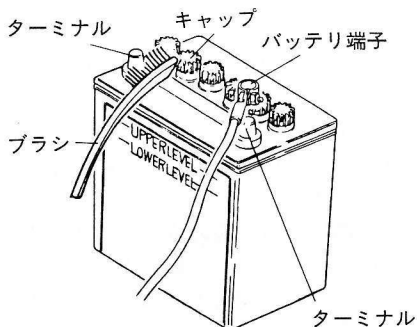
## バッテリー液の補給



MFバッテリー



## バッテリーターミナルの清掃



- バッテリー端子は、取り外しは必ずマイナス側から、取り付けは必ずプラス側から行ってください。
- ターミナル部にゆるみがないよう確実に締め付けてください。

- バッテリー液は **UPPER LEVEL** (上限)と、**LOWER LEVEL** (下限) の間にあれば正常です。不足している場合は補給してください。

1 キャップを外し、各槽ごとに上限までバッテリー補液 (蒸留水) を補給します。

2 補給後は確実にキャップを締めます。

[バッテリーの位置]

◇ P88 (サービスカバーをあけて) 参照)



- 必ずエンジンを止めて作業してください。
- バッテリー液の減り方が激しいときは、ズキサービス工場で点検・整備を受けてください。

## MF (メンテナンスフリー) バッテリー

- 補水の必要がありません。
- バッテリー上部のインジケータの色で良否を判断します。

◇ P100 (バッテリーの充電)

- ターミナル部に汚れや腐食があるときは清掃します。
- ターミナル部に白い粉がついているときは、ぬるま湯で清掃するとよく落ちます。
- ターミナル部が激しく腐食しているときは、バッテリー端子を取り外して、ワイヤブラシ、サンドペーパーで磨きます。

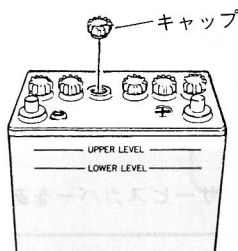


- 作業は必ずエンジンを停止して行ってください。

- バッテリーを取り扱うときは、ショートによる火花や火気に注意してください。バッテリーから出るガスに引火し爆発の危険があります。
- バッテリー液は希硫酸です。腐食性が大きく金属を腐食させたり皮膚炎を起こさせたり非常に危険です。人体、衣服、車などに付けないよう取り扱いに注意してください。もし、目や皮膚についたときはただちに多量の水で洗浄して、専門医の治療を受けてください。
- エンジン回転中にバッテリー端子を外すと故障の原因となります。必ずエンジンを止めてから端子を外してください。



## バッテリーの充電



MFバッテリー



- 1 車からバッテリーを取り外してください。
- 2 バッテリーキャップを全て外してください。
- 3 充電器とバッテリー端子は⊕ケーブルと⊕端子、⊖ケーブルと⊖端子を接続して充電します。



●バッテリーからは引火性の強い水素ガスが発生しています。火気を近づけると爆発するおそれがあり非常に危険です。ショートやスパークをさせないよう、また、タバコの火にも十分注意してください。換気も十分に行ってください。

MF（メンテナンスフリー）バッテリーは、バッテリー上部のインジケータで充電状態の良否を判断します。

緑色……………良好

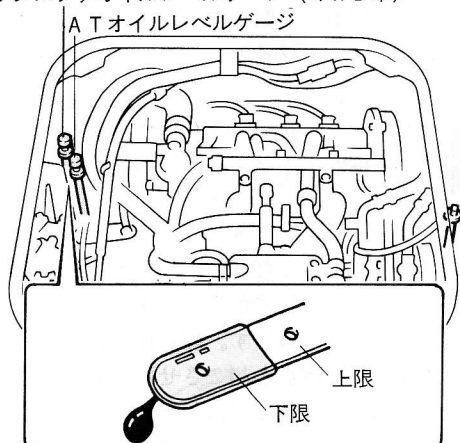
暗灰（黒）色…要充電

白色……………要バッテリー交換

黒色又は白色のときは、スズキサービス工場にご相談ください。

## オートマチックトランスミッションオイル・トランスファオイル（4WD車）の点検

トランスファオイルレベルゲージ（4WD車）



〔オイルレベルゲージの位置〕

◇P88（サービスカバーをあけて）参照〕



●ATオイルとトランスファオイルを絶対に間違えないで入れてください。トランスファオイルのレベルゲージにはゲージの頭に（ギヤ）がはり付けてあります。

### ■ATオイルの点検

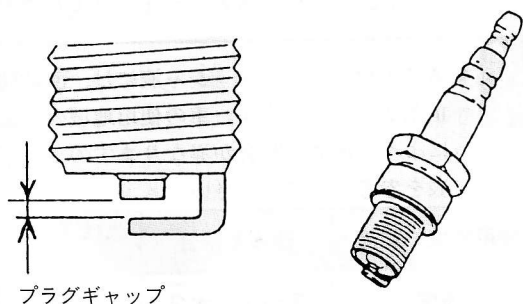
- 1 20～30分走行し、エンジンとミッションを暖機します。
- 2 車を水平な場所に止め、パーキングブレーキレバーを確実に引きます。
- 3 ブレーキを踏んだまま、セレクトレバーを [P] から [L] まで一通り切り替えた後、[P] レンジにします。
- 4 アイドリング状態のままレベルゲージを抜き、ペーパータオルで拭いてからいっぽうに差し込み、再び引き抜きます。
- 5 ゲージ先端についた液の位置を確認します。イラスト [上限] と [下限] の範囲内にあれば適切です。不足のときは、ATオイルスペシャル（ATF5D06）をレベルより入れ過ぎないように注意して補給してください。

### ■トランスファオイルの点検

- 1 レベルゲージを抜き、ペーパータオルで拭いてからいっぽうに差し込み、再び引き抜きます。
- 2 ゲージ先端についた液の位置を確認します。イラスト [上限] と [下限] の範囲内にあれば適切です。不足のときは、スズキ4輪ギヤオイル 75W-90 をレベルより入れ過ぎないように注意して補給してください。



## スパークプラグの清掃、交換



### ■清掃

- ワイヤブラシ等で行い清掃後、電極の損傷、焼け具合プラグガセットの損傷などを点検し、電極すき間の調節を行ってください。

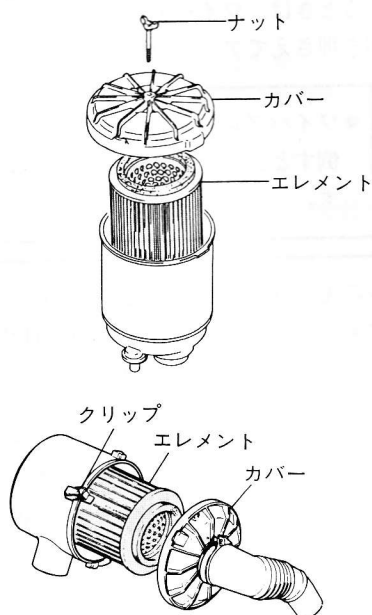
### ■交換の手順

- 1 スパークプラグキャップを外し、プラグレンチをスパークプラグに差し込み、左に回して取り外します。
- 2 指定のスパークプラグと交換します。新しいスパークプラグは手で取り付け、座にあたるまでねじ込んで、プラグレンチで半回転～3/4回転締め付けます。
- 3 プラグにコードを確実に取り付けます。  
〔スパークプラグギャップ（火花間隙）、適応スパークプラグ（熱価）〕 ⇨ サービスデータ参照



- プラグキャップを取り外すときは、キャップ部分を持って抜き取ってください。コードを引くと故障の原因になります。交換するときは、必ず指定のスパークプラグをご使用ください。
- プラグキャップのブーツ類は確実に取り付けてください。

## エアクリーナエレメントの清掃、交換



- 1 エアクリーナ本体より、エレメントを取り外します。
- 2 エレメントを傷つけないように軽くたたか又は、圧縮空気でホコリなどを吹き飛ばして清掃します。  
〔エアクリーナの位置〕  
⇨ P88（サービスカバーをあけて）参照



- ホコリの多い地区では、清掃、交換を早めに行ってください。

〔エアクリーナエレメントの交換時期〕

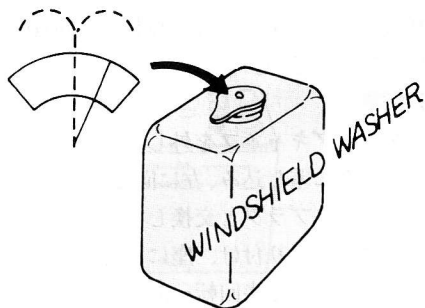
⇨ サービスデータ参照



- 取り外したカバーやナットを、エンジンルーム内に置いたままエンジンをかけると、ケガをしたり部品が破損するおそれがあります。



## ウインドウォッシャ液の補給



- 液が空のまま使用すると、ポンプが破損するおそれがあります。
- キャップについている穴が詰まると、噴出不良を起こします。液の出かたが悪い場合はこの穴も点検してください。
- 石けん水や不凍液、粗悪品などを使用すると、塗装面のしみなどの原因となります。

- ウォッシャタンクのキャップを開け、ウォッシャ液を入れて水で薄めます。
- 液量はウォッシャタンクを目視で確かめます。  
〔ウォッシャタンクの位置〕  
□ P88（サービスカバーをあけて）参照

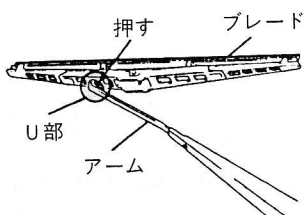


- スズキウインドウォッシャ液には、凍結防止剤が入っています。車の使用地域の気温によって薄める割合が異なりますので、下表を参考にしてください。

使用地域・季節	薄める割合	凍結温度の目安
通常	原液 1 に水 2	-10℃
寒冷地の冬期	原液 1 に水 1	-20℃
極寒冷地の冬期	原液のまま	-30℃

※使用するウォッシャ液により薄める割合が異なる場合があります。

## ワイパブレードの交換

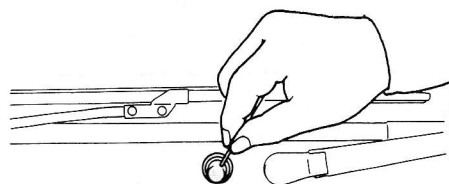


- ブレードが傷んでいると、拭きむらができ、危険な場合がありますので、早めの交換をしてください。
- 交換するときは、ワイパーアームを起こし、アーム先端のU部を押さえてアームの根本側に外し交換します。



- ワイパブレードを取り外したままアームを倒すと、ガラスに傷を付けることがあります。

## ウォッシャ液の噴出方向の調整



- ノズルの先に針を軽く差し込み、ノズルの向きを変えて、ウォッシャ液がウインドにあたる位置を調整します。



# 車のお手入れ

## 車をいつまでも美しく保つために

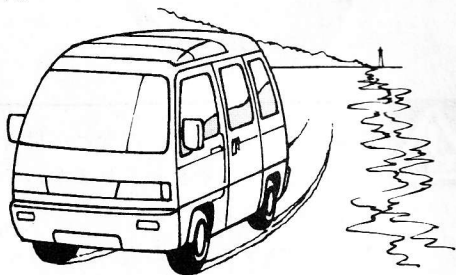
- 普段のお手入れの他、定期的に洗車やワックスがけをしましょう。
- 思わぬ不良箇所を発見できることもあります。
- 駐車、保管は風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- 屋外に駐車するときは、ボディーカバーを使用しましょう。

## ■ボディー、塗装面のお手入れ

- 塗装面に付着したホコリは、毛ばたきなどではらい落とすか、やわらかい布ですりキズのつかないように注意してふきとってください。



- 飛び石やかき傷などによる塗装の傷はサビの原因となります。早目に補修してください。
- スズキ純正タッチアップペイントをおすすめします。
- 次のようなときは必ず洗車してください。
  - ・ 海岸地帯を走行したとき。
  - ・ 凍結防止剤を散布したとき雪道を走行したとき。
  - ・ コールタール、鳥のふん、樹液、虫の死がい、ばい煙などが付着したとき。
  - ・ ホコリや泥などでひどく汚れたとき。
  - ・ 雨に降られたとき（とくに酸性雨の可能性があるとき）。



## ■洗車のしかた

- 1 車の下回りについている汚れを洗います。
- 2 ボディー上部から十分に水をかけながら、スポンジ又はセーム皮などで汚れを洗い落とします。
- 3 汚れがひどいときは、中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 4 塗装面にはん点が残らないように、柔らかい乾いた布で十分に水を拭き取ります。



- 洗車するときは、ウインドガラスを全部閉めて、ラジオのアンテナは納めておきましょう。

- パーキングブレーキも確実に引いてください。
- エンジンルーム内の電気部品には水をかけないでください。
- リヤフロアに直接水をかけて洗車しないでください。サービスカバーから水が浸入し、エンジントラブルの原因となることがあります。
- 中性洗剤を使ったあとは、よく水洗いをして塗装面に洗剤が残らないようにしてください。塗装面のシミの原因となることがあります。
- 自動洗車機を利用すると、ときによりブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- エンジンオイル、グリースなどが付着すると、変色やシミなどの原因になります。十分注意してください。



- 下回りを洗うときは、手にケガをしないようにゴム手袋などをはめてください。



# 車のお手入れ

## ■ワックスのかけ方



- 車体表面が体温(36℃)以下のときに直射日光が当たらない場所で行ってください。
- コンパウンドの入っているワックスは、使用しないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

- ワックスは**スズキ純正ワックス**をおすすめします。
- 月に1~2回又は水をはじかなくなったときに行ってください。
- 洗車後ボディに残っている水分は、柔らかい布かセーム皮できれいに拭き取ります。
- ワックスのかけ方は、ワックス容器に付属の説明書をよく読んで、その手順に従ってください。



## ■樹脂部品のお手入れ

- バンパなどが汚れたときは、スポンジ又はセーム皮などで汚れを洗い落とします。
- ワックスは使用しないでください。塗装面用のワックスが付着すると、目地に入り、白くなる場合があります。
- 硬いタワシなどを使用すると樹脂部品の表面にキズがつくことがあります。
- エンジンオイルなどの油分が付着したときは、アルコールを用いやすい布でふきとってください。

## ■カーペット、シート(布地)のお手入れ

- 小さなゴミやホコリは、電気掃除機で吸い取ります。
- 飲食物その他のシミは、家庭用品に準じた方法で取り除きます。
- 洗剤は高級アルコール系合成洗剤又は中性合成洗剤と表示してあるものを使用してください。
- 油污れ(グリース、エンジンオイル、靴クリーム化粧品など)は、ガーゼにベンジンを含ませて軽くたたくようにして拭き取ります。

## ■リヤウインドのお手入れ

(リヤデフォッグ装着車)

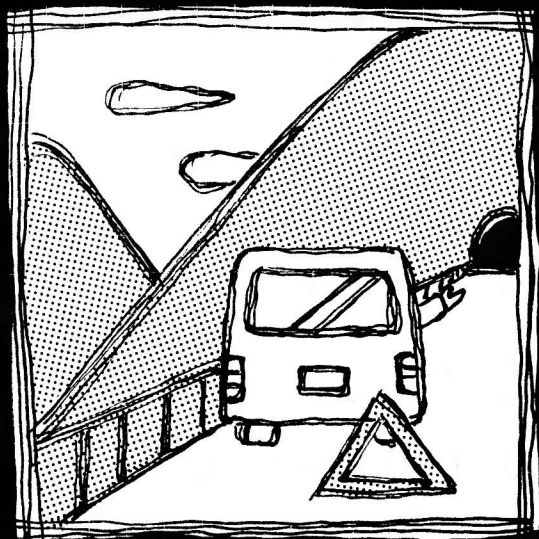
- リヤウインドガラス内側を清掃するときは、柔らかい布などで横方向に拭いてください。
- ガラスクリーナなどは使用しないでください。また、熱線のコードや端子にも注意してください。

## ■アルミホイールのお手入れ

- 洗剤は中性洗剤を使用してください。
- アルミホイールは傷がつきやすいため、スポンジ又はセーム皮を使用してください。
- 最後は十分水洗いをしてから、車体と同じワックスを使ってワックスをかけしてください。



- 凍結防止剤、海水、泥などが付着した場合は腐食のおそれがありますので、早めに洗い落としてください。
- ワイヤブラシ、砂の入った石けん、自動洗車機など使用すると傷がつくことがあります。



# 万一のとき

工具とジャッキ	P106
タイヤ交換をするとき	P107
路上で故障したとき	P110
踏切でエンストしたとき	P111
けん引について	P112
バッテリーがあがったとき	P113
オーバーヒートしたとき	P114
フューズが切れたとき	P114



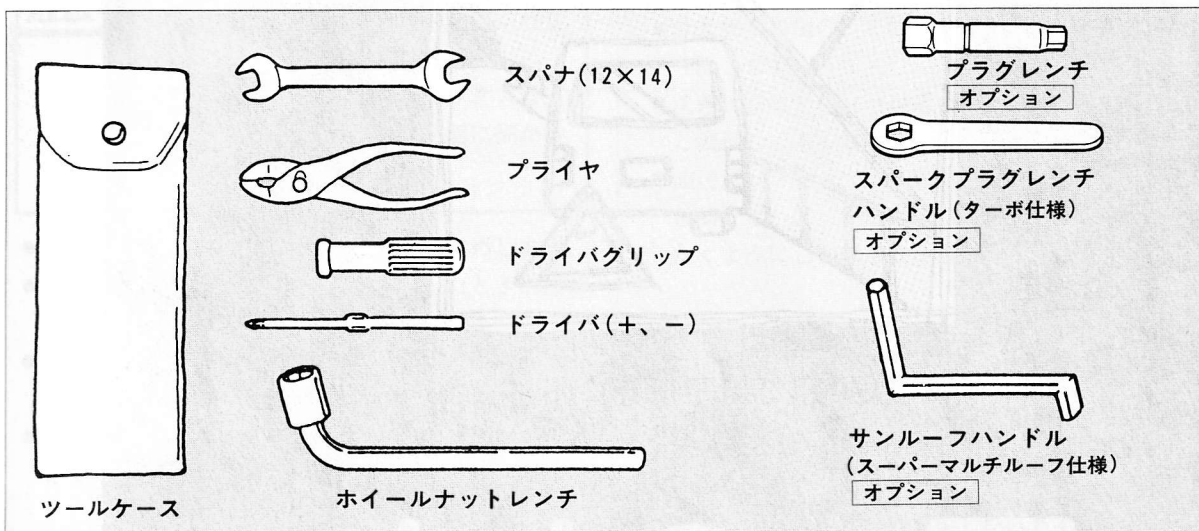


万一のとき

## 工具とジャッキ

### ■工具

- 車に付属のツールケース（工具袋）には次の工具が入っています。グローブボックスなど決まった場所に置いておくとう便利です。

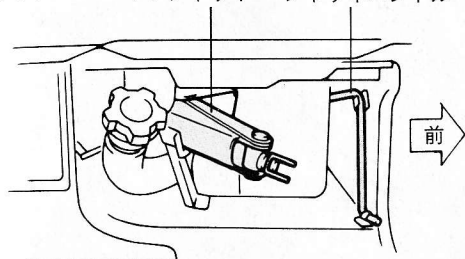


### ■ジャッキとジャッキハンドル

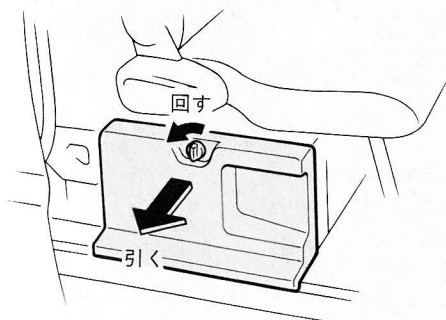
#### 〈格納場所〉

##### エブリイ

- 右側リヤドアを開けたシートの右下のカバーの中に格納されています。ジャッキ ジャッキハンドル



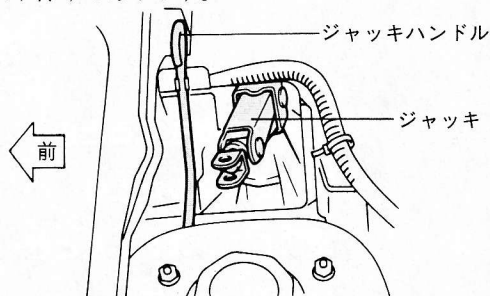
- ※カバーの開け方は、ノブを左に回してカバーを手前に引きます。



☆印のついている装備品は仕様により異なります。

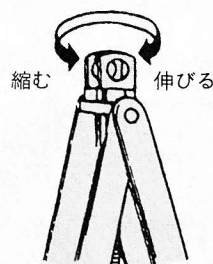
#### キャリイ

- 助手席シートを外すと、エンジンルーム内の前側に取り付けられています。



#### 〈ジャッキの取り出し方〉

- ジャッキハンドル取付部を左に回し、縮めて取り出します。



#### 〈ジャッキの格納〉

- ジャッキをいっぱいに縮めてジャッキホルダへ入れ、ジャッキを広げて固定します。

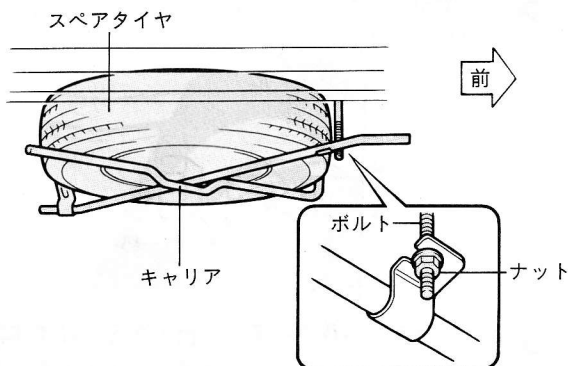


## ■スペアタイヤ

### ＜格納場所＞

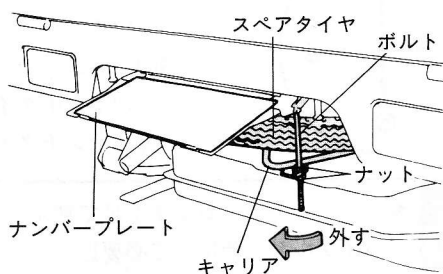
#### エブリイ

- 車両中央の右下側に取り付けてあります。



#### キャリイ

- 車両後部の下側に取り付けてあります。



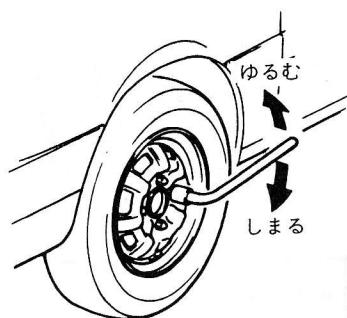
### ＜取り出し方＞

- ナットをゆるめ、キャリアを少し持ち上げながら、ボルトから外してスペアタイヤを取り出します。

## ■タイヤ交換

### ＜準備＞

- 1 他交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に車をとめます。
- 2 エンジンを止め、パーキングブレーキレバーを確実に引いてください。
- 3 非常点滅表示灯を点滅させ、同乗者や荷物をおろします。  
高速道路及び自動車専用道路では停止表示板を使用してください。
- 4 交換するタイヤと対角線上のタイヤの前後に輪止めをします。
- 5 工具、スペアタイヤ、ジャッキ、ジャッキハンドルを取り外します。  
⇨ P107〔スペアタイヤの取り外しかた〕  
⇨ P106〔ジャッキの取り出しかた〕
- 6 フルホイールキャップ装着車は、フルホイールキャップを取り外します。  
⇨ P109〔フルホイールキャップ〕
- 7 ホイールナット（4個）をホイールナットレンチで左に回し、手でナットが回るくらい（約1回転）までゆるめます。



- 取り外したスペアタイヤは、パンクしたタイヤ近くの車体の下に置いてください。
- 車体端部などでケガをしないように注意して作業してください。



万一のとき

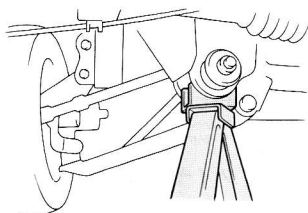
## タイヤ交換をするとき

### ＜ジャッキアップ＞

- 1 ジャッキを所定の位置にセットし、ジャッキの頭部が車体と接するまで手で回します。
- 2 ジャッキハンドルの先端をジャッキにかけて回し、タイヤが地面から少し離れるまで持ち上げます。

#### フロント

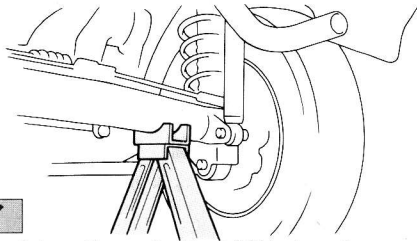
- テンションロッドブラケットの下側にセット  
ジャッキを車体と平行になるようにかけて下さい。



#### リヤ

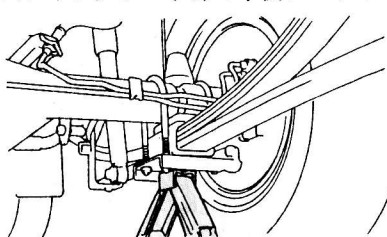
##### エブリイ

- リヤサスペンションアーム取付部の内側にセット



##### キャリイ

- リーフスプリングシート部の下側にセット

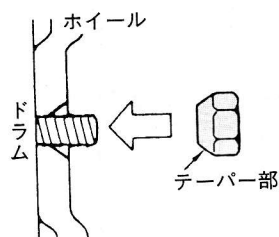


- 車載の純正品ジャッキをご使用ください。他車のジャッキを使用しないでください。

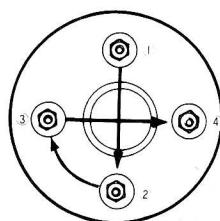
- 平坦で路面の硬い所を選んでご使用ください。
- ジャッキは指定された位置に必ずかけ、必要以上に上げないでください。
- ジャッキで車を上げているときは、車の下へもぐりこんだり、エンジンをかけたり振動を与えないでください。
- 地形により市販の輪止め等で他のタイヤの前後に輪止めをしてください。

### ＜タイヤの取り外し・取り付け＞

- 1 ホイールナットを外し、タイヤを交換します。パンクしたタイヤもスペアタイヤと同じように、車体の下に置きます。
- 2 タイヤが、がたつかない程度までナットを右に手で回して仮締めします。



- 3 タイヤが地面に接するまでジャッキを下げます。ホイールナットレンチで、ホイールナットを対角線の順序で2～3回に分けて十分に締めます。



#### 締め付けトルク

400～700kg・cm

(10インチタイヤ)

500～800kg・cm

(12インチタイヤ)

(13インチタイヤ)



- ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締めないでください。
- ホイールナットレンチにかかる力は30kgを目安にしてください。

- 4 取り付けしたタイヤの空気圧を確認します。運転席ドアを開けたボディー側にはってあるタイヤの空気圧表を参照してください。
- 5 工具、ジャッキ、タイヤを所定の場所に片づけます。タイヤを格納するときは、確実に固定してください。

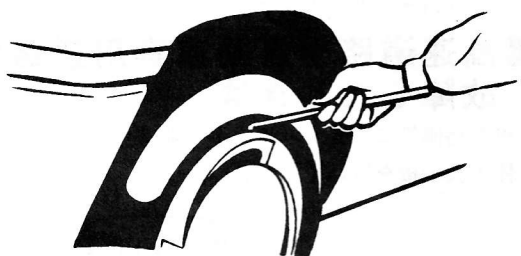


- 2～3km走行したら、再びホイールナットを締め付けてゆるみがないことを点検してください。
- ホイールナット及びハブのネジ部には油等をつけないでください。ゆるみの原因になります。

## ■フルホイールキャップ☆

### ＜取り外し＞

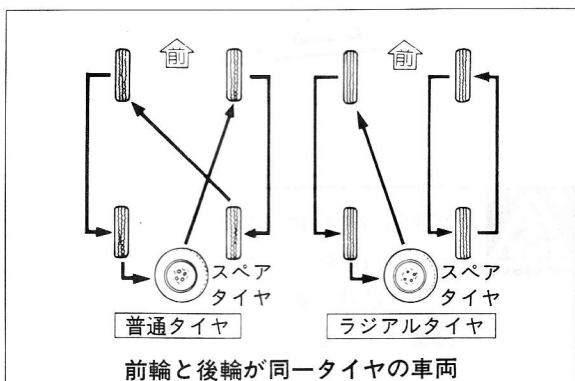
- ⊖ドライバをホイールとフルホイールキャップの間に差し込んでこじて取り外します。



## ■タイヤのローテーション

- タイヤの偏摩耗を防ぎ、また、寿命を伸ばすために5000km走行ごとにタイヤの位置交換を行ってください。

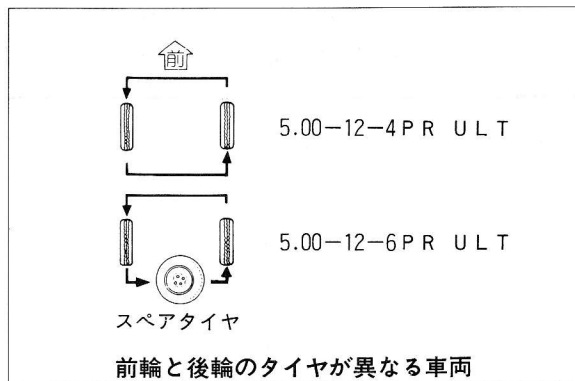
### ＜スペアタイヤを使用する場合＞



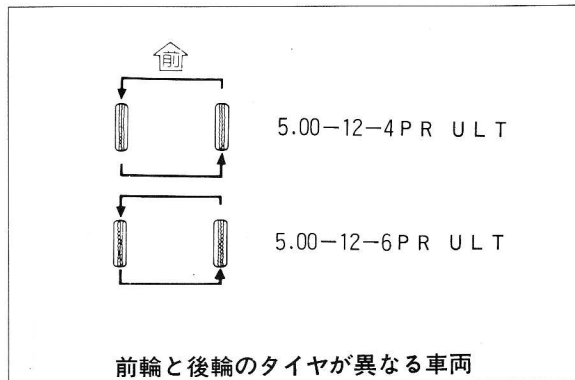
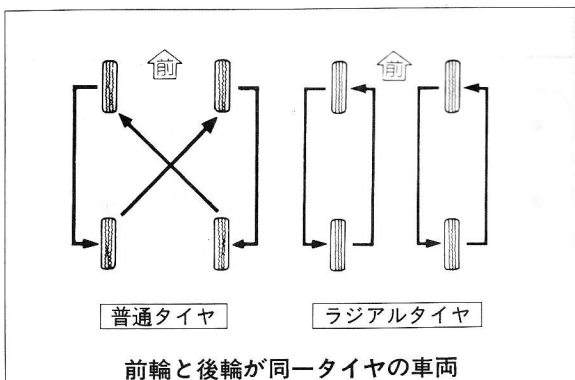
### ＜取り付け＞

- タイヤの空気口とキャップの穴を合わせて、確実に押し込んでください。

※キャップのデザインは仕様により異なります。



### ＜スペアタイヤを使用しない場合＞



☆印のついている装備品は仕様により異なります。



万一のとき

## タイヤ交換をするとき

### ＜タイヤの仕様が前後で異なる車両のローテーション＞

- スベアタイヤは後輪と同一です。
- 前輪がパンクしたときは、パンク修理が終ったタイヤを元の前輪へ必ず戻してください。



- タイヤのローテーションやパンク等でフロントタイヤを交換したときは、タイヤバランスと空気圧の調整をしてください。
- ジャッキは所定の位置に必ずセットして実施してください。
- スベアタイヤは確実に取り付けてください。万一ゆるみ等によりスベアタイヤの取り付けが不安定な状態になると、走行中に脱落するなどして危険です。
- 取り付け後は、取り付け状態を十分に確認してください。
- 全輪共指定サイズのタイヤをご使用ください。又、ローテーション後は各輪を規定の空気圧に調節してください。



万一のとき

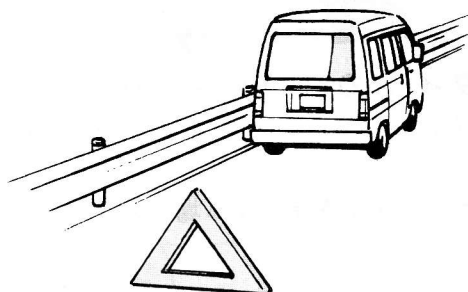
## 路上で故障したとき

### ■路上で故障したときは

- 車を路肩に止め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板や赤旗、保安炎筒も使用します。
- 停止表示板、赤旗は標準装備品ではありません。もよりのスズキ販売店でお求めください。

### ■高速道路や自動車専用道路で故障したときは

車を路側帯に寄せ、ハザード（非常点滅灯）をつけ停止表示板を置いてください。



- 高速道路や自動車専用道路では、追突などの事故を防ぐため、停止表示板を置くことが法律で義務づけられています。道路交通法で定められた位置に置いてください。
- 高速道路では、非常電話が本線内に1 kmおきに設置され、24時間いつでも連絡できる体制になっています。

#### 故障時の連絡先

- 故障したときはお買い上げのスズキ販売店または代理店にご連絡ください。
- スズキ代理店の所在地や電話番号は別冊のスズキ四輪サービスネットワークをご覧ください。



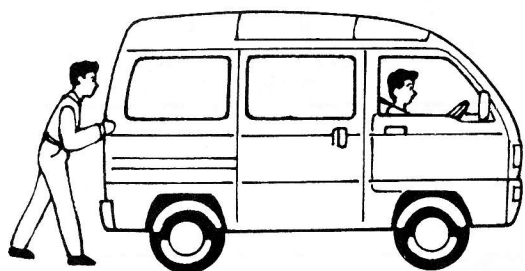


万一のとき

## 踏切でエンストしたとき

### ■踏切でエンストしたとき

- 付近に人がいる場合は、チェンジレバーをニュートラルの位置にして、安全な場所まで押してもらってください。



- マニュアル車ではギヤを2速又は3速に入れて、クラッチペダルを踏まないでスタータを回せば車を動かすことができます。

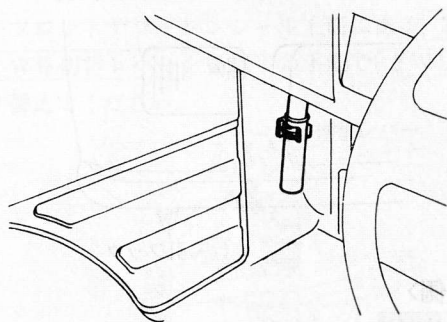


- オートマチック車はこの方法は使用できません。

- 緊急を要する場合は、保安炎筒や踏切の非常ボタンで合図してください。



### 保安炎筒の使い方



- グローブボックスの左下に備えつけてあります。
- 踏切や高速道路などの危険な場所で故障したときに使用します。
- 使用方法是保安炎筒に記載されています。あらかじめよく読んで万一に備えてください。
- 発炎時間は約5分間です。
- 保安炎筒に表示してある有効期間が切れる前にスズキ販売店又は代理店でお求めください。



- 非常用信号としてのみお使いください。
- お子さまにさわらせないでください。
- ガソリンなどの可燃物の近くでの使用は危険です。また、炎を顔や体に向けるとやけどの危険があります。
- トンネル内で使用すると、煙により視界が悪くなり危険です。トンネル内では非常点滅表示灯を使用してください。

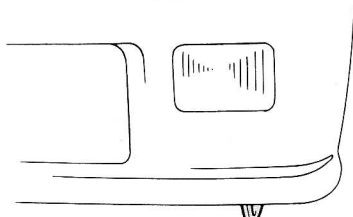


- 故障車の移動は、できるだけ専門業者にご依頼ください。やむをえずロープでけん引するときは、次のように行ってください。

## ■ロープでけん引されるとき

### <フロント側>

- けん引されて整備工場などへ運ばれるときは、けん引用フックにロープ等をかけてください。

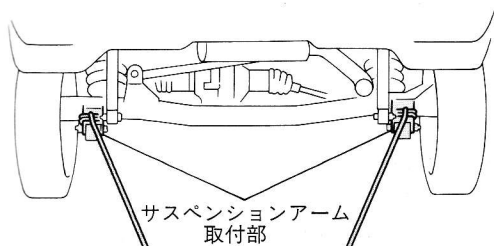


けん引フック

### <リヤ側>

#### エブリイ

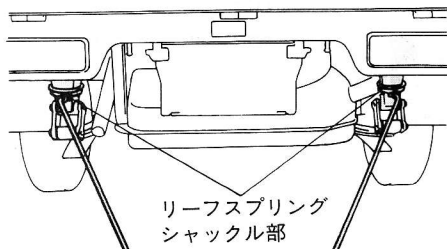
- 溝などへ落ちて後から車を引くときは、サスペンションアーム取付部にロープをかけてください。



サスペンションアーム  
取付部

#### キャリイ

- 溝などへ落ちて後から車を引くときは、リーフスプリングシャックル部にロープをかけてください。

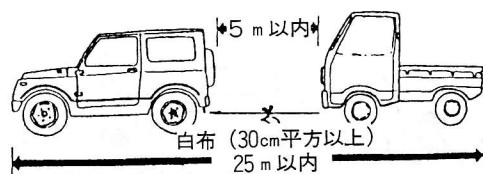


リーフスプリング  
シャックル部



- ロープは必ず指定された箇所にかけてください。また、ロープが水平になるようにしてください。車が傷つくことがあります。

- ロープは5 m以内にして、中間に白い布（30cm平方以上）をつけます。



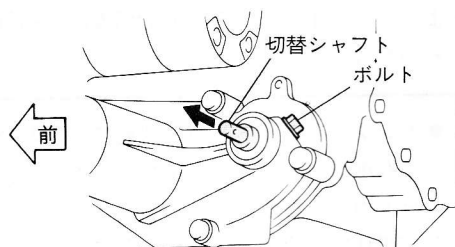
- オートマチック車は必ず後輪をつり上げて、レッカー車でけん引してもらってください。



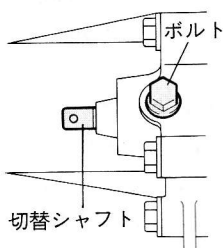
- けん引されるときは、必ずエンジンスイッチを **ACC** 又は **ON** の位置にしてください。
- チェンジレバーはニュートラルの位置にしてください。
- けん引する車のブレーキランプに注意して、常にロープがたるまないように気をつけてください。
- エンジンが停止していると、いつもよりブレーキのききが悪くなりますので、通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。  
パワーステアリング装備車は、ハンドル操作が重くなります。通常より強くハンドルを操作してください。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱してきかなくなるおそれがあります。レッカー車でけん引してもらうようにしてください。
- けん引するときの法定速度は30km/hです。

## ■フルタイム4WD車のけん引

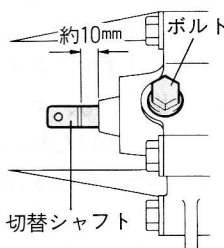
- レッカー車などで前輪又は後輪を上げてけん引されるときは、トランスファケース後部上面にある **2WD↔4WD切替シャフト** を以下の手順で **2WD** に切り替えてください。



4WDの状態



2WDの状態



- 1 12mmのスパナなどでボルトを抜き取ります。
- 2 切替シャフトをいっぱいに引きます。  
(先端部で10mm程度移動します。)
- 3 そのままの状態、先に取り外したボルトをしめつけます。(180~280kg・cm)



- シャフトの移動が固いときは、プロペラシャフトを少しずつ回しながらシャフトを小さきみに引っぱってください。

●整備後 **4WD** にもどすときも同様です。



- **2WD** への切替操作を行わないで前輪又は後輪をつり上げてけん引すると、つり上げた車輪が回転して危険です。

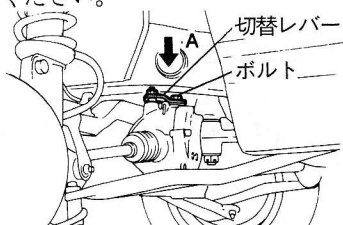
- ハンドルは直進状態にしておいてください。
- 整備が完了したら必ずシャフトを元の状態、**4WD** に戻してください。

## ■フルタイム4WD車〔AT車〕のけん引



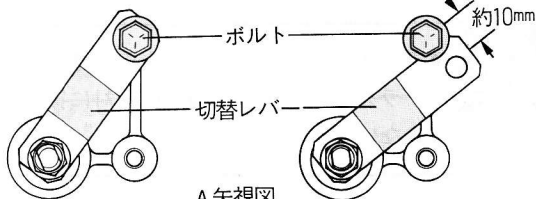
- 必ず後輪をつり上げて、レッカー車でけん引してもらってください。

- レッカー車などで後輪を上げてけん引されるときは、フロントデファレンシャル上面にある **2WD↔4WD切替レバー** を以下の手順で **2WD** に切り替えてください。



4WDの状態

2WDの状態



A矢视图

- 1 12mmのスパナなどでボルトを抜き取ります。
- 2 切替レバーを図のように **2WD** 側に移動させます。(先端部で10mm程移動します。)
- 3 そのままの状態、先に取り外したボルトをしめつけます。(180~280kg・cm)



- レバーの移動が固いときは、プロペラシャフトを少しずつ回しながらレバーを小さきみに移動させてください。

●整備後 **4WD** にもどすときも同様です。



- **2WD** への切替操作を行わないで後輪をつり上げてけん引すると、つり上げた車輪が回転して危険です。

- ハンドルは直進状態にしておいてください。
- 整備が完了したら必ずレバーを元の状態、**4WD** に戻してください。



万一のとき

## バッテリーが あがったとき

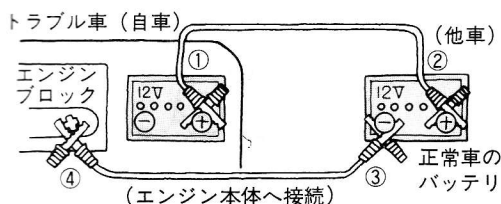
●ブースタケーブルがあれば他車（正常車）のバッテリーを利用してエンジンを始動することができます。

- 1 ブースタケーブルが接続できる位置に正常車を止めます。



●必ず12Vバッテリーを使用している正常車と接続してください。

- 2 ブースタケーブルを図の順序で接続します。



●ブースタケーブルを接続するときは、プラスとマイナス端子を絶対に接触させないでください。

- 3 接続後正常車のエンジンを始動させ、エンジン回転数を少し高めに設定し、バッテリーあがりの車のエンジンを始動します。

- 4 バッテリーあがりの車のエンジンが始動したら、取り付けたときと逆の順序でブースタケーブルを外します。

- 5 バッテリーは、すぐにスズキ販売店で完全充電してください。



●ブースタケーブルがエンジン回転時にベルトやファンに巻き込まれないように、接続には十分注意してください。

●ブースタケーブルをバッテリーあがりの車に接続するときは、必ずバッテリーから離れたエンジンブロックへ接続してください。

バッテリーから発生するガスに火花が引火して爆発する危険があります。また、コンピュータを破壊したり、電装部品に悪影響を与えます。



万一のとき

## オーバーヒート したとき

●水温計の指針が適温範囲を越えて **[H]** 側を示したときは、オーバーヒートの状態になっていると判断して、次の処置をしてください

- 1 車を安全な場所に止めます。

- 2 エンジンをかけたまま、エンジンルーム内の風通しをよくし、アイドリング状態で水温計の指針が下がるのを待ちます。



●エンジンをアイドリング状態にしても水温が下がらない場合は、エンジンを止めてください。

- ベルトが切れているときは、ただちにエンジンを止めてください。
- エンジンルーム内を点検するときは、熱湯が噴き出していたり、サービスカバーなどが熱いことがありますので注意してください。
- 急ぐ場合でも、エンジンが熱いときは、エンジンに水をかけたり、冷たい水を急に入れたり、冷却水を全部抜き替えたりしないでください。急にエンジンを冷やすと、エンジンが破損するおそれがあります。

- 3 水温計の指針が適温範囲に下がったら、エンジンを止めます。

- 4 エンジンが十分冷えてから、冷却水量、ベルトのゆるみや切損、水漏れを点検します。

- 5 冷却水量が不足しているときは補給します。

⇨ P97（冷却水の補給）



●冷却水温が高いときにラジエータキャップを外すと、冷却水には圧力がかかっていますので蒸気や熱湯が噴き出して、思わぬやけどをする危険があります。水温が下がってから、布などでキャップを包み、静かに注意して開けてください。



万一のとき

## フューズが切れたとき

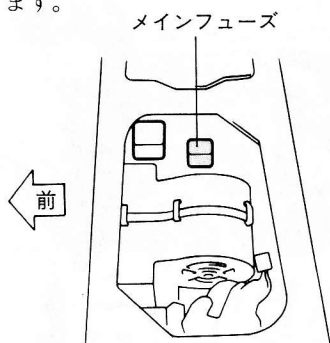
- 各種ランプが点灯しないときや、電気系統の装置が作動しないときは、サーキットフューズ又はメインフューズが切れている場合があります。

### ■フューズボックスの位置

#### 〈メインフューズ〉

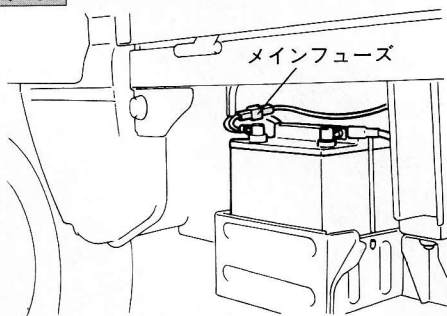
##### エブリイ

- 左側リヤシート下部のカバーの中にフューズボックスがあります。
- カバーを開けると2種類のフューズ（60A、40A）があります。



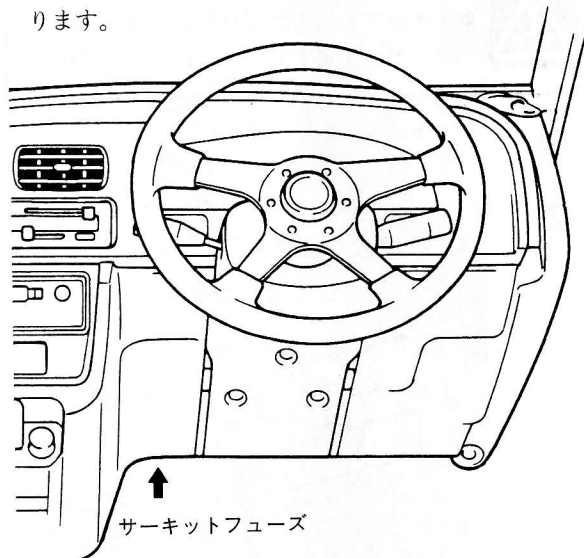
容 量	受け持ちの回路
60 A	全ての電気回路
40 A	照明回路

#### キャリイ



#### 〈サーキットフューズ〉

- ステアリングコラムの左側にフューズボックスがあります。



##### ●カバー表示

##### エブリイ

15 A	イグニッション・コイル メータ	ライト	15 A
15 A	ターニングナルランプ バックランプ	ヘッドランプ レフト	15 A
15 A	ワイパ&ウォッシャ	テールランプ ストップランプ	15 A
20 A	ヒータ	ハザード ホーン	15 A
15 A	リヤウインドデフォッガ	フォグランプ	15 A
20 A	サンルーフ	パワーステアリング	30 A
15 A	ラジオ シガレットライター	ドアロック	20 A

##### キャリイ

15 A	イグニッション・コイル メータ	ライト	15 A
15 A	ターニングナルランプ バックランプ	ヘッドランプ レフト	15 A
15 A	ワイパ&ウォッシャ	テールランプ ストップランプ	15 A
20 A	ヒータ	ハザード ホーン	15 A
30 A	コンデンサファンモータ	ダンブソレノイド	20 A
15 A	リヤウインドデフォッガ		
15 A	ラジオ シガレットライター		





万が一のとき

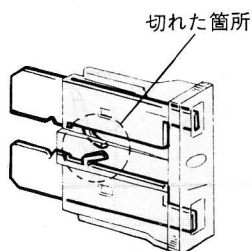
## フューズが切れたとき

### ■フューズの交換



- メインフューズが切れたときは、スズキサービス工場で点検を受けてください。

- 1 エンジンスイッチを **OFF** にします。
- 2 フューズボックスのカバーを開き、フューズが切れているかを点検します。

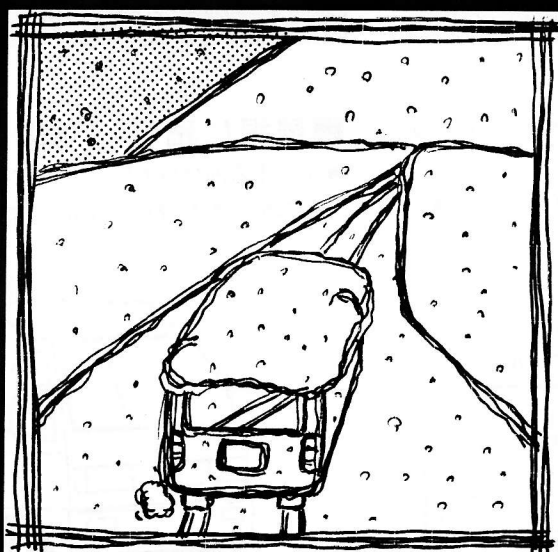


- 3 フューズが切れているときは、フューズボックスのカバー表示に従い、指定されている容量のフューズと交換します。  
予備のフューズはカバーの裏側に付いています。

フューズの容量	色 彩
15 A	ブルー
20 A	イエロー
30 A	グリーン



- スズキ純正のフューズをご使用ください。
- フューズがたびたび切れる場合は、スズキサービス工場で点検を受けてください。
- 必ず規定容量のフューズと交換してください。



# 寒冷地での取り扱い

冬期前の点検・準備.....	P118
走行前の点検.....	P118
走行について.....	P119
駐車について.....	P119
走行後のお手入れと洗車.....	P119
タイヤチェーンのつけ方.....	P120



寒冷地での取り扱い

## 冬期前の点検・準備

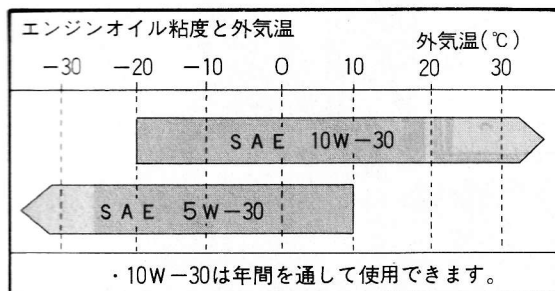
- 冬期に入る前にシーズンイン点検及び次の点検・準備をしてください。

□ P95 (シーズンイン点検)

## ■エンジンオイル

- 外気温に応じた粘度のものを使い分けてください。

□ P98 (エンジンオイルの交換)



## ■バッテリー

- 気温が下がるとバッテリーに負担がかかり、エンジン始動に支障をきたすことがあります。バッテリーの点検をスズキサービス工場で行われることをおすすめします。

□ P99, 100 (バッテリー液の補給、バッテリーの充電)

## ■ウォッシュ液の濃度

- 寒冷時にウインドウォッシュを使用すると、噴出した液が凍結して前方視界が保てなくなるおそれがあります。

必ず不凍効果のあるウォッシュ専用液を使用してください。

□ P102 (ウインドウォッシュ液の補給)

## ■冷却水

- 冷却水の凍結を確認する必要があります。スズキサービス工場で行われることをおすすめします。

□ P97 (冷却水の補給)

## ■燃料タンクの水抜き

- 寒冷地では冬がくる前に、燃料タンクの水分を取り除くことをおすすめします。

スズキ純正の水分解除剤を使用してください。

■スノータイヤ又は  
タイヤチェーンの準備

□ P120 (タイヤチェーンのつけ方)

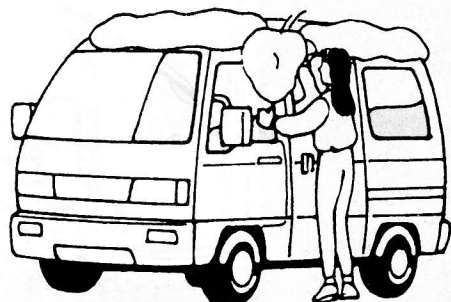


寒冷地での取り扱い

## 走行前の点検

## ■屋根に積もった雪を除去

- 走行する前に取り除いてください。ブレーキ時などに落下すると、視界を妨げて危険な場合があります。



## ■フロントワイパ・リヤワイパの凍結

- ワイパのゴム部がガラスに凍結していないか確認してください。

## ■タイヤハウス内の雪の除去

- タイヤなどと接触してハンドルが切れなくなることがあります。時々車を止めて点検してください。

## ■ドアの凍結

- 無理にあげようとすると、ドア回りのゴムがはがれたり、変形するおそれがあります。

凍結している場合は、

- 1 湯をかけて氷を溶かしてください。
- 2 氷がとけたら十分に水分を拭き取ってください。
- 3 ドア回りのゴムにカーワックスを塗ると、更に効果的です。

## ■靴に付着した雪の除去

- 車内に水分を持ち込むと、アクセルペダル、ブレーキペダルなどへ付着して凍結し、正常に作動しないおそれがあります。



寒冷地での取り扱い

## 走行について

### ■スリップに注意

- 氷雪路面では滑りやすいので、スリップに注意してひかえめな速度で走行し、スノータイヤ、タイヤチェーンを装着しましょう。

◇P120（タイヤチェーンのつけ方）

#### スノータイヤでの走行

スノータイヤの接地面（4か所）にあるプラットホーム（雪道用タイヤの効果がなくなる限度）が現れたら、スノータイヤの使用（雪道走行）はさけてください。

### ■雪道での急発進、急ハンドル、急ブレーキは禁物

- 車間距離を多めに保ち、ブレーキは早めにかかることが重要です。なお、ブレーキを急にかけることは避け、軽く数回に分けて小刻みにかけてください。

### ■ブレーキのきき具合の確認

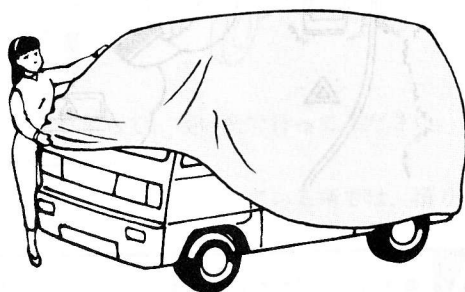
- 寒冷地では、雪道走行時等にブレーキ装置に水や氷が付着してブレーキのききが悪くなることがあります。周囲の状況に注意しながら、ききが回復するまで数回ブレーキを軽くかけて、ブレーキの湿りを乾かしてください。また、駐車後走行を開始するときも同様にブレーキのきき具合を確認してください。



寒冷地での取り扱い

## 駐車について

- 1 エンジンの冷え過ぎを防ぐため、なるべく風のあたらない所に駐車してください。
- 2 パーキングブレーキをかけておくと、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。そんなときは、パーキングブレーキは使わずに、マニュアル車◇後退または1速 オートマチック車◇ **P** に入れておき、車が動くことのないように、タイヤに市販の輪どめをしてください。
- 3 ワイパの凍結を防止するため、ワイパーアームは立てておいてください。
- 4 長時間使用しないで屋外に駐車するときは、塗装面の保護とドア回りの凍結を防ぐために、ボディーカバーを使用しましょう。



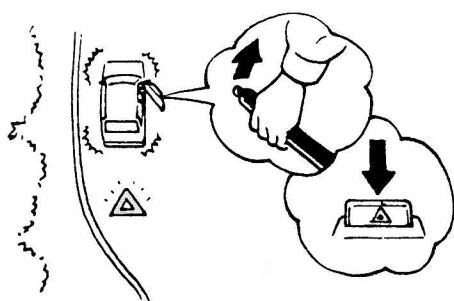
寒冷地での取り扱い

## 走行後の お手入れと洗車

- 雪道を走った後は、足まわりにこびりついた泥や雪は落としてください。そのときに、ボディーやブレーキホース、ブーツなどを傷つけないよう注意してください。
- 凍結防止剤が散布してある道路などを走行したときは、できるだけ早く洗車してください。そのまま放置すると、サビなどの原因になります。
- 洗車の手順については「洗車のしかた◇（P103）」をお読みください。



- タイヤチェーンは駆動輪（後輪）に取り付けます。
- タイヤチェーンの取り付けは、平らな所で他の交通に十分注意して行ってください。
- 必要に応じて非常点滅表示灯を点滅させたり、停止表示板を使用します。
- 作業するときは、車体端部などでケガをしないよう注意してください。



- チェーンはタイヤにあったものをご使用ください。
- 雪道、凍結路以外でタイヤチェーンを使用しないでください。
- タイヤチェーンを装着する場合、ホイールに傷をつけるおそれがありますので十分注意してください。

## ■タイヤチェーンの取付方法

- 1 クロスチェーンの折り曲げ部が下側になるようにして、後輪のすぐ後ろに敷きます。



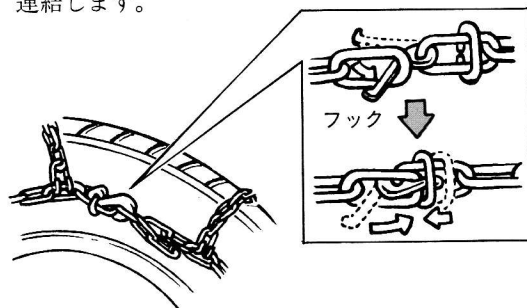
- フルホイールキャップ付車はフルホイールキャップをはずしてチェーンをつけてください。 □ P109（万一のとき）

- 2 チェーン先端のフックから後輪まで約20cm程度になるように、車を移動させてチェーンに後輪を乗せます。



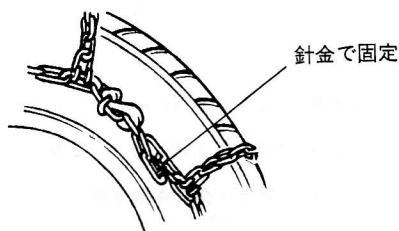
- 3 パーキングブレーキを確実にかけ、他の車輪に輪止めをします。

- 4 チェーンをタイヤに巻きつけ、いっばいに引いて、内側のフックを先に連結し、次に外側のフックを連結します。

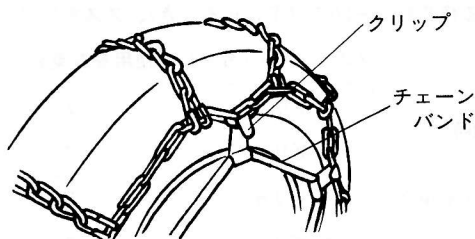




- 5 余ったチェーンは、車体にあたるのを防止するため針金で固定します。



- 6 チェーンバンドのクリップを外向きにしてチェーンを張ります。



チェーン折曲部の先端は外向きになる

- 7 しばらく（約500m）走行してチェーンのゆるみや片より、外れなどがいないかを確認します。

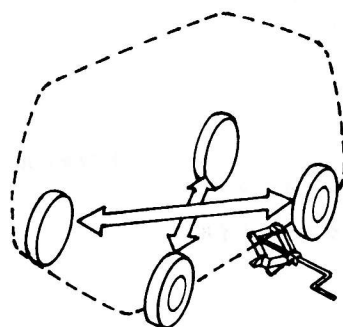


- 走行中にタイヤチェーンが、切れたり、一部外れたりした場合は、車体側にあたり悪影響をおよぼしますので、ただちに停止して処置してください。
- タイヤチェーンを装着したときは、高速自動車道等、特別の指示がない限り、30 km/h 以下で走行してください。

## ■ その他の取付方法

- タイヤチェーンのつけ方は、他にジャッキアップして行う方法や、標準サイズのスペアタイヤにタイヤチェーンをつけ、タイヤ交換をする方法もあります。その場合は、次の点に注意してください。

- 1 ジャッキアップ側のタイヤと対角線上のタイヤの前後に輪止めをします。



- 2 路面が平らで、硬い所で行ってください。

- 3 積雪の多い所や凍結している所では、滑りやすいので、ジャッキアップして行う方法はできるだけさけてください。

## ■ タイヤチェーンの外し方

- 1 針金を取り、チェーンバンドを外します。フックは内側から先に外します。
- 2 車を少し動かし、チェーンを取り外します。



- タイヤチェーンは、購入時に一度装着し、長すぎる場合はタイヤに合うよう切っておくと装着が楽になります。

# サービスデータ

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ			
燃 料	使 用 燃 料	無鉛ガソリン			
	タンク容量 (ℓ)	キャリイ	36		
		エブリイ	40		
エンジンオイル (スズキエクスターオイル)	推奨交換時期	標準車	6 か月ごとまたは 10,000km 走行ごとのどちらか早い方		
		ターボ車	6 か月ごとまたは 5,000km 走行ごとのどちらか早い方		
	推奨オイル	標準車	スーパーデラックス 4 輪車用	10W-30 (SE)	
			ハイスーパーデラックス	5W-30 (SF)	
			エクスターオイルタイプ04	10W-30 (SG)	
		ターボ車	エクスターオイルターボ	10W-30 (SF)	
			エクスターオイルタイプ04	10W-30 (SG)	
	※寒冷地における極寒時 (−20℃以下になるとき)、スズキエクスターオイルハイスーパーデラックス 5W-30 (SF) の使用をお奨めします。				
	規定量 (ℓ)	オイル交換時	キャリイ	2.9	
			エブリイ	2.7	
オイル・オイルフィルタ 同時交換時		キャリイ	3.1		
		エブリイ	2.9		
エンジンオイルフィルタ	推奨交換時期	10,000km 走行ごと			
トランスミッションオイル	推奨交換時期	MT 車	2 年ごとまたは 20,000km 走行ごとのどちらか早い方		
		AT 車	40,000km 走行ごと		
	推奨オイル	MT 車	スズキ 4 輪ギヤオイル 75W-90		
		AT 車	AT オイルスペシャル (ATF5D06)		
	規定量 (ℓ)	MT 車	キャリイ 2WD 車	4 速仕様車	1.1
				5 速仕様車	1.2
			キャリイ 4WD 車	2.6	
			エブリイ 2WD 車	2.4	
			エブリイ 4WD 車	3.9	
		AT 車	キャリイ	3.2	
			エブリイ	3.9	
		トランスファオイル (エブリイ)	推奨交換時期	2 年ごとまたは 20,000km 走行ごとのどちらか早い方	
推奨オイル	スズキ 4 輪ギヤオイル 75W-90				
規定量 (ℓ)	0.4				

項 目		サービスデータ		
デファレンシャルオイル	推奨交換時期	2年ごとまたは20,000km走行ごとのどちらか早い方		
	推奨オイル	スズキ 4 輪スーパーギヤオイル75W-80 ( G L - 5 )		
	規定量 ( ℓ )	キャリアイ	フロントデフ ( 4 WD 車のみ )	0.7
			リヤデフ	1.0
		エブリイ ( 4 WD 車のみ )	パートタイム、A T 車	1.8
フルタイム	1.0			
ブレーキ液	推奨交換時期	2年ごと		
	指 定 液	スズキブレーキフルード		
エアクリーナエレメント	推奨交換時期	20,000km走行ごと		
冷 却 水	推奨交換時期	2年ごと		
	規 定 量 ( ℓ )	キャリアイ	4.7	
		エブリイ	6.4	
スパークプラグ	タ イ プ	ターボ仕様	ND : W16EXR-U      NGK : BPR 5 E	
		4バルブ仕様	ND : XU22EPR-U      NGK : DCPR 7 E	
	電極のすき間 (mm)	ターボ仕様	0.7～0.8	
		4バルブ仕様	0.8～0.9	
バ ッ テ リ	タ イ プ	一般地区	28B19R	
		寒冷地仕様	38B20R	
アイドリング回転数	回転数 (rpm)	4バルブ仕様	キャブレタ車	MT:950±50    AT:1000±50
			E P I 車	900±50
		ターボ仕様	950±50	
フューエルフィルタ	推奨交換時期	40,000km走行ごと		
ブレーキペダル	遊 び (mm)	1～8		
	床面とのすき間(mm)	120以上		
クラッチペダル	遊 び (mm)	20～30		
	床面とのすき間(mm)	110以上		
パーキングブレーキレバー	引きしろ (ノッチ)	キャリアイ	7～12 (操作力20kg)	
		エブリイ	4～9 (操作力20kg)	
Vベルト	たわみ量 (mm)	キャリアイ	新品時：10～12      再張時：11～14	
	(10kgで押したとき)	エブリイ	新品時：5～7      再張時：8～11	
タイミングベルト	推奨交換時期	100,000km走行ごと		
ハンドル	遊 び (mm)	0～30 (ホイール外周)		

# サービスデータ

## ■定期交換部品

項 目	交 換 時 期
マスタシリンダ・ホイールシリンダのカップおよびダストブーツなど	2年ごと
ブレーキホース	4年ごと
フューエルホース	4年ごと
ブレーキ倍力装置のゴム部品	4年ごと
ブレーキ用バキュームホース	4年ごと

## ■バルブ（電球）の容量（W）

名 称	容 量	名 称	容 量
ヘッドランプ	60/55	ブレーキランプ/テールランプ	21/5
フォグラмп	35	バックランプ	エブリイ 21
クリアランスランプ	5		キャリイ 8
フロントターンシグナルランプ	21	ライセンスランプ	5
サイドターンシグナルランプ	5	ルームランプ	5
リヤターンシグナルランプ	21	作 業 灯	5

## ■タイヤの空気圧（単位：kg f/cm<sup>2</sup>）

機 種 タイヤサイズ	DC51T		DC51B		DD51T		DE51V・DF51V	
	前輪	後輪	前輪	後輪	前輪	後輪	前輪	後輪
5.00-12-4PR ULT	2.2	2.4	2.2	2.4			2.2	2.4
5.00-12-4PR ULT							2.4	3.0
5.00-12-6PR ULT							(4PR)	(6PR)
145R12-6PR LT	2.2	2.6	2.2	2.6	2.2	2.6	2.6	3.0
145SR12							2.2	2.2
155/70R13 75S							2.5	2.5
T105/90D12							4.2	

※運転席ドア付近に貼付してある空気圧ラベルもご参照ください。

※空気圧の調整は、タイヤが冷えているときに行なってください。

## ■ホイールサイズ

適合ホイール	オフセット	取付ピッチ円径（PCD）	適合タイヤ
12×4.00B	35mm	114.3mm	5.00-12-4PR ULT
			5.00-12-6PR ULT
			145R12-6PR LT
			145SR12
13×4.5J			155/70R13 75S

# 索引 (インデックス)

## ア

- アームレスト.....29
- アクスルロックスイッチ.....45, 75
- アッシュトレイ.....47
- 雨の日の走行..... 8
- アルミホイールのお手入れ... 104

## イ

- インパネボックス.....48
- インストルメントパネル..... 3
- E L 付4WD車.....72
- E P I モニタランプ.....41

## ウ

- ウインドウォッシュ液..... 102
- 運行前点検.....83

## エ

- エアクリーナエレメント..... 101
- エアコン.....60
- A / T O I L 警告灯..... 40
- エンジンオイル.....90, 98
- エンジン始動.....70
- エンジンスイッチ.....69
- エンジンブレーキ.....8, 9, 79
- エンストしたとき..... 81, 111

## オ

- オイル警告灯.....39
- オイルフィルタ.....98
- オートマチックインジケータ.....40
- オートマチック車.....76
- オートマチックトランス  
ミッションオイル...100
- オーバーヒートしたとき..... 114
- オーバーヘッド  
コンソールボックス...49
- お客様相談室..... 129
- お子さまを乗せるときは...10, 34
- オドメータ.....37

## カ

- カセットステレオ.....51
- カーペットシート (布地)  
のお手入れ...104
- ガソリン..... 7
- 簡単な整備.....96
- 寒冷地での取り扱い..... 117

## キ

- キー.....17
- キーインタロック装置.....13
- キックダウン.....79
- 霧の中での走行..... 9

## ク

- 空気圧..... 93, 124
- 車のお手入れ..... 103
- クリープ現象.....13
- グローブボックス.....48

## ケ

- 経済運転.....15
- けん引について..... 112

## コ

- 工具..... 106
- 高速道路の走行.....10
- 故障したとき..... 110
- 小物入れ.....49

## サ

- サービスカバー.....88
- サービスゲート.....23
- サービスデータ..... 122
- サイドゲート.....23
- 作業灯スイッチ.....46
- サンシェード.....25
- サンバイザ.....48
- サンルーフ.....24
- サンルーフモニタランプ.....41
- 残照式ルームランプ.....49

## シ

- シーズンイン点検.....95
- シートアングトレイ.....49
- シートスライド調整.....26
- シートベルト.....33
- シートベルト未装着警告灯.....41
- シガレットライター.....47
- 仕切棒.....29, 31
- シフトロック装置.....13
- ジャッキ..... 106
- 充電不良警告灯.....39
- 樹脂部品のお手入れ..... 104
- シオルダアジャスタ.....34

## ス

- 水温計.....37
- スイッチの使いかた.....42
- スーパーマルチルーフ.....24
- スパークプラグ..... 101
- スピードメータ.....37
- スペアタイヤ..... 107

## セ

- 積載量..... 7
- セレクトレバーの操作.....76
- 洗車方法..... 103

## タ

- ターボ作動表示灯.....38
- ターボ車の取り扱い.....15
- ターニングナルスイッチ.....43
- タイヤ交換..... 107
- タイヤチェーン..... 120
- タイヤのローテーション..... 109
- タコメータ.....37
- 暖機運転..... 6

## チ

- チェンジレバーの操作.....71
- チケットホルダ.....48
- チャイルドセイフティロック...19
- 駐停車するときは..... 9
- 調整式ハンドル.....35



# 索引 (インデックス)

## ツ

ツールボックス……………23

## テ

定期点検……………83  
ディマスイッチ……………42  
デフロスタ……………60  
デフロックスイッチ……………46, 75

## ト

ドアミラー……………35  
時計……………52  
トリップメータ……………37  
トランスファレバー……………72  
トランスファオイル……………100

## ナ

長い坂道を走行するとき……………8

## ニ

荷室の作り方……………28  
荷室フック……………50  
荷物を積んで走行するとき……………7

## ネ

燃料計……………38  
燃料残量警告灯……………39

## ハ

パーキングブレーキ……………71  
パートタイム4WD車……………14  
ハザードスイッチ……………43  
バックドア……………19  
バックドアロックスイッチ……………44  
パッシングスイッチ……………42  
バッテリー液の補給……………99  
バッテリーがあがったとき……………114  
バッテリーの充電……………100  
バニティミラー……………48  
パワーウインド……………20  
パワードアロック……………20

## ヒ

ヒータ……………60

## フ

フェード現象……………9  
フォグランプスイッチ……………44  
フューエルリッド／  
    フューエルタンクキャップ……………22  
フューズがきれたとき……………115  
フラットシート……………29  
フルタイム4WD車……………14  
フルフラットシート……………29  
フルホイールキャップ……………109  
ブレーキ液量警告灯／  
    パーキングブレーキ警告灯……………39  
フロントシート……………26  
フロントドア……………17

## ヘ

ベーパーロック現象……………9  
ヘッドランプ上向き表示灯……………38  
ヘッドレスト……………27, 29

## ホ

保安炎筒……………111  
方向指示表示灯／  
    非常点滅表示灯……………38  
保護棒……………31

## マ

マフラ異常温度警告灯……………40  
万一のときの処置……………105

## ミ

水たまりを走行したとき……………9

## メ

メータパネル……………36

## ヨ

4WD車……………14  
4WDの切替操作……………72  
4WDパイロットランプ……………40

## ラ

ライティングスイッチ……………42  
ラジオ……………58

## リ

リクライニング調整……………27  
リヤウインドデフォッグ  
    スイッチ……………44  
リヤシートアームレスト  
    ボックス……………50  
リヤウインドのお手入れ……………104  
リヤゲード……………23  
リヤシート……………28  
リヤドア……………18  
リヤワイパ／  
    ウォッシュスイッチ……………44  
リヤヒータスイッチ……………65

## ル

ルームミラー……………35  
ルームランプ……………49

## レ

冷却水……………90, 96

## ロ

6か月点検……………83

## ワ

ワイパ／ウォッシュスイッチ……………43  
ワイパブレード……………102  
ワックスのかけ方……………104

MEMO

## お車についての ご相談、ご意見は…

お車のことやアフターサービスなどについてのご相談、ご意見がありましたら、まず、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

また、地区代理店にご相談されたいときには、別冊の「スズキ4輪車サービスネットワーク」に記載しているお近くの代理店あるいは代理店営業所にご相談ください。

お客様のご相談に対して的確な判断と迅速な処理をするために次の事項を必ずご確認のうえ、ご相談ください。

- ①車名及び型式、登録番号
- ②ご購入年月日
- ③走行距離
- ④ご相談内容
- ⑤お客様の住所、お名前、電話番号

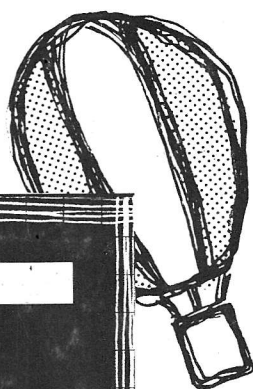
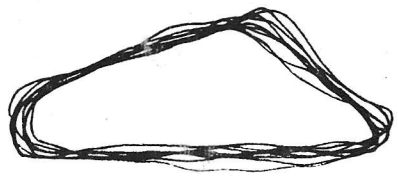
スズキ株式会社の窓口は……………

〒432-91 浜松市高塚町

**スズキ株式会社**

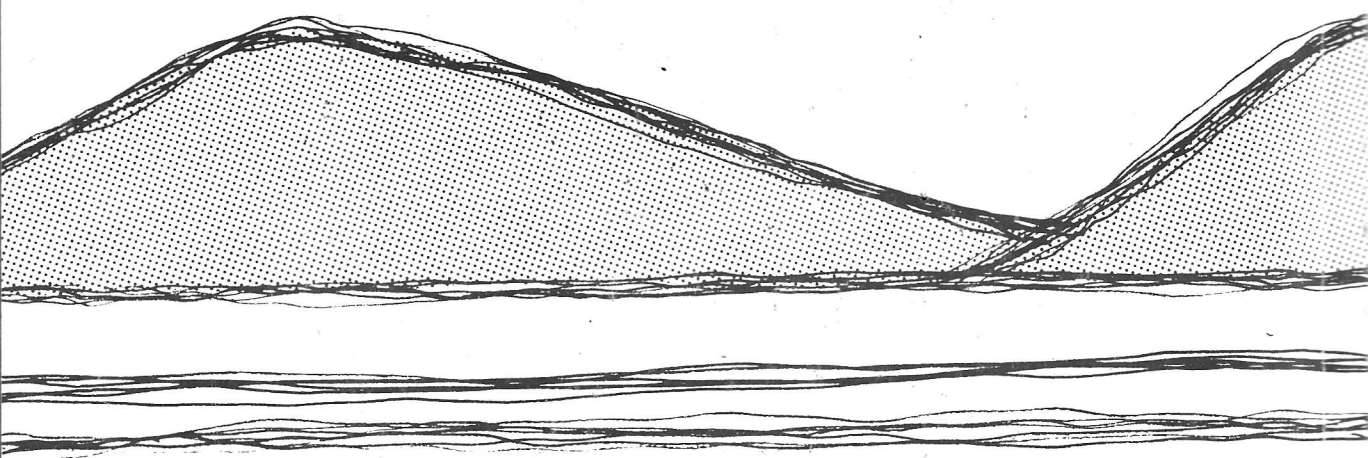
お客様相談室

電話 (053) 440-2253



### 安全運転5か条

- 1 安全速度を必ず守りましょう。
- 2 カーブの手前でスピードを落としましょう。
- 3 交差点では必ず安全を確かめましょう。
- 4 一時停止で横断歩行者の安全を守りましょう。
- 5 飲酒運転は絶対しないようにしましょう。



もっと個性的にもっとあなたらしく  
**Personal Best**

**SUZUKI**  
スズキ株式会社  
本社：〒432-91 浜松市高塚町

軽四輪自動車にも保管場所が必要です。  
99011-50F03 T・K

常時携行

# 整備手帳

軽貨物車

- 保証書・点検整備方式一覧表
- 1 か月初期点検記録簿
- 6 か月・12か月・24か月  
定期点検整備記録簿・分解整備記録簿



## はじめに

この度は、スズキ車をお買いあげいただき、ありがとうございました。

この整備手帳には、お客様の愛車をいつまでも安全、快適に使用していただくために必要な点検・整備について記載してあります。

汚損、粉失いたしますと保証の適用が受けられなくなります。別冊の取扱説明書とともに常時携行してください。

**スズキ株式会社**

## 目 次

保証についてのご案内	1
保証書登録票	2
保 証 書	4
お車についてのご相談、ご意見は	7
整備手帳について	7
定期交換部品について	9
運行前点検について	9
点検整備方式一覧表（法定項目）	10
点検整備方式一覧表（メーカー推奨項目）	17
走行距離ごとの点検整備	19
点検整備の経歴	20
定期点検整備記録簿の記入要領	21
初期点検記録簿（初期 1 か月点検）	23
定期点検整備記録簿・分解整備記録簿	25

# 保証についてのご案内

## ○保証書について

おとどけしました車はスズキの高度な技術ときびしい品質管理のもとに製造されております。したがってどなたにも十分にご満足をいただけるものと確信いたしておりますが、万一、あなたの愛車を構成する部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、次葉の「保証書」の内容に基づいて、無料修理(以下、この無料修理を保証修理といいます)いたします。

## ○保証修理の受け方

保証修理の請求はお買求め販売店または代理店にお申し出ください。遠出をされている場合の故障は、別添の「サービスネットワーク」より、最寄りのスズキサービス工場をお選びいただき、ご相談ください。「サービスネットワーク」に記載のサービス工場であれば全国どこでも保証修理を受けられますが、この整備手帳をご提示いただけない場合は、保証修理をいたしかねますので整備手帳はいつも携行してください。

「サービスネットワーク」に記載してない一般の整備工場で保証修理をお受けになり、あとで修理代金のご請求がありましてもお支払い致しかねますのでご承知おきください。

保証についての詳しいことは、スズキ代理店にお問合わせください。

## ○保証書の変更手続きについて

### ーおところが変わったときー

保証期間内にご住所を変わられたときは、最寄りの弊社代理店を「サービスネットワーク」より選びだしていただき、その代理店にこの整備手帳を提示して、代理店名の記入と捺印を受けてください。

### ーこの車を購入または譲り受けたときー

保証期間が残っている車を購入、または譲渡などにより、譲り受けられた方は、最寄りの弊社代理店にお越しいただき、その車の点検整備(有料)をお受けになったうえで、代理店名の記入捺印を受けてください。

以上の手続きを完了することにより残余の期間の保証を継続することができます。

※上記の手続きが済まないものは、期間内であっても保証が認められませんのでご承知おきください。

※万一保証書を紛失いたしましても再発行は致しかねますのでご注意ください。

## ○定期点検整備に関する注意

- 点検整備の時期は自家用車が標準的な使用条件のもとにおいて走行する場合を標準と定めています。
- 標準的な使用条件と著しく異なる場合(悪路、海岸地帯、山岳地帯、寒冷地での使用などが多いとき、酷使される車、一般より多く走る車など)は、それぞれ点検整備の期間を短縮するなど特別な点検整備が必要となりますので点検の際お申し出下さい。

# 保証書登録票

(下の欄に記入し、弊社代理店捺印後)  
(保証が有効となります。)

[新 規]

機 種	車台番号	検査証有効期限 (車検期限)	年	月	日 まで
車両番号	届 出	一般保証期限	年	月	日 まで
ご 芳 名	電 話	特定保証期限	年	月	日 まで
ご 住 所		1 か月目の点検 (無 料)	年	月	日 まで
★お客様の相談窓口 (詳細は7ページをご参照ください。)		6 か月目の点検 (有 料)	年	月	日 まで
所在地	所在地	12 か月目の点検 (有 料)	年	月	日 まで
販売店	代理店	18 か月目の点検 (有 料)	年	月	日 まで

[変 更]

車両番号	変更	年	月	日	変更時走行	km
ご 芳 名	電 話					
ご 住 所						
所在地	所在地					
販売店	代理店					

車を譲り受けられた方  
使用地を変更された方

上記の方で保証が残っている場合は、もよりの弊社代理店で車両点検後認印を受けられますと、残余の保証が継続されます。

# 保証書

## 1. 保証の内容、期間

### (1) 保証の内容

あなたの自動車を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が発生した場合、この保証書に示す期間と条件に従ってこれを無料で修理いたします。(以下、この修理を保証修理といいます。)

保証修理は部品の交換あるいは補修により行い、交換した部品は、弊社の所有となります。

### (2) 保証期間および保証対象部品

保証区分	保証期間	保証対象部品
一般保証	新車を登録した日から3か年間。ただし、その期間内でも走行距離60,000kmまで。	特定保証の部品及び下記の場合を除く全部品 ・1項(3)号の「別扱いの保証」に該当する部品 ・2項に示す「保証を適用しない事項」に該当した場合
特定保証	新車を登録した日から5か年間。ただし、その期間内でも走行距離100,000kmまで。	下記のうち、弊社が指定した部品（次葉裏面参照） ・エンジン機構 ・排出ガス浄化機構 ・動力伝達機構 ・ステアリング機構 ・サスペンション機構 ・電子制御機構 ・乗員保護装置
	上記以外の保証期間	次葉裏面に記載する部品

### (3) 別扱いの保証

次に示す部品は、この保証書とは別にそれぞれの部品メーカーが定めた保証基準に従って保証されます。お買い上げの販売会社にご相談ください。

- ・タイヤ、チューブ
- ・バッテリー
- ・販売会社で取り付けした部品

## 2. 保証を適用しない事項

### (1) つぎに示すもの

- ①機能上影響のないと認められる感覚的現象。  
(音、振動、オイルのにじみなど)
- ②使用損耗および時の経過による変化で発生した不具合。(塗装面、メッキ面、樹脂部品等の自然退色劣化等)
- ③通常の注意で見えてきたにもかかわらず、放置したことにより拡大した不具合。

### (2) つぎに示す事項に起因する不具合

- ①3項「お客様に守っていただく事項」を守らなかった場合。
  - ②法令および弊社が指定する定期点検整備を実施しなかった場合。
  - ③保守、整備の不備または間違い。
  - ④取扱説明書などに示す取扱い方法と異なる使用および仕様の限度をこえる使用。  
(定員、積載量、エンジン回転、速度など)
  - ⑤純正部品および取扱説明書に指定する油脂類（オイル、不凍液など）以外の使用。
  - ⑥整備手帳に示す定期交換部品および油脂類を指定通り交換しなかった場合。
  - ⑦一般に自動車が走行しない場所あるいは特殊な使用状態での使用およびレース、ラリーなどによる酷使。
  - ⑧法令あるいは弊社が認めていない改造。  
(エンジンチューンアップ、車高の変更、灯火類の変更、)  
(タイヤの仕様変更など)
  - ⑨ばい煙、薬品、鳥ふん、塩分、酸性雨、飛石、金属粉などの外部要因による不具合。
  - ⑩自動車を長期間使用しなかった場合。
  - ⑪台風、水害、地震などの天災ならびに事故、火災による不具合。
- (3) 次に示す費用は負担いたしません。
- ①消耗部品および油脂類などの交換、補充の費用。
  - ②点検、調整、給油、清掃作業に要した費用。

- ③法令および弊社が指定する定期点検、継続検査にともなう点検、整備の費用。  
④弊社が指定する定期交換部品の交換の費用。  
⑤スズキ販売店あるいは代理店以外で行われた修理の費用。  
⑥保証修理に伴う付随的費用および車を使用できなかったことによる損失ならびに本保証書の示す条件以外の費用、補償など。  
(電話代、けん引代、レンタカー代、旅費、積荷、休車による損失の補償など)

### 3. お客様に守っていただく事項

次に示す事項は、保証修理を受けるためのお客様の義務として必ず守ってください。

- (1)取扱説明書などに示す取扱い方法および仕様に従った正しい取扱い。  
(2)運行前点検の実施。  
(3)法令および弊社が指定する定期点検整備の実施。  
(4)整備手帳に示す定期交換部品および油脂類の指定通りの交換。  
(5)補償修理を受ける場合、自動車と整備手帳を修理工場（お買い上げいただいた販売店またはスズキ代理店）に持込むこと。  
この場合、定期点検整備がなされていることが証明できるよう点検整備記録簿を保持すること。

### 4. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、自動車とこの整備手帳をお買い上げいただいた販売店またはスズキ代理店へのお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。  
整備手帳を提示されない時は保証修理をお受けいたしかねます。

### 5. 保証の発効

この保証書は、スズキ代理店がこの整備手帳にお買い上げいただきました自動車に関する必要事項を記入し、代理店名を記入、捺印後有効となります。

### 6. 保証の継承

保証期間が残っている車をお買い上げの際は、ご購入後ただちに、もよりのスズキ販売店またはスズキ代理店へ自動車とこの整備手帳をお持ちいただき、必要な点検（有料）と保証の継承手続きをお受けください。

これにより、残りの期間を保証いたします。

### 7. 保証の適用

この保証書は、日本国内で使用されている自動車のみに適用いたします。

#### 無料点検保証

車の寿命を長持ちさせ、また安全快適にお乗りいただくために、お買い上げの日から1か月目の弊社が指定する点検は無料で行ないます。(但し、オイルなど消耗品及び工賃等は有料です)点検期日までにはかならずお受けください。

静岡県浜松市高塚町300番地  
**スズキ株式会社**  
電話 <053> 440-2061



お車のことやサービスについてのご相談及び保証についてのお問い合わせが必要なときは7ページをご覧ください。

## 特定保証部品

### ● 5 年間保証 (ただし100,000km走行まで)

エンジン機構
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シリンダヘッド</li> <li>・ シリンダヘッドカバー</li> <li>・ シリンダブロック</li> <li>・ オイルパン</li> <li>・ バルブ機構主要部品</li> <li>・ クランクシャフト</li> <li>・ コネクティングロッド</li> <li>・ ピストン</li> <li>・ フライホイール</li> <li>・ オイルポンプ</li> </ul>

ステアリング機構
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステアリングシャフト</li> <li>・ ステアリングコラム</li> <li>・ ステアリングジョイント</li> <li>・ ステアリングラック&amp;ピニオン</li> <li>・ ステアリングギヤーボックス</li> <li>・ パワーステアリングポンプ</li> <li>・ ピットマンアーム</li> <li>・ インタメジエートアーム</li> <li>・ タイロッド</li> <li>・ ナックル</li> </ul>

乗員保護装置
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シートベルト</li> </ul>

### ● 1 年間保証 (ただし20,000km走行まで)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マフラー</li> <li>・ エキゾーストパイプ</li> <li>・ シールドビーム</li> <li>・ ハロゲンランプ</li> <li>・ ラジオ、ステレオ、時計</li> <li>・ エアコン</li> </ul>
--

排出ガス浄化機構
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EGRバルブ</li> <li>・ 触媒コンバータ (触媒ケース、触媒)</li> </ul>

サスペンション機構、他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サスペンションアーム</li> <li>・ アクスルハウジング</li> <li>・ アクスルシャフト</li> <li>・ ホイールハブ</li> </ul>

### ● ボデー錆保証 (走行距離による制限なし)

3 年保証	1 年保証
ボデー外板の錆による穴あき (荷台を除く)	ボデー外板の表面錆 (荷台を除く)

動力伝達機構
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トルクコンバータ</li> <li>・ トランスミッションケース</li> <li>・ トランスミッション内部主要部品</li> <li>・ オートマチックトランスミッション</li> <li>・ ドライブシャフト</li> <li>・ プロペラシャフト</li> <li>・ ユニバーサルジョイント</li> <li>・ デファレンシャルキャリア</li> <li>・ ドライブピニオン&amp;リングギヤー</li> <li>・ デファレンシャルケース</li> <li>・ ピニオン&amp;サイドギヤー</li> </ul>

電子制御機構
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フューエルインジェクションコンピュータ</li> <li>・ キャブレータコンピュータ</li> <li>・ A/Tミッションコンピュータ</li> <li>・ ICレギュレータ</li> <li>・ イグナイタ</li> <li>・ フルオートエアコンコンピュータ</li> <li>・ パワーステアリングコンピュータ</li> </ul>

## 消耗部品・油脂類

- ・ エアークリーナエレメント
- ・ オイルフィルタ
- ・ フューエルフィルタ
- ・ 点火プラグ
- ・ ブラシ
- ・ 電球類
- ・ ヒューズ
- ・ クラッチディスク
- ・ ブレーキライニング類
- ・ ガスケット
- ・ パッキング
- ・ ガラス製品
- ・ 各種ゴム製品
- ・ 各種油脂類
- ・ その他、上記に類する部品

〔注〕

定期点検整備時に交換する定期交換部品は保証しません

### リコールについて

一般の使用状態において、走行中に人に危害を及ぼす恐れのある不具合が、ある車種に相当数発生すると予測される場合には、この保証書とは別に、法律にもとづき弊社の判断と責任においてリコールを実施いたします。従って、弊社が万一リコールを実施した場合は、安全確保のためリコールの実施にご協力くださるようお願いいたします。



## お車についてのご相談,ご意見は

お車のことやアフターサービスなどについてのご相談、ご意見がありましたら、まず、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

また、地区代理店にご相談されたいときには、別冊の「スズキ4輪車サービスネットワーク」に記載しているお近くの代理店あるいは代理店営業所にご相談ください。

お客様の相談に対して的確な判断と迅速な処理をするために次の事項を必ずご確認のうえ、ご相談ください。

- ①車名及び型式、登録番号
- ②ご購入年月日
- ③走行距離
- ④ご相談内容
- ⑤お客様のご住所、お名前、電話番号

スズキ株式会社の窓口は……

〒432-91 浜松市高塚町

**スズキ株式会社**

お客様相談室

電話 (053) 440-2253

## 整備手帳について

### 1. 整備手帳

あなたの愛車をいつまでも安全快適にご愛用いただくために、あなたとスズキがたえずあなたの車の健康管理に気を配り、適時、適切な健康診断(点検整備)を行うことが必要です。

整備手帳には、ご愛用車の定期点検整備とメーカーが推奨する点検整備、及び点検整備記録簿をまとめて説明してあります。

### 2. 点検整備方式

あなたの愛車を安全快適にご使用いただくため、点検整備方式には次の点検整備があります。

○あなたに行って……運行前点検  
いただく点検

○あなたとスズキ……新車より1か月目の初期点検、法定6か月、12か月、24か月定期点検整備とメーカーが推奨する点検整備。

#### (1)運行前点検

自動車を使用される方には、法令によって、毎日の走行前にかかわらず、**運行前点検**を実施するように義務付けられています。別冊の取扱説明書に点検の要領が説明してありますので、これに従って実施してください。

この整備手帳には、これらの項目を表にまとめて掲載してあります。

## (2)新車より 1 か月目の初期点検(無料)

—これはスズキがおすすめする初期点検です—

いかに完全に作られた車でも使い初めには、なじみのため各部の締め付けがゆるんだり、なじみのための摩耗が生じます。これをそのまま使用すると、ゆるみや摩耗はますますひどくなり故障となってあらわれます。この修復をするために、初期点検が必要です。

スズキはこの手入れの時期をお買求め後、1 か月目(ただし、1 か月以内に1000kmを超えときは1000km時点)にきめて、無料で実施させていただいております。この整備手帳をご持参のうえ、お買求め販売店、代理店、または別添のサービス網一覧表に記載された代理店、サービス工場に車をお持込みいただき点検を受けてください。(油脂代、部品代及び工賃等は有料です。)

この整備手帳の提示のない場合は、無料点検は受けられません。また整備手帳の再発行は致しませんので紛失などしないように十分ご注意ください。

### 初 期 点 検 有 効 期 間

1 か月点検………登録日より 3 か月以内

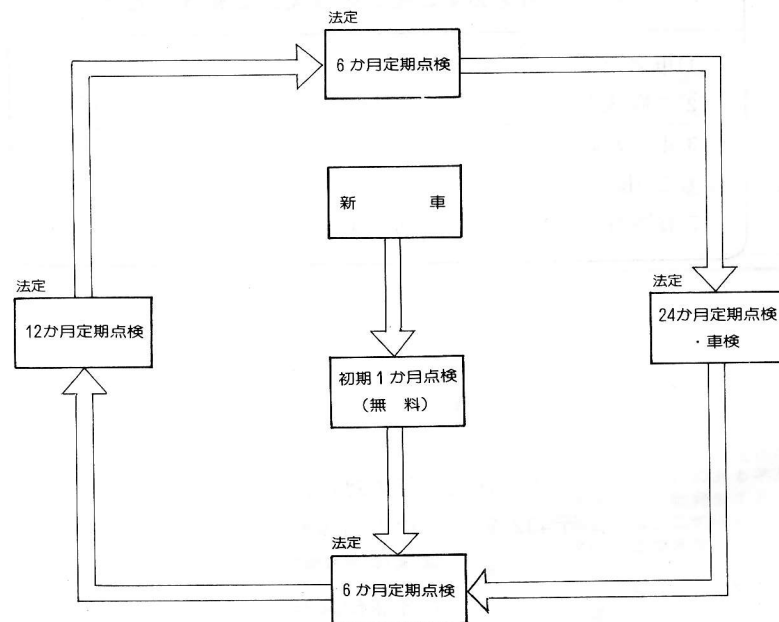
1 か月点検は、有効期間を過ぎた場合には有料となります。またこの定期点検をお受けにならない場合は、保証期間内の故障であっても保証致しかねますのでご承知おきください。初期点検の点検項目は、初期点検記録をご参照ください。

## (3)6 か月, 12か月, 24か月ごとの定期(法定)点検整備

これは法令で定められた定期点検整備です。

あなたの安全と社会の安全のために、法令で 6 か月, 12か月, 24か月ごとに定期点検整備を行うことが義務づけられています。ただし、事業用に使用される場合は、法令で 1 か月, 3 か月, 12か月ごとの点検整備を行うことが義務づけられています。

お車の寿命を延ばし、安全快適にお乗りいただくため、必ず実施してください。



## 定期交換部品について

自動車部品のうち、安全上重要なゴム部品などは、通常の外観検査では経年変化による劣化の判断がむずかしいものです。下表の部品は安全運転を確保していただくために弊社が定期的な交換することを推奨するものです。指定の時期になりましたら、定期交換をおすすめします。スズキのサービス工場でご相談のうえ、交換してください。

なお、定期交換は、お客様の責任と費用のご負担により実施していただくものです。交換時期は、1か月で1000km程度走行する場合を標準の時期として定めてあります。従って特に走行距離が多い場合、又は標準的な使用条件と著しく異なる使用の場合（悪路、海岸地帯、山岳地帯、寒冷地での使用が多いとき、酷使される車など）には、標準の交換時期より早目に交換されることをおすすめします。

定 期 交 換 部 品	交換時期
マスタシリンダ・ホイールシリンダのカップ およびダストブーツなど。	2 年 毎
ブレーキホース	4 年 毎
フューエルホース	4 年 毎
ブレーキ用バキューム ホース	4 年 毎
パワーステアリングホース	4 年 毎

## 運行前点検について

— これはあなた自身がおこなう日常点検です —

お出かけの前には1日1回、欠かさずつぎの項目について点検をし、安全を確かめてから出発することが法令で義務づけられています。

点 検 箇 所	点 検 内 容
前日の運行において異状が認められた箇所	・当該箇所に異状がないこと。
ブ レ ー キ	・ブレーキの踏みしろが適当で、ブレーキのききが十分であり、片ききがないこと。 ・ブレーキの液量が十分であること。 ・パーキングブレーキレバーの引きしろが適当であること。
タ イ ヤ	・空気圧が適当であること。 ・亀裂及び損傷がないこと。 ※異状な摩耗がないこと。 ・釘、石などの異物がきさったり、かみ込みがないこと。 ※溝の深さが十分であること。
原 動 機	※エンジンオイルの量が適当であること。 ※ラジエタ等の冷却装置から水漏れがないこと。 ※冷却水の量が十分であること。 ※ファンベルト（ウォーターポンプベルト）の張り具合が適当で、ベルトに損傷がないこと。
燃 料 装 置	※燃料の量が十分であること。
灯火装置、方向指示器	・点滅具合に異状がなく、レンズに汚れ及び損傷がないこと。
後 写 鏡	・写影が良好であること。
反射器及び車両番号標	・汚れ及び損傷がないこと。

〈注1〉 ※印の点検は、80km/h以上の走行が出来る道路（高速道路など）を走行する予定のない場合には、省略してもよい項目です。

点検要領は、別冊の取扱説明書をご参照ください。

今日のお出かけが楽しいものとなるようかならず運行前点検を実施しましょう。

# 点検整備方式一覧

- 〔注〕 (1) 「●」印は法規で義務付けられた時期を示し、「○」印はスズキで推奨する時期を示します。  
 (2) 走行キロごとの点検欄は、6か月、12か月、24か月等の期間点検の他に、走行キロに基づく点検時期を示します。  
 (3) 「☆」印は保安部品の定期交換時期を示します。この交換時期は一般走行する不特定多数の車を対象に定めてあります。従って著しく走行条件の異なるものは、これに準拠して交換することが必要です。  
 (4) 表中の「区分」の欄で用いている記号の意味は次の通りです。なお、これは一応の目安です。  
 ① ……点検を行うに当たって、自動車の構造や装置に関する基礎的な技術知識を有する方であれば、ご自身でも実施可能なものを示します。  
 ② ……点検を行うに当たって、専門的な技術知識を必要とするもの、専門的な機械・工具や測定器具を必要とするもの、装置または部品の分解、取り外しを伴うものを示します。

点 検 の 種 類  点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期										区 分	備 考		
			運 行 前 点 検	高 速 走 行 前 点 検	新 車 時 検		自 家 用			事 業 用 等					点 検 ( 単 位 km ) の 走 行 キ ロ 数 と の	交 換 時 期 ( 年 々 ) と の
					1 か 月 又 は	1 0 0 0 km	6 か 月 ごと	12 か 月 ごと	24 か 月 ごと	1 か 月 ごと	3 か 月 ごと	12 か 月 ごと				
か じ 取 り 装 置	ハンドル	遊び、緩み及びがた 操作具合		○ ○		● ●	● ●		● ●	● ●		Ⓐ Ⓐ	ジムニー			
		ギヤボックス	油漏れ 取付けの緩み 軸受部のがた ギヤのバックラッシュ		○		● ●		● ● ● ●		Ⓑ Ⓑ Ⓑ Ⓑ					
	ロッド及びアーム類		緩み、がた及び損傷 ボールジョイントのダストブーツの亀裂及び損傷 連結部の摩耗及び取付状態 ナックルアームの亀裂及びナックルとの取付状態		○		● ●	● ●	● ●	● ● ● ●	Ⓑ Ⓑ Ⓑ Ⓑ					

点 検 の 種 類  点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期										区 分	備 考		
			運 行 前 点 検	高 速 走 行 前 点 検	新 車 時 検		自 家 用			事 業 用 等					点 検 ( 単 位 千 km ) 走 行 キ ロ ( こ と ) の	交 換 時 期 ( 年 ( こ と ) )
					1 か 月 又 は	1 0 0 0 km	6 か 月 ごと	12 か 月 ごと	24 か 月 ごと	1 か 月 ごと	3 か 月 ごと	12 か 月 ごと				
か じ と り 装 置	ナックル	連結部のがた						●		●	●			㊸		
	かじ取り車輪	ホイールアライメント 左右の回転角度						● ●			● ●			㊸ ㊸		
	パワーステアリング装置	ベルトの緩み及び損傷 油漏れ及び油量 取付けの緩み				●	●	● ● ●	●	●	● ● ●			㊸	油圧式装着車のみ	
制 動	ブレーキペダル	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間 踏みしろ及びきき具合 ブレーキのきき具合	●	●	○  ○	●	●	●	●	●	●			㊶  ㊶		
	駐車ブレーキレバー	引きしろ ブレーキのきき具合 ラチェット部の摩耗及び損傷	●	●	○	●	●	● ●	●	●	● ● ●			㊶ ㊶ ㊸		
装 置	ロッド及びケーブル類	緩み、がた及び損傷						●		●	●			㊸		
	ホース及びパイプ	漏れ、損傷及び取付状態			○	●	●	●	●	●	●			㊶		
	リザーバタンク	液 量	●	●	○	●	●	●	●	●	●			㊶		
	マスタシリンダ、 ホイールシリンダ 及びディスクキャリパ	ホイールシリンダ及びディスクキャリパの液漏れ 機能、摩耗及び損傷					●	● ●			●			㊸ ㊸		
	倍力装置	機 能 油密及び気密						●			●			㊸ ㊸		
	ブレーキドラム及び ブレーキシュー	ドラムとライニングとのすき間 シューの摺動部分及びライニングの摩耗 ドラムの摩耗及び損傷					●	● ● ●	●	●	● ● ●			㊸ ㊸ ㊸		

点 検 の 種 類  点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期										区 分	備 考		
			運 行 前 点 検	高 速 走 行 前 点 検	新 車 時 検		自 家 用			事 業 用 等					点 検 ( 単 位 千 km ) 走 行 キ ロ ( こ と ) の	交 換 時 期 ( 年 ( こ と ) )
					1 か 月 又 は	1 0 0 0 km	6 か 月 ( こ と )	12 か 月 ( こ と )	24 か 月 ( こ と )	1 か 月 ( こ と )	3 か 月 ( こ と )	12 か 月 ( こ と )				
制 動 装 置	バックプレート	バックプレートの状態									●		㊸			
	ブレーキディスク及び パッド	ディスクとパッドとのすき間				●	●			●	●		㊸			
		パッドの摩耗 ディスクの摩耗及び損傷				●	●			●	●		㊸			
走 行 装 置	フロントアクスル	損傷及び変形									●		㊸	ジムニー		
	リアアクスル ハウジング	亀裂、損傷及び変形									●		㊸	FR車・4WD車		
	ホイール	タイヤの空気圧	●	●		●	●	●	●	●	●			㊶	溝の深さは高速 走行前点検のみ	
		タイヤの亀裂及び損傷	●	●		●	●	●	●	●	●			㊶		
タイヤ溝の深さ及び異常な摩耗		●	●		●	●	●	●	●	●			㊶			
タイヤの金属片、石、その他の異物		●	●		●	●	●	●	●	●			㊶			
	ホイールナット及びホイールボルトの緩み					●	●	●	●	●			㊶			
	リム及びホイールディスクの損傷					●							㊶			
	リム、サイドリング及びホイールディスク の損傷							●	●	●			㊶			
	フロントホイールベアリングのがた					●		●	●				㊸			
	リアホイールベアリングのがた					●				●			㊸			
	シャシばね	損 傷						●		●	●		㊸		㊶	
		左右のたわみの不同									●					
	緩 衝 装 置	取付部及び連結部	取付部の緩み及び損傷					●							㊸	FR車
取付部 (ブラケット部を除く)の緩み及び 損傷									●	●			㊸			
連結部のがた							●			●			㊸			
リーフのずれ										●			㊸			
		ブラケットの取付けの緩み及び損傷								●			㊸			



点 検 の 種 類  点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期										区 分	備 考		
			運 行 前 点 検	高 速 走 行 前 点 検	新 車 時 検		自 家 用			事 業 用 等					点 検 (単 位 千 km) 走 行 キ ロ (こ と の	交 換 時 期 (年 ごと)
					1 か 月 又 は	1 0 0 0 km	6 か 月 ごと	12 か 月 ごと	24 か 月 ごと	1 か 月 ごと	3 か 月 ごと	12 か 月 ごと				
緩 衝 装 置	サスペンションアーム	連結部のがた及びアームの損傷						●				●			㊸	
	ショックアブソーバ	油漏れ及び損傷 取付部のがた						●			●	●			㊸ ㊸	
動 力 伝 達 装 置	クラッチ	ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間 作 用			○	●	●	●	●	●	●	●			㊸ ㊸	AT車除く AT車除く
	トランスミッション	油漏れ及び油量 操作機構のがた			○ ○		●	●	●	●	●	●			㊸ ㊸	
	プロペラシャフト及び ドライブシャフト	連結部の緩み 自在継手部のダストブーツの亀裂及び損傷 スプライン部のがた 自在継手部のがた プロペラシャフトの振れ センタベアリングのがた アクスルシャフトのねじれ及び亀裂			○		● ●	● ● ● ●		●	● ● ● ● ● ●				㊸ ㊸ ㊸ ㊸ ㊸ ㊸	FR車・4WD車 FR車除く FR車・4WD車 アルト4WD車・セルボ4WD車 FR車 アルト4WD車・セルボ4WD車
	デファレンシャル	油漏れ及び油量			○		●	●	●	●	●				㊸	FR車・4WD車
	電 気 装 置	点火装置	点火プラグの状態 点火時期 ディストリビュータキャップの状態 進角装置(遅角機構を含む)の機能			○  ○	●  ●	● ● ● ●	● ● ● ●	● ●	● ● ● ●	● ● ● ●				㊸ ㊸ ㊸ ㊸

点 検 の 種 類  点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期										区 分	備 考		
			運 行 前 点 検	高 速 走 行 前 点 検	新 車 時 検		自 家 用			事 業 用 等					点 検 ( 単 位 千 km ) 走 行 キ ロ こ と の	交 換 時 期 ( 年 こ と )
					1 か 月 又 は	1 0 0 0 km	6 か 月 こ と	12 か 月 こ と	24 か 月 こ と	1 か 月 こ と	3 か 月 こ と	12 か 月 こ と				
電 気 装 置	バ ッ テ リ	液 量 液の比重 ターミナル部の接続状態			○	●	●	●	●	●	●			Ⓐ Ⓑ <sub>2</sub> Ⓐ		
	電 気 配 線	接続部の緩み及び損傷						●	●	●	●			Ⓑ		
原 動 機	本 体	かかり具合及び異音			○		●	●	●	●	●			Ⓑ	湿油式は清掃不可	
		低速及び加速の状態			○	●	●	●	●	●	●			Ⓑ		
		排気の状態				●	●	●	●	●	●			Ⓑ		
		エアクリーナエレメントの状態					●	●	●	●	●			Ⓐ		
		シリンダヘッド及びマニホールド各部の締付状態									●			Ⓑ		
		圧縮圧力 弁すき間						●			●			Ⓑ <sub>2</sub> Ⓑ		
機	潤滑装置	油漏れ 油の汚れ及び量 オイルの量			○ ○	●	●	●	●	●	●			Ⓑ <sub>2</sub> Ⓐ		
	燃料装置	燃料漏れ キャブレタのリンク機構の状態 スロットルバルブ及びチョークバルブの状態 燃料の量			○		●	●	●	●	●			Ⓑ <sub>2</sub> Ⓑ <sub>2</sub> Ⓑ <sub>2</sub> Ⓑ	EPI車は点検不要 EPI車はスロットル・ボデーの状態	

点 検 の 種 類  点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期										区 分	備 考	
			運 行 前 点 検	点 検	新 車 時 検	自 家 用			事 業 用 等			点 検 ( 単 位 km ) 走 行 キ ロ ( 年 ) と の			交 換 時 期 ( 年 ) と の
				高 速 走 行 前 点 検	1 か 月 又 は 1 0 0 0 km	6 か 月 ごと	12 か 月 ごと	24 か 月 ごと	1 か 月 ごと	3 か 月 ごと	12 か 月 ごと				
原 動 機	冷 却 装 置	水 量	●	○	●	●	●	●	●	●			Ⓐ		
		ファンベルトの緩み及び損傷	●	○	●	●	●	●	●	●	●			Ⓐ	
		水漏れ	●			●	●		●	●	●			Ⓐ	
		ラジエータキャップの機能					●		●	●				Ⓑ	
ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置	ブローバイガス還元装置	配管の損傷					●				●		Ⓑ	ターボ車を除く	
		メーターリング・バルブの状態					●				●		Ⓑ		
	燃料蒸発ガス排出抑止装置	チャコールキャニスタの詰まり及び損傷					●				●		Ⓑ		
		配管等の損傷					●				●		Ⓑ		
		チェック・バルブの機能					●				●		Ⓑ		
	一酸化炭素等発散防止装置	触媒反応方式等排出ガス減少装置の取り付けの緩みと損傷		○		●	●			●	●		Ⓑ	酸化触媒車	
		排気ガス再循環装置の機能				●	●			●	●		Ⓑ		
		配管の損傷及び取付状態				●	●			●	●		Ⓑ		
	減速時排気ガス減少装置の機能				●	●			●	●		Ⓑ	EPI車を除く		
		熱害防止装置	遮熱板の取付けの緩み及び損傷				●	●			●	●		Ⓑ	
灯火装置及び方向指示器		作 用		○	●	●	●	●	●	●			Ⓐ		
		点滅具合、汚れ及び損傷	●	●											

点 検 の 種 類  点 検 整 備 項 目		点 検 整 備 時 期										区 分	備 考		
		運 行 前 点 検	高 速 走 行 前 点 検	新 車 時 検		自 家 用			事 業 用 等					点 検 ( 単 位 km ) 走 行 キ ロ 数 と の	交 換 時 期 ( 年 と )
				1 か 月 又 は	1 0 0 0 km	6 か 月 と	12 か 月 と	24 か 月 と	1 か 月 と	3 か 月 と	12 か 月 と				
警告器、窓拭器、洗浄液噴射装置、デフロスタ及び施錠装置	作 用			○		●	●			●	●			Ⓐ	
後射鏡及び反射鏡	写影の状態	●	●												後写鏡のみ
反射器及び自動車登録番号標又は車両番号標	汚れ及び損傷	●	●												
計 器	作 用			○		●	●			●	●			Ⓐ	
エキゾーストパイプ及びマフラ	取付けの緩み及び損傷 マフラの機能					●	●			●	●			Ⓑ Ⓐ	
車枠及び車体	ドアロックの機能 緩み及び損傷			○ ○			●			●	●			Ⓐ Ⓑ	
座 席	座席ベルトの状態						●				●			Ⓐ	
前日の運行において異状が認められた箇所	当該個所に異状がないことを確認	●	●												
そ の 他	シャシ各部の給油脂状態					●	●		●	●	●			Ⓑ	

# 点検整備方式一覧表(メーカー推奨項目)

[注]「走行キロごとの整備(単位千km)」と「交換時期(年ごと)」を併記している油脂類は、そのどちらか早い方で交換します。

点 検 の 種 類  点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期										区 分	備 考		
			運 行 前 点 検	高 速 走 行 前 点 検	新 車 時 検		自 家 用			事 業 用 等					整 備 ( 単 位 千 km ) 走 行 キ ロ ご と の	交 換 時 期 ( 年 ご と )
					1 か 月 又 は	1 0 0 0 km	6 か 月 ご と	12 か 月 ご と	24 か 月 ご と	1 か 月 ご と	3 か 月 ご と	12 か 月 ご と				
か 装 取 置	ナックル	ステアリングナックルオイルシールの摩耗 及び損傷 パワーステアリングホース交換					○	○		○	○		☆4	ジムニー ジムニー		
制 動 装 置	ブレーキ液	ブレーキ液交換											2			
	保安部品	ブレーキマスタシリンダ及びホイールシリ ンダのカップ及びダストシール交換											☆2			
		ブレーキホース交換 ブレーキ用バキュームホース交換											☆4 ☆4			
走 行 装 置	ホイール	リヤホイールベアリングのがた									○			ジムニー		
動 力 伝 達 装 置	クラッチ及び トランスミッション	マニュアルトランスミッションオイル交換										20	2	AT車 AT車 ジムニー ジムニー {ジムニー 4WD AT車		
		オートマチックトランスミッションオイル交換										40				
		オイルクーラホース交換 トランスファの油漏れ及び油量 トランスファの操作機構のがた トランスファオイル交換					○ ○		○ ○	○ ○	○ ○		20		2	
	デファレンシャル	デファレンシャルオイル交換										20	2	FR車・4WD車		

点 検 の 種 類  点 検 整 備 項 目			点 検 整 備 時 期										区 分	備 考	
			運 行 前 点 検	高 速 走 行 前 点 検	新 車 時 検 1 か 月 又 は 1 0 0 0 km	自 家 用			事 業 用 等			整 備 ( 単 位 千 km ) 走 行 キ ロ ー の こ と			交 換 時 期 ( 年 ) の こ と
						6 か 月 こ と	12 か 月 こ と	24 か 月 こ と	1 か 月 こ と	3 か 月 こ と	12 か 月 こ と				
原 動 機	本 体	エアクリーナエレメント交換 タイミングベルト交換										20 100			
	潤滑装置	エンジンオイル交換 標準車 ターボ車 オイルフィルタ交換										10 5 10	0.5 0.5	SE級以上のオイル使用 SF級以上のオイル使用	
	燃料装置	フューエルフィルタ交換										40			
	保安部品	フューエルホース交換											☆4		
	冷 却 水	冷却水の交換											2		



# 走行距離ごとの点検整備

1か月1000km走行を著しくオーバーして使用される場合は、6か月、12か月、24か月の定期点検のほかに下表の点検整備をおすすめします。

点検整備項目		走行距離																		備考
		1 0 0 0 km	2 5 0 0 km	3 0 0 0 km	5 0 0 0 km	7 5 0 0 km	1 0 0 0 km	1 2 5 0 km	1 5 0 0 km	1 7 5 0 km	2 0 0 0 km	2 2 5 0 km	2 5 0 0 km	2 7 5 0 km	3 0 0 0 km	3 2 5 0 km	3 5 0 0 km	3 7 5 0 km	4 0 0 0 km	
エアークリーナ エレメント	清掃						○ 12か月毎								○ 12か月毎					湿潤式を除く
	交換									○									○	
マニュアル ミッションオイル デフオイル トランスファオイル	量点検	○ 1か月日					○ 12か月毎								○ 12か月毎					
	交換									○ 2年毎									○ 2年毎	
オートマチック ミッションオイル	量点検	○ 1か月日					○ 12か月毎			○ 12か月毎					○ 12か月毎					
	交換																		○ 4年毎	
オイルフィルタ	交換						○			○					○				○	
エンジンオイル	交換 (標準車)						○ 6か月毎			○ 6か月毎					○ 6か月毎				○ 6か月毎	
	交換 (ターボ車)				○ 6か月毎		○ 6か月毎		○ 6か月毎	○ 6か月毎		○ 6か月毎		○ 6か月毎	○ 6か月毎		○ 6か月毎		○ 6か月毎	
燃料フィルタ	交換																		○	

# 点検整備の経歴

- ・定期点検を行なったときは、該当欄に「○」を記入してください。
- ・定期点検以外の整備を行ったときは、その他の欄に「○」を記入し、記事欄に整備内容を付記してください。
- ・リコール対策を行ったときは、その他の欄に「○」を記入し、記事欄に「リコール」と明記してください。

点検 年月日	点検時の 走行距離(km)	実施事業所	定期点検				その他	記事
			1 か月	6 か月	12 か月	24 か月		
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							
・	・							

# 定期点検整備記録簿の記入要領

定期点検整備記録簿は、点検の結果と整備の概要を記録、保存して、自動車の維持管理に役立てるためのものです。

定期点検整備記録簿は、自動車に備え付けることになっており、その保存期間は、自家用乗用自動車などにあつては2年間、その他の自動車にあつては1年間となっています。

1. 「**61224**」は、定期点検の時期を示すもので、実施する点検時期を○で囲みます。

2. 「**自動車登録番号又は車両番号**」「**車台番号**」は、自動車に備え付けの自動車検査証又は軽自動車届出済証を見て記入します。

3. 「**点検の結果及び整備の概要**」欄については、

①点検の結果、異状が無かった場合は、その点検項目のチェック欄(□)に「レ」の記号を記載します。

②点検の結果、異状があり、必要な整備を行った場合は、次の表の整備作業の区分に従い、「チェック記号」を用いてチェック欄に記載します。なお、整備作業が重複して行われた場合には、表中の記載順位が最も高いものを記載します。

③点検又は整備が分解を伴って行われたときは、「チェック記号」を○で囲みます。

例、ライニングの摩耗を点検した結果、異状なしの場合は○と記入します。

「チェック記号」の意味と記載順位

記載順位	整備作業	チェック号	意味
	点検	✓	点検の結果、異状がなかった。
1	交換	×	点検の結果、交換した。(部品、油脂又は液類交換作業を示す。)
2	修理	△	点検の結果、修理した。(摩耗、損傷等のため部品を修復する作業を示す。)
3	調整	A	点検の結果、調整した。(機能維持のため遊び、すき間、角度等を基準値に戻す作業を示す。)
4	締付	T	点検の結果、締付けた。(緩んだ箇所を増し締めする作業を示す。)
5	清掃	C	点検の結果、清掃した。(粉塵、油等による汚れを取り除く作業を示す。)
6	給油	L	点検の結果、給油した。(油脂、液類を補給する作業を示す。)

4. 「**点検又は整備を実施した者の氏名又は名称、住所**」は、点検又は整備を実施した者の氏名(法人は会社名)と住所を記入します。

ただし、使用者が点検または整備を実施した場合は住所の記入は不要です。

なお、点検と整備を実施した者が異なるときは、両者をそれぞれ記入します。

5. 「**点検の年月日**」「**整備を完了した年月日**」は、点検を実施した年月日、整備を完了した年月日をそれぞれ記入します。

6. 「**点検時の総走行距離**」は、積算距離計をみて点検時における自動車の総走行距離の数値を記入します。

7. 「**記事(主な交換部品、測定結果等)**」は、整備の際に交換した主な部品(ブレーキ液、ブレーキ・ホースなど)や測定結果(ブレーキ・ライニング、ブレーキ・パッドの厚みなど)などを必要に応じ記入します。

(記入例)

6か月点検整備を実施した

バッテリー液を補給した

コンビネーションランプを取り外し内部の汚れを清掃した

定期点検整備記録簿				依頼者の氏名又は名称 <b>鈴木次郎</b>		車名及び型式 軽自動車登録番号又は車両番号 <b>浜松40 12 34</b>	
点検		交換・△ 締付		住所 <b>浜松市高塚町 300</b>		原動機の種類 初年度登録年又は初年度検査年 <b>DE51V-100050</b>	
分解		調整					
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<b>点検の結果及び整備の概要</b>				<b>減速時排気ガス減少装置の機能</b>			
■ <b>かじ取り装置</b>				■ <b>灯火装置等</b>			
ハンドル遊び、緩み、がた、ハンドルの操作具合				灯火装置の作用/方向指示器の作用			
ギヤボックスの油漏れ、ギヤボックスの取付けの緩み				警告器の作用			
ロッド、アーム類、ボールジョイントのダグの緩み、がた、損傷、スト・ブーツの亀裂、損傷				窓拭器の作用/洗浄液噴射装置の作用			
ナックルの連結部のがた				デフロスタの作用/施錠装置の作用			
ホイール・アラメント/かじ取り車輪の左右の回転角度				計器の作用			
パワー・ステアリング装置のベルトの緩み、損傷				エンジン・オイルの汚れ、量			
パワー・ステアリング装置の油漏れ、油量				エンジン・オイルの漏れ			
パワー・ステアリング装置の取付けの緩み				燃料漏れ			
■ <b>制動装置</b>				■ <b>ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置</b>			
ブレーキ・ペダルの遊び、踏み、ブレーキのきき込んだときの床板とのすき間/具合				プロパイ・ガス還元装置 / プロパイ・ガス還元装置のメタリングバルブの状態 / の配管の損傷			
駐車ブレーキ・レバーの引きしろ				燃料系蒸発ガス排出抑制 / チャコール・キャニスターの装置の配管等の損傷 / 詰まり、損傷			
駐車ブレーキのきき具合				燃料系蒸発ガス排出抑制装置のチェックバルブの機能			
ロッド、ケーブル類の緩み、がた、損傷				触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷			
ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態				二次空気供給装置の機能			
リザーバ・タンクの液量				排出ガス再循環装置の機能			
ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパの液漏れ							
マスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷							
倍力装置の機能							
ドラムとライニングの摺動部分、シングとのすき間/ライニングの摩耗							
ドラムの摩耗、損傷							
ディスクとパッドとのすき間/パッドの摩耗							
ディスクの摩耗、損傷							
■ <b>走行装置</b>							
タイヤの空気圧/タイヤの亀裂、損傷							
測定結果				点検又は整備を実施した者の氏名又は名称			
● CO、HC濃度(アイドリング時)				<b>鈴木次郎</b>			
CO %				住所			
HC ppm				<b>浜松市高塚町 300</b>			
(注) ※は貨物の運送の用に供する軽自動車に限り6ヵ月ごとに点検を行わなければならない項目を示す。				検査を執行した者の氏名			
○は様式に定められていない項目を示す。				点検の日			
メーカー推奨項目及び定期交換部品については整備手帳の17～18ページを参照ください。				整備を完了した年月日			
				点検時の総走行距離			

方向指示器の  
ランプを取り替えた

メーカ推奨項目等  
を記入します

注 この記録簿は、2年間携行保存して下さい。

使用者用

タイヤの空気圧を調整した

エンジン・オイルを交換した

点検

交換

締付

T

修理

清掃

C

分解

調整

A

給油

L

定期点検整備記録簿

6 ( )  
12 ( + )  
24 ( + + )

か月定期点検整備

依頼者の氏名又は名称

車名及び型式

自動車登録番号又は車両番号

住所

原動機の型式

初度登録年又は初度検査年

車台番号

点検の結果及び整備の概要

■ かじ取り装置

ハンドル遊び、緩み、がた/ハンドルの操作具合

ギヤボックスの油漏れ/ギヤボックスの取付けの緩み

ロッド、アーム類/ボールジョイントのダの緩み、がた、損傷/スト・ブーツの亀裂、損傷

ナックルの連結部のがた

ホイール・アライメント/かじ取り車輪の左右の回転角度

パワー・ステアリング装置のベルトの緩み、損傷

パワー・ステアリング装置の油漏れ、油量

パワー・ステアリング装置の取付けの緩み

■ 制動装置

ブレーキ・ペダルの遊び、踏み/ブレーキのきき込んだときの床板とのすき間/具合

駐車ブレーキ・レバーの引きしろ

駐車ブレーキのきき具合

ロッド、ケーブル類の緩み、がた、損傷

ホース、パイプの漏れ、損傷、取付状態

リザーバ・タンクの液量

ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパの液漏れ

マスタ・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパの機能、摩耗、損傷

倍力装置の機能

ドラムとライニング/シューの摺動部分、グングとのすき間/ライニングの摩耗

ドラムの摩耗、損傷

ディスクとパッドとのすき間/パッドの摩耗

ディスクの摩耗、損傷

■ 走行装置

タイヤの空気圧/タイヤの亀裂、損傷

タイヤの溝の深さ、/タイヤの金属片、異状な摩耗

ホイール・ナット、ホイール・ボルトの緩み

リム、ホイール・ディスクの損傷

フロント・ホイール・ベアリングのがた

リヤ・ホイール・ベアリングのがた

■ 緩衝装置

シャシばねの損傷

取付部の緩み、損傷/連結部のがた

サスペンション・アームの連結部のがた、アームの損傷

ショック・アブソーバ/ショック・アブソーバの油漏れ、損傷

■ 動力伝達装置

クラッチ・ペダルの遊び、切れたときの床板とのすき間

クラッチの作用

クラッチの液量

トランスミッションの油漏れ、油量

トランスミッションの操作機構のがた

プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの連結部の緩み

ドライブ・シャフトの自在継手部のダスト・ブーツの亀裂、損傷

プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフトの自在継手部のダスト・ブーツの亀裂、損傷

プロペラ・シャフトのセンター・ベアリングのがた

デファレンシャルの油漏れ、油量

■ 電気装置

※点火プラグの状態

※点火時期

断続器の状態/ディストリビュータのキャップの状態

進角装置(遅角機構を含む。)の機能

バッテリーの液量

バッテリーの液の比重/バッテリーのターミナル部の接続状態

電気配線の接続部の緩み、損傷

■ 原動機

原動機のかかり具合、異音

※低速及び加速の状態

※排気の状態

エア・クリーナ・エレメントの状態

弁すき間

エンジン・オイルの汚れ、量

エンジン・オイルの漏れ

燃料漏れ

キャブレタのリンク/スロットル・バルブ機構の状態/スロットル・バルブの状態

噴射ノズルの噴射圧力、噴霧状態

噴射時期、噴射量

冷却水の量

ファン・ベルトの緩み、損傷

冷却装置の水漏れ

ラジエータ・キャップの機能

■ ばい煙、悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置

フローバイ・ガス還元装置/フローバイ・ガス還元装置のメタリング・バルブの状態/の配管の損傷

燃料蒸発ガス排出抑制/チャコール・キャニスタの装置の配管等の損傷/詰まり、損傷

燃料蒸発ガス排出抑制装置のチェック・バルブの機能

触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷

二次空気供給装置の機能

排出ガス再循環装置の機能

減速時排気ガス減少装置の機能

一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態

熱害防止装置の遮熱板の取付けの緩み、損傷

■ 灯火装置等

灯火装置の作用/方向指示器の作用

警告器の作用

窓拭器の作用/洗浄液噴射装置の作用

デフロスタの作用/施錠装置の作用

計器の作用

エグゾースト・パイプ、マフラの取付けの緩み、損傷

マフラの機能

ドア・ロックの機能/車枠、車体の緩み、損傷

座席ベルトの状態

シャシ各部の給油脂状態

■ 高圧ガスを燃料とする燃料装置等

導管、継手部のガス漏れ、損傷

ペーパーライザのタール

ガス容器取付部の/座席のある車室との緩み、損傷/間の気密

■ その他の点検項目

記事(主な交換部品、測定結果等)

測定結果

●CO、HC濃度(アイドリング時)

CO %

HC ppm

点検又は整備を実施した者の氏名又は名称

住所

検査を執行した者の氏名

点検の年月日

整備を完了した年月日

点検時の総走行距離

年 月 日

年 月 日

km

(注) ※は貨物の運送の用に供する軽自動車に限り6ヵ月ごとに点検を行わなければならない項目を示す。  
は様式に定められていない項目を示す。  
メーカー推奨項目及び定期交換部品については整備手帳の17~18ページをご参照ください。

この記録簿は、2年間携行保存して下さい。

使用者用

99012-50313 T・K

もっと個性的に、もっとあなたらしく  
**Personal Best**

 **SUZUKI**

**スズキ株式会社**

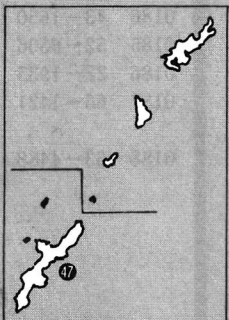
本社：〒432-91 浜松市高塚町

シートベルトをして安全運転



# スズキ4輪車 サービスネットワーク

1994年 8 月現在



- 電話局の新・増設などにより、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。
- 地図上の数字は、都道府県欄の数字になっております。

## ① 北 海 道

(株)スズキ自販北海道	065	札幌市東区北30条東1丁目1-44	011 721-8311
南 営 業 所	064	札幌市中央区南30条西10丁目	011 521-3255
手 稲 営 業 所	063	札幌市西区手稲宮ノ沢331	011 665-5500
白 石 営 業 所	003	札幌市白石区本通17丁目北1-45	011 865-2266
月 寒 営 業 所	062	札幌市豊平区福住3条1丁目2-3	011 851-5511
苫小牧営業所	053	苫小牧市明野新町2丁目1-2	0144 55-8201
旭 川 営 業 所	078-02	旭川市永山2条1-49-1	0166 48-1186~7
旭川末広営業所	070	旭川市末広東1条7丁目	0166 57-7481
滝 川 営 業 所	073	滝川市東町1-1-32	0125 22-2285
江 別 営 業 所	069	江別市野幌松並町6-8	011 385-8080
函 館 スズキ販売(株)	041	函館市亀田本町37-6	0138 45-2552
鍛 冶 営 業 所	041	函館市鍛冶2丁目39-5	0138 53-0584
スズキワークス函館	041	函館市本通町2丁目13-19	0138 56-7860
室 蘭 営 業 所	050	室蘭市中島町4-10-2	0143 43-8122
北 見 スズキ(株)	090	北見市西富町112-1	0157 24-1866
夕陽ヶ丘営業所	090	北見市高栄西町1-98	0157 31-5315
(株)青 木 商 会	085	釧路市双葉町9-5	0154 24-3915
鳥 取 営 業 所	084	釧路市鳥取大通3-21-7	0154 52-5091
(株)スズキカルタス北海道	061-01	札幌市白石区本通り17丁目北1-45	011 865-2266
(株)スズキカルタス函館	041	函館市亀田本町37-6	0138 41-2331
(株)オートランド札幌	004	札幌市厚別区厚別中央3条1丁目1-43	011 892-3400
手 稲 営 業 所	063	札幌市西区宮の沢2条4丁目1-27	011 665-3751
平 岸 営 業 所	062	札幌市豊平区和岸3条10丁目1-38	011 816-6010
(株)スズキカルタス札幌	004	札幌市厚別区厚別中央3条1丁目1-43	011 892-3400
スズキジーワイ(株)	080	帯広市大通南5-6	0155 22-6211
38サービスセンター	082	河西郡芽室町東芽室基線3-1	0155 62-0021

## ② 青 森 県

(株)スズキ自販青森	038	青森市石江字三好66-5	0177 82-9103
八 戸 営 業 所	031	八戸市類家3-2-26	0178 43-7215
弘 前 営 業 所	036	弘前市神田4-2-3	0172 36-5121
五所川原営業所	037-06	五所川原市福山字実吉73-8	0173 29-3022
(株)スズキカルタス青森	038	青森市石江字三好66-5	0177 82-7261

## ③ 秋 田 県

(株)秋田日光モータース	010	秋田市高陽幸町16-16	0188 23-4211
大 館 営 業 所	017	大館市片山町2-3-3	0186 43-1650
能 代 営 業 所	016	能代市字昇平岱24-17	0185 52-6306
鹿 角 営 業 所	018-52	鹿角市花輪字葉の木谷地239	0186 22-1935
大 曲 営 業 所	014-01	大曲市高関上郷字高屋敷3-1	0187 66-1421
(株)スズキカルタス秋田	010	秋田市高陽幸町16-16	0188 63-4488

## ④ 岩手県

日新スズキ販売(株)	025-03	花巻市二枚橋第6地割264-2	0198	26-5133
北上バイパス営業所	024	北上市北鬼柳29-20-1	0197	65-1125
水沢バイパス営業所	023	水沢市佐倉字川原田81-1	0197	25-5860
紫波営業所	028-33	紫波郡紫波町桜町字中屋敷35-5	0196	76-2405
盛岡営業所みたけ店	020	盛岡市みたけ三丁目38-34	0196	46-3844
(株)スズキ自販岩手	020	盛岡市南仙北1-22-70	0196	34-1025
県南営業所	023	水沢市真城字北塩加羅30	0197	24-5411
宮古営業所	027	宮古市大字磯鶏23地割字神林86-50	0193	63-6661
(株)スズキカルタス岩手	025-03	花巻市二枚橋第6地割264-2	0198	26-2051

## ⑤ 山形県

(株)スズキ自販山形	990	山形市穂積135	0236	41-8811
西営業所	990	山形市大字砂塚1030-2	0236	43-7511
鶴岡営業所	997	鶴岡市大字文下字仲田3-3	0235	24-6425
天童営業所	994	天童市大字山元字五反田1283-14	0236	54-6431
酒田営業所	998	酒田市新橋1-5-1	0234	23-7440
新庄営業所	996	新庄市大字松本字一本柳263-1	0233	22-5033
米沢営業所	992	米沢市春日4丁目4-20-3	0238	24-5010
南陽営業所	999-22	南陽市狙柳字柳田924-1	0238	40-2288
(株)スズキカルタス山形	990	山形市沼の辺町1-28	0236	31-7155

## ⑥ 宮城県

八千代スズキ販売(株)	983	仙台市宮城野区苦竹3-1-7	022	284-3882
長町営業所	982	仙台市太白区郡山字籠ノ瀬40	022	247-5997
泉営業所	981-31	仙台市泉区七北田字加藤20	022	374-1322
古川営業所	989-61	古川市中島町1-20	0229	22-1043
石巻営業所	986	石巻市門脇字3番谷地1-68	0225	96-6111
大河原営業所	989-12	柴田郡大河原町字錦町12-10	0224	52-1630
迫営業所	987-05	登米郡迫町佐沼字末広53-1	0220	22-3313
(株)スズキ自販関東				
仙台センター	981-12	名取市植松字入生20	022	382-5131
古川営業所	989-61	古川市若葉町1-6-16	0229	24-2677
仙台中央営業所	983	仙台市六丁目字行屋前18-1	022	287-3383
(株)スズキ自販宮城	983	仙台市宮城野区扇町5-11-3	022	284-8181
北仙台営業所	980	仙台市青葉区鷺ヶ森1-3-10	022	272-3211
西多賀営業所	982	仙台市太白区鈎取1-1-35	022	245-2483
スズキショップ泉	980	仙台市泉区松森字太子堂12-6	022	373-7747
石巻営業所	986	石巻市門脇字築山29	0225	94-0021
気仙沼営業所	988	気仙沼市南郷2-3	0226	22-7242
南営業所	981-12	名取市上余田千刈田170-1	022	384-1800
古川営業所	989-61	古川市北町4丁目35	0229	22-5715
迫営業所	987-05	登米郡迫町佐沼字中江5-4-5	0220	22-2214
大河原営業所	989-12	柴田郡大河原町字東295	0224	53-2335
(株)スズキカルタス宮城	983	仙台市宮城野区岡田西町1-32	022	288-6011
スズキショップ長町	982	仙台市太白区長町六丁目8-41	022	246-2511

## ⑦ 福島県

東北モータース(株)	975	原町市南町2-118	0244 23-2185
(株)スズキ自販福島	963	郡山市字川向157-1	0249 45-3571~6
会津営業所	965	会津若松市町北町大字始字深町82	0242 24-4545
喜多方営業所	966	喜多方市字西四ッ谷72	0241 22-3335
福島営業所	960	福島市吉倉字前田13-1	0245 45-4121
瀬上中販センター	960-01	福島市瀬上町字街道東14-2	0245 53-8288
二本松営業所	964	二本松市槻木132-1	0243 23-1300
須賀川営業所	962	須賀川市牛袋町101-1	0248 76-8100
白河営業所	961	白河市字金勝寺53-1	0248 27-1551
小名浜営業所	971	いわき市小名浜島字高田町19-2	0246 58-8126
平営業所	970-01	いわき市平字下神谷字仲田17-1	0246 34-6077
(株)スズキカルタス福島	963	郡山市字川向157-1	0249 45-7088
福島営業所	960	福島市鳥谷野字南光原17-1	0245 46-8041

## ⑧ 茨城県

茨城スズキ販売(株)	310	水戸市千波町2374-1	0292 41-4551
土浦スズキ販売(株)	300	土浦市永国町28	0298 21-5320
下妻営業所	300-34	結城郡千代川村字宗道966	0296 43-1122
潮来営業所	300-07	稲敷郡東村境島682	0299 78-3355
守谷営業所	302-01	北相馬郡守谷町守谷甲3205-1	0297 45-3612
(株)スズキカルタス茨城	310	東茨城郡内原町大足1011-1	0292 59-6161
(株)スズキカルタス土浦	300	土浦市粕毛288	0298 22-5320
(株)スズキ自販日立	316	日立市大沼町3-32-24	0294 37-3800
日立北営業所	317	日立市滑川町祝崎2237	0294 43-7300
水戸営業所	310	水戸市平須町1880-1	0292 44-6180

## ⑨ 栃木県

(株)スズキ自販栃木	321-01	宇都宮市上横田町799	0286 58-1461
佐野営業所	327	佐野市町谷町293-8	0283 22-4327~8
小山営業所	323	小山市神鳥谷309-53	0285 24-0270
西那須営業所	329-26	大田原市上石上字東上1882-21	02872 9-2151
足利営業所	326	足利市鶴木町105-1	0284 91-2211
(株)スズキ栃木	329-13	塩谷郡氏家町大字氏家1385	0286 82-3255~6
(株)スズキカルタス栃木	320	宇都宮市鶴田町滝の原3363-3	0286 36-5675
(株)スズキ自販関東			
小山営業所	323	小山市駅南町4-29-2	0285 27-1572

## ⑩ 群馬県

(株)スズキ自販群馬	370	高崎市正観寺町231	0273 62-2345
藤岡営業所	375	藤岡市上大塚275-1	0274 22-7722
前橋営業所	379-21	前橋市天川大島町1040-1	0272 63-1761~3
太田営業所	373	太田市東矢島字原458	0276 38-1100
伊勢崎営業所	372	伊勢崎市今泉町1-1423	0270 23-7551
桐生営業所	379-23	新田郡笠懸町阿佐美字仲1262-2	0277 76-3811
北部営業所	377-02	北群馬郡子持村北牧979-1	0279 53-4411
サービスセンター	370	高崎市正観寺町231	0273 63-7731
(株)スズキカルタス群馬	371	前橋市荒牧町460	0272 34-6655
(株)スズキ自販関東			
前橋営業所	379-21	前橋市天川大島町1-9-8	0272 24-1601
アピオ入沢店	377	渋川市西田418	0279 24-8866

## ⑪ 埼 玉 県

(株) スズキ自販埼玉	330	大宮市吉野町 2-222-10	048 663-5911
行田営業所	361	行田市下忍562-1	0485 56-7291
川越センター	350	川越市大字山田東町1588-2	0492 23-0475
川越営業所	350	川越市大字伊佐沼字柳橋407	0492 25-6555
川越南営業所	356	川越市大字砂字堤根64-6	0492 46-3546
越谷営業所	343	越谷市大字南荻島字左敷田237	0489 74-9331
川口営業所	332	川口市芝下1-3-3	0482 65-4311
所沢営業所	359	所沢市青葉台1253-13	0429 23-7251
深谷営業所	366	深谷市大字萱場字萱場126-1	0485 73-7600
秩父営業所	368	秩父市大字黒谷字木毛42-3	0494 24-7931
草加営業所	340	草加市新善町字甚蔵136	0489 41-8811
桶川営業所	363	桶川市大字加納字加納2015	048 774-1931
鶴ヶ島営業所	350-02	入間郡鶴ヶ島町大字脚折1623-2	0492 86-7101
スズキオート東松山	355	東松山市若松町 2-12-4	0493 22-5450
東武スズキ販売(株)	344	春日部市大字小淵31	048 754-2040
羽生営業所	348	羽生市下岩瀬563番地 3	0485 61-5123
(株) スズキ自販関東	336	浦和市田島 7-12-19	048 862-3801
草加営業所	340	草加市松江町329-1	0489 31-3071
春日部営業所	344	春日部市梅田 2-6-11	048 761-3648
上尾営業所	362	上尾市緑丘 4-7-7	048 775-1371
(株) スズキカルタス埼玉	331	大宮市吉野町 2丁目222-10	048 663-5911

## ⑫ 千 葉 県

(株) スズキ自販千葉	262	千葉市花見川区幕張町 5丁目417番地262	043 273-2311
都町展示センター	280	千葉市中央区都町25番地	043 231-6162
館山営業所	294	館山市国分字八反田917-1	0470 22-3451
市川営業所	272	市川市鬼高 4-6-3	0473 78-1015
松戸営業所	270	松戸市八ヶ崎字根口996-1	0473 42-1258
茂原営業所	297	茂原市押日字沖原1546	0475 22-5611
市原営業所	290	市原市君塚 3-16-6	0436 23-5311
成東営業所	289-13	山武郡成東町早船字丑堀下870	0475 82-6521
成田営業所	286	成田市土屋711	0476 24-3811
佐原営業所	287	佐原市観音963-1	0478 58-1071
千都スズキ自動車(株)	292	木更津市朝日 1-7-13	0438 23-0251
東金営業所	283	東金市大豆谷190-2	0475 52-4321
千葉スズキ販売(株)	260	千葉市美浜区新港173	043 242-2151
スズキサービスセンター千葉	260	千葉市美浜区新港116番地-2号	043 242-2155
旭営業所	289-25	旭市川口3493-15	0479 63-8000
館山営業所	294	館山市正木1107-3	0470 27-3151
柏営業所	277	東葛飾郡沼南町大津ヶ丘 1丁目41-12	0471 91-2151
習志野営業所	275	習志野市鷺沼 3-18-15	0474 51-1081
(株) スズキカルタス千葉	280	千葉市中央区都町1286-9	043 232-7025
我孫子営業所	270-11	我孫子市天王台 6-10-11	0471 84-3341
木更津営業所	292	木更津市靖西 2-1-5	0438 36-3381

## ⑬ 東 京 都

(株) スズキ自販東京	160	新宿区大京町23-2	03 3357-8811
江戸川営業所	132	江戸川区中央 4-22-18	03 3653-8411
葛飾営業所	124	葛飾区四ッ木 5-24-16	03 3693-2591
葛飾中古車センター	125	葛飾区青戸 8-24-31	03 3604-8455
足立営業所	121	足立区梅島 1-24-4	03 3840-5311
練馬営業所	176	練馬区豊玉 2-10-10	03 3993-4331
三軒茶屋営業所	154	世田谷区三軒茶屋 2-5-7	03 3410-5814
世田谷営業所	156	世田谷区八幡山 2-24-9	03 3302-7571
烏山営業所	157	世田谷区南烏山 6-16-18	03 3308-2391



## 13 東 京 都

成城営業所	154	世田谷区砧1-10-1	03 3417-0991
品川営業所	142	品川区荏原1-23-10	03 3781-0025
大田営業所	144	大田区矢口3-14-11	03 3759-2871
文京営業所	113	文京区本郷1-4-8	03 3811-9231
㈱スズキ自販南東京	190	立川市柏町1-18	0425 36-3561
八王子営業所	192	八王子市平岡町9-2	0426 22-9234
西八王子営業所	193	八王子市櫛田町982-1	0426 64-6211
三鷹営業所	181	三鷹市下連雀6-12-4	0422 47-8511
東久留米営業所	180-03	東久留米市滝山3-11	0424 73-5544
町田営業所	194	町田市旭町3-4-16	0427 25-5565
多摩センター営業所	206	多摩市乞田895	0423 74-2661
羽村営業所	190-11	西多摩郡羽村町神明台2-10-7	0425 52-6511
日野営業所	191	日野市日野1349	0425 83-1141
㈱スズキカルタス東京	160	新宿区大京町23-2	03 3225-3151
練馬営業所	176	練馬区豊玉北2-10-2	03 3994-6690
杉並営業所	167	杉並区荻窪1-29-1	03 3392-7221
江東営業所	135	江東区東陽5-31-19	03 3649-5030
江東車検センター	135	江東区東陽5-31-19	03 3645-9371
上野毛営業所	158	世田谷区上野毛1-12-10	03 3703-3101
三軒茶屋営業所	154	世田谷区三軒茶屋2-5-7	03 3410-0480
世田谷営業所	156	世田谷区南烏山6-16-18	03 3308-6944
板橋営業所	174	板橋区坂下1-3-9	03 3969-3846
足立営業所	121	足立区西加平1-1-41	03 3885-3261
五反田営業所	141	品川区西五反田2-31-6	03 3490-5481
大田営業所	144	大田区矢口3-14-11	03 3758-8394
八王子営業所	193	八王子市平岡町9-2	0426 22-9234
西八王子営業所	193	八王子市櫛田町982-1	0426 64-6211
東久留米営業所	180-03	東久留米市滝山3-11	0424 73-5544
立川営業所	190	立川市柏町1-18	0425 36-3584
町田営業所	194	町田市旭町3-4-16	0427 25-5980
三鷹営業所	181	三鷹市下連雀6-12-4	0422 44-0030
日野営業所	191	日野市日野1349	0425 83-9311
江戸川営業所	132	江戸川区中央4-22-16	03 5662-5482
葛飾営業所	125	葛飾区青戸8-24-31	03 3604-8457
羽村営業所	190-11	西多摩郡羽村町神明台2-10-7	0425 52-6711
㈱オートピア西洋			
アピオ高島平店	175	板橋区高島平8-6-6	03 5398-6181

## 14 神 奈 川 県

㈱スズキ自販神奈川	240	横浜市保土ヶ谷区狩場町169-6	045 712-2811
横浜営業所	240	横浜市保土ヶ谷区狩場町169-6	045 712-2119
鶴見営業所	230	横浜市鶴見区駒岡町1762	045 572-2221
戸塚営業所	245	横浜市戸塚区東俣野町21-3	045 852-3316
霧が丘営業所	227	横浜市緑区霧が丘2-16-2	045 921-1486
横須賀営業所	239	横須賀市池田町4-101	0468 35-2015
平塚営業所	254	平塚市田村24	0463 55-3280
小田原営業所	250	小田原市成田143-4	0465 36-5215
相模原営業所	229	相模原市東淵野辺4-1-20	0427 55-3511
橋本営業所	229	相模原市宮下本町3-38-7	0427 74-6704
川崎営業所	213	川崎市宮前区馬絹2002-1	044 854-5211
厚木営業所	243	厚木市金田364-1	0462 23-6400
藤沢営業所	252	藤沢市石川1608	0466 88-8773
㈱スズキカルタス神奈川	240	横浜市保土ヶ谷区狩場町169-6	045 715-0432



## 15 山 梨 県

山 梨 スズキ販売(株)	400	甲府市飯田 3-9-3	0552 24-2121
富士吉田営業所	403	富士吉田市下吉田5957	0555 23-7188

## 16 新 潟 県

スズキ新潟販売(株)	950	新潟市豊 3-1-8	025 273-3165
新潟南営業所	950	新潟市鏡 1-4-35	025 245-6655
スズキサービスセンター	950	新潟市新和50-1	025 284-3155
亀田センター	950-01	中蒲原郡亀田町大字早通字川根2871-26	025 382-3700
三条営業所	955	三条市大字下須頃字内沼401-1	0256 32-3831
新発田営業所	957	新発田市緑町 2-4-17	0254 22-6111
村上営業所	959-34	岩船郡神林村大字上助淵字谷地1813	0254 52-6145
佐渡営業所	952-13	佐渡郡金井町大字泉字向田506-1	0259 63-3144
巻営業所	953	西蒲原郡巻町大字巻字船場甲4917-1	0256 76-2690
(株)スズキ自販新潟	940-11	長岡市要町 1-4-39	0258 35-3611
下々条営業所	940-11	長岡市下々条 2-1364-1	0258 24-2491
喜多町店	940	長岡市喜多町字金輪383	0258 29-2611
上越営業所	942	上越市大字上島字上川原474-5	0255 23-7000
六日町営業所	949-64	南魚沼郡塩沢町大字竹俣字糖塚126-13	0257 82-1221
(株)スズキカルタス新潟	950	新潟市新和50-1	025 284-3155
(株)スズキカルタス西新潟	940-11	長岡市下々条 2-1364-1	0258 24-2491

## 17 静 岡 県

(株)スズキ自販浜松	431-02	浜松市篠原町21339	053 449-2115
小笠営業所	437-15	小笠郡小笠町赤土1426	0537 73-4440
湖西営業所	431-04	湖西市太田108-2	053 578-0231
袋井営業所	437	袋井市国本2793-4	0538 42-6321
浜北営業所	434	浜北市新原3615-1	053 586-2111
吉田営業所	421-03	榛原郡吉田町住吉41-1	0548 32-0744
引佐営業所	431-22	引佐郡引佐町井伊谷500-7	053 542-1811
掛川営業所	436	掛川市大池2889-1	0537 22-1880
(株)スズキカルタス浜松	430	浜松市中田島町509	053 442-2222
(株)スズキ自販静岡	420	静岡市古庄135	054 261-6101~5
西サービスセンター	420	静岡市南田町 3-9	054 254-1431
高松営業所	422	静岡市敷地 1丁目20-17	054 237-2723
三島営業所	411	三島市八反畑111	0559 71-3288
富士営業所	416	富士市蓼原50	0545 61-7552
清水営業所	424	清水市高橋町601-1	0543 66-7177
藤枝営業所	426	藤枝市上青島北三軒屋296-4	054 644-4427
沼津営業所	410-03	沼津市東椎路東荒445-1	0559 24-9300
焼津営業所	425	焼津市八楠1136番地	054 629-6606
富士宮営業所	418	富士宮市小泉1864-5	0544 23-6515
(株)スズキカルタス静岡	424	清水市楠新田202-1	0543 46-7760
(株)スズキ販売アオヤマ	422	静岡市有明町 3-9	054 285-6100
藤枝営業所	426	藤枝市八幡485-1	054 645-0775

## 18 愛 知 県

愛知スズキ販売(株)	457	名古屋市南区南野 1-72	052 612-3617
中営業所	460	名古屋市中区新栄 1-47-20	052 262-2541
守山営業所	463	名古屋市守山区森孝 1丁目1705番地	052 775-4761
西営業所	451	名古屋市西区上堀越町 1-1	052 522-7106
岡崎営業所	444	岡崎市栄町 3-4	0564 21-9141
岡崎南営業所	444-02	岡崎市牧御堂町字郷中60番地	0564 55-1701
刈谷営業所	448	刈谷市野田町中山22-17	0566 22-7001
小牧営業所	480-02	西春日井郡豊山町大字豊場字幸田175	0568 28-3100

## 18 愛知県

豊田営業所	473	豊田市大林町13-37	0565 28-0033
三好ヶ丘営業所	470-02	西加茂郡三好町三好丘6丁目4番地の6	05613 6-1881
(株)スズキ販売愛知	460	名古屋市中区金山5-5-30	052 881-6151~4
知立営業所	472	知立市山屋敷町見社93-1	0566 81-3661
碧南営業所	447	碧南市平七町2-39	0566 41-2753
(株)スズキ自販中部	457	名古屋市区元塩町6-24	052 611-0323~8
中川営業所	454	名古屋市中川区舟戸町404	052 363-2025
北営業所	462	名古屋市区杉栄町5-120-1	052 915-9201
天白営業所	468	名古屋市区天白区植田南1-506	052 803-7835
アクセスあらはた	466	名古屋市区昭和区鶴舞4-17-29	052 731-8155
アクセスみどり	458	名古屋市区緑区鳴海町大字大形山24-2	052 895-6636
一宮営業所	491	一宮市大字浅野字西大土3	0586 77-0746
アクセス一宮	491	一宮市末広3-8-9	0586 45-4149
津島営業所	496	津島市我原町字長ヶ島1番地	0567 26-3691
東郷営業所	470-01	愛知郡東郷町大字春木字下正葉廻門2-1	05613 9-2301
アクセス西春	481	西春日井郡西春町大字沖村字佐渡20	0568 24-0853
岡崎営業所	444	岡崎市矢作町字中道77-3	0564 31-2631
(株)スズキ自販東海	440	豊橋市下地町字宮前22-1	0532 53-8111
飯村営業所	440	豊橋市飯村町字本郷97-26	0532 63-6300
高師営業所	440	豊橋市松井町字南新切20-1	0532 48-8001
新城営業所	441-13	新城市野田字上市場25-109	05362 2-1157
蒲郡営業所	443	蒲郡市三谷北通2丁目111-5	0533 67-5135
田原営業所	441-34	渥美郡田原町大字大久保字黒河原181-2	05312 3-1700
(株)スズキカルタス愛知	457	名古屋市区南区南野1-77	052 613-2151
(株)スズキカルタス名古屋	460	名古屋市区金山5-5-30	052 881-6151~4
(株)スズキカルタス中部	468	名古屋市区天白区植田南1-506	052 804-3350
安城営業所	446	安城市百石町1-12-1	0566 77-7502

## 19 岐阜県

岐阜スズキ販売(株)	500	岐阜市金町6-2-5	0582 64-8131
南営業所	500	岐阜市北鷺2-50	0582 71-6411
六条営業所	500	岐阜市六条片田1-15-4	0582 75-1172
大垣営業所	503	大垣市東前1-56-1	0584 78-0662
高山営業所	506	高山市総和町3-32	0577 32-2370
光ヶ丘営業所	507	多治見市光ヶ丘2-34-1	0572 23-0883
土岐営業所	509-51	土岐市泉大島町5-9	05725 4-3101
岐南営業所	501-61	羽島郡岐南町三宅3-294	0582 47-3747
穂積営業所	501-02	本巣郡穂積町馬場小城町1-21	05832 7-6776
可児営業所	509-02	可児市下恵土字広瀬5888-1	0574 61-0555
(株)スズキカルタス岐阜	500	岐阜市金町6-2-5	0582 64-8131

## 20 三重県

(株)スズキ自販三重	510	四日市市日永5-1-3	0593 46-1221
松阪営業所	515	松阪市鎌田町962	0598 51-7045
伊勢営業所	516	伊勢市神久2-1-15	0596 28-8178
津営業所	514	津市中河原字城ノ内315	0592 27-5758
上野営業所	518	上野市服部町字小芝467-1	0595 23-0656
鈴鹿営業所	513	鈴鹿市神戸寺家町修理田245	0593 83-4638
桑名営業所	511	桑名市大字江場字中野799-1	0594 23-4551
尾鷲営業所	519-36	尾鷲市大字矢浜字名古129-2	05972 2-4891

## ②1 長野県

(株) スズキ自販長野	381-22	長野市稲里町中氷鉋字三島372	0262 85-2471~5
長野北営業所	380	長野市村山市ノ口320	0262 43-5958
飯山営業所	389-22	飯山市大字飯山字下河原4838	02696 2-3391~2
松本支店	399	松本市芳野町15-15	0263 25-7011
上田営業所	386	上田市下塩尻五反田146	0268 22-9700
佐久営業所	385	佐久市大字岩村田1366-5	0267 67-4530
穂高営業所	398-38	南安曇郡穂高町大字穂高607-11	0263 82-8144
小諸営業所	384	小諸市丙字青木442-15	0267 24-0777
南信スズキ販売(株)	339-41	駒ヶ根市赤穂1289	0265 82-4111
飯田支店	395	飯田市上郷町別府3327-11	0265 23-2323
諏訪支店	394	岡谷市神明町2-1-47	0266 23-5171
(株)スズキカルタス長野	381-22	長野市中御所897	0262 24-8831
(株)スズキカルタス南信	399-41	駒ヶ根市赤穂1289	0265 82-6363

## ②2 富山県

(株) スズキ自販富山	930-11	富山市掛尾町416-1	0764 25-3955
西営業所	930-01	富山市西二俣310	0764 36-0318
高岡営業所	933	高岡市十二町島字後川原80	0766 63-1170~1
黒部営業所	938	黒部市田家新306-1	0765 54-3915
砺波営業所	939-13	砺波市鷹栖2894-1	0763 32-2522
(株)スズキカルタス富山	930-01	富山市西二俣310	0764 34-3858

## ②3 石川県

(株) スズキ自販北陸	920-01	金沢市柳橋町甲3	0762 58-1185
西営業所	921	金沢市森戸2-15-3	0762 49-6170
小松営業所	923	小松市今江町5-579	0761 22-2790
七尾営業所	926-04	七尾市白馬町57-27-1	0767 57-2050
松任営業所	924	松任市田中町41-1	0762 76-8790
羽咋営業所	925	羽咋市兵庫町中20-3	0767 22-3040
(株)スズキカルタス北陸	921	金沢市森戸2-15-3	0762 49-3391

## ②4 福井県

(株) スズキ自販北陸			
福井支店	910-37	福井市今市町54-7	0776 38-0530
四ッ居営業所	910	福井市北四ッ居1-924	0776 53-2840
敦賀営業所	914-01	敦賀市金山89号木崎通り	0770 22-3127
坂井営業所	919-05	坂井郡坂井町上兵庫41字12-1	0776 72-2331
(株)スズキカルタス北陸			
福井営業所	910-37	福井市今市町54-7	0776 38-4511

## ②⑤ 滋 賀 県

(株) スズキ自販滋賀	520	大津市秋葉台 5-10	0775 24-5250
堅田営業所	520-20	大津市衣川 1丁目1376-4	0775 72-4922
近江八幡営業所	523	近江八幡市上田町端間191	0748 37-0290
彦根営業所	522	彦根市東沼波町野上横田127-1	0749 23-3568
守山営業所	520-30	栗太郡栗東町辻大字比江田465	0775 52-7527
長浜営業所	526	長浜市大辰巳町28	0749 65-0281
水口営業所	528	甲賀郡水口町名坂914-4	0748 63-4677
(株) スズキカルタス滋賀	520	大津市秋葉台 5-10	0775 24-5250

## ②⑥ 京 都 府

(株) スズキ自販京都	601	京都市南区吉祥院仁木ノ森町 3	075 681-8721
サービス部品センター	601	京都市南区吉祥院観音堂町20-1	075 681-8728
高野営業所	606	京都市左京区一乗寺染殿町 1	075 701-7131
山科営業所	607	京都市山科区大宅早稲ノ内町33-4	075 501-5556
桂営業所	615	京都市西京区樫原水築町15	075 393-5522
伏見営業所	612	京都市伏見区中島前山町25-1	075 602-8001
右京営業所	615	京都市右京区西院六反田町29番地	075 322-4011
宇治営業所	611	宇治市横島町十一96-10	0774 22-9129
舞鶴営業所	624	舞鶴市字京田小字三角181	0773 75-4330
福知山営業所	620	福知山市字岩井小字の場45-15	0773 22-8712
城陽営業所	610-01	城陽市寺田新池38-7	07745 5-7455
亀岡営業所	621	亀岡市大井町並河 3丁目66-1	07712 5-3891
峰山営業所	627	中郡峰山町字菅小字大門崎942-3	0772 62-5075
(株) スズキ販売京輪	615	京都市右京区西院東中水町13	075 312-2201~3
舞鶴営業所	625	舞鶴市字福井小字家下83	0773 75-1241~2
(株) スズキカルタス京都	601	京都市南区吉祥院観音堂町20-1	075 681-8728

## ②⑦ 大 阪 府

(株) スズキ自販近畿			
サービス本部	578	東大阪市岩田町 6-2-36	0729 62-6605~6
特販本部	578	東大阪市岩田町 6-2-36	0729 62-6606
豊中営業所	561	豊中市服部寿町 3-16-11	06 863-2316~8
箕面営業所	562	箕面市坊島 1-1-8	0727 21-5105
茨木営業所	567	茨木市奈良町12-23	0726 25-6333
高槻営業所	569	高槻市下田部 1-3-1	0726 75-2713
枚方営業所	573	枚方市池之宮 2-1-1	0720 49-8081
守口営業所	570	守口市八雲東町 1-21-6	06 909-6081
なにわ営業部	556	大阪市浪速区敷津西 1-1-5	06 633-7521
東住吉営業所	546	大阪市東住吉区中野町 2-5-30	06 701-2001
東大阪営業所	578	東大阪市岩田町 6-2-36	0729 62-6601~3
寝屋川営業所	572	寝屋川市楠根北町 4-7	0720 22-7031
八尾営業所	581	八尾市相生町 2-3-14	0729 94-5751
富田林営業所	584	富田林市喜志町 2-1153	0721 25-1484
中もず営業所	591	堺市百舌鳥梅町 3-61-1	0722 58-1211
堺営業所	592	堺市浜寺石津町東 1-1-25	0722 41-9342~3
岸和田営業所	595	泉北郡忠岡町高月南 1-2-7	0725 21-0601
貝塚営業所	597	貝塚市沢字見出川197-1	0724 31-1688

## 27 大 阪 府

(株) 南 海 ス ズ キ	590	堺市北向陽町 2 丁目 1-18	0722 27-0110
オートピア・E	591	堺市金岡町329	0722 50-0111
オートピア・S	590	堺市神石市之町13-1	0722 63-0111
オートピア・N	590	堺市南庄町 2 丁目 2-4	0722 27-0111
堺 西 営 業 所	592	堺市浜寺石津町西 1 丁目 2-16	0722 43-0111
泉 北 営 業 所	593	堺市小代375	0722 97-0111
和 泉 営 業 所	594	和泉市府中町 4 丁目16-7	0725 45-0111
岸 和 田 営 業 所	596	岸和田市小松里町381-5	0724 45-0111
泉 佐 野 営 業 所	598	泉佐野市上瓦屋635-3	0724 61-0111
泉 南 営 業 所	598	泉南郡田尻町吉見441	0724 66-0111
河内長野営業所	586	河内長野市上原町587-1	0721 55-0110
富 田 林 営 業 所	584	富田林市中野町西 1 丁目1502-1	0721 24-0110
八 尾 営 業 所	581	八尾市萱振町 4 丁目44-7	0729 99-0111
サービス・センター	590	堺市神石市之町13-1	0722 65-0111
パーツセンター	590	堺市神石市之町13-1	0722 66-0111
マイカーセンター南海	593	堺市鳳北町 7 丁目102	0722 64-0111
高 木 ス ズ キ 販 売 (株)	577	東大阪市衣摺 2-2-6	06 728-7281
(株) ス ズ キ 自 販 関 西	570	守口市八雲東町 1 丁目21番 6 号	06 909-9551
松 原 営 業 所	580	松原市丹南町 1-457-1	0723 35-2020
八 尾 営 業 所	581	八尾市宮町 6-1-1	0729 99-6975
枚 方 営 業 所	573	枚方市出屋敷西町 1-6-1	0720 40-3441
オートパーク寝屋川	572	寝屋川市石津中町29-2	0720 27-7331
堺 営 業 所	591	堺市長曾根町785	0722 57-2855
伊 丹 営 業 所	664	伊丹市昆陽 5-139	0727 77-3700
(株) スズキカルタス南海	590	堺市北向陽町 2-1-18	0722 28-0110
(株) スズキカルタスタカギ	577	東大阪市衣摺 2-2-5	06 727-8071

## 28 兵 庫 県

(株) ス ズ キ 自 販 兵 庫	673	神戸市西区伊川谷有瀬1567-1	078 975-1139
神 戸 営 業 所	652	神戸市兵庫区下沢通 7-2-16	078 576-5281
神 戸 整 備 工 場	652	神戸市兵庫区中道通 7-4-21	078 577-1141
神 戸 東 営 業 所	658	神戸市東灘区魚崎浜町27-5	078 452-6345
名 谷 営 業 所	655	神戸市垂水区名谷町字春日手2284	078 793-6551
神 戸 北 営 業 所	651-13	神戸市北区有野町有野字岡崎3071	078 981-0015
尼 崎 営 業 所	660	尼崎市東難波町 4-19-17	06 482-3641
スズキ尼崎北店	661	尼崎市小中島 3 丁目13-23	06 499-6781
スズキ尼崎店	660	尼崎市大庄中通 1 丁目 7-3	06 416-5281
姫 路 営 業 所	671-02	姫路市御国野町御着字 7 反田771	0792 52-5255
姫 路 西 営 業 所	670	姫路市東今宿 1 丁目 2-2	0792 92-5255
西 脇 営 業 所	677	西脇市郷之瀬町字新土手397	0795 22-4844
加 古 川 営 業 所	675	加古川市加古川町粟津字カニガセ219-1	0794 23-3731
淡 路 営 業 所	656-01	三原郡緑町広田広田山崎39	07994 5-0521
宝 塚 営 業 所	665	宝塚市高司 1-2-4	0797 73-0351
小 野 営 業 所	675-13	小野市高田町上田1757-2	07946 2-4844
伊 丹 営 業 所	664	伊丹市大鹿 7 丁目52-1	0727 72-4901
西 宮 営 業 所	662	西宮市中前田町 7-4	0798 33-1811
但 馬 営 業 所	669-52	朝来郡和田山町平野字竹ノ下165-1	0796 72-5544
(有) スズキ販売西兵庫	671-15	揖保郡太子町東保341-1	0792 77-0500
但 馬 ス ズ キ 販 売 (株)	668	豊岡市若松町 2-21	07962 2-2125-6
(株) スズキカルタス兵庫	652	神戸市兵庫区下沢通 7-2-16	078 576-5394

## 29 奈良県

(株)スズキ自販奈良	636-03	磯城郡田原本町大字鍵68-1	07443	3-5872
奈良営業所	630	奈良市三条大路1-10-46	0742	34-8402
西奈良営業所	631	奈良市押熊町550-1	0742	49-6101
橿原営業所	634	橿原市五井町字上久保222-1	07442	4-0710
香芝営業所	639-02	香芝市高139-1	07457	7-6945
郡山営業所	639-11	大和郡山市小泉町2357-1	07435	2-8325
東生駒営業所	630-02	生駒市小明町1041-1	07437	3-7001
(株)スズキカルタス奈良	636-03	磯城郡田原本町大字鍵68-1	07443	3-5671
(株)スズキアッソ奈良	630	奈良市三条添川町5-10	0742	35-7001

## 30 和歌山県

(株)スズキ自販和歌山	641	和歌山市西浜892	0734	44-5291
紀三井寺営業所	641	和歌山市三葛260-1	0734	44-5171
中之島営業所	640	和歌山市中之島481	0734	23-5291
有田営業所	649-04	有田市糸我町中番73-3	0737	88-7505
田辺営業所	649-21	西牟婁郡上富田町朝来2050-3	0739	47-1521
打田営業所	649-64	那賀郡打田町上野110-1	0736	77-6767
スズキスペース・ワン	649-62	那賀郡岩出町吉田266-1	0736	62-6990
かつらぎ営業所	649-71	伊都郡かつらぎ町中飯降1685	07362	2-7172
御坊営業所	644	御坊市湯川町財部221-8	0738	24-2151
(株)スズキカルタス和歌山	641	和歌山市西浜892	0734	44-5291
(株)スズキモーター和歌山	640	和歌山市狐島379	0734	51-2151~5
田辺営業所	646	田辺市東山2丁目31-20	0739	24-0195
有田営業所	643	有田郡広川町名島102-1	0737	63-0218

## 31 香川県

(株)スズキ自販香川	761	高松市檀紙町1225-1	0878	85-2711
屋島営業所	761	高松市高松町3008-10	0878	43-4700
観音寺営業所	769-15	三豊郡豊中町笠田2263	0875	62-3167
丸亀営業所	763	丸亀市土器町東3丁目553	0877	24-3626
坂出営業所	762	坂出市久米町1-450-37	0877	44-3777
善通寺営業所	765	善通寺市原田町1412	0877	62-7321
大内営業所	761-09	大川郡大内町落合448-1	0879	25-6011
(株)スズキ自販関西				
高松営業所	761	高松市田村町161	0878	65-7656

## 32 徳島県

(株)スズキ自販徳島	770	徳島市論田町本浦上72-3	0886	62-1041
石井営業所	779-32	名西郡石井町石井字石井495-1	0886	74-6451
鳴門営業所	772	鳴門市大津町吉永字前の起の272-5	0886	86-7161
藍住営業所	771-12	板野郡藍住町矢上字北分49番地1	0886	92-7607
ベルウッド土成	771-15	板野郡土成町大字土成字遊ヶ原61番地の4	0886	95-3044
(株)スズキ自販関西				
徳島営業所	770	徳島市沖浜町東2-6	0886	25-4431
(株)スズキグリーンキーパー	771-01	徳島市川内町大松468-1	0886	65-6633

## 33 愛媛県

東予スズキ販売(株)	792	新居浜市松木町2-30	0897	41-1133
(株)スズキ販売愛媛	799-15	今治市喜田村6丁目1番40号	0898	48-7500
(株)スズキ自販松山	791	松山市高岡町183-3	0899	71-6112
オートパーク天山	790	松山市天山町191	0899	32-3031
オートパーク松山	790	松山市北久米町721-1	0899	75-2101
宇和島営業所	798	宇和島市高串コバサ2番地518-3	0895	23-3311
大洲営業所	795	大洲市新谷田中乙307-1	0893	25-3330
伊予スズキ販売(株)	790	松山市中央2-72	0899	22-7111
宇和島営業所	798	宇和島市並松町1丁目	0895	22-7377
大洲営業所	795-02	大洲市東大洲1052	0893	25-1255



## 34 高知県

株式会社 高知スズキ自販	783-01	高知市介良甲845-2	0888 60-4411
中村営業所	787	中村市古津賀3447	0880 34-4177
安芸営業所	784	安芸市矢ノ丸1丁目22-21	08873 5-5181
窪川営業所	786	高岡郡窪川町金上野1325	08802 2-0281
株式会社 関西スズキ自販			
高知営業所	780	高知市北金田18-1	0888 82-3611

## 35 鳥取県

米子スズキ販売株式会社	689-35	米子市吉岡140	0859 27-0931
WORKS SUZUKI SHOP	683	米子市義方町11-26	0859 32-0931
境港営業所	684	境港市湊町68	0859 44-6131
株式会社 鳥取スズキ自販	680	鳥取市丸山266-8	0857 23-0821
安長工場	680	鳥取市安長80-1	0857 28-0466
倉吉営業所	682	倉吉市清谷B37-1 R-4	0858 26-2811
東伯営業所	689-24	東伯郡東伯町徳方西垣西通743-1	0858 52-3211
米子工場	683	米子市両三柳251-12	0859 23-3127
用瀬営業所	689-12	八頭郡用瀬町鷹狩680-1	0858 87-2030

## 36 島根県

石東スズキ株式会社	697	浜田市朝日町1490	0855 22-1645
大田支社	694	大田市大田町大田イ103-1	08548 2-0678
江津営業所	695	江津市嘉久志町イ1820-34	08555 2-2906
株式会社 島根スズキ自販	690	松江市東津田町1888-10	0852 21-5111
出雲営業所	693	出雲市白枝町443	0853 21-5511
雲南営業所	699-13	大原郡木次町大字里方1076-6	08544 2-3385
斐川営業所	699-06	簸川郡斐川町大字上庄原1082	0853 72-2080
東松江サービスセンター	699-01	八束郡東出雲町大字掛屋町1208-4	0852 52-2277
株式会社 カルタス島根スズキ	690	松江市東津田町1888-10	0852 27-5115

## 37 岡山県

スズキ岡山販売株式会社	708	津山市津山口288	086 823-4331
津高営業所	701-11	岡山市津高810-4	086 252-7991
岡山営業所	701-01	岡山市平野622	086 292-3511
倉敷営業所	710	倉敷市片島町233-1	086 465-2821
久世営業所	719-32	真庭郡久世町草加部140	086 742-1166
東中国スズキ自動車株式会社	710	倉敷市沖8-1	086 424-1215
岡山営業所	700	岡山市柳町2-10-1	086 224-7251
上道サービス工場	703	岡山市中尾123-1	086 279-2411
津山営業所	708	津山市津山口303-1	0868 22-9111
株式会社 カルタス東中国スズキ	710	倉敷市沖8-1	086 425-0450
カルタスランド野田	700	岡山市野田5-4-6	086 246-3535
株式会社 カルタス岡山スズキ	701-11	岡山市津高810	086 252-1149
津山営業所	708	津山市昭和町1丁目100	0868 23-5522
株式会社 関西スズキ自販			
倉敷営業所	712	倉敷市連島2-9-2	086 446-2088

## 38 広島県

株式会社 広島スズキ自販	733	広島市西区三篠北町18-7	082 238-2211
祇園センター	731-01	広島市安佐南区西原1-27-13	082 875-2800
東雲営業所	734	広島市南区東雲3-15-30	082 284-1531
可部営業所	731-02	広島市安佐北区可部南4-8-2	082 814-4331
東広島営業所	724	東広島市西条町御蘭宇1693-1	0824 23-7021

## 38 広島県

呉 営 業 所	737-01	呉市広駅前 2-8-36	0823 73-1221
三 次 営 業 所	728	三次市十日市中 1-1-18	08246 3-5376
三 原 営 業 所	723	三原市皆実町1595-1	08486 3-1111
廿 日 市 営 業 所	738	廿日市市阿品 1-5-2	0829 36-5111

## 東中国スズキ自動車㈱

福 山 営 業 所	720	福山市津之郷町国道筋231-1	0849 51-0746
尾 道 営 業 所	722	尾道市西則末町 2-22	0848 23-8853

## ㈱スズキカルタス東中国

福 山 営 業 所	720	福山市津之郷町国道筋231-1	0849 51-0746
尾 道 営 業 所	722	尾道市西則末町 2-22	0848 23-8853

## ㈱スズキカルタス広島

733	広島市西区三篠北町18-7	082 237-4953
-----	---------------	--------------

## 39 山口県

㈱ ス ズ キ 自 販 山 口	755	宇部市大字藤曲2206	0836 32-1122
山 口 営 業 所	753	山口市大字朝田字梅古曾1598-1	0839 22-2119
下 関 営 業 所	750-01	下関市大字綾羅木新町 4-5-18	0832 53-1221
徳 山 営 業 所	744-01	下松市末武中向番力1159-5	0833 43-0123
岩 国 営 業 所	740	岩国市尾津町 2-16-1	0827 32-1512
柳 井 営 業 所	742	柳井市大字柳井1534-10	0820 23-4171

## ㈱ 高 野 山 ス ズ キ

747	防府市国衙町 1-9-24	0835 22-3542
-----	---------------	--------------

## ㈱スズキカルタス山口

755	宇部市大字藤曲2206	0836 32-1122
-----	-------------	--------------

## 40 福岡県

㈱ ス ズ キ 自 販 福 岡	811-23	粕屋郡粕屋町仲原鶴町2567-10	092 621-6161
福 岡 営 業 所	811-23	粕屋郡粕屋町仲原鶴町2567-10	092 621-6161
宗 像 営 業 所	811-32	宗像郡福岡町大字手光2088-3	0940 42-2121
東 営 業 所	813	福岡市東区多の津 3丁目16-5	092 611-9203
中 央 営 業 所	810	福岡市中央区平尾 2-2-15	092 521-5422
西 営 業 所	814	福岡市早良区原 3-11-3	092 831-5911
春 日 営 業 所	860	春日市原町 2丁目49	092 585-8821
筑 紫 野 営 業 所	818	筑紫野市大字諸田178-3	092 927-1701
久 留 米 営 業 所	830	久留米市国分町野田1424	0942 21-4481
久 留 米 西 営 業 所	839-01	久留米市荒木町白口1489-1	0942 26-8870
甘 木 営 業 所	838	甘木市甘木1976-1	0946 22-5171
筑 後 営 業 所	833	筑後市大字山の井483-1	0942 53-4131
大 牟 田 営 業 所	836	大牟田市大字草木字蓮輪958-1	0944 53-8390
小 倉 営 業 所	802	北九州市小倉南区葛原 5-1-18	093 473-8880
門 司 営 業 所	800	北九州市門司区大里新町 2-11	093 391-8244
戸 畑 営 業 所	804	北九州市戸畑区三六町17-13	093 861-2767
八 幡 営 業 所	806	北九州市八幡西区穴生 3-1-28	093 631-4661
本 城 営 業 所	807	北九州市八幡西区本城 2丁目5-12	093 691-0025
苅 田 営 業 所	800-03	京都郡苅田町幸町 4-1	093 434-1391
田 川 営 業 所	825	田川市大字伊田3555-2	0947 44-7321
飯 塚 営 業 所	820	飯塚市大字川津字上深町399-1	0948 22-5174
空 港 営 業 所	812	福岡市博多区空港前 2丁目15-5	092 623-5104

## 九州スズキ販売㈱

福 岡 支 店	812	福岡市博多区榎田 1-1-2	092 411-0521
原 営 業 所	814	福岡市早良区原 3-19-23	092 851-2550
桧 原 営 業 所	815	福岡市南区桧原 3丁目14-28	092 566-5559

## 40 福岡県

北九州支店	804	北九州市戸畑区金比羅町1番21号	093 871-6636
小倉営業所	802	北九州市小倉北区霧ヶ丘3-18-22	093 941-5711
八幡西営業所	807	北九州市八幡西区折尾町2-10	093 691-6877
筑後支店	833	筑後市大字山の井字焼林356-3	0942 53-4191
飯塚支店	820	飯塚市大字柏の森35-1	0948 23-0485
大牟田営業所	837	大牟田市中白川町1-1	0944 53-3706
久留米営業所	830	久留米市上津町1692-2	0942 22-5246
二日市営業所	818-01	太宰府市都府楼南5丁目2番32号	092 924-5255
宗像営業所	811-32	宗像郡福岡町東福岡1丁目166-14	0940 43-1497
(株)スズキ自販関西			
九州センター	816	大野城市御笠川5-8-16	092 503-0911
福岡西営業所	819	福岡市西区福重2-5-3	092 891-8666
久留米営業所	830	久留米市東合川町1-8-40	0942 44-7110
(株)スズキカルタス福岡			
西新営業所	810	福岡市中央区平尾2-2-15	092 523-0588
久留米営業所	814	福岡市早良区昭代1-2-8	092 852-1300
	830	久留米市諏訪野町2317-1	0942 30-1231

## 41 佐賀県

(株)スズキ自販佐賀	840	佐賀市嘉瀬町扇町2364	0952 24-3265
佐賀西営業所	849	佐賀市開成5丁目13-24	0952 32-1040
伊万里営業所	848	伊万里市二里町大字大国乙3659-1	0955 22-6051
唐津営業所	847	唐津市千々賀字古園1294-1	0955 78-1521
鳥栖営業所	841	鳥栖市江島町1647-4	0942 82-4880
(株)スズキ自販関西			
佐賀営業所	840-01	佐賀市鍋島町大字森田字一本松49-2	0952 30-5151
鳥栖営業所	841-02	三養基郡基山町大字長野989-3	0942 92-2410
(株)スズキカルタス福岡			
佐賀営業所	810	福岡市中央区平尾2丁目2-15	092 523-0588
	840-91	佐賀市鍋島町大字八戸溝940-2	0952 32-1040

## 42 長崎県

(株)スズキ自販長崎	851-21	西彼杵郡時津町字野田郷40-3	0958 82-2771
佐世保営業所	857-11	佐世保市白岳町151-4	0956 31-9134
佐世保北営業所	857-01	佐世保市吉岡町1639-1	0956 40-6311
諫早営業所	854	諫早市宇都町19-50	0957 23-3411
島原営業所	855	島原市秩父ヶ浦町3519-2	0957 63-6541
平戸口営業所	859-48	北松浦郡田平町萩田免1439-2	0950 57-1152
長崎東営業所	851-01	長崎市古賀町99-1	0958 39-8816
長崎南営業所	850	長崎市戸町2-234-8	0958 78-5650
(株)スズキオート長崎	851-01	長崎市芒塚町555	0958 38-2106
諫早営業所	854	諫早市長野町1642	0957 23-3809
北営業所	852	長崎市赤迫町322	0958 49-4188
(株)スズキカルタス長崎	851-21	西彼杵郡時津町字野田郷芝崎40-3	0958 82-7311

## 43 熊本県

(株)スズキ自販熊本	860	熊本市平田1丁目1-6	096 325-1341
竜田営業所	862	熊本市竜田町上立田字西原1635-1	096 338-3666
東部営業所	861-21	熊本市東野2-8-8	096 369-3222
八代営業所	866	八代市宮地町石原1627-1	0965 33-6166
人吉営業所	868	人吉市下薩摩瀬町字竹原町1585-3	0966 23-3293
天草営業所	863	本渡市亀場町亀川榎木丸1701-1	0969 23-2145
山鹿営業所	861-03	山鹿市方保田字大道の下3504-8	09684 4-5555
阿蘇営業所	869-26	阿蘇郡一の宮町宮地東油町4521-1	09672 2-0053
宇城営業所	869-05	宇土郡不知火町高良2478-1	0964 33-1124
玉名営業所	869-02	玉名郡岱明町西照寺859-1	0968 57-4467
(株)スズキカルタス熊本	860	熊本市平田1丁目1-3	096 326-3688

## 44 大分県

(株)スズキ自販大分	870	大分市大字元町4305-1	0975 43-0001
別府営業所	874	別府市春木川九州横断道路入口	0977 24-3675~6
中津営業所	871	中津市大字上如水沖の坪1786	0979 32-1800
佐伯営業所	876	佐伯市大字上岡1509-1	0972 22-2440
日田営業所	877	日田市南友田1032-1	0973 22-3106
臼杵営業所	875	臼杵市大字市浜1249-1	0972 63-4420
三重営業所	879-71	大野郡三重町大字芦刈字糸丸224-1	0974 22-4423

(株)スズキカルタス大分	870	大分市大字元町4305-1	0975 43-0008
--------------	-----	---------------	--------------

## 45 宮崎県

(株)スズキ自販宮崎	880	宮崎市花ヶ島町屋形町1204	0985 25-7211
宮崎南営業所	880	宮崎市源藤町字葉山202-1	0985 53-2585
延岡営業所	889-05	延岡市土々呂町6-2851-1	0982 37-1380
日向営業所	883	日向市大字日知屋字前曾都11178	0982 53-6969
都城営業所	885	都城市吉尾町175	0986 38-1100
小林営業所	886	小林市大字堤字丸岡2788-12	0984 22-5111
日南営業所	887	日南市大字星倉字下江3870-1	0987 23-1321
高鍋営業所	884	児湯郡高鍋町大字持田字高河原3210	0983 23-1919

(株)スズキカルタス宮崎	880	宮崎市花ヶ島町屋形町1204	0985 29-3661
--------------	-----	----------------	--------------

## 46 鹿児島県

(株)スズキ自販鹿児島	890	鹿児島市新栄町14-14	0992 53-2525
吉野営業所	892	鹿児島市川上町2041-1	0992 43-4556
宇宿営業所	890	鹿児島市宇宿市2-16-2	0992 53-3283
谷山営業所	891-01	鹿児島市和田町197-1	0992 69-2975
鹿屋営業所	893	鹿屋市笠之原1296	0994 43-3821
川内営業所	895	川内市中郷町字久留主6682-1	0996 22-3268
国分営業所	899-43	国分市野口字大丸1005	0995 47-2705
出水営業所	899-05	出水郡野田町下名3359-1	0996 84-2811
加治木営業所	899-52	姶良郡加治木町木田2508	09956 2-0381
大隅営業所	899-82	曾於郡大隅町月野1970	09948 2-2136
指宿営業所	891-03	指宿市西方1451	0993 25-4500
加世田営業所	897	加世田市村原1011	0993 52-0110

内山商事(株)	894	名瀬市永田町7-3	0997 52-0211
整備工場	894	名瀬市小浜町25-6	0997 52-4567
徳之島営業所	891-71	大島郡徳之島町亀津	09978 3-0112

(株)スズキカルタス鹿児島	890	鹿児島市新栄町14-12	0992 54-1411
---------------	-----	--------------	--------------

## 47 沖縄県

(株)スズキ自販沖縄	902	那覇市字上間531-1	098 855-6111
浦添営業所	901-21	浦添市字西原825	098 877-7770

取扱車種

アルト  
セルボ・モード  
ワゴンR  
カプチーノ  
エブリイ  
キャライ

ジムニー  
カルタス  
エスクード  
ノマド  
シエラ

あなたのお車に安心を乗せて ドライブを……。

自家用自動車総合保険

- ▲ 日動火災海上保険株式会社
- ▼ 東京海上火災保険株式会社
- ◎ 千代田火災海上保険株式会社
- 三井海上火災保険株式会社

# 自動車検査証



## 愛知スズキ販売株式会社 株式会社スズキカルタス愛知

本社 名古屋市南区南野1-72 ☎(052) 612-2151(代)

- 本社営業所 名古屋市南区南野1-72 ☎(052)612-2154
- 中営業所 名古屋市中区新栄1-47-20 ☎(052)262-2541
- 西営業所 名古屋市西区上堀越町1-1 ☎(052)522-7106
- 守山営業所 名古屋市守山区森孝1丁目1705 ☎(052)775-4761
- 小牧営業所 西春日井郡豊山町大字豊場字幸田175 ☎(0568)28-3100
- アピオ味岡 小牧市大字小松寺字下仲田304-1 ☎(0568)71-1391
- サンマルシェ 春日井市中央台二丁目5番地 ☎(0568)92-7030
- 岡崎営業所 岡崎市栄町3-4 ☎(0564)21-9141
- 岡崎南営業所 岡崎市牧御堂町字郷中60 ☎(0564)55-1701
- 豊田営業所 豊田市大林町13-3-20 ☎(0565)28-0033
- 刈谷営業所 刈谷市野田町中山22-17 ☎(0566)22-7001
- 三好ヶ丘営業所 西加茂郡三好町三好丘六丁目4-6 ☎(05613)6-1881
- 岡崎マイカーセンター 岡崎市栄町3-4 ☎(0564)21-9141
- 特販部 名古屋市南区南野1-72 ☎(052)612-2155